

「唱歌集コレクション」歌出し索引 (五十音順)

【凡例】

- ・歌詞番号／歌-日：日本語で表記された歌詞 歌-外：外国語で表記された歌詞
- ・曲番号／曲-日：日本語で表記された曲名 曲-外：外国語で表記された曲名
- ・曲名と歌詞について、一部旧字を新字にあらためた。
- ・曲名と歌詞について、一部漢字をひらがなにあらためた。
- ・配列は歌出し歌詞の読みによる。

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日1	アアアささたる業も	職工	書92	曲-日3233
	歌-日2	ああ朝潮の高鳴に	第二十六回記念祭歌(5年東)	書386	曲-日4038
	歌-日3	あああの顔であの声で	暁に祈る	書238 書317	曲-日70
	歌-日4	ああ勇ましや	運動勝利者歓迎	書228	曲-日757
	歌-日5	アー今は漸漸十五の歳で	八木節(群馬)	書385	曲-日6748
	歌-日6	ああ美しき	絵本	書222	曲-日789
	歌-日7	ああ美しや	造化の美	書299	曲-日3651
	歌-日8	ああ永劫の時の歩みに	序歌	書387	曲-日3199
	歌-日9	嗚呼永劫のわが恨	討露の歌 [嗚呼永劫のわが恨]	書16	曲-日4710
	歌-日10	ア-エ加賀の山中怖ろし所よ	山中節(石川)	書385	曲-日6883
	歌-日11	ああ大空に照る月の	第十七回記念祭寄贈歌(40年東大)	書386	曲-日3894
	歌-日12	ああをためこふひのまへに	花の少女 [ああをためこふひのまへに]	書166	曲-日5441
	歌-日13	ああおもしろやあなたのし	四季遊び	書165	曲-日2843
	歌-日14	ああかぐはし	忠臣 [ああかぐはし]	書54 書60 書67 書138 書153 書154 書165 書169	曲-日4381
	歌-日15	嗚呼畏くも九重の	愛宕郡大原村村歌	書253	曲-日946
	歌-日16	ああかの国は滅びたり	かの国	書28	曲-日1428
	歌-日17	アアかみに何と云わん	嗚呼神に何と云はん	書70 書71	曲-日1
	歌-日18	ああ君が為に	ああ君が為に	書232	曲-日2
	歌-日19	嗚呼玉杯に [第一高等学校寮歌]	第一高等学校寮歌 [嗚呼玉杯に]	書252	曲-日3763
	歌-日20	嗚呼玉杯に [第十二回記念祭歌(35年東)]	第十二回記念祭歌(35年東)	書386	曲-日3903
	歌-日21	嗚呼玉杯に [嗚呼玉杯に花うけて(一高)]	嗚呼玉杯に花うけて(一高)	書40 書385	曲-日3
	歌-日22	ああくろしわがなやみ	わがなやみ	書28	曲-日7382
	歌-日23	ああ香蘭の香罩めて	第二十四回記念祭寄贈歌(3年東大)	書386	曲-日4026
	歌-日24	嗚呼向陵に正気あり	端艇部応援歌	書386	曲-日4310
	歌-日25	ああ渾沌の闇の色	第十六回記念祭歌(39年中)	書386	曲-日3930
	歌-日26	ああ山陽の	第六高等学校寮歌 [ああ山陽の]	書40 書252	曲-日4105
	歌-日27	アア主の軍隊に	主の義勇兵	書70 書71	曲-日3078
	歌-日28	ああ新緑の向陵に	二十五年祭之歌(4年)	書386	曲-日5043
	歌-日29	ああ凄惨の日は暗く	山口高校応援歌	書40	曲-日6839
	歌-日30	ああ青春の驕楽は	第二十七回記念祭歌(6年北)	書386	曲-日4003
	歌-日31	嗚呼青春の脈血に	行進歌(大正8年)	書387	曲-日2253
	歌-日32	嗚呼青春の夢高く	昭和五年寮歌	書77	曲-日3187
	歌-日33	ああ青春の歡喜を	大正十五年寮歌	書77	曲-日3943
	歌-日34	アア関の五本松一本切りや四本	関の五本松	書363	曲-日3574
	歌-日35	ああ断腸の血を啜り	東征応援歌(大正12年)	書387	曲-日4677
	歌-日36	嗚呼忠臣の碑を	徳川光圀 [嗚呼忠臣の碑を]	書270	曲-日4731
	歌-日37	嗚呼忠臣の楠氏ぞと	正成卿(辞闕之段)	書355	曲-日6292
	歌-日38	ああ庭石のほとりに君と	ああ庭石(美少年)	書385	曲-日7
	歌-日39	ああ伝統の丘の上に	蹴球部創立十五年祭歌(大正13年)	書387	曲-日3015
	歌-日40	嗚呼東海の朝ぼらけ	西明寮落成記念歌	書386	曲-日3539
	歌-日41	嗚呼東海の敵至る	応援歌(大正10年) [嗚呼東海の敵至る]	書387	曲-日825
	歌-日42	ああたふとしや大君に	靖国神社 [ああたふとしや大君に]	書191	曲-日6772
	歌-日43	アアと叩く罪なき書	喇叭の遠音	書374	曲-日7214
	歌-日44	ア-どんと船出は日本の港	漁村青年の歌(どんと船出は)	書240	曲-日1856
	歌-日45	ああ何故悲しき	別れに	書232	曲-日7422
	歌-日46	ア-二遍返しですまないなれば	相馬二遍返し	書363	曲-日3689
	歌-日47	アアネムタイヨ	蒲生氏郷	書124	曲-日1469
	歌-日48	ああ遙に山を越え来て	故郷を後に	書60	曲-日2328
	歌-日49	ああ東の大空に	山	書86	曲-日6825
	歌-日50	ああ悲惨惨の極	軍神橋中佐(下の一)	書40	曲-日2086
	歌-日51	ああ日は昇る東海の	第一高等学校弓術部部歌	書386	曲-日3766
	歌-日52	嗚呼笛よ	笛の音 [嗚呼笛よ]	書60 書181	曲-日5846
	歌-日53	ああ平安の夢深く	第二十二回記念祭歌(45年中)	書386	曲-日4011
	歌-日54	ああ炳日の影かくれ	第二十三回記念祭歌(2年西)	書386	曲-日3990
	歌-日55	あまさしげよまさしげよ [正成]	正成	書166 書251	曲-日6291
	歌-日56	嗚呼正成よ正成よ [小楠公を詠ずるの歌]	小楠公を詠ずるの歌 [嗚呼正成よ]	書287 書303	曲-日3159
	歌-日57	嗚呼正成よ正成よ [楠正行]	楠正行 [嗚呼正成よ正成よ]	書200 書376	曲-日1927
	歌-日58	嗚呼正行よ正行よ	小楠公を詠ずるの歌 [嗚呼正行よ]	書198	曲-日3158
	歌-日59	ああ満洲の太平洋	独立守備隊の歌	書385	曲-日4738
	歌-日60	嗚呼昔より女子にて	女子の事業	書303	曲-日3221
	歌-日61	ああ紫の朝霧に	第三十一回記念祭歌(10年) [ああ紫の朝霧に]	書386	曲-日3807
	歌-日62	ああ明治の御世やああひかりの世や	御陵威の光	書284	曲-日6403
	歌-日63	ア-もへば	追悼歌 [ア-もへば]	書282	曲-日4445
	歌-日64	ああ世の中は夢なれや	青年失恋の歌	書11	曲-日3526
	歌-日65	嗚呼世は夢か [楽しき春]	楽しき春 [嗚呼世は夢か]	書219	曲-日4226
	歌-日66	ああ世は夢か [獄舎の夢(上)]	獄舎の夢(上)	書187	曲-日2368
	歌-日67	嗚呼世は夢か [夜半の追憶]	夜半の追憶	書385	曲-日7185
	歌-日68	嗚呼繚乱の花吹雪	第三十九回記念祭寄贈歌(昭和4年京大)	書386	曲-日3812
	歌-日69	ああ楼台の [第三高等学校水上部部歌]	第三高等学校水上部部歌	書252	曲-日3801

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日70	ああ楼台の [水上部部歌(44年)]	水上部部歌(44年)	書387	曲-日3380
	歌-日71	ああ楼台の [ああ楼台の花に酔ふ(三高)]	ああ楼台の花に酔ふ(三高)	書40	曲-日11
	歌-日72	嗚呼我が決死隊	征露紀念七十七士	書324	曲-日3543
	歌-日73	アー忘れしやんすな山中道を	山中節	書363	曲-日6882
	歌-日74	アーわたしや大島御神火育ちヨ	大島節	書363	曲-日887
	歌-日75	ああ我等は海国男子	海国男子 [ああ我等は海国男子]	書85	曲-日1152
	歌-日76	ああ吾はも豎琴ぞ	吾は豎琴	書232	曲-日7497
	歌-日77	アイウエ踊りはおもしろい	アイウエ踊り	書51	曲-日14
	歌-日78	アイオンチゴンゴン	カフェーの歌 [アイオンチゴンゴン]	書11	曲-日1432
	歌-日79	会津磐梯山は宝の山よ	会津磐梯山	書363	曲-日27
	歌-日80	逢ひたさ見たさに恐さを忘れ	籠の鳥	書385	曲-日1292
	歌-日81	愛馬いたはり	馬上の少年 [愛馬いたはり]	書222	曲-日5341
	歌-日82	逢ひはせなんだかヨー	水産講習所歌	書40	曲-日3365
	歌-日83	あふぐもかしこしすめらぎの	勅語拝読の歌	書165	曲-日4420
	歌-日84	あふげやそらにあさひのそらに	富士の高嶺 [あふげやそらにあさひのそらに]	書165	曲-日5891
	歌-日85	あえぎ登る山の懸路に	滝 [あえぎ登る山の懸路に]	書213 書214	曲-日4141
	歌-日86	青々続く	海の眺 [青々続く]	書29	曲-日691
	歌-日87	青いうねり波のうねり	波 [青いうねり波のうねり]	書209	曲-日4964
	歌-日88	青い大空世界を照らして	日の出行進曲	書51	曲-日5752
	歌-日89	あをいおそらのまんなかに	十五や [あをいおそらのまんなかに]	書318	曲-日3031
	歌-日90	青い小鳥はどこへ行く	青い小鳥	書11	曲-日38
	歌-日91	青い簾に蒲胡坐布て	炎天の進軍	書203	曲-日805
	歌-日92	青い背広で心も軽く	青い背広で	書363	曲-日39
	歌-日93	蒼い空に	かみなり	書159	曲-日1445
	歌-日94	青い畳を	木舟石舟	書257	曲-日1755
	歌-日95	あをいつきよの [浜千鳥]	浜千鳥 [あをいつきよの]	書40 書47 書54 書60	曲-日5503
	歌-日96	青い月夜の浜辺には [浜千鳥の歌]	浜千鳥の歌	書11	曲-日5505
	歌-日97	蒼生のいのちの種と	瑞穂	書139 書153 書154 書170	曲-日6456
	歌-日98	あをいはまべにうちあげられて	夜の貝	書54 書60	曲-日7169
	歌-日99	青い瞳を [ゴム人形]	ゴム人形	書345	曲-日2545
	歌-日100	あをいめをしたおにんぎよは [青い目の人形]	青い目の人形	書40 書54 書60 書117	曲-日42
	歌-日101	あをいやまのどんとんとんねる	とんねる	書27	曲-日4831
	歌-日102	青いよ青いよ秋の空	青い空	書191	曲-日40
	歌-日103	あを大空を眺むれば	第十回紀念祭歌(33年西)	書386	曲-日3936
	歌-日104	あをにおにさん	めくら鬼 [あをにおにさん]	書54 書60 書201 書382	曲-日6644
	歌-日105	仰ぎ見よあふぎみよや	虹の歌	書122	曲-日5040
	歌-日106	仰ぎみる [皇后陛下御誕辰日奉祝歌]	皇后陛下御誕辰日奉祝歌	書324	曲-日2234
	歌-日107	仰ぎ見るみそらに [富士山]	富士山 [仰ぎ見るみそらに]	書328	曲-日5875
	歌-日108	青草踏み踏み子馬が跳ねてる	子馬と子供	書373	曲-日2282
	歌-日109	青くすみたる大空に	第十回紀念祭歌(33年南)	書386	曲-日3938
	歌-日110	仰ぐま澄の蒼穹に	星座	書359	曲-日3507
	歌-日111	青雲たなびく	あを雲	書120 書121	曲-日46
	歌-日112	あをぐもとほくよりあひて	国土	書323	曲-日2349
	歌-日113	青雲なびく大空に	日章旗を仰いで	書317	曲-日5056
	歌-日114	あふげ蒼ぞら雲わくかなた	漁村青年の歌(勇め若者)	書240	曲-日1855
	歌-日115	あふげおほきみのみやをのまつり	皇祖の祭	書161 書165	曲-日2256
	歌-日116	仰げば雲の果遠く	空中艦隊の歌	書385	曲-日1904
	歌-日117	仰げば高き [天皇の御稜威]	天皇の御稜威	書283	曲-日4632
	歌-日118	あほげばたかきてばこやま [土佐郡本川村歌]	土佐郡本川村歌	書253	曲-日4758
	歌-日119	仰げば高き富士の峯	護国の歌 [仰げば高き富士の峯]	書200	曲-日2381
	歌-日120	仰げば高し	国民頌	書46	曲-日2362
	歌-日121	あふげばたふとし [女傑]	女傑	書282	曲-日3215
	歌-日122	あふげばたふとし [仰げば尊し]	仰げば尊し	書60	曲-日47
	歌-日123	あふげばたふとし [卒業の歌]	卒業の歌 [あふげばたふとし]	書60	曲-日3731
	歌-日124	仰げや [太平の御代]	太平の御代 [仰げや]	書180	曲-日4072
	歌-日125	あふげやあふげあめつちの [国の基]	国の基	書169	曲-日1951
	歌-日126	あおげやあおげや天地の [紀元節の歌]	紀元節の歌	書198	曲-日1644
	歌-日127	あふげやあふげやもろともに	学校旗の歌	書166	曲-日1380
	歌-日128	あふげやひのもとならぶるくには	我日本 [あふげやひのもとならぶるくには]	書166	曲-日7392
	歌-日129	あふげよやふじのやま	富士山 [あふげよやふじのやま]	書137	曲-日5869
	歌-日130	碧空たかくぞ	秋の日和	書350	曲-日140
	歌-日131	あをぞらとぶよ	やなぎのわた	書358	曲-日6823
	歌-日132	青田の白玉	蚩 [青田の白玉]	書282	曲-日6206
	歌-日133	青葉三里 [夏の野]	夏の野 [青葉三里]	書54	曲-日4924
	歌-日134	青葉三里野路を辿る [夏野]	夏野	書184	曲-日4903
	歌-日135	あをはしげれるさくら井の [湊川]	湊川 [あをはしげれるさくら井の]	書165	曲-日6491
	歌-日136	青葉しげれる桜井の [楠公]	楠公 [青葉しげれる桜井の]	書40	曲-日4992
	歌-日137	青葉しげれる桜井の [楠公父子]	楠公父子 [青葉しげれる桜井の]	書270	曲-日4995
	歌-日138	あをばしげれるたにかげは	滝の川	書166	曲-日4149
	歌-日139	あをばしげれるまどのもと	雨後の月	書166	曲-日600
	歌-日140	青葉にいさむ	初夏 [青葉にいさむ]	書110	曲-日3197
	歌-日141	青葉に茂る夏木立	忍か岡 [青葉に茂る夏木立]	書287	曲-日2953
	歌-日142	青葉の色も美しく	夏は来ぬ [青葉の色も美しく]	書47	曲-日4947
	歌-日143	青葉の海に漂ひて	夕暮の歌	書28	曲-日6940
	歌-日144	あをばのみどりしづくのおと	夏の興	書54	曲-日4917
	歌-日145	青葉もかをりて	卯の花 [青葉もかをりて]	書336	曲-日662
	歌-日146	青葉も枯葉も	霜の朝 [青葉も枯葉も]	書225	曲-日2984
	歌-日147	青葉山 [第二高等学校尚志会会歌]	第二高等学校尚志会会歌	書252	曲-日3961
	歌-日148	青葉山冬にもだせる暁の	第二十七回紀念祭寄贈歌(6年東北大)	書386	曲-日3998

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日149	青葉若葉しげれる森の中を歩めば	涼しき森	書116	曲-日3405
	歌-日150	青葉若葉の [木がくれの歌]	木がくれの歌	書60 書201 書202	曲-日1612
	歌-日151	青葉若葉のにほひつつ [ほととぎす]	ほととぎす [青葉若葉のにほひつつ]	書161	曲-日6237
	歌-日152	あおもしろやあおもしろや	冬 [あおもしろやあおもしろや]	書54 書165	曲-日5950
	歌-日153	青柳の陰に誰やら居るわいな	最新流行 青柳節	書11	曲-日2621
	歌-日154	あかいあかいほうせんくわ	とほせんぼ [あかいあかいほうせんくわ]	書54	曲-日4714
	歌-日155	赤いお家の窓しめて	りんごの嘆き	書60	曲-日7286
	歌-日156	あかいおうちはもりのなか	あかいおうち	書358	曲-日56
	歌-日157	赤い大きな鱸ゆらゆらと	金魚 [赤い大きな鱸ゆらゆらと]	書208	曲-日1875
	歌-日158	赤い帯しめ水色脚絆	柴刈小唄	書31	曲-日2958
	歌-日159	あかい唇	あかい唇(元唄)	書11	曲-日57
	歌-日160	赤い靴はいていた女の子	赤い靴 [赤い靴はいていた]	書117	曲-日58
	歌-日161	赤い靴はいた女の子	赤い靴 [赤い靴はいた]	書40	曲-日59
	歌-日162	赤い太陽照る渚	カナカノ娘	書385	曲-日1410
	歌-日163	赤いダリヤはなぜ赤い	ダリヤはなぜ赤い	書174	曲-日4276
	歌-日164	赤い鳥小鳥なぜなぜ赤い	赤い鳥小鳥	書117	曲-日61
	歌-日165	あかい日ノ出の勢ひを	国民皆労の歌	書179	曲-日2361
	歌-日166	あかい紅渡せ	乙鳥の姉さん	書315	曲-日4526
	歌-日167	アカイベベキタ	ダルマサン [アカイベベキタ]	書171	曲-日4280
	歌-日168	あかいゆう日のあまあがり	こうりゃんさらさら	書358	曲-日2297
	歌-日169	あかいゆふひのしづむころ	赤い夕日の沈む頃	書54	曲-日64
	歌-日170	あかうしろうし	赤牛黒牛	書27	曲-日65
	歌-日171	赤城山から風が吹き出して	上州小唄	書385	曲-日3139
	歌-日172	あかきはのべの	夏の歌	書54 書138	曲-日4912
	歌-日173	赤坂の山里に	楠母	書353	曲-日5009
	歌-日174	あかさたなはまやらは	五十音唱歌	書239	曲-日2414
	歌-日175	明し暮す学の	終業式 [明し暮す学の]	書282	曲-日3023
	歌-日176	あかしこしやわがしこそ	君教師をよむ	書166	曲-日2092
	歌-日177	あかしろきいろひらひらと	三羽の蝶	書166	曲-日2811
	歌-日178	赤祖父山の影高く	東井波郡井口村の歌	書253	曲-日5688
	歌-日179	あかつきいだす	花のあけくれ	書60 書120 書121 書165	曲-日5437
	歌-日180	暁がたの星落ちぬ	第十四回記念祭祭贈歌(37年九大)	書386	曲-日3918
	歌-日181	あかつきづきよかけくらき	舷舷相摩	書166	曲-日2137
	歌-日182	あかつきつくる雞の	第三十回記念祭祭贈歌	書386	曲-日3846
	歌-日183	あかつきつぐるくもくれないに	シンガポール晴れの入場	書236	曲-日3264
	歌-日184	あかつきにほふひんがしに	あじあの歌	書358	曲-日256
	歌-日185	暁の空はひろく	雪の行軍	書85	曲-日7048
	歌-日186	暁の露ふみわけて	亡き友 [暁の露ふみわけて]	書137	曲-日4865
	歌-日187	黎明の露淡らぎて	第二十四回記念祭祭歌	書386	曲-日4027
	歌-日188	あかつきやみは	梅の色香	書60 書350	曲-日710
	歌-日189	暁寄する新潮の	第十三回記念祭祭歌(36年西)	書386	曲-日3886
	歌-日190	あがなはれしわれ	贖はれし我	書70 書71	曲-日76
	歌-日191	あか子いろなすしまのまへ	浜辺の夕	書166	曲-日5509
	歌-日192	暁星の光消えゆき	第三十四回記念祭祭歌(13年) [暁星の光消えゆき]	書386	曲-日3834
	歌-日193	赤間ヶ関の春のあさ	赤間ヶ関	書28 書100	曲-日77
	歌-日194	上り双六	道中双六	書315	曲-日4689
	歌-日195	あがり目さがり目	あがり目さがり目	書117 書315	曲-日78
	歌-日196	あがるあがるお日さまあがる	お日さま [あがるあがるお日さまあがる]	書262	曲-日1036
	歌-日197	あがる雲雀たのしくうたふ	雲雀 [あがる雲雀たのしくうたふ]	書116	曲-日5765
	歌-日198	あがるよ	花火 [あがるよ]	書350	曲-日5452
	歌-日199	あがれあがれ [あがれ]	あがれ	書132 書151 書153 書161	曲-日79
	歌-日200	あがれあがれ天まであがれ [羽子つきうた]	羽子つきうた	書60	曲-日5327
	歌-日201	アガレタコ	タコ [アガレタコ]	書94 書225	曲-日4163
歌-日202	揚がれよ雲雀よ	雲雀 [揚がれよ雲雀よ]	書60	曲-日5778	
歌-日203	昂れりこの意気桜の黎明	日本産業の歌(一)	書239	曲-日5097	
歌-日204	秋風寒き黄海の	黄海大捷戦 [秋風寒き黄海の]	書314	曲-日2212	
歌-日205	あきかぜさむくなりゆくまに	秋の夜 [あきかぜさむくなりゆくまに]	書165 書175	曲-日169	
歌-日206	秋風さむく吹くあかつき	孤子	書122	曲-日2399	
歌-日207	あきかぜさむけきあふさかやまを	歴史は我を	書165 書169 書366	曲-日7299	
歌-日208	あきかぜすずしつきしろし	虫のうた [あきかぜすずしつきしろし]	書166	曲-日6562	
歌-日209	秋風そよぎて	つばめ [秋風そよぎて]	書182 書336	曲-日4513	
歌-日210	秋風吹きて木の葉は散りて	山家の秋	書223	曲-日6832	
歌-日211	あきかぜわたるとき	秋の実のり [あきかぜわたるとき]	書54	曲-日141	
歌-日212	秋草ふみわけ	虫の音 [秋草ふみわけ]	書215	曲-日6572	
歌-日213	秋雨ふりきぬ	落葉 [秋雨ふりきぬ]	書188	曲-日960	
歌-日214	秋空はれて日は高し	秋 [秋空はれて日は高し]	書131	曲-日91	
歌-日215	あきたかくきはすみて	きりぎりすの歌	書54	曲-日1869	
歌-日216	秋たちしけしきは	秋 [秋たちしけしきは]	書121	曲-日90	
歌-日217	現つ神か	現つ神	書232	曲-日108	
歌-日218	秋津島根の動きなき [紀元節]	紀元節 [秋津島根の動きなき]	書143	曲-日1642	
歌-日219	秋津島根の動きなき [秋津洲]	秋津洲 [秋津島根の動きなき]	書161	曲-日109	
歌-日220	あきつとかびふ	秋 [あきつとかびふ]	書46	曲-日84	
歌-日221	秋とはなりぬ山里は	秋の山里 [秋とはなりぬ山里は]	書60	曲-日150	
歌-日222	秋のあそびは月見に萩に	茸狩 [秋のあそびは月見に萩に]	書161	曲-日4155	
歌-日223	秋の入江の	晩秋 [秋の入江の]	書257	曲-日5676	
歌-日224	秋の入日の	第七高等学校記念祭歌 [秋の入日の]	書252	曲-日3861	
歌-日225	あきのをがみののるこまの	秋の声 [あきのをがみののるこまの]	書54	曲-日122	
歌-日226	秋の霜夜の星の色	日本刀の歌	書317	曲-日5070	
歌-日227	あきのすえより	北国の雪	書29	曲-日1701	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日228	秋の月夜にナ裡が浮かれ	さいごどんどん	書363	曲-日2613
	歌-日229	あきのを	秋の野 [あきのを]	書120 書121 書165	曲-日136
	歌-日230	秋の野末を流るる水	野菊 [秋の野末を流るる水]	書336	曲-日5252
	歌-日231	あきののにさきたるはなは	秋の七草	書166	曲-日135
	歌-日232	秋の野辺には鈴虫松虫	むし [秋の野辺には鈴虫松虫]	書79	曲-日6557
	歌-日233	秋の初風待ちとる便か	萩の野原 [秋の初風待ちとる便か]	書122	曲-日5311
	歌-日234	秋の日の空すみわたり	たけがり [秋の日の空すみわたり]	書210	曲-日4156
	歌-日235	あきのまつかぜまちとるたよりか	萩の野原 [あきのまつかぜまちとるたよりか]	書166	曲-日5310
	歌-日236	秋の水すみきつた流の上を赤とんぼ	赤とんぼ [秋の水すみきつた流の上を赤とんぼ]	書209	曲-日74
	歌-日237	あきのみやいのおく深く	地久節 [あきのみやいのおく深く]	書67 書146 書148 書161	曲-日4335
	歌-日238	秋の山路来て見れば	秋の山路 [秋の山路来て見れば]	書60	曲-日152
	歌-日239	あきのやまべにうちむれて	菓物拾ひ	書166	曲-日1931
	歌-日240	あきのゆうひにてるやまみぢ	紅葉 [あきのゆうひにてるやまみぢ]	書54 書60 書208	曲-日6681
	歌-日241	秋の夜置くや露	秋の夜 [秋の夜置くや]	書28	曲-日160
	歌-日242	秋の夜長にこほろぎは	秋の夜 [秋の夜長に]	書117	曲-日159
	歌-日243	あきのよふけのさみしさに	秋の夜ふけ	書54	曲-日168
	歌-日244	秋の夜は長いもとは真ん円な	秋の夜 [秋の夜は]	書385	曲-日161
	歌-日245	あきのよはのみそらすみて	秋の夜半	書54 書60	曲-日172
	歌-日246	あきふけてよはながし	燈下読書	書165	曲-日4647
	歌-日247	あきもいつかすえののはら	菊 [あきもいつかすえののはら]	書166	曲-日1617
	歌-日248	あきもようようおいぬれば	菊花	書166	曲-日1635
	歌-日249	秋搖落の	第二高等学校明善寮創立記念の歌	書252	曲-日3771
	歌-日250	あきはきたりにしのそらに	秋は来たり	書60 書87 書161 書165	曲-日175
	歌-日251	欠伸のやうな	雲雀 [欠伸のやうな]	書201 書202	曲-日5766
	歌-日252	あくまとたたかへ	悪魔と戦へ	書70 書71	曲-日178
	歌-日253	あくかたとみせたるみねのさくら	逝く春	書27	曲-日7064
	歌-日254	あくみそらにひびくがくのね	雲雀 [あくみそらに]	書54	曲-日5767
	歌-日255	あくるやまのはたかだかに	ます鏡	書66 書165	曲-日6297
	歌-日256	あくればえだにみつづちかけ	そだてし菊	書166	曲-日3703
	歌-日257	あけくれくむいどのなは	忍耐 [あけくれくむいどのなは]	書88 書165	曲-日5172
	歌-日258	あけくれつちかひそだてたる	菊 [あけくれつちかひそだてたる]	書166 書225	曲-日1620
	歌-日259	あけくれ睦み	別れて後	書350	曲-日7421
	歌-日260	あけそむるひかりをかはすみづかきや	春の曙 [あけそむるひかりをかはすみづかきや]	書28	曲-日5567
	歌-日261	明けぬと告ぐる鳥の音に	第十四回記念祭歌(37年西)	書386	曲-日3920
	歌-日262	黎明の孤城に鐘なれば	新潟高校寮歌 [黎明の孤城に鐘なれば]	書40	曲-日5014
	歌-日263	あけぼの色の薔薇の花	薔薇 [あけぼの色の薔薇の花]	書174	曲-日5513
歌-日264	あけぼのたのしき	谷の庵	書54 書166 書366	曲-日4201	
歌-日265	明けゆく海原潮の香かほりて	日の出の歌	書358	曲-日5754	
歌-日266	あけゆく空の [四季の歌]	四季の歌 [あけゆく空の]	書225	曲-日2851	
歌-日267	あけゆく空の初霞 [年中の歌]	年中の歌	書165	曲-日5213	
歌-日268	明け行く空よいざいざいざ	青年の歌	書40 書184 書239 書240 書326	曲-日3529	
歌-日269	あけゆくみそらに	雲雀のうた [あけゆくみそらに]	書47 書54 書60 書265	曲-日5782	
歌-日270	あげよかちどきいさましく	大勝利	書166	曲-日3952	
歌-日271	あげよかみだこ	一月の遊び	書134 書138	曲-日459	
歌-日272	赤穂の義士の大石が	大石良雄	書270	曲-日870	
歌-日273	あこがれ出でぬ	春の野の幻	書29	曲-日5630	
歌-日274	あこがれの唄胸に秘め	第三十八回記念祭歌 [あこがれの唄胸に秘め]	書386	曲-日3828	
歌-日275	あこだまする我が声	山彦 [あこだまする我が声]	書232	曲-日6904	
歌-日276	あこよあこよふみまなべ	吾子よ	書165	曲-日187	
歌-日277	吾子よ眠れよ	眠れ吾子よ [吾子よ眠れよ]	書232	曲-日5201	
歌-日278	あこれぞ忠烈の士	乃木將軍遺詠	書54	曲-日5254	
歌-日279	あ子は母を母は子を	愛の力	書232	曲-日31	
歌-日280	朝あくる宇宙の静謐	第四十一回記念祭歌 [朝あくる宇宙の静謐]	書386	曲-日4085	
歌-日281	浅いアリアすいりやうりやう	推量節	書363	曲-日3389	
歌-日282	麻をみだせる如き世に	児島高德の歌	書165	曲-日2412	
歌-日283	朝顔に釣瓶とられて貰い水	朝顔 [朝顔に釣瓶とられて貰い水]	書45 書166	曲-日203	
歌-日284	あさがすみまだよをのこす [自然の音楽]	自然の音楽 [あさがすみまだよをのこす]	書169	曲-日2908	
歌-日285	あさがすみまだよをのこす [謡ひて謝せよ]	謡ひて謝せよ	書166	曲-日633	
歌-日286	朝風おかして田舎の小道	霜 [朝風おかして田舎の小道]	書60	曲-日2972	
歌-日287	朝風きよく	修学旅行 [朝風きよく]	書225	曲-日3013	
歌-日288	朝風すずしき	谷間の姫百合	書121	曲-日4205	
歌-日289	朝風わたれる	蓮花 [朝風わたれる]	書282	曲-日7300	
歌-日290	安積山の	草刈唄	書345	曲-日1909	
歌-日291	朝から晩までリンリンリン	鈴虫	書60	曲-日3410	
歌-日292	あさきせにこそなみはたて	慎言謙讓 [あさきせにこそなみはたて]	書146 書165	曲-日3284	
歌-日293	朝清め御裳濯川に	御裳濯川	書85	曲-日6515	
歌-日294	朝霧つんざき大地を蹴て	騎兵 [朝霧つんざき大地を蹴て]	書177	曲-日1759	
歌-日295	朝ぎりほっほっ	朝ぎり	書373	曲-日213	
歌-日296	あさげはひとひのいざいざいざ	四季の朝	書165 書279	曲-日2845	
歌-日297	朝だ朝だよ朝日がのぼる	朝だ元気で	書179	曲-日225	
歌-日298	朝だ真澄の	防空の歌	書317	曲-日6095	
歌-日299	朝だ夜明けた潮の息吹	月月火水木金	書179	曲-日2123	
歌-日300	あさつゆうるほふはつはなの	初花	書166 書169 書366	曲-日5378	
歌-日301	朝露をふみわけて	朝露をふみわけて	書78	曲-日226	
歌-日302	あさつゆしげきみちのべに	学校途上	書165	曲-日1386	
歌-日303	朝露のこる小草角にわけつつ	乳牛	書135	曲-日5148	
歌-日304	あさつゆわけてとひくれれば [亡き母君の墓前に立ちて]	亡き母君の墓前に立ちて	書54	曲-日4869	
歌-日305	朝露かけて訪ひ来れば [墓前に立ちて]	墓前に立ちて	書60	曲-日6188	
歌-日306	あさとくおきてにはをはき	早起 [あさとくおきてにはをはき]	書165	曲-日5511	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日307	麻とも乱れし皇国を思ひて	西郷隆盛 [麻とも乱れし皇国を思ひて]	書174	曲-日2610
	歌-日308	あさなあさなにおきまざる	白露	書27 書54	曲-日3248
	歌-日309	朝な夕なに [送別の歌]	送別の歌 [朝な夕なに]	書60 書180	曲-日3685
	歌-日310	朝な夕なに [卒業式]	卒業式 [朝な夕なに]	書165 書225 書226	曲-日3712
	歌-日311	朝な夕なに慕ひまつる [懐しき我が師の君]	懐しき我が師の君	書28	曲-日4898
	歌-日312	朝の散歩にいつも逢ふ女	朝の散歩の唄	書11	曲-日231
	歌-日313	朝の露にほほ笑みて	朝がほ [朝の露にほほ笑みて]	書28	曲-日200
	歌-日314	朝のラヂオが申します	ラヂオ	書208	曲-日7197
	歌-日315	朝早くから井戸ばたで	母の心 [朝早くから井戸ばたで]	書208	曲-日5497
	歌-日316	あさひかがやく [船]	船	書27 書60 書159 書174	曲-日5942
	歌-日317	あさ日かがやくはごろもを	はごろも [あさ日かがやくはごろもを]	書318	曲-日5335
	歌-日318	あさひかがやくはなのうへに	神は我に	書169	曲-日1464
	歌-日319	朝日輝く日の本の	下都賀郡中村村歌	書253	曲-日2979
	歌-日320	アサヒガキラキラリンクニ	リンク	書358	曲-日7282
	歌-日321	朝日影さす繁山の	庵原郡庵原村の歌	書253	曲-日518
	歌-日322	あさひかげにほふあのかすみ	駿河の高嶺	書166	曲-日3484
	歌-日323	朝日影やどして	さざれ波	書120	曲-日2704
	歌-日324	あさひがさした	うぐひす [あさひがさした]	書54 書60 書138	曲-日583
	歌-日325	あさひさしそふつるがおか	静女	書45 書165	曲-日2891
	歌-日326	朝日と輝く	国光	書231	曲-日2468
	歌-日327	あさ日にいそぐあさがらす	鳥 [あさ日にいそぐあさがらす]	書68	曲-日1480
	歌-日328	あさひにかがやく [我海軍]	我海軍	書46 書166 書305	曲-日7343
	歌-日329	朝日に輝く日の御旗	野戦 [朝日に輝く日の御旗]	書118	曲-日6793
	歌-日330	あさひに匂ふ [山桜]	山桜 [あさひに匂ふ]	書46 書203	曲-日6842
	歌-日331	朝日に匂ふ [まなびやに]	まなびやに	書350	曲-日6369
	歌-日332	朝日に匂ふ桜花	教育総監部募集入選軍歌 第一	書40	曲-日1800
	歌-日333	あさひににほふやまざくら [朝日に匂ふ]	朝日に匂ふ	書166 書169	曲-日238
	歌-日334	あさひににほふやまざくら	桜 [あさひににほふやまざくら]	書166	曲-日2667
	歌-日335	あさひににほふやまざくら [忠勇]	忠勇	書166	曲-日4384
	歌-日336	あさひににほふよしののやまは	如意輪堂	書87 書165 書169	曲-日5150
	歌-日337	あさ日ににほえる花のみ山	花見 [あさ日ににほえる花のみ山]	書137	曲-日5461
	歌-日338	朝日に燃ゆればもみの絹	雲 [朝日に燃ゆればもみの絹]	書210	曲-日1970
	歌-日339	朝日のかけに	くものす	書60 書159	曲-日1980
	歌-日340	朝日の如く [明治神宮]	明治神宮 [朝日の如く]	書86	曲-日6611
	歌-日341	朝日の如く爽げば	爽快	書232	曲-日3650
	歌-日342	あさひのそらにのぼるより	牛馬	書166	曲-日1794
	歌-日343	旭のはたを旭ぞてらす	旭の旗 [旭のはたを旭ぞてらす]	書284	曲-日239
	歌-日344	あさひのはたには	凱旋の歌 [あさひのはたには]	書165	曲-日1187
	歌-日345	あさひのひかり [海辺]	海辺	書206	曲-日692
	歌-日346	あさ日の光 [鶴]	鶴	書206	曲-日4552
	歌-日347	朝日の光 [燕]	燕 [朝日の光]	書227	曲-日4523
	歌-日348	あさひの光園生にさせば [露]	露 [あさひの光園生にさせば]	書52	曲-日4543
	歌-日349	朝日昇り	海べ山べ	書337	曲-日699
	歌-日350	あさひのぼる	海楼眺望	書54 書283	曲-日1204
	歌-日351	朝日の御旗朝風に	軍艦戦闘 [朝日の御旗朝風に]	書118	曲-日2051
歌-日352	あさひのみはたあさひのみはた [朝日の御旗]	朝日の御旗 [あさひのみはたあさひのみはた]	書166	曲-日244	
歌-日353	あさひのみはたあさひのみはた [旭日旗]	旭日旗	書166	曲-日1850	
歌-日354	朝日のみ旗かどごとにてたて	朝日の旗 [朝日のみ旗かどごとにてたて]	書141	曲-日241	
歌-日355	旭の御旗立つところ	こども興亜の歌	書51	曲-日2474	
歌-日356	朝日まばゆき武士の	兵卒	書203	曲-日6054	
歌-日357	朝日夕日に	航海 [朝日夕日に]	書60 書215	曲-日2200	
歌-日358	朝日爛爛峰に爛爛	朝日爛爛	書78	曲-日248	
歌-日359	旭は昇りて	旭 [旭は昇りて]	書336	曲-日235	
歌-日360	朝日は昇りぬ [朝の歌]	朝の歌 [朝日は昇りぬ]	書47	曲-日230	
歌-日361	朝日は昇りぬ [朝日は昇りぬ]	朝日は昇りぬ	書211 書212	曲-日249	
歌-日362	朝日はのぼる雲はわく	水泳の歌	書191	曲-日3360	
歌-日363	朝日はみそらに光は野辺に	雲雀 [朝日はみそらに光は野辺に]	書225	曲-日5776	
歌-日364	浅間暮科裾長く	北佐久郡高瀬村村歌	書253	曲-日1704	
歌-日365	朝まだき起き出で	朝まだき	書232	曲-日251	
歌-日366	浅間の裾野南に尽きて	北佐久郡岩村田町歌	書253	曲-日1703	
歌-日367	あさみどり澄みわたりたる大空の	明治天皇御製 [あさみどり澄みわたりたる大空の]	書40	曲-日6617	
歌-日368	あさみどりなるきぬのごと	舞子の浜	書166 書285	曲-日6258	
歌-日369	あざやかなみどりよ	若葉	書191	曲-日7388	
歌-日370	鮮かに雪こそ積れ	雪 [鮮かに雪こそ積れ]	書213 書214	曲-日7014	
歌-日371	朝夕あふぎなるる	わが裏山	書350	曲-日7337	
歌-日372	朝夕なれし	売鏡	書281	曲-日5301	
歌-日373	朝はお日様出ないうち	舌切雀 [朝はお日様出ないうち]	書163	曲-日2922	
歌-日374	朝は暗い中から	癩の種ふし	書392	曲-日2989	
歌-日375	あさはねざめもさわやかに	夏の一日	書165	曲-日4911	
歌-日376	朝は日の出の薔薇雲に	海の歌	書317	曲-日683	
歌-日377	朝はふたたびここにあり	朝 [朝はふたたびここにあり]	書238 書317	曲-日191	
歌-日378	朝は呼ぶ朝はかがやく声が呼ぶ	輝く朝	書326	曲-日1240	
歌-日379	亜細亜に名ある東京は	世界六大都市	書165	曲-日3566	
歌-日380	亜細亜の東 [明治節]	明治節 [亜細亜の東]	書40 書47 書239	曲-日6613	
歌-日381	亜細亜の東蒼溟の [第十四回記念祭歌(37年南)]	第十四回記念祭歌(37年南)	書386	曲-日3923	
歌-日382	足を地に	木の洞	書257	曲-日1745	
歌-日383	足利尊氏筑紫より	求塚	書287	曲-日6675	
歌-日384	足柄山で	足柄山 [足柄山で]	書34	曲-日258	
歌-日385	足柄山の [足柄山]	足柄山 [足柄山の]	書159	曲-日259	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日386	足柄山の月すごく	足柄の松風	書200	曲-日257
	歌-日387	足柄山の山奥に	金太郎 [足柄山の山奥に]	書225	曲-日1893
	歌-日388	あぢきなきゆめのうきよしのふれど	夢の浮世	書166	曲-日7085
	歌-日389	朝金鶏たかなきて	第十七回記念祭歌(40年中)	書386	曲-日3896
	歌-日390	朝となればむら雀	我が家の唄	書317	曲-日7411
	歌-日391	朝に仰ぐ [第四高等学校校歌]	第四高等学校校歌	書40 書252	曲-日3851
	歌-日392	朝に仰ぐ椿台 [河辺郡川添村歌]	河辺郡川添村歌	書253	曲-日1534
	歌-日393	あしたに起きて山にしば刈り	二宮尊徳 [あしたに起きて山にしば刈り]	書60 書68	曲-日5075
	歌-日394	あしたにおける露も美し	花の苑	書311	曲-日5444
	歌-日395	あしたにゆうべに怠らず	鶏 [あしたにゆうべに怠らず]	書145	曲-日5156
	歌-日396	あしたにわくるみちしばも	卒業式の歌 [あしたにわくるみちしばも]	書165 書175	曲-日3715
	歌-日397	あしたのつゆじも	紅葉 [あしたのつゆじも]	書121	曲-日6682
	歌-日398	あしたの星のうすらぎて	第三十六回記念祭歌 [あしたの星のうすらぎて]	書386	曲-日3839
	歌-日399	朝葉末の露を受け	第三期卒業生贈星会歌	書77	曲-日3800
	歌-日400	あした浜辺をさまよへば	浜辺の歌	書269	曲-日5508
	歌-日401	朝ほのぼの	第七高等学校記念祭歌 [朝ほのぼの]	書252	曲-日3858
	歌-日402	あしたにゆうべに	わかれ [あしたにゆうべに]	書121	曲-日7416
	歌-日403	明日わうれしい	てれて坊主	書257	曲-日4602
	歌-日404	あしたは日曜兄さんたちと	あしたは日曜	書263	曲-日263
	歌-日405	明日は晴だ青空だ	明日は晴だ	書241	曲-日264
	歌-日406	足なみ揃へて	少兵士	書267	曲-日3178
	歌-日407	あしなみそろへてへいしにまけず	すずめ [あしなみそろへてへいしにまけず]	書68 書166	曲-日3412
	歌-日408	足曳の [軍旗敬礼歌]	軍旗敬礼歌	書46	曲-日2068
	歌-日409	足曳のやま辺とよもす	あしびき	書103 書383	曲-日265
	歌-日410	あしぶみとどろに	川のながれ	書166 書175	曲-日1531
	歌-日411	アジアの東日出づる處	明治節 [アジアの東日出づる處]	書190 書191	曲-日6612
	歌-日412	明日から嬉しい	夏休み [明日から嬉しい]	書209 書266	曲-日4945
	歌-日413	あすも来てまた君ときかん	あすも来て	書366	曲-日272
	歌-日414	あすはにちようたのしきひ	明日は日曜	書166 書279	曲-日275
	歌-日415	遊びなれにし	送別 [遊びなれにし]	書228	曲-日3678
	歌-日416	あそびのにはによりつとふ	めくら遊び	書166	曲-日6643
	歌-日417	遊ぶ魚の	世の態	書283	曲-日7152
	歌-日418	あそべこひよかめよ	鯉よ亀よ	書166	曲-日2183
	歌-日419	あそべとまれそのふのてふてふ	蝶々 [あそべとまれそのふのてふてふ]	書166	曲-日4400
	歌-日420	あそべとまれはずえのてふてふ [あそべ]	あそべ	書132	曲-日276
	歌-日421	あそべとまれはずえのてふてふ [蝶蝶]	蝶蝶 [あそべとまれはずえのてふてふ]	書166	曲-日4403
	歌-日422	あそべやこちよう	小蝶	書166	曲-日2457
	歌-日423	あそべやみそらにこころのままに	自由の鳥	書166	曲-日3051
	歌-日424	あそべよとまれはずえのてふてふ	遊べとまれ	書166	曲-日278
	歌-日425	あそべる緋鯉其の数いくつ	池の緋鯉	書116	曲-日420
	歌-日426	あたたかき日の影	初春 [あたたかき日の影]	書182	曲-日5380
	歌-日427	仇浪騒ぐ濁り世の [仇浪さわぐ]	仇浪さわぐ	書240	曲-日281
	歌-日428	仇浪騒ぐ濁り世の [第十七回記念祭歌(40年東)]	第十七回記念祭歌(40年東)	書386	曲-日3897
	歌-日429	仇浪繁かる荒磯際に	あだなみ	書28 書100	曲-日280
	歌-日430	あだにすぐすな	勧学の歌 [あだにすぐすな]	書165 書225	曲-日1559
	歌-日431	あたまをくものうへにだし [富士の山]	富士の山 [あたまをくものうへにだし]	書54 書60 書222	曲-日5899
歌-日432	あたまをくものうへにだし [富士山]	富士山 [あたまをくものうへにだし]	書54 書208	曲-日5868	
歌-日433	天窓の光こしの弓引返さじな死るとも	天窓の光	書376	曲-日282	
歌-日434	あだまもとりのでのかかりかけふけて	越の山風	書166	曲-日2406	
歌-日435	熱海の海岸散歩する	金色夜叉	書385	曲-日2595	
歌-日436	あたらしいとしをむかえて	新年 [あたらしいとしを]	書165	曲-日3321	
歌-日437	新しき年は	新年 [新しき年は]	書60 書181	曲-日3322	
歌-日438	あたりはしづかにつきのさえて	雪の朝 [あたりはしづかにつきのさえて]	書54	曲-日7042	
歌-日439	あちらやこちら	まりあそび	書79 書166	曲-日6382	
歌-日440	あついあつい	せみ [あついあつい]	書159	曲-日3596	
歌-日441	あつきさかりとなつびきの	暑中休暇送別	書164	曲-日3232	
歌-日442	暑き日ざし受けて	街路樹	書86	曲-日1205	
歌-日443	あつくふかきは御親のめぐみ	親のめぐみ [あつくふかきは御親のめぐみ]	書135	曲-日1093	
歌-日444	あつさはひにひにますなれば	暑さは日日に	書165 書217	曲-日286	
歌-日445	あつさはへりてすずさまさる	秋 [あつさはへりて]	書122 書165	曲-日80	
歌-日446	あつしあつしとわぶるまに	秋 [あつしあつしと]	書146 書148 書161	曲-日85	
歌-日447	あつたかいパン	あつたかいパン	書17	曲-日287	
歌-日448	熱田の宮の森の陰	源頼朝 [熱田の宮の森の陰]	書47	曲-日6501	
歌-日449	あつちの町と	虹の橋	書27 書54 書60	曲-日5041	
歌-日450	集れ集れかけつこだ	かけつこ [集れ集れかけつこだ]	書208	曲-日1279	
歌-日451	あつめよはなをのべにいでて	採集の歌	書87 書166	曲-日2617	
歌-日452	あてなるさまや	富貴の花	書166 書175	曲-日5851	
歌-日453	あ尊し	菊水の誉	書353	曲-日1629	
歌-日454	後を頼むとますらをが	銃後の日本大丈夫	書317	曲-日3030	
歌-日455	邪氣無くも	無邪気	書282	曲-日6573	
歌-日456	あなアナあなアナあやしくすし	こだま [あなアナあなアナあやしくすし]	書54	曲-日2447	
歌-日457	あないさまのますらをや	黄泉の武士	書165	曲-日7160	
歌-日458	あないさましやさしのぼる	凱旋 [あないさましやさしのぼる]	書166	曲-日1172	
歌-日459	あな美しの我が山よ	筑後唱歌	書277	曲-日4340	
歌-日460	あな疎ましや疎ましや	石童丸	書165	曲-日434	
歌-日461	あなうれしあけくれと	迎親の曲	書165	曲-日2101	
歌-日462	あなうれし喜ばし [凱旋]	凱旋 [あなうれし喜ばし]	書67 書337	曲-日1173	
歌-日463	あな嬉しよろこばし [戦勝のよろこび]	戦勝のよろこび	書40	曲-日3617	
歌-日464	あなおもしろ [三つの舟]	三つの舟	書353	曲-日6470	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日465	あなおもしろのけふのむしろ	集会 [あなおもしろのけふのむしろ]	書166 書175	曲-日3006
	歌-日466	あなおもしろのはるさめや	あなおもしろ	書166 書169	曲-日291
	歌-日467	あなたがねんねの枕もと	秋の夜 [あなたがねんねの枕もと]	書4 書60	曲-日170
	歌-日468	貴方と呼ばば貴方と答へる	二人は若い	書363	曲-日5916
	歌-日469	あなたに旅立つ友	別離の情	書177	曲-日6075
	歌-日470	あなつかしやたかきみそら	籠中の鳥	書28	曲-日2453
	歌-日471	あなとうとあなとうと五尺の身体	五尺の身体	書231	曲-日2413
	歌-日472	あなとうとしな	勅語奉答 [あなとうとしな]	書40 書47 書60 書225 書239 書337	曲-日4421
	歌-日473	あなめづらしと降りくるを	霞	書161	曲-日1327
	歌-日474	あなめでたすめら皇国は	慶賀立憲歌	書28	曲-日2100
	歌-日475	あにおといもと	兄弟妹	書23 書161 書165 書379 書381	曲-日292
	歌-日476	あにはおととをあいすべく	兄弟 [あにはおととをあいすべく]	書165	曲-日1824
	歌-日477	あ盗む者	あ盗む者	書232	曲-日294
	歌-日478	あねいもと打ちつれて	草刈 [あねいもと打ちつれて]	書185	曲-日1908
	歌-日479	姉妹愛でてつくる	姉妹 [姉妹愛でてつくる]	書60	曲-日296
	歌-日480	姉こもさやエほこらばほこれ	姉こもさ	書363	曲-日297
	歌-日481	あの児をとらうか	鬼あそび	書225	曲-日1002
	歌-日482	あの子もねてるこの子もねてる	あの子もねてる	書117	曲-日300
	歌-日483	あのはさきの雪だるま	ゆき [あのはさきの雪だるま]	書94	曲-日6995
	歌-日484	あの日揚った之旗を	海の進軍	書238	曲-日687
	歌-日485	あの町この町	あの町この町	書2 書117 書315	曲-日301
	歌-日486	あの山で光るものは	てまり唄 [あの山で光るものは]	書184	曲-日4596
	歌-日487	天晴たふと富士の高嶺は	富士山 [天晴たふと富士の高嶺は]	書180	曲-日5878
	歌-日488	阿鼻叫喚の戦いも	決死の歌 [阿鼻叫喚の戦いも]	書200	曲-日2126
	歌-日489	安倍の川原の	徳川家康 [安倍の川原の]	書138	曲-日4728
	歌-日490	アヴェマリア	アヴェマリア	書232	曲-日302
	歌-日491	阿呆が石を持ち上げるぞ	阿呆	書232	曲-日303
	歌-日492	雨傘唐傘傘さして	雨傘唐傘	書51	曲-日304
	歌-日493	天路のかぎり飛ぶわしの	第十九回記念祭寄贈歌(42年京大)	書386	曲-日3868
	歌-日494	天そそりたつ天山の	青年団歌	書60	曲-日3527
	歌-日495	あまたがこころひとつにして	水城	書166	曲-日3374
	歌-日496	あまたの苔もちそむる	女学校	書309	曲-日3201
	歌-日497	あまたの年月兄としむつび	卒業生を送る歌 [あまたの年月兄としむつび]	書211 書212	曲-日3727
	歌-日498	あまつをとめのいそしみて	天津乙女	書166	曲-日309
	歌-日499	天つ神尊しや	天つ神	書232	曲-日310
	歌-日500	あまつかみはるよひ	新緑 [あまつかみはるよひ]	書54	曲-日3352
	歌-日501	天つ空には月もなくて	静けき夜 [天つ空には月もなくて]	書265	曲-日2902
	歌-日502	あまつひかげをおほふやばんのくも	天津日影	書166	曲-日311
	歌-日503	あまつひかげのくれないを	国旗 [あまつひかげのくれないを]	書67 書146 書148 書161 書166	曲-日2459
	歌-日504	天津日影の日の御旗	野戦 [天津日影の日の御旗]	書118	曲-日6798
	歌-日505	あまつひかげはかはらねど [天長節]	天長節 [あまつひかげはかはらねど]	書139 書146 書148 書161 書165 書170 書284	曲-日4616
	歌-日506	あまつひかげはかはらねど [天長節の歌]	天長節の歌	書306	曲-日4628
	歌-日507	天津日嗣の [我大君]	我大君 [天津日嗣の]	書231	曲-日7342
	歌-日508	天津日嗣の庇蔭たかく	頌賛	書237	曲-日3133
	歌-日509	あまつひつぎのきはみなく	元始祭 [あまつひつぎのきはみなく]	書40 書46 書55 書126 書127 書128 書129 書161 書164 書165 書303	曲-日2149
	歌-日510	あまつひつぎのみさかえは	天津日嗣 [あまつひつぎのみさかえは]	書152 書153 書161 書165 書225	曲-日312
	歌-日511	あまつひつぎのみさかには	天津日嗣 [あまつひつぎのみさかには]	書139 書170	曲-日314
	歌-日512	あまつひつぎはかみよより	天津日嗣 [あまつひつぎはかみよより]	書120 書121 書165	曲-日313
	歌-日513	天つ日の照らさんきはみ	聖恩	書86	曲-日3488
	歌-日514	天つみ神よ恵を垂れて	感謝 [天つみ神よ恵を垂れて]	書232	曲-日1587
	歌-日515	あまつみそらにそびえたつ [我国民]	我国民	書166	曲-日7363
	歌-日516	天津御空に聳えたつ [多野郡三波川村歌]	多野郡三波川村歌	書253	曲-日4209
	歌-日517	あまてらすかみのみかげを	三種の神器 [あまてらすかみのみかげを]	書88 書165	曲-日2796
	歌-日518	天照す神の宮居は神さびて	大和錦 [天照す神の宮居は神さびて]	書200	曲-日6877
歌-日519	天照らす太陽を名に負ひて	国民歌 [天照らす太陽を名に負ひて]	書2 書40 書240	曲-日2360	
歌-日520	天照す光は	歓喜に歌う	書232	曲-日1564	
歌-日521	天照らす御影とどめて君が代を	伊勢の宮居 [天照らす御影とどめて君が代を]	書88	曲-日446	
歌-日522	あまのいはどのあきそめて	すめらみくに [あまのいはどのあきそめて]	書166 書285	曲-日3476	
歌-日523	あまのかいなみあれたちて	雪夜の斥候 [あまのかいなみあれたちて]	書169	曲-日7061	
歌-日524	天のよさづら地に生て	豊太閤 [天のよさづら地に生て]	書303	曲-日6109	
歌-日525	天柱くだけちぢくさけなん	戦後の夜色	書166	曲-日3608	
歌-日526	あみては	海水浴 [あみては]	書110	曲-日1165	
歌-日527	アムール川の [第一高等学校寮歌]	第一高等学校寮歌 [アムール川の]	書252	曲-日3759	
歌-日528	アムール川の流血や [第十一回記念祭寮歌]	第十一回記念祭寮歌	書386	曲-日3862	
歌-日529	あめあめこさめどこからふってきた	あめあめこさめ	書166	曲-日327	
歌-日530	あめあめふれふれかあさんが	あめふり	書117 書315	曲-日337	
歌-日531	天を計る	徳の歌	書282	曲-日4736	
歌-日532	天を見れば	美なりや美なり	書374	曲-日5748	
歌-日533	あめかあられかだんぐわんは	雨か霞か	書166	曲-日328	
歌-日534	天が下には隠家も	錦の御旗 [天が下には隠家も]	書165	曲-日5037	
歌-日535	雨風おかしつとめつつ	運動会の歌 [雨風おかしつとめつつ]	書239	曲-日755	
歌-日536	雨がちつづたつづよ	雨がちつづたつづよ	書51	曲-日329	
歌-日537	雨がふります	雨 [雨がふります]	書40 書54 書60 書117	曲-日321	
歌-日538	あめがふるふる	雨 [あめがふるふる]	書27 書60	曲-日322	
歌-日539	雨がやむ雲が散る	青葉	書209	曲-日51	
歌-日540	雨だ雨だ降つて来た降つて来た	野営スケッチ	書78	曲-日6736	
歌-日541	天地轟く山彦は	征露凱旋の歌	書242	曲-日3542	
歌-日542	あめつちのかみやかためし	あめつち	書102 書165	曲-日330	
歌-日543	あめつちのむたかぎりなく	元始祭 [あめつちのむたかぎりなく]	書145 書165	曲-日2150	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日544	天雨つちのむた窮みなく	神宮奉頌唱歌	書47	曲-日3271
	歌-日545	あめつちのやはらぐまに	家の基	書102 書165	曲-日398
	歌-日546	天地ひらけし始のときゆ	我日本 [天地ひらけし始のときゆ]	書146 書148	曲-日7393
	歌-日547	天地開けて我が君定まり	皇国の頌	書122	曲-日2238
	歌-日548	天地もめぐるなり	兵士歌	書374	曲-日6037
	歌-日549	天地燃ゆるか	夕映	書180	曲-日6965
	歌-日550	天地夜屋山水なべて	造物主	書232	曲-日3670
	歌-日551	天地は変れど	音楽	書232	曲-日1106
	歌-日552	あめつゆうるほひて [雨つゆ]	雨つゆ [あめつゆうるほひて]	書161 書379	曲-日332
	歌-日553	雨露うるほひて [雨露うるほひて]	雨露うるほひて	書381	曲-日334
	歌-日554	あめつゆにおほみや	雨露 [あめつゆにおほみや]	書132 書151 書153 書161 書165 書226	曲-日331
	歌-日555	あめでたきみよいはへいほへ	祝	書165	曲-日547
	歌-日556	雨と降り来る	君の御権 [雨と降り来る]	書143 書235	曲-日1777
	歌-日557	雨に崩れた	荷車 [雨に崩れた]	書60 書201 書382	曲-日5025
	歌-日558	あめにひそめばあめかをり	薔薇 [あめにひそめばあめかをり]	書166	曲-日5514
	歌-日559	雨の一日	雨の一日	書345	曲-日335
	歌-日560	雨のしづか	おどろき	書17	曲-日1000
	歌-日561	雨の雫にうちぬれて	薔薇の花	書225	曲-日5519
	歌-日562	天の下には国といふ	国体の歌	書286	曲-日2348
	歌-日563	天の中川すえ遠く	諏訪湖並一宮	書119	曲-日3486
	歌-日564	あめののちのゆふひかけ	汀の夕	書166	曲-日6410
	歌-日565	アメモヒカゼノヒ [シウリヤウシキノウタ]	シウリヤウシキノウタ	書171	曲-日3057
	歌-日566	雨の日も風の日も	感謝 [雨の日も風の日も]	書120	曲-日1586
	歌-日567	雨の日も風の日も泣いてくらす	涙の渡り鳥	書385	曲-日4970
	歌-日568	あめのふるひのおひるすぎ	うかれ鼠	書27	曲-日579
	歌-日569	雨の降る日は	つばめ [雨の降る日は]	書345	曲-日4511
	歌-日570	雨の降る夜にまた月に	杜鵑 [雨の降る夜にまた月に]	書303	曲-日6240
	歌-日571	あめのみかげひのみかげと	御真影	書137	曲-日2426
	歌-日572	雨はれたる夕空に	虹 [雨はれたる夕空に]	書60 書283	曲-日5032
	歌-日573	雨降りお月さん	雨降りお月	書2 書117 書315	曲-日338
	歌-日574	あめふりかぜふきあるひにも	学校さして	書165	曲-日1383
	歌-日575	あめもしづかつちもしづか	しづか	書166 書230	曲-日2889
	歌-日576	雨よふれふれなやみを流すまで	雨のブルース	書363	曲-日336
	歌-日577	雨はあがる	白玉の歌	書257	曲-日3247
	歌-日578	雨はふるふる城ヶ島の磯に [城ヶ島の雨]	城ヶ島の雨	書40	曲-日3112
	歌-日579	雨は降る降る城ヶ島の磯に [城ヶ島の歌]	城ヶ島の歌	書11	曲-日3113
	歌-日580	あものあはれ	ものあはれ	書232	曲-日6677
	歌-日581	綾歌郡東南の	綾歌郡山内村郷土唱歌	書253	曲-日340
	歌-日582	あやをみだすいけみづに	秋景色	書165 書217	曲-日100
	歌-日583	彩雲かがやき百鳥うたい	日本青年団歌	書2 書40 書240	曲-日5111
	歌-日584	危くも虎口逃れて鯨の餌食	廣乙號	書375	曲-日2187
	歌-日585	彩雲映ゆる	第五高等学校全寮祭歌 [彩雲映ゆる]	書252	曲-日3793
	歌-日586	彩雲は岡辺に凝りて	第四十一回記念祭歌 [彩雲は岡辺に凝りて]	書386	曲-日4083
	歌-日587	怪し小人我が家に忍びて	小人	書232	曲-日2529
	歌-日588	あやにかしこき [教育勸語唱歌]	教育勸語唱歌 [あやにかしこき]	書63	曲-日1804
	歌-日589	あやにかしこきすめらぎの	勸語奉答 [あやにかしこきすめらぎの]	書137	曲-日4422
	歌-日590	あやに畏きわがすめらぎの	我陸軍 [あやに畏きわがすめらぎの]	書64	曲-日7415
	歌-日591	あやに尊き天皇の	教育勸語唱歌 [あやに尊き天皇の]	書20	曲-日1805
	歌-日592	あやにとうとし大帝	大御代 [あやにとうとし大帝]	書54	曲-日896
	歌-日593	あやめつかぬ深闇の	唱歌	書174	曲-日3108
	歌-日594	あやめ花咲く五月晴	吾は賤の女	書70	曲-日7496
	歌-日595	あゆめよ行め [正道をあゆめよ]	正道をあゆめよ	書71	曲-日4181
	歌-日596	あゆめよ行めかたくち [正道をあゆめ]	正道をあゆめ	書203	曲-日4180
	歌-日597	荒磯ぎはの沙の上	記念碑	書110	曲-日1734
	歌-日598	荒磯浪は	神州男児	書77	曲-日3298
	歌-日599	あらうれし我が生命若ければ	桜星会歌(大正元年冬)	書165	曲-日833
	歌-日600	あらがねとくるなつのひや	師の恩 [あらがねとくるなつのひや]	書103 書200 書303 書376 書287	曲-日2948
	歌-日601	あらいいはねをふみさくみ	登る旭 [あらくろずめるなみを]	書54	曲-日348
	歌-日602	あらくろずめるなみを	織田信長 [あらしをおかしあめをつきけし]	書386	曲-日5285
	歌-日603	あらしをおかしあめをつきけし	第二十二回記念祭歌(45年)	書386	曲-日948
	歌-日604	荒潮の潮の八百路ゆ打ち寄する	第十七回記念祭歌(40年采)	書77	曲-日4009
	歌-日605	嵐を孕み風を呼ぶ	大正五年北寮々歌	書225	曲-日3900
歌-日606	荒潮繞る北の郷	嵐山 [嵐の山の]	書161	曲-日3941	
歌-日607	嵐の山の	雪の松	書165	曲-日355	
歌-日608	あらし吹きそふ冬がれの	嵐山 [あらしやまのやまざくら]	書28	曲-日7055	
歌-日609	あらしやまのやまざくら	新任教師歓迎歌	書165	曲-日352	
歌-日610	あらたにきませるわが師のきみよ	校舎新築落成式の歌 [あらたにたてしまなびやの]	書204	曲-日3320	
歌-日611	あらたにたてしまなびやの	手鞠歌 [新玉の新玉の]	書317	曲-日2244	
歌-日612	新玉の新玉の	奥の細道	書46 書166 書365	曲-日4599	
歌-日613	あらたふと旅を	水兵	書354	曲-日915	
歌-日614	あらなみけだてて	東郷大将 [荒波さまく日本海]	書311	曲-日3382	
歌-日615	荒波さまく日本海	燈台 [荒波逆巻く夜の海路を]	書241	曲-日4665	
歌-日616	荒波逆巻く夜の海路を	上村将軍	書28 書100	曲-日4687	
歌-日617	荒波吹ゆる風の夜も	聖き音楽	書54	曲-日1460	
歌-日618	あらぶるおのがみ	織田信長 [あられををかしあめをつき]	書52	曲-日1845	
歌-日619	あられををかしあめをつき	豊太閤 [霞たばしる冬の夜半に]	書40 書93 書138 書225	曲-日949	
歌-日620	霞たばしる冬の夜半に	白虎隊	書54 書315	曲-日6110	
歌-日621	霞のごとく	霞と雲		曲-日5793	
歌-日622	あられはばらばら			曲-日364	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
あ	歌-日623	有明のともす油は菜種なり	有明節	書363 書385	曲-日372
	歌-日624	ありをみよ	あり [ありをみよ]	書144 書164 書165	曲-日367
	歌-日625	ありがたやげにも深き御めぐみ	国憲国法	書60	曲-日2467
	歌-日626	ありとあらゆるものごとは	善悪	書165 書251	曲-日3605
	歌-日627	ありとも分かぬ薄雲に [第二十三回記念祭歌(2年北)]	第二十三回記念祭歌(2年北)	書386	曲-日3993
	歌-日628	有りと分かぬ薄雲に [有りと分かぬ]	有りと分かぬ	書40	曲-日375
	歌-日629	蟻の一穴油断せば	朝鮮事件の原	書19	曲-日4395
	歌-日630	アリランアリランアラリヨ	アリランの唄	書385	曲-日378
	歌-日631	あるじなして	菅公 [あるじなして]	書60 書215	曲-日1576
	歌-日632	ある時口が	協同一致	書333	曲-日1831
	歌-日633	或人途にて	ころげて曰く	書201 書202	曲-日2584
	歌-日634	あるべきやますらをがこのあらぎもを	離れ小鳥 [あるべきやますらがこのあらぎもを]	書166	曲-日5472
	歌-日635	あれあれ [蝶蝶]	蝶蝶 [あれあれ]	書60 書159	曲-日4404
	歌-日636	あれあれあがる花火	花火 [あれあれあがる花火]	書225 書310	曲-日5453
	歌-日637	あれあれあがるひかうきが	飛行機 [あれあれあがるひかうきが]	書54 書222	曲-日5704
	歌-日638	あれあれあそこに鬼が来る	かくれんぼ [あれあれあそこに鬼が来る]	書266	曲-日1265
	歌-日639	あれあれをきべにしらほがみえる	海 [あれあれをきべにしらほがみえる]	書68 書166	曲-日668
	歌-日640	あれあれがんが	がん [あれあれがんが]	書206 書263	曲-日1542
	歌-日641	あれあれ小鳥きれいな小鳥	かはい小鳥	書262	曲-日1518
	歌-日642	あれあれ稚子よあれを見よ	児訓 [あれあれ稚子よあれを見よ]	書102	曲-日2877
	歌-日643	あれあれとほるひかうきが	飛行機 [あれあれとほるひかうきが]	書54	曲-日5705
	歌-日644	あれあれとんぼとんぼ	赤とんぼ [あれあれとんぼとんぼ]	書60	曲-日73
	歌-日645	あれあれ虹が立っている	虹 [あれあれ虹が立っている]	書174	曲-日5031
	歌-日646	あれあれひばりがなきなきあがる	ひばり [あれあれひばりがなきなきあがる]	書318	曲-日5762
	歌-日647	あれあれまねるふしぎふしぎ	山彦 [あれあれまねるふしぎふしぎ]	書27 書60	曲-日6905
	歌-日648	あれあれ水の	象 [あれあれ水の]	書333	曲-日3645
	歌-日649	あれあれみそつちよがちよちよんと	みそつちよ	書315	曲-日6460
	歌-日650	あれあれ見ゆるよ	故郷の小山	書28 書100	曲-日2334
	歌-日651	あれあれわくごよあれをみよ	児訓 [あれあれわくごよあれをみよ]	書165	曲-日2876
	歌-日652	あれかわゆらしい鸚鵡だよ	鸚鵡 [あれかわゆらしい鸚鵡だよ]	書222	曲-日859
	歌-日653	あれきけきこゆる	行軍を観る	書135 書138 書166	曲-日2225
	歌-日654	あれ綺麗	朝顔 [あれ綺麗]	書267	曲-日205
	歌-日655	あれ黒船あれ黒船	あれ黒船	書60	曲-日379
	歌-日656	荒れたる宿の立花に	夏の夕 [荒れたる宿の立花に]	書28	曲-日4933
	歌-日657	あれ天人は羽衣の	羽衣 [あれ天人は羽衣の]	書60	曲-日5336
	歌-日658	あれなつかしなつかし	月 [あれなつかしなつかし]	書177	曲-日4450
	歌-日659	荒れなばあれよ怒れる浪よ	近藤重蔵	書270	曲-日2596
	歌-日660	荒野拓きて	鎮守に詣でて	書159	曲-日4437
	歌-日661	あれ飛行機が	飛行機 [あれ飛行機が]	書60 書266	曲-日5706
	歌-日662	あれまつむしがいない	虫のこえ [あれまつむしがいない]	書40 書54 書209	曲-日6567
	歌-日663	アレ見やしやんせ	海晏寺	書368	曲-日1121
	歌-日664	あれ行く冬は来ぬ	LA LECON CHANT. (歌の練習)	書100	曲-外18
	歌-日665	あれよ朝日にはえてかがやく森の	鳥の声 [あれよ朝日にはえてかがやく森の]	書350	曲-日4824
	歌-日666	あれよ転寝のあの夢	夢 [あれよ転寝のあの夢]	書60	曲-日7077
	歌-日667	粟鹿の山の動きなき	朝来郡粟鹿村の歌	書253	曲-日220
	歌-日668	アわがみかみ	神を称る心	書70 書71	曲-日1437
	歌-日669	粟津が原のたたかひに	勇婦 [粟津が原のたたかひに]	書185	曲-日6972
	歌-日670	阿波と淡路のはざまの海は	鳴門	書213 書214	曲-日4981
	歌-日671	あはれ	『夜の調』独唱歌(セレナード)	書11	曲-日7172
	歌-日672	あはれあはれ [起床]	起床	書231	曲-日1685
	歌-日673	あはれあはれ [小倉服]	小倉服	書231	曲-日2369
	歌-日674	あはれあはれ [やむなくば]	やむなくば	書232	曲-日6915
	歌-日675	あわれあわれ大和の御民	大和の御民	書145	曲-日6880
	歌-日676	あはれいくとせくづれしかきに	廃寺の秋	書54	曲-日5304
	歌-日677	あはれ海軍少年よ	海軍少年	書166	曲-日1131
	歌-日678	哀れ悲しや承久の	新島守	書54	曲-日5016
	歌-日679	嗚呼今日はや	追悼歌 [嗚呼今日はや]	書324	曲-日4446
	歌-日680	あはれこしかた	愛の歌	書366	曲-日30
	歌-日681	あはれさがみの	橘姫	書54 書333	曲-日4193
	歌-日682	哀れ微風ソヨソヨソヨ	風と燕	書232	曲-日1337
	歌-日683	あはれ楽しき時あはれ楽しき日	楽しき時	書87	曲-日4222
	歌-日684	哀れなる吾	哀れなる吾	書232	曲-日386
	歌-日685	あはれ屋は来り	朝の歌 [あはれ屋は来り]	書232	曲-日228
	歌-日686	あはれふかきはるのゆうぐれ	夕暮 [あはれふかきはるのゆうぐれ]	書54 書185	曲-日6934
	歌-日687	あわれ御空の一ツ星	初恋の思出	書11	曲-日5368
	歌-日688	あはれ床しき歌の調べ	夜の調	書40	曲-日7171
	歌-日689	嗚呼我等乙女子	日本女子	書269	曲-日5107
	歌-日690	あはれ侘し	胸のただなか	書188	曲-日6580
	歌-日691	暗雲西にはびこりて	第二十八回記念祭寄贈歌(7年九大)	書386	曲-日4015
歌-日692	暗雲低く乱れてし	大正八年祭歌	書77	曲-日3950	
歌-日693	杏の葉つばは	葉つば	書117	曲-日5377	
い	歌-日694	いい唄聞かそ	桜と小鳥	書60	曲-日2690
	歌-日695	いいきみだ	猿の裁判	書159 書160	曲-日2770
	歌-日696	飯田のたつみ	大河原	書119	曲-日875
	歌-日697	飯森招く我が郷の	北佐久郡三都和村歌	書253	曲-日1705
	歌-日698	いふも畏き	御歴代尊號唱歌	書33	曲-日1117
	歌-日699	いへをおこすけさのかどで	告別 [いへをおこすけさのかどで]	書165 書279	曲-日2351
	歌-日700	家をも思はず身をはた忘れ	国の鎮 [家をも思はず身をはた忘れ]	書182	曲-日1941
	歌-日701	いへをもみをかへりみず	忠勇兵士	書166	曲-日4387

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
い	歌-日702	家をも身をも忘れつつ	高山彦九郎	書270	曲-日4137
	歌-日703	家さへ二たび三たびまでも	孟母 [家さへ二たび三たびまでも]	書311	曲-日6659
	歌-日704	家路になく牛のこえ	夕暮 [家路になく牛のこえ]	書87	曲-日6936
	歌-日705	いへにはははありやまかぜさむく	霜夜の鐘	書54	曲-日2985
	歌-日706	家のうしろにさらさらと	老木の椿	書122	曲-日808
	歌-日707	イヘノマヘラバ [オガワ]	小川 [イヘノマヘラバ]	書138 書225	曲-日899
	歌-日708	イヘノマヘラバ [コガワ]	小川(コガワ)	書94 書206	曲-日2324
	歌-日709	いへばとのすのとひらきて	鶴	書166	曲-日399
	歌-日710	五百重にかさなる山山も	春景	書145	曲-日3096
	歌-日711	五百里の雲隔てつつ	ふるさと [五百里の雲隔てつつ]	書52 書60	曲-日6000
	歌-日712	いほはたたててさほとめが	青柳	書54	曲-日55
	歌-日713	斎垣の内によもすがら	神楽	書161	曲-日1263
	歌-日714	いかなる神をいつくならん	夏木立	書182	曲-日4902
	歌-日715	如何なる大火も我組の	組合の誉	書375	曲-日1965
	歌-日716	いかなるのぞみを	たわまずはげめ	書350	曲-日4295
	歌-日717	いかにおはする	看護婦	書166 書183	曲-日1585
	歌-日718	如何に狂風吹巻も	軍艦戦闘 [如何に狂風吹巻も]	書118	曲-日2054
	歌-日719	如何にトロリス	トロリス	書232	曲-日4827
	歌-日720	如何にや日本男児とて	日本男子	書166	曲-日5068
	歌-日721	いかにぼり	いかにぼり	書46	曲-日406
	歌-日722	錨をあげしひまもなく	海事教育航海唱歌(その二)	書165	曲-日1162
	歌-日723	いかりのつなのたえまなく	入船出船	書166 書279	曲-日541
	歌-日724	怒れる波狂ふ浪	灯台守の娘	書271	曲-日4688
	歌-日725	怒れる波吹き巻く風	北條時宗 [怒れる波吹き巻く風]	書174 書270	曲-日6103
	歌-日726	いきてはきみのみたてとなり [戦死を弔ふ歌]	戦死を弔ふ歌	書165	曲-日3610
	歌-日727	生きては君の御橋となり [戦死者を弔ふ歌]	戦死者を弔ふ歌 [生きては君の御橋となり]	書28 書226	曲-日3611
	歌-日728	生きては皇国の橋となり [勇士の誉]	勇士の誉	書66	曲-日6944
	歌-日729	生きては御国の橋となり [乃木將軍]	乃木將軍	書174	曲-日5253
	歌-日730	イギリス国の海岸を [英国海軍(カンベル)]	英国海軍(カンベル)	書287	曲-日760
	歌-日731	イギリス国の海岸を [ムカブベル氏英国海軍の歌]	ムカブベル氏英国海軍の歌	書303	曲-日6551
	歌-日732	イギリス国の海岸を [英国海軍歌カムベル氏]	英国海軍歌 カムベル氏	書376	曲-日408
	歌-日733	いくへのくもきりかきわけつつ	紅葉狩 [いくへのくもきりかきわけつつ]	書122 書165	曲-日6687
	歌-日734	戦ゴツコするもんな	戦争と平和	書29	曲-日3622
	歌-日735	いくさいいでていのちをば	西村喜一郎	書124	曲-日5042
	歌-日736	いくさのちからたぐふとも	上杉謙信 [いくさのちからたぐふとも]	書28 書270	曲-日568
	歌-日737	いくさのにはにきずつきし	野戦病院	書166 書255	曲-日6813
	歌-日738	幾十艘の軍艦の隊列正しく厳しく	軍艦戦闘 [幾十艘の軍艦の隊列正しく厳しく]	書118	曲-日2038
	歌-日739	幾月永き冬ごもり	ハルピン	書359	曲-日5652
	歌-日740	幾年月の	留別	書231	曲-日7240
	歌-日741	幾とせのおしへのめぐみ	幾とせ	書67	曲-日413
	歌-日742	いくとせふるさときてみれば	故郷の廃家	書2 書54 書174 書281	曲-日2341
	歌-日743	いくはるこのにはにつみし	成業別ゆう	書165 書176	曲-日3501
	歌-日744	幾春咲きて色深き	花 [幾春咲きて色深き]	書223	曲-日5398
	歌-日745	幾世幾年流れけん	大正二年寮歌	書77	曲-日3949
	歌-日746	行けとの命令まっしぐら	軍犬利根	書190	曲-日2071
	歌-日747	池に氷の [春の歌]	春の歌 [池に氷の]	書225	曲-日5586
	歌-日748	いけにこほりのあときえて	春 [いけにこほりのあときえて]	書165 書217	曲-日5523
	歌-日749	池の金魚金魚	金魚 [池の金魚金魚]	書225	曲-日1877
	歌-日750	池の鯉鯉鯉	池の鯉 [池の鯉鯉鯉]	書269	曲-日418
	歌-日751	池の氷解けねど	春を待つ	書174	曲-日5534
	歌-日752	いけのほとりにあそぶかはづ	柳に蛙	書166	曲-日6821
	歌-日753	行かうか工場へ	女工哀歌	書392	曲-日3216
	歌-日754	行かうか戻ろか	さすらひの歌(生ける屍)	書111	曲-日2708
	歌-日755	行こうブラッター	ウィーン人の輪唱	書232	曲-日566
	歌-日756	いざ上げ	いざ上げ	書60 書350	曲-日421
	歌-日757	いざあげん君が為に	君が為に	書232	曲-日1769
	歌-日758	いざいざ [告別]	告別 [いざいざ]	書159	曲-日2350
	歌-日759	いざいざあてむいざあてむ	帽子落し	書166	曲-日6097
	歌-日760	いざいざうたへ	うたへ! あそべ!	書233	曲-日635
	歌-日761	いざいざうたはむ	たのしき唱歌	書28	曲-日4221
	歌-日762	いざいざ踊れ歌え	踊の輪唱	書232	曲-日998
	歌-日763	いざいざ帰らん楽しき家に	我家 [いざいざ帰らん楽しき家に]	書60	曲-日7405
	歌-日764	いざいざ奮へよ皇国の為に	いざ奮へよ	書60 書350	曲-日428
	歌-日765	いざ歌へ [いざ歌へ]	いざ歌へ	書232	曲-日422
	歌-日766	いざうたへいざいはへ	豊年祭 [いざうたへいざいはへ]	書54	曲-日6126
	歌-日767	いざうたへやうたへ	凱歌 [いざうたへやうたへ]	書166	曲-日1123
	歌-日768	いさをたふときわけのきみ	和氣の君	書165	曲-日7437
	歌-日769	いざかへらなんあねさまよ	姉と妹 [いざかへらなんあねさまよ]	書166	曲-日298
	歌-日770	いざ来よ友よ [森に歌う]	森に歌う	書232	曲-日6713
	歌-日771	いざ来よ友よ [いざ来よ友よ]	いざ来よ友よ	書232	曲-日425
	歌-日772	いざこよほたるここにきて	螢 [いざこよほたるここにきて]	書54 書166 書225 書309	曲-日6198
	歌-日773	いざ進めかし進めかし	進軍軍歌	書305	曲-日3278
	歌-日774	いざすすめやすすすめ	いざ進め	書166	曲-日426
	歌-日775	いざたたかわんたたかわん	紫宸殿	書166 書285	曲-日2886
	歌-日776	いざ立たずや	吾が同胞	書281	曲-日7378
	歌-日777	いざ友行かむ	森に行かん	書232	曲-日6712
	歌-日778	いざともどちよてをとりにて	球投	書166	曲-日6386
	歌-日779	いざともいざうちいでん	小鷹狩	書166	曲-日2446
	歌-日780	いざ登れよや	山登り	書222	曲-日6902

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
い	歌-日781	勇まし狩歌	狩の歌 [勇まし狩歌]	書232	曲-日1501
	歌-日782	勇ましき	深山の狩猟	書159	曲-日6532
	歌-日783	いさましくいなくなこまに	勇ましく	書166	曲-日429
	歌-日784	勇ましや関のこえ	かちどき [勇ましや関のこえ]	書136	曲-日1364
	歌-日785	いさましやないさましや	軍歌 [いさましやないさましや]	書166	曲-日2010
	歌-日786	勇み立つたる推進機の	飛行機唱歌	書339	曲-日5711
	歌-日787	いさみてゆきねわがつまよ	夫の門出	書166	曲-日978
	歌-日788	いさむこころのいろいろを	運動会 [いさむこころのいろいろを]	書166 書279	曲-日738
	歌-日789	勇む兵士 [行軍]	行軍 [勇む兵士]	書60	曲-日2224
	歌-日790	勇む兵士数を知らず [進軍]	進軍 [勇む兵士数を知らず]	書134	曲-日3275
	歌-日791	いざやあそばんうちつどひ	花づくし	書166	曲-日5421
	歌-日792	いざやあそばんみよのあき	御代の秋 [いざやあそばんみよのあき]	書165	曲-日6536
	歌-日793	いざやさらばこの船出	コロンブス [いざやさらばこの船出]	書310	曲-日2588
	歌-日794	いざやとらんおだのつゆ	田植歌 [いざやとらんおだのつゆ]	書165	曲-日4114
	歌-日795	いざ行かむ我が旅路	第十八回記念祭寄贈歌(41年京大)	書386	曲-日3908
	歌-日796	いざゆかむいざゆかむ	いざゆかむ	書28	曲-日431
	歌-日797	いざゆけおのこ	日本男児 [いざゆけおのこ]	書286	曲-日5116
	歌-日798	漁火消えゆき闇の帳	第三十回記念祭寄贈歌(9年九大)	書386	曲-日3842
	歌-日799	いさりびとほくみえそめて	海のあなた	書166 書366	曲-日679
	歌-日800	いさりぶねかへりつきて	ゆうべの浜	書27	曲-日6981
	歌-日801	いちあらばせめきたれ	必勝曲	書166	曲-日5723
	歌-日802	石をもとかす	川すずみ	書60 書225	曲-日1520
	歌-日803	衣食の快樂なかるとも	楽園の歌	書28	曲-日7190
	歌-日804	石鑽る鑿の音末野の水いろ	新秋	書311	曲-日3296
	歌-日805	いしずえかたくすえつべし	宮城 [いしずえかたくすえつべし]	書146 書148 書161 書165	曲-日1790
	歌-日806	意地の筋がな度胸のよさも	沓掛小唄	書385	曲-日1933
	歌-日807	石山寺の秋の月 [近江八景]	近江八景 [石山寺の秋の月]	書165	曲-日853
	歌-日808	石山寺の秋の月 [紫式部]	紫式部 [石山寺の秋の月]	書28 書265 書270	曲-日6587
	歌-日809	石山の月影	琵琶湖 [石山の月影]	書328	曲-日5823
	歌-日810	いぢわるこどもがほえられた	ぼちとたま	書27	曲-日6227
	歌-日811	何くの里か知らねども	舌切雀 [何くの里か知らねども]	書165	曲-日2920
	歌-日812	いづこ行くかはるのみかみ [いづこ行く]	いづこ行く	書54	曲-日439
	歌-日813	いづこへ行く [春の女神]	春の女神	書11	曲-日5634
	歌-日814	何処へ行く春の御神 [何処へ行く]	何処へ行く	書60 書281	曲-日438
	歌-日815	何処へ行く? わがやわがやへ	何処へ?	書232	曲-日437
	歌-日816	いづこを出でていづこに至る	雨 [いづこを出でていづこに至る]	書135	曲-日323
	歌-日817	いづこまでと	燕 [いづこまでと]	書120	曲-日4516
	歌-日818	いづこ行きしわが友	亡友 [いづこ行きしわが友]	書225	曲-日4866
	歌-日819	五十鈴の流れの源遠く	皇国精神にかへれ	書239	曲-日6415
	歌-日820	いすずのみやおほまへに	神嘗祭 [いすずのみやおほまへに]	書46 書55 書126 書127 書128 書129 書161 書165 書303	曲-日1597
	歌-日821	伊豆の下田に長居は	下田節	書363 書385	曲-日2976
	歌-日822	いづのみなどのよはふけて	吉田松蔭 [いづのみなどのよはふけて]	書165	曲-日7133
	歌-日823	泉にそひて	菩提樹	書40 書60 書184 書188 書241 書265	曲-日6189
	歌-日824	出雲の国の	三種の神器 [出雲の国の]	書333	曲-日2797
	歌-日825	出雲名物荷物にやならぬ	安来節	書363	曲-日6771
	歌-日826	出づれば送りにかげをながめ	母の思い [出づれば送りにかげをながめ]	書60 書165	曲-日5493
	歌-日827	いせにましますかみがみの	国の宝 [いせにましますかみがみの]	書165	曲-日1944
	歌-日828	いせのいすずのおほがみと	伊勢の宮居 [いせのいすずの]	書165	曲-日444
	歌-日829	伊勢の浦波うらうらと	八重桜	書165	曲-日6739
	歌-日830	伊勢の宮居に立つ杉の	伊勢の宮居 [伊勢の宮居に]	書312	曲-日445
	歌-日831	伊勢は(十)津でもつ津は伊勢でもつ	伊勢音頭	書363 書385	曲-日442
	歌-日832	急いで来れば	御門	書266	曲-日2570
	歌-日833	急がずに休まずにすすみゆく蝸牛	たわまぬ心	書311	曲-日4296
	歌-日834	急がこやお馬よ	雲の陰	書2 書315	曲-日1978
	歌-日835	いそぎのようじで	二人性急	書27 書201 書202	曲-日3576
	歌-日836	急げよ急げ	帰省の旅	書350	曲-日1692
	歌-日837	いそしむほどにこのとしも	しばしの別れ	書165	曲-日2959
	歌-日838	磯で名所は大洗さまよ	磯節 [磯で名所は大洗さまよ]	書363 書385	曲-日452
	歌-日839	磯の鶴の鳥や	波浮の港	書40 書385	曲-日5502
歌-日840	磯の火ほそりて	旅泊	書40 書54 書138 書166 書169 書184 書337 書366	曲-日7279	
歌-日841	磯松の常に	学生遠足	書92	曲-日1250	
歌-日842	磯山風吹き絶えて	静寂	書309	曲-日3509	
歌-日843	いだきしめたき	春の宵	書257	曲-日5649	
歌-日844	潮来出島の [潮来節]	潮来節	書368 書385	曲-日455	
歌-日845	潮来出島の真菰の中に [潮来出島]	潮来出島	書363	曲-日454	
歌-日846	巖くれゆき	黄昏	書188	曲-日4177	
歌-日847	いただくつものすがたによらず	牛と馬	書68 書166	曲-日624	
歌-日848	鼬がスタコラスタコラと	狐の嫁入 [鼬がスタコラスタコラと]	書373	曲-日1731	
歌-日849	板屋の軒に	雪 [板屋の軒に]	書165 書175	曲-日7016	
歌-日850	伊太利亜	『ボツカチオ』(南欧詩人)の一節	書11	曲-日6230	
歌-日851	一月とや一月一日四方拜	大祭日数へ歌	書251	曲-日6340	
歌-日852	いちげつとやいちげつどこでも	十二ヶ月数へ歌	書166	曲-日3047	
歌-日853	一言一行ことごとく	征露軍歌廣瀬中佐	書246	曲-日3549	
歌-日854	一度搏てば三千里	第九回記念祭歌(32年西)	書386	曲-日3774	
歌-日855	一度二度 [音程 I]	音程 I	書232	曲-日1111	
歌-日856	一度二度 [音程 II]	音程 II	書232	曲-日1112	
歌-日857	いちどにはなさくかれのの	雪の朝 [いちどにはなさくかれのの]	書54	曲-日7044	
歌-日858	一二三	駈つこ [一二三]	書201 書382	曲-日1280	
歌-日859	一年三百六十五日	日本の花	書159	曲-日5133	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
い	歌-日860	いちのたにのいくさやぶれ [青葉の笛]	青葉の笛	書54	曲-日53
	歌-日861	一の谷の戦破れ [敦盛と忠度]	敦盛と忠度	書184	曲-日288
	歌-日862	一博翱翔三万里	第二十九回記念祭歌(8年) [一博翱翔三万里]	書386	曲-日3976
	歌-日863	一ばん星 [ほし]	ほし [一ばん星]	書60 書222 書264	曲-日6169
	歌-日864	一番星みつけた [一番星みつけた]	一番星みつけた	書207	曲-日461
	歌-日865	市兵衛市兵衛	市兵衛の唄	書23	曲-日462
	歌-日866	一文字かきてつぎつぎに	蟻 [一文字かきてつぎつぎに]	書225	曲-日371
	歌-日867	一夜明くれば	一夜明くれば	書368	曲-日463
	歌-日868	一里半なり一里半	テニソン軽騎隊進撃の歌	書287	曲-日4588
	歌-日869	一里半なり一里半	テニソン氏軽騎隊進撃の歌	書303	曲-日4589
	歌-日870	一里半なり一里半 [進声歌テニソン氏]	軽騎隊進撃歌	書200	曲-日2103
	歌-日871	一里半なり一里半 [進声歌テニソン氏]	進声歌テニソン氏	書376	曲-日3305
	歌-日872	いちのはのとりは [一羽の鳥は]	一羽の鳥は	書381	曲-日468
	歌-日873	一羽の鳥は [一羽の鳥]	一羽の鳥	書161 書169 書379	曲-日467
	歌-日874	五日に風吹き [豊年]	豊年 [五日に風吹き]	書374	曲-日6123
	歌-日875	いつかにかぜふきとをかにあめふり [収穫]	収穫	書45 書166	曲-日3008
	歌-日876	いつかのかげもとをかをあめも	五日の風	書67 書132 書139 書152 書153 書161 書164 書165 書170 書225 書228	曲-日469
	歌-日877	いづくし深き師の君の	別れの歌 [いづくし深き師の君の]	書60	曲-日7425
	歌-日878	いつこしらへた年もわからぬ	古机	書90	曲-日6016
	歌-日879	イツサイコレハイバラツトセ	相馬二遍返し(福島)	書385	曲-日3690
	歌-日880	いつしか霞むあしたの気色	春の歌 [いつしか霞むあしたの気色]	書87	曲-日5580
	歌-日881	いつしか過ぎゆく	師の恩 [いつしか過ぎゆく]	書165 書169 書366	曲-日2949
	歌-日882	いつしかすずしく	秋たつほどより	書350	曲-日106
	歌-日883	いつしかやすみ過ぎ行きて	始業式の歌 [いつしかやすみ過ぎ行きて]	書60	曲-日2869
	歌-日884	いつしか夕日うすづけば	秋のあはれ [いつしか夕日うすづけば]	書28	曲-日113
	歌-日885	いつしかゆきもきえにけり	春の野 [いつしかゆきもきえにけり]	書153 書154 書161 書165	曲-日5617
	歌-日886	一身国に許しては	吉田松陰 [一身国に許しては]	書60 書270	曲-日7134
	歌-日887	行った行った	遠眼鏡	書315	曲-日4717
	歌-日888	一帯ゆるぎ石狩の	明治四十年寮歌	書77	曲-日6629
	歌-日889	一丁目のこどもかけかけかへる	四町目の犬	書54	曲-日7187
	歌-日890	いつでもおひざにつかまつて	父様母様	書60	曲-日4668
	歌-日891	いってんむらくもかきくらし	楠公 [いってんむらくもかきくらし]	書45 書165	曲-日4991
	歌-日892	いつとてかわらぬ	もちの月	書120	曲-日6669
	歌-日893	一碧万里浪の上	軍艦戦闘 [一碧万里浪の上]	書118	曲-日2026
	歌-日894	いつもあそぶみやのやま	宮の山	書166	曲-日6530
	歌-日895	いつもニコニコ	私の先生	書266	曲-日7464
	歌-日896	いつもみるゆめさびしーゆめ	山の母	書54	曲-日6901
	歌-日897	いつはりいわずあざむかず	誠のみち [いつはりいわずあざむかず]	書142	曲-日6280
	歌-日898	いつはりごとやえきなきことを	まごころ	書165	曲-日6272
	歌-日899	いでてたかふますらをを	赤十字 [いでてたかふますらをを]	書137 書166	曲-日3569
	歌-日900	出でて御国の城となり	老将軍 [出でて御国の]	書279	曲-日7308
	歌-日901	出でては [佐藤信淵]	佐藤信淵	書138	曲-日2725
	歌-日902	いでてはみくにのしろとなり	老将軍 [いでてはみくにの]	書166	曲-日7307
	歌-日903	いでやへいしよてきはきたれり	いでや兵士	書166	曲-日479
	歌-日904	いでやみくにのためならば	いでや皇国	書166	曲-日480
	歌-日905	いでや我等はあかねさす	久米郡西川村歌	書253	曲-日1967
	歌-日906	出でよん々春の野に	四時	書303	曲-日7130
	歌-日907	糸を繰る梓のひびき	母の心 [糸を繰る梓のひびき]	書87 書165	曲-日5495
	歌-日908	糸をくるめの名に高き	久留米耕	書277	曲-日1992
	歌-日909	ひとをもしろきしがりを	仁田四郎	書166	曲-日5059
	歌-日910	いとおもしろく	雪合戦 [いとおもしろく]	書227	曲-日7020
	歌-日911	いと下賤なる我人の	ヘンリー四世	書287	曲-日6086
	歌-日912	いとし糸ひく	浪花小唄	書385	曲-日4955
	歌-日913	いとし子が学びのいさを願ひつつ	望小山	書358	曲-日6101
	歌-日914	いとしの子やよくあそべ	罪なき子よ	書28 書54	曲-日4540
	歌-日915	いとしよ我子や今いかに	親ごころ	書28	曲-日1077
	歌-日916	いとたかきところより	救主を讃美せよ	書70 書71	曲-日3398
	歌-日917	いとひさしくしをへて	源義家	書165	曲-日6498
	歌-日918	いともとうとき日の神の	最も尊き	書161	曲-日488
	歌-日919	いとみぢかき夏の夜も	雛の穂	書142	曲-日1870
	歌-日920	いながらともにかたりあひ	汽車 [いながらともにかたりあひ]	書166	曲-日1657
	歌-日921	いななくこえやいとひけん	雪中の斥候兵	書166	曲-日3586
	歌-日922	雷光閃めける	夕立 [雷光閃めける]	書60 書350	曲-日6957
	歌-日923	否吾は言はぬ	否	書232	曲-日489
	歌-日924	去にし秋	幼き頃の思出	書85	曲-日919
	歌-日925	いにしへいまに	皇徳	書229	曲-日2269
	歌-日926	いにしへのふみみるたびに	皇恩 [いにしへのふみみるたびに]	書165	曲-日2194
	歌-日927	いにし春秋	同窓会 [いにし春秋]	書228	曲-日4679
	歌-日928	犬を駆りて緑の林に	狩の歌 [犬を駆りて緑の林に]	書232	曲-日1500
	歌-日929	犬飼八信道は	芳流閣(八犬伝)	書287	曲-日6144
	歌-日930	いぬころこいこいばんやろか	いぬころ	書79	曲-日502
	歌-日931	犬すらもよく垣まもり	犬すらも	書143	曲-日503
	歌-日932	イヌハワンワン	イヌハワンワン	書171	曲-日506
	歌-日933	稲刈る人は	晩鐘	書353	曲-日5680
	歌-日934	いねむり地藏さん道のはた	居眠り地藏	書117	曲-日513
	歌-日935	命をすてて	招魂社 [命をすてて]	書46 書142	曲-日3132
	歌-日936	命を捨てて	祭葬歌	書46	曲-日2622
	歌-日937	命をすててますらをが	命をすてて	書103 書198 書200 書287 書303 書376	曲-日516
	歌-日938	生の争闘敗れじと	大正十年寮歌	書77	曲-日3946

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
い	歌-日939	生命の泉緑の野	第三十六回記念祭寄贈歌(15年東大)	書386	曲-日3838
	歌-日940	命の綱と頼みたる	村上義光 [命の綱と頼みたる]	書159 書270	曲-日6582
	歌-日941	いのち短し恋せよ乙女	ゴンドラの唄	書385	曲-日2597
	歌-日942	いばつて来るのが	合唱隊	書272	曲-日1392
	歌-日943	伊吹おろしの	第八高等学校寮歌 [伊吹おろしの]	書40 書252	曲-日4066
	歌-日944	伊吹や比良の山もて囲む	琵琶湖 [伊吹や比良の山もて囲む]	書116	曲-日5821
	歌-日945	今明初むる青海原白浪蹴りて勇しく	軍艦戦闘 [今明初むる青海原白浪蹴りて勇しく]	書118	曲-日2046
	歌-日946	今を盛りと [朝日桜]	朝日桜	書120	曲-日237
	歌-日947	いまをさかりとさきにほを	花三種	書166	曲-日5420
	歌-日948	いまをさかりのはなのとき	競漕の歌 [いまをさかりのはなのとき]	書166	曲-日1822
	歌-日949	今を去る事五百年	檜山郡上の国村歌	書253	曲-日5795
	歌-日950	今からむかし六百年	元寇 [今からむかし六百年]	書138 書225	曲-日2140
	歌-日951	いま京近き山には	第二十八回記念祭寄贈歌(7年東大) [いま京近き山には]	書386	曲-日4016
	歌-日952	いまこそをへたれ	休みの鐘	書134 書138	曲-日6780
	歌-日953	いまこそきよまれ	眠	書166 書169	曲-日5194
	歌-日954	今こそ春	今こそ	書60	曲-日523
	歌-日955	いましも業を始めよと	わが務め	書239	曲-日7376
	歌-日956	いまぞあさひはのぼる	朝日 [いまぞあさひはのぼる]	書166	曲-日234
	歌-日957	いまぞわかれきみこそ	送別 [いまぞわかれきみこそ]	書166 書285	曲-日3672
	歌-日958	今の世は [女工サノサ]	女工サノサ	書392	曲-日3218
	歌-日959	いまのよはいかなるときぞ	今の世	書165	曲-日526
	歌-日960	今馳向ふ黄海は負なば墳墓の所ぞよ	軍艦戦闘 [今馳向ふ黄海は負なば墳墓の所ぞよ]	書118	曲-日2045
	歌-日961	今は文明開化の世	古今の恵	書216	曲-日2397
	歌-日962	今は昔と異なりて	新案いろは歌	書216	曲-日3261
	歌-日963	今はや学びをへぬ	木の下蔭	書52	曲-日1742
	歌-日964	いまふくらつばはすすめしらせ	三城戯 [いまふくらつばはすすめしらせ]	書166	曲-日2800
	歌-日965	いままさに春風の柳にみえて	大和の春	書139 書170	曲-日6879
	歌-日966	今日の前に敵の艦我れも砲門打開く	軍艦戦闘 [今日の前に敵の艦我れも砲門打開く]	書118	曲-日2047
	歌-日967	今もむかしも天照す	大和錦 [今もむかしも天照す]	書287	曲-日6876
	歌-日968	今や無礼の清国が	野戦(戦闘歌) [今や無礼の清国が]	書118	曲-日6807
	歌-日969	今や文事は日に月に	小学校の開校	書203	曲-日3119
	歌-日970	いまや皇国の臣民は	征清いろは歌	書314	曲-日3515
	歌-日971	今や我国に向ふ敵あり	出陣	書185	曲-日3069
	歌-日972	ひまゆくこまのとくすぎて	終業式の歌 [ひまゆくこまのとくすぎて]	書165	曲-日3024
	歌-日973	いまよりいざやまなづるの	教師を迎ふ	書164	曲-日1813
	歌-日974	いまよりわれらは [操練]	操練	書161 書166 書379	曲-日3692
	歌-日975	今よりわれらは [今より我らは]	今より我らは	書381	曲-日531
	歌-日976	今洛陽の夜は明けて	寮歌(大正14年)	書387	曲-日7251
	歌-日977	いまはいそがし	たうえ [いまはいそがし]	書138 書225	曲-日4109
	歌-日978	今は限りぞ山の端よ	残雪	書165	曲-日2801
	歌-日979	今は五月歌へ踊れ	今は五月	書232	曲-日532
	歌-日980	いまはとなれるしのわかれ	教師送別	書165	曲-日1814
	歌-日981	今は早く行け	時を惜む	書232	曲-日4719
	歌-日982	今は昔慶応の	慶応義塾	書11	曲-日2096
	歌-日983	今は昔の物がたりその世も人も幻や	博雅三位の韻事	書237	曲-日5315
	歌-日984	今は山中今は浜	汽車 [今は山中今は浜]	書60 書209	曲-日1664
	歌-日985	今は世に亡い母様の	千夜子の歌	書385	曲-日4368
	歌-日986	いもせのやまのむつましく	家の風 [いもせのやまのむつましく]	書102 書165	曲-日395
	歌-日987	いやさかきやさか	弥栄	書232	曲-日538
	歌-日988	いやさかえゆく日の本の	立太子奉祝歌	書386	曲-日7233
	歌-日989	イヨトコドツコイドツコイシヨ	名古屋甚句(愛知)	書385	曲-日4875
	歌-日990	伊予の道後の名物名所	伊予節(愛媛)	書385	曲-日539
	歌-日991	いよよ栄ゆる皇国に	われら同胞	書350	曲-日7487
	歌-日992	薨の波と雲の波	鯉のぼり [薨の波と雲の波]	書47 書211 書212	曲-日2181
	歌-日993	いらだつきしつともみずから	松平定信 [いらだつきしつともみずから]	書166	曲-日6318
	歌-日994	入相の鐘の	春のたそがれ	書201 書202	曲-日5611
	歌-日995	いりひさすかたやまさとに	秋はいま	書165	曲-日174
	歌-日996	入日のかけ赤くさし	牧童 [入日のかけ赤くさし]	書52	曲-日6158
	歌-日997	いりひはなみにこがねのこし	秋漁	書165 書175	曲-日173
	歌-日998	入船出船の絶え間なく	飽託郡高橋町歌	書253	曲-日6111
	歌-日999	入船出船のゆきかひて	港のにぎはひ	書116	曲-日6495
	歌-日1000	いろいろのひとをあつむる桜ぞと	親睦のうた	書141	曲-日3343
	歌-日1001	いろかもたかき	天長節 [いろかもたかき]	書206	曲-日4617
	歌-日1002	いろかもふかきこうばいの	三才女	書47 書174 書211 書212	曲-日2792
	歌-日1003	色香ゆかしき橘の	吉野の行宮	書287	曲-日7137
	歌-日1004	彩雲映ゆる曙に	五高全寮々歌	書40	曲-日2378
	歌-日1005	色こそ匂へ	節操	書228	曲-日3581
	歌-日1006	いろどりたるてまりのそらに	色どりたる手毬	書166	曲-日544
	歌-日1007	いろはにほへどちりぬるを	いろはうた	書166	曲-日546
	歌-日1008	色も香もおぼこそだちの島椿	大島おけさ	書385	曲-日886
	歌-日1009	いろもふかきはるの	春のゆふべ [いろもふかきはるの]	書166 書176	曲-日5642
	歌-日1010	囲炉裏をとちてはや七日	村の少女	書317	曲-日6597
	歌-日1011	いろはにほへどちりぬるを	いろは	書166	曲-日545
	歌-日1012	祝いてことほげ	記念式	書228	曲-日1733
	歌-日1013	祝ひて高く	同盟国の国旗	書92	曲-日4702
	歌-日1014	いはへいはへ [いわへ]	いはへ [いはへいはへ]	書132 書151 書153 書161	曲-日549
	歌-日1015	祝え祝え [友の栄光]	友の栄光	書232	曲-日4799
	歌-日1016	祝へ祝へ [世界の平和]	世界の平和	書257	曲-日3563
	歌-日1017	祝へ祝へ [卒業生を送る歌]	卒業生を送る歌 [祝へ祝へ]	書265	曲-日3728

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
い	歌-日1018	いはへいはへいざもろともに [卒業式の歌]	卒業式の歌 [いはへいはへいざもろともに]	書165	曲-日3717
	歌-日1019	祝へいはへよ御旗をたてて [祝へ]	祝へ [祝へいはへよ御旗をたてて]	書142	曲-日550
	歌-日1020	祝へや祝へ [旅順陥落祝捷歌]	旅順陥落祝捷歌	書388	曲-日7271
	歌-日1021	祝へや祝へもろ人よ	凱旋 [祝へや祝へもろ人よ]	書28	曲-日1177
	歌-日1022	祝へや祝へや記念日を	記念日	書267	曲-日1735
	歌-日1023	祝へや祝へや今日の日を	卒業式の歌 [祝へや祝へや今日の日を]	書222	曲-日3723
	歌-日1024	いはえやきみかよ	三城戯 [いはえやきみかよ]	書166	曲-日2799
	歌-日1025	祝へよ祝へ皆祝へ	神武天皇祭 [祝へよ祝へ皆祝へ]	書161	曲-日3348
	歌-日1026	いわへわがきみを	祝へわが君を	書87 書139 書153 書154 書161 書165 書170 書225 書226	曲-日551
	歌-日1027	いわほのこけの	いはほのこけの	書381	曲-日552
	歌-日1028	岩をぶつちわり	岩をぶつちわり	書78 書241	曲-日553
	歌-日1029	岩をもつらめく鏡心に	山田長政 [岩をもつらめく鏡心に]	書270	曲-日6850
	歌-日1030	巖が根踏みわけ	山遊	書92	曲-日6826
	歌-日1031	巖囃む大波	あらしの曲	書281	曲-日351
	歌-日1032	いはきりとほしやまをぬきしくや	汽車 [いはきりとほしやまをぬきしくや]	書166	曲-日1655
	歌-日1033	岩と闘ふお山の職場	山のつはもの	書179	曲-日6899
	歌-日1034	岩にもたれた [『フラディアポロ』の歌]	『フラディアポロ』の歌	書11	曲-日5984
	歌-日1035	岩に凭れた物凄人 [ディアポロの歌]	ディアポロの歌	書385	曲-日4557
	歌-日1036	いはねをあらふ	秋の小川	書54 書222	曲-日118
	歌-日1037	岩根の菊の千代八千代	五月二十八日 [岩根の菊の千代八千代]	書164	曲-日2315
	歌-日1038	岩間の雫	水の心	書201 書202	曲-日6449
	歌-日1039	いはまのしみずこけのつゆ	岩間の清水	書60 書138 書165 書169	曲-日557
	歌-日1040	いはもる水も	岩もる水	書152 書153 書161 書166 書225 書226 書337	曲-日558
	歌-日1041	祝はむ我が友が	吾等は祝う	書232	曲-日7491
歌-日1042	インマヌエルよりぞ	インマヌエルの血	書70 書71	曲-日565	
う	歌-日1043	うーさぎうさぎ	うーさぎうさぎ	書104	曲-日567
	歌-日1044	飢えたる犬が何れより	欲深き犬	書124	曲-日7121
	歌-日1045	うえたるにはのくさきも	草木	書166	曲-日1910
	歌-日1046	植えてうれしい銀座の柳	銀座の柳	書385	曲-日1885
	歌-日1047	うえにもしたにもちらちら	桜 [うえにもしたにもちらちら]	書166	曲-日2668
	歌-日1048	うえにはしてはかまをまもり	犬 [うえにはしてはかまをまもり]	書166	曲-日498
	歌-日1049	うえのへ行くみちどちらです	うへのへ行く道	書90	曲-日572
	歌-日1050	上野を出づる汽車の旅	新鉄道唱歌 [上野を出づる汽車の旅]	書317	曲-日3313
	歌-日1051	上野を立ちて大宮や	汽車の旅 [上野を立ちて大宮や]	書297	曲-日1677
	歌-日1052	うへのだんにはだりさま	お雛様 [今日は嬉しいおひな様]	書68 書166	曲-日1040
	歌-日1053	上野の岡に袖をつらね	都の春	書312	曲-日6523
	歌-日1054	うえののかねのねねざめのまどに	寝覚の窓	書28	曲-日5185
	歌-日1055	上野の花に日ぐらしや	都の花	書145 書161 書166	曲-日6522
	歌-日1056	うえようえやまだのいねを	田植の歌	書166	曲-日4116
	歌-日1057	うをみつよりはなしなば	魚ト水	書166	曲-日2636
	歌-日1058	うかびでてあそべよ	池の鯉 [うかびでてあそべよ]	書46 書166	曲-日416
	歌-日1059	うからつどいて	春夜夢	書29	曲-日5566
	歌-日1060	浮かれ蛸さんヨイヤサノサ	浮かれ蛸さん	書51	曲-日578
	歌-日1061	浮かんだ浮かんだ僕達が	おふね [浮かんだ浮かんだ僕達が]	書222	曲-日1041
	歌-日1062	浮羽あがたの里人は	浮羽三壱	書277	曲-日580
	歌-日1063	浮藻のかけから頭を出して	お池のひごひ	書60	曲-日813
	歌-日1064	浮世を離れし山蔭庵や	落葉 [浮世を離れし山蔭庵や]	書310	曲-日961
	歌-日1065	うき世ながる日野川の	菊の薫 [うき世ながる日野川の]	書133	曲-日1633
	歌-日1066	浮世の嵐よそにして	亡友 [浮世の嵐よそにして]	書40	曲-日6140
	歌-日1067	うき世のなげきと	我は如何で歌はざらめや	書70 書71	曲-日7493
	歌-日1068	浮世の春を	囹圄梅	書324	曲-日7293
	歌-日1069	浮世の道は落葉にうもれ	山家の初冬	書110	曲-日6834
	歌-日1070	浮世はなれて奥山住ひ	立山節 [浮世はなれて奥山住ひ]	書363	曲-日4197
	歌-日1071	うきよへだつるあふさかや	逢坂山	書165	曲-日828
	歌-日1072	浮世は恋か	歌留太の夜	書108	曲-日1505
	歌-日1073	鶯うぐひす谷間の鶯	鶯 [鶯うぐひす]	書380	曲-日592
	歌-日1074	鶯来なく	春の曙 [鶯来なく]	書181	曲-日5568
	歌-日1075	うぐひすきなけ	うぐひす [うぐひすきなけ]	書132 書151 書153 書161	曲-日584
	歌-日1076	鶯の声梅の梢	鶯 [鶯の声梅の梢]	書29	曲-日593
	歌-日1077	うぐひすもかはづもうたふ	歌の道	書166	曲-日644
	歌-日1078	うごかぬ山	通学の途	書227	曲-日4448
	歌-日1079	ウサウサ兎が	うさうさ兎	書257	曲-日602
	歌-日1080	うさぎうさぎなに見てはねる	うさぎ [うさぎうさぎなに見てはねる]	書145	曲-日603
	歌-日1081	うさぎおひしかのやま	故郷 [うさぎおひしかのやま]	書54 書213 書214	曲-日6003
	歌-日1082	うさぎがもちをつといふ	月 [うさぎがもちをつといふ]	書54 書60 書135 書138	曲-日4451
	歌-日1083	うさぎのふねはききのふねで	木舟泥舟	書27 書266	曲-日1756
	歌-日1084	ウサギヨウサギ	ウサギ [ウサギヨウサギ]	書171	曲-日604
	歌-日1085	うさぎようさぎよなに見てはしる	うさぎ [うさぎようさぎよなに見てはしる]	書142	曲-日605
	歌-日1086	うさぎはびよんびよんかけてった	兎と亀 [うさぎはびよんびよんかけてった]	書27	曲-日613
	歌-日1087	潮渦巻く大瀬戸の	新鉄道唱歌 [潮渦巻く大瀬戸の]	書220	曲-日3314
	歌-日1088	潮さみしき荒いその	おさよ	書28	曲-日928
歌-日1089	潮高鳴り月落ちぬ	第十九回記念祭歌(42年南)	書386	曲-日3873	
歌-日1090	潮の泡の	海国男児 [潮の泡の]	書231	曲-日1156	
歌-日1091	潮もはやき	樺太	書283	曲-日1491	
歌-日1092	牛とならんだせつちか馬が	荷車 [牛とならんだせつちか馬が]	書358	曲-日5026	
歌-日1093	うしにのりたるしろなりと	名和長年	書124	曲-日4986	
歌-日1094	牛の歩みののろくとも	楽天	書239	曲-日7194	
歌-日1095	うしろをみればいしばしの	石橋山	書88 書165	曲-日435	
歌-日1096	後ろに高き大社山	河辺郡浜田村歌	書253	曲-日1537	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
う	歌-日1097	うしろのやまのまつがえに	笥の音	書166 書285	曲-日1272
	歌-日1098	宇治は茶所	うじ茶	書368	曲-日623
	歌-日1099	うすあおいろのまくばりに	牧人の嘆き	書40 書54	曲-日6154
	歌-日1100	薄いなさけに	薄いなさけに	書11	曲-日629
	歌-日1101	薄霧	四季の鳥	書324	曲-日2859
	歌-日1102	うすぎぬのごとく	暁星	書350	曲-日72
	歌-日1103	薄霧かかる	野山の秋興	書265	曲-日5295
	歌-日1104	渦巻く砲煙	フーターロー	書54 書241 書283	曲-日576
	歌-日1105	渦巻く浪を凌ぎつつ	軍艦戦闘 [渦巻く浪を凌ぎつつ]	書118	曲-日2027
	歌-日1106	渦巻く砲煙うしほの如く	露堂 [渦巻く砲煙うしほの如く]	書309	曲-日7313
	歌-日1107	うづまけうづまけ	うづ	書138 書225	曲-日628
	歌-日1108	うすむらさきにかすむ	うれしき春 [うすむらさきにかすむ]	書28 書100 書265	曲-日733
	歌-日1109	うすむらさきにほのぼのと	春の海 [うすむらさきにほのぼのと]	書191	曲-日5587
	歌-日1110	うすむらさきのかすみのなかから	春の朝 [うすむらさきのかすみのなかから]	書174	曲-日5569
	歌-日1111	うすむらさきのりんどうは	月よりの使者	書385	曲-日4491
	歌-日1112	うすら明の	星 [うすら明の]	書159	曲-日6170
	歌-日1113	うすらいおこおねねしな	母の歌	書54	曲-日5491
	歌-日1114	うそをいひそこどもらよ	真言	書165	曲-日3290
	歌-日1115	うたひつめぐりつ	豆囊送り	書166	曲-日4695
	歌-日1116	うたひはやせや	松づくし	書368	曲-日6321
	歌-日1117	歌ふて通るに何ぞ出て逢はぬ	小原節	書11	曲-日1030
	歌-日1118	うたへあそべはなさくのべに	運動会 [うたへあそべはなさくのべに]	書166	曲-日745
	歌-日1119	うたへうたへはるをむかへて	春の歌 [うたへうたへはるをむかへて]	書165	曲-日5581
	歌-日1120	うたへ歌へやひとしくうたへ	糸竹月花	書147	曲-日2928
	歌-日1121	唄へ恋しき故郷の唄を	故郷の唄	書11	曲-日2332
	歌-日1122	歌へ子供よ	歌へ子供よ	書373	曲-日636
	歌-日1123	うたへどつきせぬ	栄光ハレルヤ	書70 書71	曲-日6430
	歌-日1124	歌へ人	歌へ人	書232	曲-日637
	歌-日1125	歌へ諸共に	ハ長調音階	書232	曲-日5364
	歌-日1126	ウタヘヤウタヘ [ワアソビ]	ワアソビ	書171	曲-日7334
	歌-日1127	うたへやうたへよになもたかき	琵琶湖 [うたへやうたへよになもたかき]	書136 書166	曲-日5819
	歌-日1128	うたへやまへやたのしきこのひ	よろこび	書54	曲-日7178
	歌-日1129	歌へよ [舞踏]	舞踏 [歌へよ]	書60	曲-日5922
	歌-日1130	歌え佳き年迎えし	新年に寄す	書232	曲-日3333
	歌-日1131	歌へよ共に踊れよ共に	舞踊に	書232	曲-日5981
	歌-日1132	歌へよ舞へよ	舞踏曲 [歌へよ舞へよ]	書11	曲-日5926
	歌-日1133	歌へよやよやよ	来れ歌へ!	書232	曲-日1714
	歌-日1134	うたをわすれたかなりやは	かなりや [うたをわすれたかなりやは]	書2 書54 書60 書117	曲-日1416
	歌-日1135	歌が聞こえる蜜柑の山に	蜜柑山	書373	曲-日6409
	歌-日1136	宴して今日誕生の	第三十四回記念祭寄贈歌(13年東大) [宴して今日誕生の]	書386	曲-日3832
	歌-日1137	歌に明けて	歌が響く	書232	曲-日639
	歌-日1138	歌に疲れ文に倦みて	屋 [歌に疲れ文に倦みて]	書54	曲-日5807
	歌-日1139	歌には春風長閑にかよひ	歌	書147	曲-日631
	歌-日1140	うたのけいこ	うたのけいこ	書17	曲-日642
	歌-日1141	うたまひにたちつどひ	盲鬼 [うたまひにたちつどひ]	書166	曲-日6646
	歌-日1142	打ちむりたる四方の山	養蚕唱歌 [打ちむりたる四方の山]	書377	曲-日7104
	歌-日1143	打ちそよぐ荻の上葉	初秋の風	書309	曲-日3222
	歌-日1144	うちつれうたひしきのふのとも	亡友 [うちつれうたひしきのふのとも]	書88 書165 書169	曲-日6138
	歌-日1145	膺ちて懲らせとちよくありし	凱旋の歌 [膺ちて懲らせとちよくありし]	書164	曲-日1190
	歌-日1146	うちの大きな達磨さんは	だるまん [うちの大きな達磨さんは]	書263	曲-日4281
	歌-日1147	うちのお庭の	雪だるま [うちのお庭の]	書345	曲-日7028
	歌-日1148	うちの子猫かはい子猫 [子ねこ]	子ねこ [うちの子猫かはい子猫]	書116	曲-日2503
	歌-日1149	うちのこねこは [うちのこねこ]	うちのこねこ	書60 書208 書222	曲-日645
	歌-日1150	うちのはたけでぼちがなく	花咲翁 [うちのはたけでぼちがなく]	書68	曲-日5412
	歌-日1151	うちのぼちは	うちのぼち	書60	曲-日647
	歌-日1152	家の真前の地藏さんに	トンボのメ	書11	曲-日4842
	歌-日1153	打ちもそろひ	夜の我家	書60 書350	曲-日7177
	歌-日1154	宇宙の事は彼の是の別を論せず諸共に	社会学の原理に題す	書303	曲-日2987
	歌-日1155	家は焼けても江戸っ子の	復興節	書385	曲-日5918
	歌-日1156	うつくしきくに [美しき国]	美しき国	書71	曲-日650
	歌-日1157	うつくしきくに天にありて [美しき天国]	美しき天国	書70	曲-日652
	歌-日1158	うつくしきそののぞみ	少女の望	書166 書366	曲-日3143
	歌-日1159	うつくしきわが子やいづこ	うつくしき	書151 書153 書161 書166	曲-日649
	歌-日1160	美しく楽し吾が庭園	学校園	書43	曲-日1374
	歌-日1161	うつくしのゆきのくもよ	雪の雲	書166 書285	曲-日7047
	歌-日1162	ウツクシヤフヂノハナ	藤ノ花 [ウツクシヤフヂノハナ]	書206	曲-日5894
	歌-日1163	うつつよをかみざりまし	和歌朗詠曲 [うつつよをかみざりまし]	書54	曲-日7431
	歌-日1164	現なき日の放浪に	寮歌(昭和8年) [現なき日の放浪に]	書387	曲-日7249
	歌-日1165	うつつにも	こだま [うつつにも]	書353	曲-日2448
	歌-日1166	うつつのこづちうぢだすものは	打つ手の小槌	書166	曲-日656
	歌-日1167	打つ波は磯を洗ひ	磯千鳥	書309	曲-日449
	歌-日1168	ウツハツハウツハツハコリヤおかし	村人子供合唱「ウツハツハ」	書106	曲-日6604
	歌-日1169	うつつしてにほふはるのの	花すみれ [うつつしてにほふはるのの]	書31 書60 書184	曲-日5423
	歌-日1170	膺つべきは魯西亜に非ず	膺つべきは	書16	曲-日657
	歌-日1171	うづまきかへす	上杉謙信 [うづまきかへす]	書159	曲-日569
	歌-日1172	討てや討て討て討てロシヤを討てや	ロシヤ征討の歌	書166 書255	曲-日7329
	歌-日1173	撃てや撃て卑怯未練の清国兵を	牙山の勝鬨	書375	曲-日1310
	歌-日1174	うてやうてやいさましく	国の声 [うてやうてやいさましく]	書337	曲-日1939
	歌-日1175	膺てや懲らせや [征露軍歌]	征露軍歌 [膺てや懲らせや]	書245	曲-日3548

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
う	歌-日1176	膺てや凝らせや清国を [討清軍歌]	討清軍歌 [膺てや凝らせや清国を]	書235 書305	曲-日4676
	歌-日1177	膺てや懲らせや清国を [膺てや懲らせや]	膺てや懲らせや	書314 書365 書391	曲-日658
	歌-日1178	討てよ討てよとうちに	平壤の陥落	書235	曲-日6048
	歌-日1179	海原こえてなきゆく雁も	霞のあなた	書185	曲-日1330
	歌-日1180	うなばらとちしうしのゆくへ	留学の師を送る歌	書28	曲-日7235
	歌-日1181	うなばらはるかにしらみわたり	明石	書165	曲-日67
	歌-日1182	唸りをたてて	飛行船 [唸りをたてて]	書266	曲-日5714
	歌-日1183	うにうごめきまはるそのひまを	離れ小島 [うにうごめきまはるそのひまを]	書166	曲-日5473
	歌-日1184	歎傍の山の空うちかすみ	二月十一日	書88	曲-日5022
	歌-日1185	卯の花垣の	加賀千代女	書29	曲-日1234
	歌-日1186	うのはなくだしきみだれの	夏 [うのはなくだしきみだれの]	書146 書148 書161 書165	曲-日4891
	歌-日1187	うのはなのほふかきねに	夏は来ぬ [うのはなのほふかきねに]	書165 書217 書225 書310 書337	曲-日4946
	歌-日1188	宜も出来たり爽りたり	世渡りの歌	書303	曲-日7182
	歌-日1189	馬さえいさむ	武夫 [馬さえいさむ]	書145	曲-日6679
	歌-日1190	馬の塵風々と	野戦(騎兵隊) [馬の塵風々と]	書118	曲-日6804
	歌-日1191	うまふとく	馬ふとく	書381	曲-日667
	歌-日1192	うまよりおりてかぶとをと	岩清水	書165	曲-日554
	歌-日1193	生れ出で囀り行けば	新潟高校寮歌 [生れ出で囀り行けば]	書40	曲-日5013
	歌-日1194	うまれしときはよつあしの	狐	書166	曲-日1728
	歌-日1195	うまれしひよりはえはたて	女訓	書102 書165	曲-日3214
	歌-日1196	生まれしままの	小猫と雛粟	書201 書202	曲-日2506
	歌-日1197	生れて今日まで五十年	舞台裏合唱	書106	曲-日5911
	歌-日1198	生れて弱き身なれども	貝原益軒 [生れて弱き身なれども]	書270	曲-日1195
	歌-日1199	生れながらに母様知らぬ	水郷の唄	書40	曲-日3364
	歌-日1200	海海海日は輝き波は踊る	大日本東京海洋少年団々歌	書40	曲-日4059
	歌-日1201	海が暮れば金の月が昇るよ	マドロス小唄	書385	曲-日6345
	歌-日1202	うみとなるべきやまみづも	耐忍	書165	曲-日4060
	歌-日1203	海なる鯨まだ知らねども	象 [海なる鯨まだ知らねども]	書225	曲-日3647
	歌-日1204	海にも陸にも	戦捷国民	書231	曲-日3615
	歌-日1205	海のあなたと	旅の思	書225	曲-日4253
	歌-日1206	うみのあなたのおくから	父さん恋し	書27 書60	曲-日4669
	歌-日1207	うみのくになるにほんこく [海の国なる]	海の国なる	書166	曲-日684
	歌-日1208	海の国なる日本国 [軍艦戦闘]	軍艦戦闘 [海の国なる日本国]	書118	曲-日2034
	歌-日1209	うみのたみならおとこなら	太平洋行進曲	書179 書236 書317	曲-日4078
	歌-日1210	海辺の景色にわれを忘れ	海辺の散歩	書263	曲-日695
	歌-日1211	海もて困める	海国 [海もて困める]	書46	曲-日1147
	歌-日1212	うみゆかばみづくかばね	水漬く屍 [海ゆかばみづく屍と]	書46 書103 書138 書165 書200 書287 書303 書317 書376 書383	曲-日701
	歌-日1213	海ゆかばみづく屍と [水漬く屍]	風のおとづれ	書16	曲-日6468
	歌-日1214	海より来たりて	砂山	書188	曲-日1342
	歌-日1215	海は荒海向うは佐渡よ	壺の碑	書2 書117 書241 書315	曲-日3453
	歌-日1216	海は田となり田は海と	化粧の水 [海は野となり野は山と]	書279	曲-日4528
	歌-日1217	海は野となり野は山と	川のあぶく	書165	曲-日2115
	歌-日1218	うみはまだとほい	哀別	書117	曲-日1530
	歌-日1219	海はみたれど海しらず	船出の歌	書362	曲-日34
	歌-日1220	海は我等のこころなり	梅が枝	書317	曲-日5941
	歌-日1221	梅が枝の [梅が枝]	梅ヶ枝節	書368	曲-日705
	歌-日1222	梅ヶ枝の手水鉢 [梅ヶ枝節]	笛の声	書363	曲-日706
	歌-日1223	梅が香薫る	蝶々 [うめがちるのかさくらのほなか]	書201 書202	曲-日5842
	歌-日1224	うめがちるのかさくらのほなか	四季の月 [うめさくそのにかすみつつ]	書68 書166	曲-日4401
	歌-日1225	うめさくそのにかすみつつ	春の曲 [うめさくやどのまるまどに]	書166	曲-日2856
	歌-日1226	うめさくやどのまるまどに	笛の音 [梅ちるゆふべの山里に]	書54	曲-日5598
	歌-日1227	梅ちるゆふべの山里に	梅にも春	書88	曲-日5845
	歌-日1228	梅にも春の	梅に鶯 [梅の木の枝に]	書363 書368	曲-日709
	歌-日1229	梅の木の枝に	鶯の夢	書60 書266	曲-日708
歌-日1230	梅の小枝で	花競	書315	曲-日597	
歌-日1231	うめのしろたへさくらのほひ	春を惜しむ	書166	曲-日5406	
歌-日1232	梅桃桜山吹や	学びのすすめ	書60	曲-日5533	
歌-日1233	梅やさくらははやりちて	シヨンガイナ	書142	曲-日6352	
歌-日1234	梅は咲いたか [シヨンガイナ]	梅は咲いたか	書368	曲-日3241	
歌-日1235	梅は咲いたか [梅は咲いたか]	しょうがへ節	書368	曲-日717	
歌-日1236	梅は咲いたが桜はまだかいな	桜 [うらうらかすみて]	書363	曲-日3242	
歌-日1237	うらうらかすみて	運動会 [うらうらかすみはるののの]	書282	曲-日2669	
歌-日1238	うらうらかすみはるののの	静御前 [うらうらと]	書166 書226	曲-日739	
歌-日1239	うらうらと	地理教育神奈川県唱歌	書178	曲-日2892	
歌-日1240	浦賀の沖の	浦潮すよつく旅順口	書290	曲-日4430	
歌-日1241	浦潮すよつく旅順口	夜 [うらの小山の小ぎつねの]	書16	曲-日719	
歌-日1242	うらなみよするまつかげに	三羽の雀 [裏の竹藪の]	書54 書135	曲-日3457	
歌-日1243	うらの小山の小ぎつねの	はなさかぢい [うらははただけでぼちがなく]	書373	曲-日7163	
歌-日1244	裏の竹藪の	鳥 [裏の畑に]	書232	曲-日2810	
歌-日1245	うらははただけでぼちがなく	正直爺さん	書60 書138 書165	曲-日5411	
歌-日1246	裏の畑に	親の情	書201 書202	曲-日1482	
歌-日1247	裏の島の榎の木の下の	秋の歌	書60	曲-日3134	
歌-日1248	裏の林に子百舌鳥がないて	応援歌(大正9年)	書79	曲-日1092	
歌-日1249	うらの葡萄もささ栗も	国の徳	書28	曲-日116	
歌-日1250	恨を呑んで地に潜む	春待草	書387	曲-日826	
歌-日1251	うらやすくくの	胡蝶 [うららかなる]	書230	曲-日1946	
歌-日1252	裏山かげの雪消えて	春来れば	書317	曲-日5653	
歌-日1253	うららかなる		書181	曲-日2455	
歌-日1254	うららかなる春日とならば		書54	曲-日5553	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
う	歌-日1255	うららにもゆる若草の	第二十八回記念祭歌(7年西)	書386	曲-日4019
	歌-日1256	ウラルの彼方風あれて	征露歌	書386	曲-日3541
	歌-日1257	蔚山沖の沖遠く	蔚山沖の海戦	書255	曲-日730
	歌-日1258	愁ひに沈む吾が友よ	山形高校祭歌	書40	曲-日6830
	歌-日1259	憂愁に濡ぼつ	夜愁	書188	曲-日7147
	歌-日1260	ウレシイウレシイ	オンヤウガツ [ウレシイウレシイ]	書171	曲-日938
	歌-日1261	うれしいうれしいうれしいな	僕等は少年だ	書222	曲-日6164
	歌-日1262	うれしうれしはつゆきふる	初雪	書54 書60 書333	曲-日5384
	歌-日1263	うれしうれしやうれしやな	卒業の歌 [うれしうれしやうれしやな]	書213 書214	曲-日3732
	歌-日1264	うれしきこのひや	嬉しき日	書70 書71	曲-日735
	歌-日1265	うれしきたのしき運動会の	運動会 [うれしきたのしき運動会の]	書134	曲-日746
	歌-日1266	うれしくつどへる	こよひを楽しめ	書350	曲-日2575
	歌-日1267	嬉しくて又かなしきは	卒業式 [嬉しくて又かなしきは]	書185	曲-日3709
	歌-日1268	うれしたのしわがよは	楽しき我世	書233 書265	曲-日4236
	歌-日1269	うれし肌へ寒き北の風の	氷滑 [うれし肌へ寒き]	書47	曲-日2304
	歌-日1270	うれし膚さむき	氷滑 [うれし膚さむき]	書283	曲-日2305
	歌-日1271	うれしや稲穂たわに	秋の田の面	書54	曲-日129
	歌-日1272	うれしやうれしやうれしやな	太郎兵衛独唱「うれしや」舞台合唱「テクテクおうちへ」	書106	曲-日4290
	歌-日1273	嬉しや露みて	朝景色	書225	曲-日218
	歌-日1274	嬉しや菊の花が咲いたよとわが言へば	鸚鵡 [嬉しや菊の花が咲いたよとわが言へば]	書309	曲-日860
	歌-日1275	うれしやけふもそらよくはれて	春の歌 [うれしやけふもそらよくはれて]	書54	曲-日5582
	歌-日1276	うれしやけふはさんがつみつつか	雛まつり [うれしやけふはさんがつみつつか]	書165	曲-日5745
	歌-日1277	嬉しや今日は空はれて	野外散歩唱歌春之巻	書372	曲-日6742
	歌-日1278	うれしやたのしや [誕生日]	誕生日	書181	曲-日4304
	歌-日1279	うれしや楽しや [誕生日の歌]	誕生日の歌	書60	曲-日4305
	歌-日1280	嬉しや楽しや [春はきぬ]	春はきぬ	書120	曲-日5665
	歌-日1281	うれしやたのしやけふのよきひ	春の祝	書122 書165	曲-日5576
	歌-日1282	うれしやのどけき快樂の春	四季 [うれしやのどけき快樂の春]	書223	曲-日2840
歌-日1283	雲山万里をかけめぐり	無言のがいせん	書191	曲-日6555	
歌-日1284	運転手は君だ	電車ごっこ	書207	曲-日4611	
歌-日1285	ウントコウントコ	ウントコ爺さん	書257	曲-日758	
え	歌-日1286	栄華の春も移ろへば	薩摩守	書85	曲-日2720
	歌-日1287	栄華は古りし二千年	第三十三回記念祭歌(10年)	書386	曲-日3820
	歌-日1288	栄華は夢か	屋島 [栄華は夢か]	書54 書215	曲-日6765
	歌-日1289	観聖文武の皇帝は	王師遠征	書16	曲-日829
	歌-日1290	観聖文武の我が君は	我が武	書391	曲-日7394
	歌-日1291	えいせさぶんぶひるいなき	海陸軍	書166	曲-日1203
	歌-日1292	エーイエーイエーアハイ	台湾蕃社ノ歌	書78	曲-日4108
	歌-日1293	エー三浦三崎はアイヨ	三崎甚句(神奈川)	書385	曲-日6431
	歌-日1294	餌をつむ雀の	みなしご [餌をつむ雀の]	書350	曲-日6484
	歌-日1295	えいぶと太古の文明の	びらみつど	書93 書225	曲-日5806
	歌-日1296	エスすくひぬしを [エス救主を讃美せよ]	エス救主を讃美せよ	書70 書71	曲-日773
	歌-日1297	エスすくひぬしを [君は赦されん]	君は赦されん	書70 書71	曲-日1784
	歌-日1298	エスのながせし	主エス我を救へり	書70 書71	曲-日3059
	歌-日1299	エスよいまいのる	主よこのままに	書70	曲-日3081
	歌-日1300	エスよわが身を	我十字架を誇らん	書70 書71	曲-日7478
	歌-日1301	エスよわれは信仰によりて	我信仰に由て主を仰ぐ	書70 書71	曲-日7480
	歌-日1302	エスはまたきたりたまふ	エスまた臨り給ふ	書70 書71	曲-日777
	歌-日1303	エスわれをあいしたもう	栄光エスにあれ	書70 書71	曲-日6429
	歌-日1304	エスわれを愛したまふ [エス我さへ愛し給ふ]	エス我さへ愛し給ふ	書70	曲-日783
	歌-日1305	エス我を愛すと	エス我を愛す	書70 書71	曲-日780
	歌-日1306	エスはわれをあいしたまふ [エス我を愛し給ふ]	エス我を愛し給ふ	書71	曲-日779
	歌-日1307	エスはわれをば	我今夜救はるべき乎	書70 書71	曲-日7477
	歌-日1308	蝦夷と呼ばれし昔より	忍路郡塩谷村歌	書253	曲-日942
	歌-日1309	越後の国の[角兵衛獅子]	角兵衛獅子	書368	曲-日1259
	歌-日1310	越後の国の松山に [松山鏡]	松山鏡 [越後の国の松山に]	書165	曲-日6335
	歌-日1311	えっさっさえっさっさ	美化運動	書239	曲-日5686
	歌-日1312	越中立山	立山節 [越中立山]	書368	曲-日4196
	歌-日1313	えっちらおっちらえっちらおっちら	NIWATORI [えっちらおっちらえっちらおっちら]	書27	曲-日5155
	歌-日1314	えのころこいこい	えのころ	書144 書166	曲-日786
	歌-日1315	江の島は遊ぶに	江の島	書309	曲-日787
	歌-日1316	えぼしかぶってそでなしを	猿	書206	曲-日2764
	歌-日1317	えみしはひをばはなちたり	日本武尊 [えみしはひをばはなちたり]	書165	曲-日6867
	歌-日1318	撰べよ友は	友誼	書282	曲-日6932
	歌-日1319	艶をあらそひ	元の学校	書229	曲-日6673
歌-日1320	間魔まへなる茶屋のかか	三階節(新潟)	書385	曲-日2782	
歌-日1321	えんやらえんやら臍拍子そろへて	漁船	書210	曲-日1854	
お	歌-日1322	追風にそよそよ	花摘	書92	曲-日5430
	歌-日1323	お池に浮べた	お船 [お池に浮べた]	書266	曲-日1043
	歌-日1324	お池にかるくうかんだ木の葉舟	木の葉舟	書262	曲-日2519
	歌-日1325	お池の上の	藤の花 [お池の上の]	書266	曲-日5895
	歌-日1326	おいけのかへるはくわつくわつ	お池の蛙 [おいけのかへるはくわつくわつ]	書166 書378	曲-日809
	歌-日1327	おいけのそばでしゆつしゆつしゆつ	水でつぼう [おいけのそばでしゆつしゆつしゆつ]	書318	曲-日6441
	歌-日1328	お池の噴水	噴水 [お池の噴水]	書266	曲-日6024
	歌-日1329	お池の水に	とんぼつり	書60	曲-日4840
	歌-日1330	生立なほき菅原や	菅公 [生立なほき菅原や]	書53	曲-日1581
	歌-日1331	老ひたる母の手を引て	火事場の働	書375	曲-日1316
	歌-日1332	おいたるひとはたすくべし	おいたる人	書165	曲-日814
	歌-日1333	おいでよおいでよお花さん	海水浴 [おいでよおいでよお花さん]	書79	曲-日1166

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
お	歌-日1334	おいとこさうだよ [おいとこ節]	おいとこ節(宮城)	書385	曲-日816
	歌-日1335	おいとこさうだよ紺の暖簾に [おいとこさうだよ]	おいとこさうだよ	書363	曲-日815
	歌-日1336	老いも若きも諸共に	邑楽郡佐野村村是の歌	書253	曲-日862
	歌-日1337	おいやコップ	おいやコップ	書232	曲-日820
	歌-日1338	おいらビツケル担へ銃	軍国登山の歌	書317	曲-日2078
	歌-日1339	おひわけのいしのうへ	ちかめのしぐり	書54 書201 書202	曲-日4329
	歌-日1340	おいはしつれどなによりも	養老	書2 書27 書31 書60	曲-日7112
	歌-日1341	おういおういおういおうい	山びこ [おういおういおういおうい]	書27	曲-日6903
	歌-日1342	おういと呼べばおういと答へ	こだま [おういと呼べばおういと答へ]	書208	曲-日2449
	歌-日1343	桜花の心凝るところ	応援歌(大正10年) [桜花の心凝るところ]	書387	曲-日824
	歌-日1344	あふぎ見よやよともよ	虹 [あふぎ見よやよともよ]	書134	曲-日5030
	歌-日1345	黄金十両	山内一豊の妻 [黄金十両]	書159	曲-日6894
	歌-日1346	逢坂山を打ちすぎて	近江八景 [逢坂山を打ちすぎて]	書67	曲-日854
	歌-日1347	あふさかやまをこえければ	琵琶湖 [あふさかやまをこえければ]	書146 書148 書165	曲-日5818
	歌-日1348	逢坂山に蟬丸と	蟬丸	書185	曲-日3602
	歌-日1349	王政復古とその往時を [王政復古]	王政復古 [王政復古とその往時を]	書203	曲-日839
	歌-日1350	王政復古のそのかみを [復古の歌]	復古の歌	書376	曲-日5919
	歌-日1351	お家の小猫は大好きよ	小猫と小犬	書60	曲-日2505
	歌-日1352	お家の御門で	小犬 [お家の御門で]	書267	曲-日2173
	歌-日1353	おうち忘れた子羊は	子羊 [おうち忘れた子羊は]	書358	曲-日2527
	歌-日1354	おうちわすれたこひばりは	お家忘れて	書54 書60	曲-日842
	歌-日1355	あふてわかれの有ならば	別れのうた [あふてわかれの有ならば]	書142	曲-日7423
	歌-日1356	おう響くよ美し歌	おうひびくよ	書232	曲-日845
	歌-日1357	逢魔の時てふ	第四高等学校寮歌	書252	曲-日3854
	歌-日1358	お馬ヒンヒン	お馬 [お馬ヒンヒン]	書60 書266	曲-日847
	歌-日1359	おうまよすめたいしやうの	御馬 [おうまよすめ]	書166	曲-日850
	歌-日1360	近江には琵琶湖とて	琵琶湖 [近江には琵琶湖とて]	書93 書225	曲-日5822
	歌-日1361	あふみのみやにさきそめて	藤波	書165	曲-日5888
	歌-日1362	鸚鵡が機嫌の善い	鸚鵡 [鸚鵡が機嫌の善い]	書266	曲-日861
	歌-日1363	お江戸日本橋七つ立	お江戸日本橋	書363	曲-日866
	歌-日1364	おおいし白雪	佐保姫	書120 書121	曲-日2745
	歌-日1365	大いなるかな	大海原	書29	曲-日871
	歌-日1366	おほいなることやまのごとき	日本軍艦	書136 書166	曲-日5091
	歌-日1367	おほいのかはのみづのもを	春の心 [おほいのかはのみづのもを]	書120 書121 書165	曲-日5604
	歌-日1368	王政復古のそのかみを	王政復古の歌	書287	曲-日840
	歌-日1369	大内山にさきにほふ	秋の祝	書161	曲-日115
	歌-日1370	大内山の奥に	税所敦子	書270	曲-日2620
	歌-日1371	大海原 [第一高等学校寮歌 銀波]	第一高等学校寮歌 銀波	書252	曲-日3764
	歌-日1372	大海原を立籠むる	軍艦戦闘 [大海原を立籠むる]	書118	曲-日2050
	歌-日1373	大海原月夜の景色	銀波	書386	曲-日1896
	歌-日1374	大うなばらに目をはなち	海水浴 [大うなばらに目をはなち]	書68	曲-日1167
	歌-日1375	大江拳周少うして	大江拳周の賛	書237	曲-日872
	歌-日1376	大風風の子	風の子	書345	曲-日1343
	歌-日1377	大神山に栗八升まいたげな	愨兵衛独唱「ねずみどんのしわざ」	書106	曲-日7123
	歌-日1378	大きい大きい	奈良の大仏	書159	曲-日4977
	歌-日1379	おほきいけものは	虎	書68 書166	曲-日4810
	歌-日1380	大きい時計が	チックタック!	書232	曲-日4354
	歌-日1381	おほきいまりはたいしょうで	まり寄	書166	曲-日6387
	歌-日1382	大きなお日様まつかいな	大きなお日様	書60	曲-日877
	歌-日1383	大きな鐘がバンバン	鐘の音	書232	曲-日1425
	歌-日1384	大きなガラスのみづばちに	金魚 [大きなガラスのみづばちに]	書262	曲-日1876
	歌-日1385	大きな雲が	雲 [大きな雲が]	書267	曲-日1969
	歌-日1386	おほきなくらいおやごひに	鯉幟 [おほきなくらいおやごひに]	書166 書378	曲-日2177
	歌-日1387	大きな尻尾と後脚で	カンガルウ	書267	曲-日1562
	歌-日1388	おほきなふくろを	大黒様	書206	曲-日3789
	歌-日1389	大君います国なれば	入営	書191	曲-日5144
	歌-日1390	おほ君の [おほ君の]	おほ君の [おほ君の]	書287	曲-日880
	歌-日1391	大君のあれいでましし	天長節 [大君のあれいでましし]	書161	曲-日4626
	歌-日1392	大君のため国のため	三勇士	書190	曲-日2820
	歌-日1393	大君の御稜威かしこし御軍の [大君の]	大君の [大君の御稜威かしこし御軍の]	書103 書200 書303 書376	曲-日881
	歌-日1394	大君の御稜威長し御軍の [おほきみ]	おほきみ	書198	曲-日879
	歌-日1395	大君の御楯となりて	英霊讃歌	書317	曲-日769
	歌-日1396	大君のみ民と	大和魂 [大君のみ民と]	書181	曲-日6871
	歌-日1397	あふぎみよ	あふぎみよ	書144	曲-日882
	歌-日1398	多くの家族をはぐみて	熊澤蕃山先生 [多くの家族をはぐみて]	書124	曲-日1959
	歌-日1399	大坂かたと徳川と	大坂落城	書203	曲-日884
	歌-日1400	大阪城に秀頼を	近世の部 下	書331	曲-日1890
	歌-日1401	おほさむこさむ	おほさむこさむ	書54 書68 書138	曲-日885
	歌-日1402	おおしきさの女郎花	津崎村岡	書270	曲-日4493
	歌-日1403	ををしつたけきみこころに	神武天皇祭 [ををしつたけきみこころに]	書145 書165	曲-日3347
	歌-日1404	王師の金鼓地を揺れば	第十五回記念祭寮歌(38年東)	書386	曲-日3880
	歌-日1405	大路のちまた此処彼処	夏の夕景	書28	曲-日4934
	歌-日1406	大島小島の間通る舟は [松前追分]	松前追分(北海道)	書385	曲-日6328
	歌-日1407	大島小島の間通る舟は [松前追分節]	松前追分節	書363	曲-日6329
	歌-日1408	ををしやたけしや	勇士 [ををしやたけしや]	書166	曲-日6943
	歌-日1409	大空一面	かみなりさま	書201 書202	曲-日1446
	歌-日1410	大空を	月 [大空を]	書257	曲-日4461
	歌-日1411	穹蒼高く夜は深く	大正五年南寮々歌	書77	曲-日3940
	歌-日1412	大空と	光	書201 書202	曲-日5697

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
お	歌-日1413	大空の鷗みなき道	明治天皇頌歌	書326	曲-日6620
	歌-日1414	おほぞらはるつきのかみの	海辺の眺望 [おほぞらはるつきのかみの]	書54	曲-日698
	歌-日1415	大空晴れて深みどり	きたへる足	書191	曲-日1700
	歌-日1416	大空ひたす和田の原	第十二回記念祭歌(35年南)	書386	曲-日3904
	歌-日1417	大空舞ひて舞ひ落つる	第二十四回記念祭歌(3年采)	書386	曲-日4032
	歌-日1418	欧大陸の東に	荒鷲	書245	曲-日366
	歌-日1419	大砲小砲闘の声	平壤之戦	書164	曲-日6050
	歌-日1420	大波かへして	嗟・高千穂艦	書215	曲-日2711
	歌-日1421	大広場芝生は青く	大連	書358	曲-日4102
	歌-日1422	ををふりうごかし	雪だるま [ををふりうごかし]	書54 書134	曲-日7032
	歌-日1423	おほみくにのくにぶりにぞ	大皇国 [おほみくにのくにぶりにぞ]	書102 書165	曲-日893
	歌-日1424	おほみよのめぐみのつゆに	開校記念式の歌	書165	曲-日1137
	歌-日1425	大御代も	秋の宮	書180	曲-日144
	歌-日1426	おほやしまぐにのまもりのふねこ	軍艦 [おほやしまぐにのまもりのふねこ]	書166	曲-日2017
	歌-日1427	大雪小雪	雪の降る夜	書54	曲-日7054
	歌-日1428	凡そ世の中人の業	労働歌	書60	曲-日7311
	歌-日1429	おかあさまなかにねんね	あした	書40 書54 書60	曲-日260
	歌-日1430	お母さまに抱っこして	私の妹	書264	曲-日7460
	歌-日1431	おカーン書くことは	おうカーン	書232	曲-日827
	歌-日1432	丘を越えて行かうよ	丘を越えて	書385	曲-日897
	歌-日1433	をかしき水鶏や	水鶏 [をかしき水鶏や]	書374	曲-日1900
	歌-日1434	陸には人	端艇競漕 [陸には人]	書110	曲-日4309
	歌-日1435	丘の上からバンドを見れば	広東ブルース	書363	曲-日1596
	歌-日1436	丘辺の春に今日も来て	第三十九回記念祭寄贈歌(昭和4年東大)	書386	曲-日3813
	歌-日1437	岡辺の松にさわぎし風の	都の雪	書225	曲-日6524
	歌-日1438	陵は常磐の深翠	三重郡下野村歌	書253	曲-日6404
	歌-日1439	小川の水の流れをうけて	水車と時計	書262	曲-日3372
	歌-日1440	おきあがりこぼしはおもしろや	不倒翁	書165	曲-日903
	歌-日1441	おきにただよふすてをぶね	塩原多助	書124 書165	曲-日2830
	歌-日1442	濃濃の霞の晴れ間より	和田の御崎	書287	曲-日7468
	歌-日1443	沖のかもめに [沖の鷗に]	沖の鷗に	書21	曲-日910
	歌-日1444	沖の鷗に潮時間けば	小野田甚句	書363	曲-日1017
	歌-日1445	沖の鷗のエツサツサエツサツサ	大漁節	書363 書385	曲-日4101
	歌-日1446	沖の小舟は帆かけて走る	新磯節 [沖の小舟は]	書363	曲-日3262
	歌-日1447	沖の潮風便りをたのむ	城ヶ島夜曲	書363 書385	曲-日3114
	歌-日1448	沖の方から	海 [沖の方から]	書60	曲-日672
	歌-日1449	沖の真ん中に白帆が見ゆる	新磯節 [沖の真ん中に]	書385	曲-日3263
	歌-日1450	萩ふくらは風静かになりて	静けき夕	書122	曲-日2900
	歌-日1451	起伏知らぬ運命こそ	起伏知らぬ	書77	曲-日911
	歌-日1452	お行儀正しい内裏さま	雑祭 [お行儀正しい内裏さま]	書211 書212	曲-日5747
	歌-日1453	才兄弟よ [君が証詞を語り聞かせよ]	君が証詞を語り聞かせよ	書70	曲-日1766
	歌-日1454	才兄弟よきみのために [君が証詞語り聞かせよ]	君が証詞語り聞かせよ	書71	曲-日1767
	歌-日1455	おきよおきよからすはなきぬ	朝起 [おきよおきよ]	書165	曲-日192
	歌-日1456	おきよとひとによばれぬさきに	朝起 [おきよとひとに]	書134 書166	曲-日193
	歌-日1457	沖より頭を並べて寄せる大波小波	浪 [沖より頭を並べて寄せる大波小波]	書311	曲-日4965
	歌-日1458	おきろなるかねいらぬかみに	朝起の鐘	書166 書279	曲-日195
	歌-日1459	おきわたすつゆのにほひ	春の朝 [おきわたすつゆのにほひ]	書165	曲-日5570
	歌-日1460	奥津城近く	墓詣	書283	曲-日5309
	歌-日1461	お国へ帰る	まがきの萩	書345	曲-日6266
歌-日1462	おくやまはやまつえひくところ	紅葉狩 [おくやまはやまつえひくところ]	書165 書175	曲-日6688	
歌-日1463	をぐらき夜半を	暗路	書257	曲-日6914	
歌-日1464	お倉の向で	せみ [お倉の向で]	書266	曲-日3597	
歌-日1465	おくりつむかへつ	閉校	書165 書176	曲-日6034	
歌-日1466	おぐろき雲は空をとび	第十九回記念祭寄贈歌(42年九大)	書386	曲-日3869	
歌-日1467	をくはをかたにかたげ	楽しき農夫	書54 書60	曲-日4224	
歌-日1468	おけいこすんだかへりませう	さよなら [おけいこすんだかへりませう]	書116	曲-日2756	
歌-日1469	おごそかにいま	海音	書54 書281	曲-日676	
歌-日1470	社殿の神の	稜威	書188	曲-日7241	
歌-日1471	怠りて業をつとめず	二宮尊徳 [怠りて業をつとめず]	書270	曲-日5077	
歌-日1472	ヲトコオンナノ	友愛 [ヲトコオンナノ]	書124	曲-日6924	
歌-日1473	小琴の練習	鞦韆 [小琴の練習]	書282	曲-日5988	
歌-日1474	少女子があけの袂を	春の歌 [少女子があけの袂を]	書28	曲-日5585	
歌-日1475	おごる平家を滅ぼして	牛若丸 [おごる平家を滅ぼして]	書96 書165	曲-日625	
歌-日1476	幼き日われは誓ひぬ	誓ひ	書317	曲-日4328	
歌-日1477	をさなきむかしちとあそびし	幼き昔	書54 書366	曲-日921	
歌-日1478	をさなごがまなぶもといはなになにぞ	をさなご [をさなごがまなぶもといはなになにぞ]	書165	曲-日923	
歌-日1479	おさなごころはたまなれや	幼な心	書165	曲-日924	
歌-日1480	をさまるきみがみよのあき	御代の秋 [をさまるきみがみよのあき]	書165	曲-日6537	
歌-日1481	治る御世に生れあひ	尚武 [治る御世に生れあひ]	書143	曲-日3175	
歌-日1482	をさまるみよのはるのそら	治る御代 [をさまるみよのはるのそら]	書139 書153 書154 書161 書165 書170	曲-日926	
歌-日1483	治まる御代の恵みとて	公德唱歌 各説	書89	曲-日2272	
歌-日1484	をさめしわざのかずかずは [卒業式の歌]	卒業式の歌 [をさめしわざのかずかずは]	書165	曲-日3720	
歌-日1485	をさめしわざの数々は [卒業式歌]	卒業式歌 [をさめしわざの数々は]	書217	曲-日3713	
歌-日1486	をさらばさらばいざさらば [告別歌]	告別歌	書122 書165	曲-日2355	
歌-日1487	おさらばさらば卒さらば [高僧ウルゼーの詩]	高僧ウルゼーの詩	書303	曲-日2255	
歌-日1488	おさるおさる	おさる	書54	曲-日929	
歌-日1489	お猿がお茶々を飲もうとすれば	猿蟹合戦 [お猿がお茶々を]	書267	曲-日2768	
歌-日1490	おさるがひばちへ	さるかにがっせん [おさるがひばちへ]	書104	曲-日2766	
歌-日1491	お祖父さんお祖母さん	お祖父さんお祖母さん	書202	曲-日931	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
お	歌-日1492	教えて敵にあらざるは	小学校教員	書203	曲-日3117
	歌-日1493	おしへのにはのひなとりよ	訓の庭 [おしへのにはのひなとりよ]	書233	曲-日934
	歌-日1494	をしへのにはのまさごには	教への庭 [をしへのにはのまさごには]	書165	曲-日933
	歌-日1495	牡鹿なく此の山里とえいじけん	小督 [牡鹿なく此の山里とえいじけん]	書200	曲-日2375
	歌-日1496	をしむもかひなき	送別(師に對す)	書121	曲-日3681
	歌-日1497	おしめどかいなしくれゆく	春の別れ [おしめどかいなしくれゆく]	書54 書69 書166 書337	曲-日5650
	歌-日1498	お正月どこまで	お正月 [お正月どこまで]	書380	曲-日939
	歌-日1499	お正月のおそなへに	餅つき [お正月のおそなへに]	書380	曲-日6664
	歌-日1500	忍路高島	忍路高島	書22	曲-日943
	歌-日1501	おせどのおせどの	信田の藪	書34	曲-日2951
	歌-日1502	おせどの親なし	もろこし畑	書34	曲-日6731
	歌-日1503	お背戸の藪かけ	啄木鳥	書315	曲-日1727
	歌-日1504	おせどもおせどもくるまはゆかず	輜重輸卒	書166 書255	曲-日2933
	歌-日1505	お空でひばりがうたひませう	春のうた [お空でひばりがうたひませう]	書51	曲-日5577
	歌-日1506	お空は青空よい天気	幼稚園行進曲	書51	曲-日7110
	歌-日1507	お玉じやくしが [お玉じやくし]	お玉じやくし [お玉じやくしが]	書266	曲-日953
	歌-日1508	お玉杓子が蛙になつた [蛙]	蛙 [お玉杓子が蛙になつた]	書60 書159 書160	曲-日1211
	歌-日1509	おたまじやくしは [お玉じやくし]	お玉じやくし [おたまじやくしは]	書54 書201 書382	曲-日952
	歌-日1510	小田原候の重臣の	二宮尊徳先生 [小田原候の重臣の]	書124	曲-日5081
	歌-日1511	お誕生お誕生おめでたう	お誕生の歌	書51	曲-日954
	歌-日1512	おちくぼの野の	あをぐさ	書29	曲-日45
	歌-日1513	遠近人の	浅間山	書119	曲-日252
	歌-日1514	落ちにし靴と	藤原鎌足	書270	曲-日5905
	歌-日1515	落葉はくも	家庭の楽	書282	曲-日1397
	歌-日1516	落葉はらはら	秋の夜 [落葉はらはら]	書231	曲-日165
	歌-日1517	落葉ふみてひとりたどる	一人旅	書225	曲-日5736
	歌-日1518	おちばはしもにうづもれて	冬景	書27 書223	曲-日4661
	歌-日1519	おちるこのみのよをこめて	かりがね	書54	曲-日1498
	歌-日1520	お月様いくつ十三なつ	お月様 [お月様いくつ]	書117	曲-日970
	歌-日1521	おつきさまえらいな	おつきさま [おつきさまえらいな]	書54 書68 書166	曲-日965
	歌-日1522	おつきさまおつきさまあなたは	お月様 [おつきさまおつきさまあなたは]	書54 書104	曲-日969
	歌-日1523	お月様お月様丸い顔を	お月様 [お月様お月様丸い顔を]	書266	曲-日971
	歌-日1524	おつきさまおつきさまはをかしいな	お月さま [おつきさまおつきさまはをかしいな]	書54	曲-日966
	歌-日1525	お月さんお月さんどこにいる	お月さん [お月さんお月さんどこにいる]	書17	曲-日975
	歌-日1526	おつきさんそらのひとりたび	お月さん [おつきさんそらのひとりたび]	書54 書60	曲-日973
	歌-日1527	お月さんのうへに	すべり橋	書117	曲-日3455
	歌-日1528	おつきさんひとりなの	お月さん [おつきさんひとりなの]	書54	曲-日974
	歌-日1529	をつとに別れ子にわかれ	春日局	書270	曲-日1326
	歌-日1530	お手々つないで野みちをゆけば	靴が鳴る	書2 書117	曲-日1934
	歌-日1531	おてらのどぶのぼうふらだちは	ぼうふらの踊	書54	曲-日6130
	歌-日1532	おてらのぼーさんなにしてる [早口の歌]	早口の歌	書54	曲-日5512
	歌-日1533	お寺の坊さん何してる [お寺の坊さん]	お寺の坊さん	書23	曲-日986
	歌-日1534	おとうさまおやうふく	おさんぽ	書27	曲-日930
	歌-日1535	おとうさんおかあさん	お月さま [おとうさんおかあさん]	書94 書138 書225	曲-日967
	歌-日1536	おとうとはあににたすけられ	兄弟朋友の交	書165	曲-日1829
	歌-日1537	男海ゆく荒海を	男海ゆく	書323	曲-日988
	歌-日1538	おとこひとたびそらゆけば	海の荒鷲	書236	曲-日680
	歌-日1539	落しに	ねずみ [落しに]	書46	曲-日5186
	歌-日1540	音と一よに紙風船が	花火 [音と一よに紙風船が]	書60	曲-日5457
	歌-日1541	訪なう声に出て見れば	夢路	書60	曲-日7083
	歌-日1542	音なく暮るる	花の少女 [音なく暮るる]	書188 書265	曲-日5442
	歌-日1543	音に聞へし文覚は	文覚上人	書203	曲-日6733
	歌-日1544	乙女恋せばひとすちに	同志の歌	書392	曲-日4670
	歌-日1545	少女心は白帆の鷗よ	新興日本少女の歌	書184	曲-日3286
	歌-日1546	少女のすがたに身をやつし	日本武尊 [少女のすがたに]	書137	曲-日6864
	歌-日1547	をとめのすがたよそほひて	日本武尊 [をとめのすがた]	書165	曲-日6866
	歌-日1548	音もしづけき春雨の	春雨 [音もしづけき春雨の]	書161	曲-日5556
	歌-日1549	おどりおどつた	こぶ取り [おどりおどつた]	書159	曲-日2533
	歌-日1550	踊りをどり桃と桜の	子供の踊	書31 書54 書184	曲-日2477
	歌-日1551	踊りまじよかよ篝は燃える	祇園囃子	書385	曲-日1609
	歌-日1552	踊る阿呆に見る阿呆	阿波踊(徳島)	書385	曲-日382
	歌-日1553	踊れやよ歌えやよ	激励	書232	曲-日2112
	歌-日1554	踊れよ!	踊れ子供等!	書232	曲-日999
	歌-日1555	をどろろをどろろ足拍子そろへ	太郎さんの夢 第一の歌	書24	曲-日4284
	歌-日1556	衰えたりし家運をば	伊能忠敬	書270	曲-日515
	歌-日1557	をな子と生れ出でし身は	女子の務	書165	曲-日1001
	歌-日1558	おなじ少女と生まれ来て	少女のまとい	書86	曲-日996
	歌-日1559	おなじき学びの	同窓会 [おなじき学びの]	書350	曲-日4680
	歌-日1560	同じ自然のおん母の	星と花	書310	曲-日6177
	歌-日1561	同じ窓に今日は語り	卒業のわかれ [同じ窓に今日は語り]	書225	曲-日3735
	歌-日1562	鬼討ち平らげ	幼な日の憶ひ出	書269	曲-日925
	歌-日1563	鬼を欺く	虫の歌 [鬼を欺く]	書257	曲-日6563
	歌-日1564	鬼が島小島は	後の鬼が島	書4	曲-日5267
	歌-日1565	お庭をうづめはえてるつつじ	つつじ	書116	曲-日4497
	歌-日1566	オニハニデキタ	ユキダルマ [オニハニデキタ]	書171	曲-日7027
	歌-日1567	お庭に桃がさいている	春の遊 [お庭に桃がさいている]	書94 書225	曲-日5573
	歌-日1568	お庭の池をながれる水は	お庭の池	書263	曲-日1010
	歌-日1569	おにはのいけにういている	蓮の葉の露	書54	曲-日5345
	歌-日1570	お庭の池のこちらに咲いたお花は	お花のぼーと	書117	曲-日1024

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
お	歌-日1571	お庭の梅が満開で	仲よし(梅と鶯)	書174 書222	曲-日4855
	歌-日1572	おにはのうめに	うぐひす [おにはのうめに]	書104	曲-日585
	歌-日1573	おにはのかきねのきくのはな	菊 [おにはのかきねのきくのはな]	書166 書378	曲-日1618
	歌-日1574	学校の桜さやうなら	卒業式の日	書3	曲-日3726
	歌-日1575	御庭のさくらたちばなを	平重盛 [御庭のさくらたちばなを]	書270	曲-日4098
	歌-日1576	お庭の隅の [かたつむり]	かたつむり [お庭の隅の]	書266	曲-日1358
	歌-日1577	おにはのすみのおにだるま [雪だるま]	雪だるま [おにはのすみのおにだるま]	書54	曲-日7029
	歌-日1578	お庭のすみの雪達摩 [雪達摩と雪兎]	雪達摩と雪兎	書60	曲-日7037
	歌-日1579	お庭の松の木の枝に	蜘蛛 [お庭の松の木の枝に]	書60	曲-日1971
	歌-日1580	尾の上なる	ゆかしき夕	書257	曲-日6993
	歌-日1581	各自殊に	益荒猛夫 [各自殊に]	書374	曲-日6303
	歌-日1582	おのが心に	神や守らむ	書178	曲-日1461
	歌-日1583	おのが心のいかなれば	LORELEY [おのが心のいかなれば]	書15	曲-日7322
	歌-日1584	おのがさかえをますのみか	国の光 [おのがさかえをますのみか]	書73 書166	曲-日1948
	歌-日1585	己がつとめのそがために	消防の曲	書375	曲-日3179
	歌-日1586	己が羽風に散りそむる	暮春 [己が羽風に散りそむる]	書311	曲-日6184
	歌-日1587	小野のこ萩の	秋風 [小野のこ萩の]	書120 書121	曲-日94
	歌-日1588	斧のひびきココココ	斧のひびき	書78	曲-日1020
	歌-日1589	おのりをなめた	すずめのおやど [おのりをなめた]	書104	曲-日3431
	歌-日1590	おのれの業にゆだんなく	一心にかせげ	書124	曲-日473
	歌-日1591	おのれもうなるかこしがたな	こしがたな	書166	曲-日2405
	歌-日1592	おぼこ来るかやと [庄内おぼこ]	庄内おぼこ(山形)	書385	曲-日3154
	歌-日1593	おぼこ来るかやと田圃のはんづれまで [庄内おぼこ節]	庄内おぼこ節	書363	曲-日3155
	歌-日1594	おぼこ何ぼになる [秋田おぼこ節]	秋田おぼこ節	書363	曲-日103
	歌-日1595	おぼこ幾歳になる [秋田おぼこ]	秋田おぼこ(秋田)	書385	曲-日102
	歌-日1596	お花がさいてきれいなお庭	歌ひませう	書262	曲-日634
	歌-日1597	尾花が末に秋は立ちて	雁 [尾花が末に秋は立ちて]	書182 書336	曲-日1496
	歌-日1598	尾花が袂招き	秋の散歩 [尾花が袂招き]	書60	曲-日127
	歌-日1599	をばなかれふすふゆののべ	保昌 [をばなかれふすふゆののべ]	書165 書169 書284	曲-日6778
	歌-日1600	お話お話しうれしな	お話きませう	書51	曲-日1023
	歌-日1601	をばな花咲きて風にそよぎ	故郷 [をばな花咲きて風にそよぎ]	書223	曲-日6005
	歌-日1602	おはやう [おはやう]	おはやう [おはやう]	書232	曲-日1026
	歌-日1603	お早うお早う [お早うの歌]	お早うの歌	書51	曲-日1028
	歌-日1604	をばよをばよ [おはよ]	おはよ [をばよをばよ]	書166	曲-日1029
	歌-日1605	おはらおはらは何処でも流行る	小原節(富山)	書385	曲-日1033
	歌-日1606	おひがでてゆくあさはやく	晴天雨天	書27	曲-日3521
	歌-日1607	お日さまがぎらぎらぎらぎら	あついでせう	書117	曲-日285
	歌-日1608	お日さまのぼるもえたつみどり	鯉のぼり [お日さまのぼるもえたつみどり]	書190	曲-日2178
	歌-日1609	おひさまやまをいづるとき	お日さま [おひさまやまをいづるとき]	書54	曲-日1037
	歌-日1610	おひるのサイレンなりました	おべんたうの歌	書51	曲-日1047
	歌-日1611	おぼろ月夜にしくくと	からたちの花 [おぼろ月夜にしくくと]	書358	曲-日1489
	歌-日1612	朧月夜に仄白く	第二十八回記念祭歌(7年南)	書386	曲-日4021
	歌-日1613	朧月空にかり	春の夕べ [朧月空にかり]	書269	曲-日5644
	歌-日1614	朧月夜の花の蔭	第二十六回記念祭歌(5年中)	書386	曲-日4037
	歌-日1615	おぼろにかすむさくらのあした	故郷の空 [おぼろにかすむさくらのあした]	書54	曲-日2337
	歌-日1616	朧に霞む月の宴	第二十六回記念祭歌(5年西)	書386	曲-日4036
	歌-日1617	おぼろにくもるはるのよの	落梅 [おぼろにくもるはるのよの]	書166 書285	曲-日7195
	歌-日1618	おぼろににほふ [おぼろ]	おぼろ	書151 書153 書161 書166 書169 書226	曲-日1052
	歌-日1619	おぼろににほふ [朧月夜]	朧月夜 [おぼろににほふ]	書225 書337	曲-日1054
	歌-日1620	おぼろの月かけ	楽しき家庭	書265	曲-日4213
	歌-日1621	朧の月に	塩原温泉	書108	曲-日2829
	歌-日1622	お前とならば何処迄も	どこまでも節	書385	曲-日4756
	歌-日1623	お前一人か	ギツチョンチョン節	書368	曲-日1726
	歌-日1624	おみづぼちやぼちやおいけのかへる	お池のかへる [おみづぼちやぼちやおいけのかへる]	書54	曲-日810
	歌-日1625	女郎花すすきや花や	秋の夕ぐれ [女郎花すすきや花や]	書28	曲-日156
	歌-日1626	お宮のおまつり	お祭日	書206	曲-日1060
	歌-日1627	おめがさめておべきて	ちご草	書166	曲-日4344
	歌-日1628	思ひ出づるは月照る宵よ	友懐ふ宵	書54	曲-日4791
	歌-日1629	おもひいづれば [思ひいづれば]	思ひいづれば	書132 書139 書151 書153 書161 書165 書169 書170 書225	曲-日1061
	歌-日1630	思ひ出づれば十四年	第十四回記念祭寄贈歌(37年東大)	書386	曲-日3919
	歌-日1631	思ひかへせば	望郷の歌 [思ひかへせば]	書324	曲-日6093
	歌-日1632	思ひしのびて朝な夕な	かなしみ [思ひしのびて朝な夕な]	書28	曲-日1412
	歌-日1633	思ひぞ出づる桜井の	小楠公の歌	書165 書172	曲-日3160
	歌-日1634	おもひだしますお吉の声を	唐人お吉の唄(黒船篇)	書385	曲-日4674
	歌-日1635	思出ある	血染の連隊旗	書181	曲-日4348
	歌-日1636	思に更くる	懺悔の涙	書219	曲-日2790
	歌-日1637	思はふかき渡津海の	王師遠征の歌 [思はふかき渡津海の]	書16	曲-日831
	歌-日1638	思ふ国へ導き給へ [IPHIGENIE IN AULIS. (思ふ国)]	IPHIGENIE IN AULIS. (思ふ国)	書100	曲-外16
	歌-日1639	思ふ国へ導き給へ [イフイゲエニイ]	イフイゲエニイ	書28	曲-日522
	歌-日1640	おもふ友どち打連れてすみれや摘ん花や見ん	和歌山の四季	書303	曲-日7412
	歌-日1641	思ふ昔の瀾り行く	第十七回記念祭寄贈歌(40年京大)	書386	曲-日3892
	歌-日1642	おもへばあはれ	亡友を想ふ [おもへばあはれ]	書100 書265	曲-日4868
	歌-日1643	思えば畏し	陸軍行進曲 其一	書40	曲-日7222
	歌-日1644	思へば遠し神の御代	第九回記念祭歌(32年南)	書386	曲-日3776
	歌-日1645	思えば友の	夢 [思えば友の]	書120 書121	曲-日7081
	歌-日1646	思へばなつかしや	懐友 [思へばなつかしや]	書215	曲-日1200
	歌-日1647	おもへばはてなきまなびのみち	思へばはてなき	書166 書230	曲-日1064
	歌-日1648	憶へばむかし [上田週遊唱歌]	上田週遊唱歌	書13	曲-日571
	歌-日1649	おもへば昔学校の	旧友	書54	曲-日5992

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
お	歌-日1650	おもへばゆかしき [女のかがみ(紫式部)]	女のかがみ(紫式部)	書175	曲-日1115
	歌-日1651	おもへばゆかしきをしへのたね [女のかがみ]	女のかがみ	書165	曲-日1114
	歌-日1652	思へばゆめかや歳月は	幼き頃	書350	曲-日918
	歌-日1653	おもかぢとりかぢ磁石のしるべ	灯台 [おもかぢとりかぢ]	書122 書166	曲-日4684
	歌-日1654	おもきみことを身に負持ちて	和氣清塵 [おもきみことを身に負持ちて]	書136	曲-日7439
	歌-日1655	おもしろやおもしろや	春 [おもしろやおもしろや]	書165	曲-日5524
	歌-日1656	おもだかのはなは	おもだか	書166 書176	曲-日1065
	歌-日1657	おもちやのはこから	おもちやあそび	書222	曲-日1067
	歌-日1658	おもちやのらっぱとてとてた	戦ごっこ	書54	曲-日409
	歌-日1659	おもはぬかたにも	つれづれ	書166 書175	曲-日4556
	歌-日1660	オヤヲダイジニ	松平好房	書124	曲-日6320
	歌-日1661	親子の亀がお池から	親亀子亀	書222	曲-日1075
	歌-日1662	お休みには	お休み	書17	曲-日1079
	歌-日1663	親にうけたるつつがなき身もて	うれしや我は	書116	曲-日736
	歌-日1664	親に孝君には忠	誠の道 [親に孝君には忠]	書309	曲-日6281
	歌-日1665	おやににないで	かんがへもの	書104	曲-日1550
	歌-日1666	おやにまめなるこよろぎの	磯辺の波	書165	曲-日453
	歌-日1667	お屋根の上で	おねんね時	書315	曲-日1016
	歌-日1668	おやのをしへのことのはを	黄金の花	書165	曲-日2322
	歌-日1669	おやのこをおもふころは	親の子	書102 書165	曲-日1089
	歌-日1670	親のころにかなはずば	中江藤樹	書270	曲-日4847
	歌-日1671	親の賜ひしわがこの身	わがこの身	書225	曲-日7366
	歌-日1672	親の為千々に尽しし人の子は	二宮尊徳 [親の為千々に尽しし人の子は]	書8	曲-日5076
	歌-日1673	親の恵に育まれ	少女のほこり	書2 書31 書222	曲-日3144
	歌-日1674	小山田の	水の変態 [小山田の]	書29 書93	曲-日6450
	歌-日1675	お山に登つて	お山	書266	曲-日1095
	歌-日1676	お山の [椿]	椿 [お山の]	書315	曲-日4501
	歌-日1677	おやまのおさはまりがすき	お山のお猿	書54 書60	曲-日1096
	歌-日1678	おやまのおやまのさるのこは	ねんねの唄 [おやまのおやまのさるのこは]	書54	曲-日5222
	歌-日1679	お山の大將おれひとり	お山の大將	書117	曲-日1097
	歌-日1680	およそからだのよーじよーは	養生	書68	曲-日7107
	歌-日1681	凡そ男子が成長し	少年の勤	書203	曲-日3170
	歌-日1682	おらが善光寺さんが	信濃よいとこ	書363	曲-日2946
	歌-日1683	おりなすにしきくらにすみれ	織りなす錦	書67 書139 書165 書170 書225 書284 書337	曲-日1100
	歌-日1684	おりなせにしき	おりなせ錦	書381	曲-日1101
	歌-日1685	オリムバスなる諸神の	第二十一回記念祭歌(44年南)	書386	曲-日3970
	歌-日1686	おるはたのをさなぐるての	駒	書166	曲-日2536
	歌-日1687	おれは河原の枯れすすき	船頭小唄	書11 書385	曲-日3630
	歌-日1688	おろかなるおろかなる	海軍記念日の歌 [おろかなるおろかなる]	書35	曲-日1129
	歌-日1689	おろかなる心につくす誠をは	海軍記念日の歌 [おろかなる心につくす]	書36	曲-日1130
	歌-日1690	おろろんおろろんねむらんよ	海鳴	書54	曲-日675
	歌-日1691	おだはらごうのしゅっしんの	二宮尊徳先生 [おだはらごうのしゅっしんの]	書165	曲-日5079
	歌-日1692	おんごくなは	おんごく	書368	曲-日1110
	歌-日1693	をんどりはまがきのうへに	鶉の歌	書27	曲-日5161
歌-日1694	女の仕業多かれど	河瀬はる	書124	曲-日1523	
歌-日1695	恩にそむき君を攻む	豊臣秀吉 [恩にそむき君を攻む]	書270	曲-日4808	
歌-日1696	おんみとわれはこのしまに	離れ小島 [おんみとわれはこのしまに]	書166	曲-日5474	
か	歌-日1697	可愛や駒鳥人をば思ひて	駒鳥と花子さん 第三の歌	書24	曲-日2539
	歌-日1698	カーカーカラス [カラス]	カラス [カーカーカラス]	書94 書138 書225	曲-日1478
	歌-日1699	かあかあからすがないたれば	冬が来た [かあかあからすがないたれば]	書54	曲-日5959
	歌-日1700	かあかあ鳥がなくて行く	鳥 [かあかあ鳥がなくて行く]	書207	曲-日1481
	歌-日1701	かあかあからすたびがらす	旅鳥	書54	曲-日4246
	歌-日1702	かあさまかあさまじゅんれいが	巡礼 [かあさまかあさまじゅんれいが]	書54	曲-日3103
	歌-日1703	母さんお肩をたたきませう	肩たたき	書2 書31 書315	曲-日1356
	歌-日1704	母さんお手紙有難う	南京だより	書363	曲-日4989
	歌-日1705	かあさん里は	母さん里	書34	曲-日1120
	歌-日1706	怪雲ウラルの峰にたち	征露の歌 [怪雲ウラルの峰にたち]	書16	曲-日3553
	歌-日1707	会稽山のふるごと	曾我復讐 [会稽山のふるごと]	書203	曲-日3699
	歌-日1708	かいこくいらいさんぜんねん	日本国 [かいこくいらいさんぜんねん]	書45 書165	曲-日5095
	歌-日1709	海国男児の本領を	軍艦戦闘 [海国男児の本領を]	書118	曲-日2035
	歌-日1710	養蚕せよかしせよかひこ	養蚕唱歌 [養蚕せよかしせよかひこ]	書115	曲-日7105
	歌-日1711	外戚を侍ひて振ふ悪逆暴威	閔族流罪	書375	曲-日5828
	歌-日1712	海面飛交ふ砲丸は	軍艦戦闘 [海面飛交ふ砲丸は]	書118	曲-日2036
	歌-日1713	海洋島の一角に	瑞應	書314	曲-日3386
	歌-日1714	海陸二軍の凱歌の声	凱旋 [海陸二軍の凱歌の声]	書80	曲-日1176
	歌-日1715	廻廊に汐満ち	敵島 [廻廊に汐満ち]	書328	曲-日472
	歌-日1716	かいわれもみじてかたくにぎり	嬰兒	書165	曲-日764
	歌-日1717	嘉永六とせの夏の頃	海国記念ペルリ渡来の歌	書37	曲-日1149
	歌-日1718	かへらしとかねて思へば梓ゆみ	正行の歌	書376	曲-日6294
	歌-日1719	還ります日のなしと聞く	乃木大将夫人	書270	曲-日5257
	歌-日1720	かへりみる狭霧の門に	兄弟 [かへりみる狭霧の門に]	書86	曲-日1825
	歌-日1721	かへり行とも [かへり行とも]	かへり行とも	書381	曲-日1208
	歌-日1722	かへりゆくともかすみ [つばくらめ]	つばくらめ [かへりゆくともかすみ]	書54 書161 書379	曲-日4505
	歌-日1723	かへるぎやあきやあたにしごとと	蛙と田螺	書54	曲-日1217
	歌-日1724	かへる燕は木の葉のお船ね	木の葉のお船	書2 書117 書315	曲-日2518
	歌-日1725	蛙の歌があ池に	蛙 [蛙の歌があ池に]	書78	曲-日1215
	歌-日1726	かへるのこどもかへるのこども	蛙の子	書27	曲-日1219
	歌-日1727	蛙も小鳥も	蛙も小鳥も	書232	曲-日1220
	歌-日1728	蛙よ蛙	蛙の歌	書60	曲-日1218

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
か	歌-日1729	かへれまよへるひと	帰れよ今夜	書70 書71	曲-日1221
	歌-日1730	帰れり国のよき兵士	除隊の歌	書240 書241	曲-日3229
	歌-日1731	かへろかへろと何見てかへる	かへろかへろと	書241	曲-日1223
	歌-日1732	顔に両手を	かくれんぼ [顔に両手を]	書60 書202	曲-日1270
	歌-日1733	薫を伝ふる	徳不孤	書282	曲-日4733
	歌-日1734	かをりきよい菊の花	菊 [かをりきよい菊の花]	書262	曲-日1621
	歌-日1735	かをりにしらるる	薫にしらるる	書151 書153 書161 書165 書169 書225	曲-日1224
	歌-日1736	かほりのみたまおふよしもなき	第二十三回記念祭歌(2年)	書386	曲-日3985
	歌-日1737	かをりも高いたちばなを	田道間守	書190	曲-日4172
	歌-日1738	かをれかをれさくらのはなよ	かをれ [かをれかをれ]	書166	曲-日1225
	歌-日1739	かをれにほえ	かをれ [かをれにほえ]	書132 書151 書153 書161	曲-日1226
	歌-日1740	かをれる風にををしく	さつき鯉	書225	曲-日2715
	歌-日1741	かをれる黄菊	此里此園	書223 書269	曲-日2510
	歌-日1742	かがげし雪の玉すだれ	玉簾	書165	曲-日4265
	歌-日1743	案山子の弓矢は伊達かいな	案山子 [案山子の弓矢は伊達かいな]	書232	曲-日1231
	歌-日1744	峨峨たる巖連りて	妙義山	書47 書138	曲-日6533
	歌-日1745	かがなえて	忠魂を吊ふ歌	書287	曲-日4378
	歌-日1746	かがみなす	鏡なす	書67 書139 書152 書153 書161 書164 書166 書169 書170 書225	曲-日1239
	歌-日1747	かがみのごとくたひらかに	湖上の花	書54 書225 書309 書337	曲-日2423
	歌-日1748	かがやきのぼるあさひかけ	朝起 [かがやきのぼるあさひかけ]	書165	曲-日194
	歌-日1749	輝きのぼる初日の光	新年 [輝きのぼる初日の光]	書263	曲-日3327
	歌-日1750	輝き渡る紅の	第十一回記念祭歌(34年中)	書386	曲-日3864
	歌-日1751	かがやく旭の [軍国唱歌 敵は幾万]	軍国唱歌 敵は幾万	書75	曲-日2076
	歌-日1752	輝く朝日の [わが陸軍]	わが陸軍 [輝く朝日の]	書225	曲-日7414
	歌-日1753	かがやく梅のお節供は	梅の節供	書14	曲-日712
	歌-日1754	かがやく国の	送別 [かがやく国の]	書225	曲-日3673
	歌-日1755	輝く空に連なる雪の頂	山の凱歌	書241	曲-日6896
	歌-日1756	かがやく春の	春日	書350	曲-日3098
	歌-日1757	輝く日の影はゆる野山	スキーの歌	書213 書214	曲-日3395
	歌-日1758	かがやく路のさすらひや	かがやく路	書77	曲-日1242
	歌-日1759	かがりびもえたつよるのかぜ	赤十字 [かがりびもえたつよるのかぜ]	書166	曲-日3570
	歌-日1760	かきながせるふでのあやに	才女	書67 書153 書154 書161 書165 書169 書225 書226	曲-日2619
	歌-日1761	かぎになり	学校ごっこ [かぎになり]	書201 書382	曲-日1381
	歌-日1762	垣根で黄金の鈴を振る	黄金の鈴	書31	曲-日2319
	歌-日1763	垣根で三羽の小雀が	雀のおしやべり [垣根で三羽の小雀が]	書222	曲-日3429
	歌-日1764	垣根にさく朝顔	朝顔 [垣根にさく朝顔]	書185	曲-日202
	歌-日1765	根柢に三羽の小雀が	雀のおしやべり [根柢に三羽の小雀が]	書60	曲-日3430
	歌-日1766	垣根にすがる鶯かづら	教訓歌	書28	曲-日1809
	歌-日1767	かきねにつるを	あさがほ [かきねにつるを]	書94 書138 書206 書225	曲-日197
	歌-日1768	垣根に匂ふいばらの花唇あげて風に笑み	いもとの名	書87	曲-日537
	歌-日1769	垣ねの朝がほ	朝がほ [垣ねの朝がほ]	書159	曲-日199
	歌-日1770	垣根の川に魚躍り	山家	書147 書148	曲-日2779
	歌-日1771	垣根の薔薇に	垣根の薔薇	書281	曲-日1246
	歌-日1772	垣根のほとり	愛らしの雛鳥	書182 書336	曲-日37
	歌-日1773	かきねのやぶれ見るにつけても	いろいろの戒め	書90	曲-日543
	歌-日1774	垣の朝顔	垣の朝顔	書60 書265	曲-日1247
	歌-日1775	垣のうのはな雪のごと	卯の花 [垣のうのはな雪のごと]	書161	曲-日661
	歌-日1776	柿の木の	秋の風	書40 書202	曲-日120
	歌-日1777	かぎりなき	養蚕の歌	書324	曲-日7106
	歌-日1778	かぎりなきうみの	主の猛浪我上を覆へり	書70	曲-日3077
	歌-日1779	限りもあらぬ	風揚げ	書204	曲-日4168
	歌-日1780	かぎりもしられぬうなばらに	闇籠 [かぎりもしられぬうなばらに]	書87 書165	曲-日2587
	歌-日1781	赫々と	常夏姫	書178	曲-日4754
	歌-日1782	郭公の声に迷夢の夜は明けて	昭和三年寮歌	書77	曲-日3188
	歌-日1783	学者の家に身はいでて	管公 [学者の家に身はいでて]	書60 書165 書225 書309	曲-日1573
	歌-日1784	楽人の生命と頼む	嗚呼ベートーヴェン	書223	曲-日9
	歌-日1785	がくせつつかにすすむとも [学説]	学説	書166	曲-日1254
	歌-日1786	がくせつつかにすすむとも [大和心]	大和心 [がくせつつかにすすむとも]	書169	曲-日6857
	歌-日1787	がくたいあそび	がくたいあそび [がくたいあそび]	書104	曲-日1255
	歌-日1788	楽の音よと	楽のおとづれ	書222	曲-日1258
	歌-日1789	がくもんしなけりや	がくもん	書144 書165	曲-日1260
	歌-日1790	学問ひろい貝原先生	貝原益軒先生	書124	曲-日1196
	歌-日1791	神楽が岡の夕まぐれ	友を憶ふ	書387	曲-日4790
	歌-日1792	かくれがはなれし	母 [かくれがはなれし]	書120 書165	曲-日5483
	歌-日1793	かげをひそめてたなのうへに	ねづみ [かげをひそめてたなのうへに]	書166	曲-日5187
	歌-日1794	掛けまくも [千代田の宮]	千代田の宮 [掛けまくも]	書283	曲-日4423
	歌-日1795	掛け巻くもあやに畏こき事ながら	仁徳天皇の至慈	書237	曲-日5177
	歌-日1796	かげみつつこころつろふ	鏡 [かげみつつこころつろふ]	書146 書166	曲-日1235
	歌-日1797	かげもこぼる霜夜の月	月夜	書311	曲-日4486
	歌-日1798	駆けよや駆けよ我が友いざや	駆けよや駆けよ	書262	曲-日1285
	歌-日1799	かげる日影あとをおひつつ	今日も暮れゆく [かげる日影あとを]	書60	曲-日1841
	歌-日1800	かげる日影の	今日も暮れゆく [かげる日影の]	書350	曲-日1842
	歌-日1801	かげらふのぼるはたにをだに	農夫 [かげらふのぼるはたにをだに]	書54 書135	曲-日5235
	歌-日1802	かげらうふもえぬるはるののべや	春の野辺	書27	曲-日5629
	歌-日1803	かげらうふもゆる [のどか]	のどか	書159	曲-日5270
	歌-日1804	かげらふ燃ゆる [初夏]	初夏 [かげらふ燃ゆる]	書47 書54	曲-日3195
	歌-日1805	かげらふゆらゆら	洗濯裳	書358	曲-日2823
	歌-日1806	かげんぼうしかげぼうし	影法師 [かげんぼうしかげぼうし]	書54	曲-日1282
	歌-日1807	鹿児島離れて南へ八里	鹿児島浜節(鹿児島)	書385	曲-日1289

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
か	歌-日1808	駕籠で行くのはお軽ぢやないか	どんどん節	書385	曲-日4830
	歌-日1809	籠で行くのはお吉ぢやないか	唐人お吉の唄	書385	曲-日4673
	歌-日1810	かごのうぐひすかはいいことり	かごのうぐひす	書174	曲-日1290
	歌-日1811	かごめかごめ	かごめ	書46 書166	曲-日1294
	歌-日1812	笠置の皇居をさしてゆく	古戦場 [笠置の皇居をさしてゆく]	書143	曲-日2437
	歌-日1813	かさぎのやまをいでしより	五忠臣	書165	曲-日2452
	歌-日1814	笠置の山をいでしより	忠臣 [笠置の山をいでしより]	書139 書170	曲-日4383
	歌-日1815	笠置の山の行在所	笠置落	書93 書138	曲-日1298
	歌-日1816	笠置の山のいただきに	笠置山 [笠置の山のいただきに]	書1 書28	曲-日1299
	歌-日1817	かざぐるまかぜのまにまに	風車 [かざぐるまかぜのまにまに]	書67 書139 書161 書164 書166 書170 書225 書379 書381	曲-日1302
	歌-日1818	風車めぐるは	風車 [風車めぐるは]	書92	曲-日1306
	歌-日1819	笠取山に	醍醐の花見	書283	曲-日3797
	歌-日1820	かさなるおちばふみわけて	ただ望	書166	曲-日4184
	歌-日1821	風間にゆらめくさざら波	水上の月	書28	曲-日3377
	歌-日1822	かしこき勅下りしより	陸軍戦捷記念日祝歌	書384	曲-日7225
	歌-日1823	畏く光る天つ日の	常若の花	書184	曲-日3138
	歌-日1824	かしこにみゆるはやしのなか	森の小鳥 [かしこにみゆるはやしのなか]	書54	曲-日6720
	歌-日1825	かしひのうらへかみわかれ	三韓征伐	書166	曲-日2786
	歌-日1826	柏の濃緑色 冴えまさり	第二十四回記念祭歌(39年北)	書386	曲-日4031
	歌-日1827	柏の下葉ゆるがせて [第十六回記念祭歌(39年九大)]	第十六回記念祭歌(39年九大)	書386	曲-日3927
	歌-日1828	柏の下葉ゆるがせて [柏の下葉(一高)]	柏の下葉(一高)	書40	曲-日1323
	歌-日1829	柏の旗の行くところ	陸上運動部部歌	書386	曲-日7226
	歌-日1830	歌人小町が遊べる土	山本郡下岩川村の歌	書253	曲-日6913
	歌-日1831	かずあるこみちは	数あるこみち	書54 書120	曲-日1325
	歌-日1832	かすかなる息吹く春風よ	春の讃め歌	書239	曲-日5633
	歌-日1833	数ならねども我もまたすめら御国の大み民	臣民	書237	曲-日3344
	歌-日1834	霞をしのぎて雲井のそらに	雲雀 [霞をしのぎて]	書134 書138	曲-日5774
	歌-日1835	かすみをしをのびてくいの	雲雀 [かすみをしをのびて]	書54	曲-日5768
	歌-日1836	霞かかれる遠山	波上の音楽	書281	曲-日5339
	歌-日1837	霞かぎれる梢より	第十六回記念祭歌(39年南)	書386	曲-日3932
	歌-日1838	かすみかくもかはたゆきか	霞か雲か	書67 書139 書152 書153 書161 書164 書165 書170 書225 書379	曲-日1329
	歌-日1839	かすみきえし	晩春	書282	曲-日5678
	歌-日1840	霞薫んずる深山辺の	第十八回記念祭歌(41年采)	書386	曲-日3915
	歌-日1841	霞こむる春には	楽しき我家 [霞こむる春には]	書28	曲-日4233
	歌-日1842	霞ぞあはく	春の野 [霞ぞあはく]	書60 書350	曲-日5622
	歌-日1843	かすみたつやそらのけしき	雲雀 [かすみたつやそらのけしき]	書166 書279	曲-日5781
	歌-日1844	かすみたなびき	森の楽隊	書54 書138	曲-日6718
	歌-日1845	霞たなびく大内や	中央線鉄道唱歌	書278	曲-日4370
	歌-日1846	霞たなびく春来れば	宇土郡松合町郷土の歌	書253	曲-日659
	歌-日1847	霞たなびく春の山路を	春の山 [霞たなびく春の山路を]	書121 書336	曲-日5637
	歌-日1848	かすみにあがれり	朝雲雀	書54 書166	曲-日245
	歌-日1849	霞にきゆるあげひばり	あげひばり [霞にきゆるあげひばり]	書141	曲-日180
	歌-日1850	かすみにきゆるかりがねも	春の夜 [かすみにきゆるかりがねも]	書153 書154 書161 書165 書169 書225 書226	曲-日5646
	歌-日1851	かすみにしむつきのよは	亡父を思う	書166	曲-日6129
	歌-日1852	かすみにしづめるつきかげみれば	月みれば	書166	曲-日4485
	歌-日1853	霞につづくは花の雲	桜 [霞につづくは花の雲]	書208	曲-日2672
	歌-日1854	かすみにつつめるはるの	春の野 [かすみにつつめるはるの]	書28	曲-日5618
	歌-日1855	かすみにとじし	四季の詠 [かすみにとじし]	書165 書175	曲-日2860
	歌-日1856	霞に匂ふ遠山もとの	春暁 [霞に匂ふ遠山もとの]	書122	曲-日3094
	歌-日1857	霞にほほえむおかの桜	野の幸	書2 書31 書184 書240	曲-日5276
	歌-日1858	霞の奥に	春の野 [霞の奥に]	書353	曲-日5623
	歌-日1859	かすみのかげに	春やいづこに	書257	曲-日5654
	歌-日1860	かすみのころも	さくら [かすみのころも]	書134 書138	曲-日2652
	歌-日1861	霞の露を	楽しわれ [霞の露を]	書29	曲-日4243
	歌-日1862	かすみのとばりは	御代の春	書121	曲-日6540
	歌-日1863	霞一夜の明け難てに	第二十八回記念祭歌(7年中)	書386	曲-日4020
	歌-日1864	霞も今日のみ	汐干	書178	曲-日2831
	歌-日1865	かすみはたなびきうぐひすうたへり	春風 [かすみはたなびきうぐひすうたへり]	書169	曲-日5545
	歌-日1866	かすみはみどりに	山里 [かすみはみどりに]	書54	曲-日6844
	歌-日1867	かすむそらにあがるひばり	雲雀 [かすむそらにあがるひばり]	書47 書54	曲-日5769
	歌-日1868	霞む山べは紫にほひ	我等の村	書213 書214	曲-日7488
	歌-日1869	かすむゆふひにおくられて	霞む夕日	書165 書366	曲-日1332
	歌-日1870	かすむよのつきもよし	雪ふまん	書165 書169	曲-日7057
	歌-日1871	かすめる大空	春たけなは	書350	曲-日5560
	歌-日1872	霞める空に [四季の富士]	四季の富士	書225	曲-日2863
	歌-日1873	かすめるそらにあめふれば	かすめる空	書132 書152 書153 書161 書165	曲-日1333
	歌-日1874	かすめるそらにきえのこる	富士 [かすめるそらにきえのこる]	書165	曲-日5862
	歌-日1875	霧める空に消え残る [商船学校歌]	商船学校歌	書40	曲-日3149
	歌-日1876	霞めるみ空に消えのこる [白菊(東京商船学校歌)]	白菊(東京商船学校歌)	書385	曲-日3244
	歌-日1877	風暖き五月のはじめ	蚕 [風暖き五月のはじめ]	書210	曲-日1135
	歌-日1878	かぜをきってやのごと	スケーティング	書27	曲-日3400
	歌-日1879	風かきる	降り来る花	書350	曲-日5990
	歌-日1880	風がふくふく日が暮れる	ふなうた [風がふくふく日が暮れる]	書40	曲-日5936
	歌-日1881	かぜがふかうとふくまいと	水車 [かぜがふかうとふくまいと]	書54	曲-日3371
	歌-日1882	風清く月あかき	月夜の曲	書121	曲-日4488
	歌-日1883	風清く日はうららかに	秋の山 [風清く日はうららかに]	書211 書212	曲-日149
	歌-日1884	風くらき草叢に	初夏 [風くらき草叢に]	書312	曲-日3198
	歌-日1885	かぜさへかろくさきにねむり	静けき夜 [かぜさへかろくさきにねむり]	書27	曲-日2901
	歌-日1886	風静かに霞籠め	春は今	書337	曲-日5662

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
か	歌-日1887	かぜとなみとにおくられて	舟あそび [かぜとなみとにおくられて]	書67 書166	曲-日5929
	歌-日1888	風なき海に浪おこり	豊嶋の海戦	書235	曲-日6115
	歌-日1889	風に消えたる	塙保巳一	書159	曲-日5481
	歌-日1890	風に首振る高梁の	轎車	書358	曲-日1287
	歌-日1891	風にさそはれ高く低く	落葉 [風にさそはれ高く低く]	書116	曲-日962
	歌-日1892	風にさらさら高梁ゆるる	駱駝の鈴	書358	曲-日7193
	歌-日1893	かぜにふかれてそよそよと	風に吹かれて [かぜにふかれてそよそよと]	書54	曲-日1339
	歌-日1894	風にふかれてたえまなく	風車 [風にふかれてたえまなく]	書116	曲-日1305
	歌-日1895	風にまわる	まへ鼠	書225	曲-日6262
	歌-日1896	かぜのつるぎはふぶきをつんざき	威海衛 [かぜのつるぎはふぶきをつんざき]	書166	曲-日400
	歌-日1897	風の中の羽のやうに	リゴレット女心の唄	書11 書385	曲-日7231
	歌-日1898	風のまにまに	暮春 [風のまにまに]	書324	曲-日6186
	歌-日1899	かぜのやなぎの	燕 [かぜのやなぎの]	書230	曲-日4517
	歌-日1900	かぜはげしくともしのびなむ	風烈しくとも	書102 書165	曲-日1344
	歌-日1901	カゼフケカゼフケ	カゼフケ	書171	曲-日1345
	歌-日1902	風吹けもつと吹け	神鳴の唄	書23	曲-日1447
	歌-日1903	かぜもないのにおちてきて	蟻の船頭	書27	曲-日377
	歌-日1904	風もぬるめる臙夜や	夢幻	書312	曲-日6553
	歌-日1905	風も吹かぬに	落花 [風も吹かぬに]	書222	曲-日7206
	歌-日1906	かぜよおくれ	郷愁 [かぜよおくれ]	書27 書345	曲-日1817
	歌-日1907	風よ風	風 [風よ風]	書159 書213 書214	曲-日1335
	歌-日1908	風よ吹け吹け [風よ吹け]	風よ吹け	書46	曲-日1346
	歌-日1909	風よふけふけたこあがれ皆ここまで	たこ [風よふけふけたこあがれ]	書141	曲-日4166
	歌-日1910	かぜよふけふけたこたあがれ	たこ [かぜよふけふけたこたあがれ]	書68 書166	曲-日4164
	歌-日1911	かぜよふけふけはるかぜふけよ	風よふけふけ	書166	曲-日1347
	歌-日1912	風よふけふけ春風よ	凧 [風よふけふけ春風よ]	書380	曲-日4167
	歌-日1913	かぜはあらびて	日の御影	書46 書166	曲-日5760
	歌-日1914	風は落てさ夜更にけり	哨兵	書365	曲-日3177
	歌-日1915	風わたる五月の山を見上ぐれば	五月	書210	曲-日2313
	歌-日1916	風は烈しく砂を巻き火の手は益々熾なり	消防夫進発の歌	書375	曲-日3180
	歌-日1917	かぜはふくともみえぬゆふべ	しきりに散る花	書27	曲-日2873
	歌-日1918	風は北東風高帆に魔風	遠島甚句	書363	曲-日4768
	歌-日1919	かたをやないこは	山の狐	書34 書54	曲-日6897
	歌-日1920	かたかまやりを [かとうきよまさ]	かとうきよまさ [かたかまやりを]	書104	曲-日1398
	歌-日1921	かたかまやりのひかりには	鬼將軍	書166 書169	曲-日1007
	歌-日1922	固き蕾は綻びそめ	ばらは咲きぬ	書232	曲-日5520
	歌-日1923	固き蕾は綻びて花と開く鈴蘭	神の掬	書232	曲-日1450
	歌-日1924	形も色香もさまざまなれど [花]	花 [形も色香もさまざまなれど]	書130 書165	曲-日5399
	歌-日1925	形も色香もさまざまなれど [花の歌]	花の歌 [形も色香もさまざまなれど]	書309	曲-日5439
	歌-日1926	ガタンガットンガタンガットン	夜行列車	書358	曲-日6760
	歌-日1927	刀折れ	楠公	書350	曲-日1920
	歌-日1928	かたなるつつは	肩なる銃	書46 書166	曲-日1360
	歌-日1929	かたなはをれぬやはつきぬ	湊川 [かたなはをれぬやはつきぬ]	書165	曲-日6492
	歌-日1930	肩にかかる丈の黒髪	少女	書60	曲-日993
	歌-日1931	かたにはてつぼうこしにけん	兵隊 [かたにはてつぼうこしにけん]	書54	曲-日6055
	歌-日1932	かたみのいみなみだのたねと	哀悼	書147 書165	曲-日28
	歌-日1933	かたむく巖をつづる松が根	千山	書358	曲-日3609
	歌-日1934	片やまのしづが家のすずびし中においたちて	山間の玉	書303	曲-日2788
	歌-日1935	かたるよりも	愛の行	書70 書71	曲-日32
	歌-日1936	片割月の	恨の焰	書108	曲-日726
	歌-日1937	かちかちなのはなにのおと	かちかち山	書165 書378	曲-日1363
	歌-日1938	かちどきあげよかちどきあげよ	凱歌 [かちどきあげよかちどきあげよ]	書42 書166	曲-日1365
	歌-日1939	勝ちほこりたる敵兵を	加藤清正 [勝ちほこりたる敵兵を]	書211 書212	曲-日1405
	歌-日1940	カチューシャ可愛や	カチューシャの唄	書385	曲-日1366
	歌-日1941	学期は長きハケ年	小学校卒業	書203	曲-日3118
歌-日1942	学校あとに今は離る	卒業のわかれ [学校あとに今は離る]	書312	曲-日3734	
歌-日1943	学校がへりに近道を	梅の花	書190	曲-日713	
歌-日1944	かつこうが啼くよ	山みち [かつこうが啼くよ]	書117	曲-日6910	
歌-日1945	葛飾早稲のやつか穂を	新嘗祭 [葛飾早稲のやつか穂を]	書145 書165	曲-日5020	
歌-日1946	カッタカッタカッタ	時計 [カッタカッタ]	書225	曲-日4739	
歌-日1947	カツチンカツチン時計はひびく	時計 [カツチンカツチン]	書262	曲-日4740	
歌-日1948	勝って来るぞと勇ましく	露營の歌	書363	曲-日7315	
歌-日1949	Coffee飲むなよ	カフェー	書232	曲-日1395	
歌-日1950	活惚れ活惚れ	かつぼれ	書363	曲-日1396	
歌-日1951	かつら花咲く西の空	第十三回記念祭歌(36年中)	書386	曲-日3887	
歌-日1952	糧をたくはへ矢をはぎて	毛利元就 [糧をたくはへ矢をはぎて]	書28 書270	曲-日6662	
歌-日1953	勝て勝て負けるな雪合戦	雪合戦 [勝て勝て負けるな雪合戦]	書190	曲-日7021	
歌-日1954	かど田の稲葉いつしか黄ばみ	秋の里	書310	曲-日125	
歌-日1955	門田の露にきらめく朝日鳴子の音にむれたつ雀	農家	書87	曲-日5232	
歌-日1956	かどのべながれゆく	門辺の小川	書166 書176	曲-日1409	
歌-日1957	家内がみんな寝た時に	鼠 [家内がみんな寝た時に]	書60	曲-日5189	
歌-日1958	悲しがる愛は	悲しがる愛	書232	曲-日1411	
歌-日1959	悲しければ泣き	絵姿	書232	曲-日771	
歌-日1960	かなしみあるひと	エスの聖名	書70 書71	曲-日776	
歌-日1961	かなしやな	亡師友	書282	曲-日6099	
歌-日1962	かなたに聳ゆるかもじ山	加西郡富田村統計歌	書253	曲-日1295	
歌-日1963	かなたのをぶねはやなぎのかげに	舟あそび [かなたのをぶねはやなぎのかげに]	書166	曲-日5930	
歌-日1964	かなたの小舟は柳の陰に	すずみの歌	書88 書165	曲-日3409	
歌-日1965	かなたの山辺	演習 [かなたの山辺]	書241 書283	曲-日791	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
か	歌-日1966	かなでよまへよ	金鶏	書166	曲-日1886
	歌-日1967	かなでよやうたをもうたへ	楽しき教場 [かなでよやうたをもうたへ]	書166 書279	曲-日4216
	歌-日1968	蟹が海鼠に	蟹と海鼠	書201 書202	曲-日1419
	歌-日1969	蟹さん何処ぢや	第二 野中の途(蜂の物語)	書340	曲-日4056
	歌-日1970	カニセメラルル	親の恩 [カニセメラルル]	書206	曲-日1085
	歌-日1971	かにのかあさんたすきがけ	蟹の母さん	書54 書117	曲-日1420
	歌-日1972	カニノヒラウタ	猿ト蟹	書124	曲-日2769
	歌-日1973	香に迷ふ梅が軒場ににほひ鳥	香に迷ふ	書363	曲-日1421
	歌-日1974	かねを鳴らして夜汽車が通る	夜汽車	書358	曲-日7115
	歌-日1975	鐘が鳴ります	鐘が鳴ります	書48	曲-日1424
	歌-日1976	鐘が鳴る鳴る野山に街によ	少女盆踊歌	書184	曲-日3145
	歌-日1977	予て牙山に碇まりし	豊島の戦 [予て牙山に碇まりし]	書314	曲-日6118
	歌-日1978	金より尊い室は時間	尊い室	書239	曲-日4690
	歌-日1979	鐘は鳴る聞け	鍛わるる若人の歌	書241 書326	曲-日1723
	歌-日1980	かの成歌のたたかいは	喇叭卒 [かの成歌のたたかいは]	書391	曲-日7211
	歌-日1981	かのバビロンの水青く	寮歌(大正9年)	書387	曲-日7255
	歌-日1982	彼の雪に白き川上の山	嫁げる姉に	書177	曲-日4774
	歌-日1983	かばねはくちてほねとなり	古戦場 [かばねはくちてほねとなり]	書153 書154 書161 書166 書169 書226	曲-日2434
	歌-日1984	かばねは積りて山をつき	橋中佐 [かばねは積りて山をつき]	書60 書210	曲-日4190
	歌-日1985	鎌を室の刈田宮	三豊郡栗井村歌(其の一)	書253	曲-日6477
	歌-日1986	鎌倉幕府時を得て	平景清	書15	曲-日4094
	歌-日1987	鎌倉山の [護良親王]	護良親王 [鎌倉山の]	書283	曲-日6728
	歌-日1988	かまくらやまのごらくじ	稲村が崎	書165	曲-日497
	歌-日1989	鎌倉山のそのむかし	青砥藤綱加俵を辞す	書237	曲-日50
	歌-日1990	神さまのお手は	神さまのお手	書315	曲-日1442
	歌-日1991	神と仰ぎ奉り	天皇陛下	書174	曲-日4633
	歌-日1992	神と称へていまの世に仰ぎたふとみ青雲の	道真公	書360	曲-日6465
	歌-日1993	かみなりが遠く鳴る	蝉 [かみなりが遠く鳴る]	書208	曲-日3599
	歌-日1994	上には万世一系の	公德唱歌 [上には万世一系の]	書165 書342	曲-日2271
	歌-日1995	かみのくににちかづきて	なぜ神の国に入らぬや	書70 書71	曲-日4883
	歌-日1996	神のさづけしたなつもの	神嘗祭 [神のさづけしたなつもの]	書145	曲-日1598
	歌-日1997	神の使か白狐	湖畔道路唱歌	書105	曲-日2524
	歌-日1998	神の瓊鋒のしたたりて	愛国歌	書28	曲-日19
	歌-日1999	かみのひめてしちよろづの	啓智成徳	書102 書145 書165	曲-日2110
	歌-日2000	紙の風船(ぼんぼんぼん)	風船ポンポン	書51	曲-日5836
	歌-日2001	かみの武具もて [神の武具を以て身をよろへ]	神の武具を以て身をよろへ	書70	曲-日1452
	歌-日2002	かみの武具もて身をよろひ [神の武具以て身をよろへ]	神の武具以て身をよろへ	書71	曲-日1453
	歌-日2003	かみのぼうしにかみのはた	紙のぼうし	書142 書166	曲-日1454
	歌-日2004	かみのみことばをきけよ	神の聖言を聞け	書70 書71	曲-日1455
	歌-日2005	神の恵の高千穂に	建国行進歌	書2	曲-日2148
	歌-日2006	神の恵の我が村は	古宇郡神恵内村歌	書253	曲-日5993
	歌-日2007	紙の破間を補ひ綴り	松下禅尼 [紙の破間を補ひ綴り]	書270	曲-日6312
	歌-日2008	神の代ながらに	御大典奉祝歌 [神の代ながらに]	書386	曲-日2443
	歌-日2009	神代このかた仰いだ空を	護れわが空	書317	曲-日6378
歌-日2010	神代ながらの	富士登山 [神代ながらの]	書138 書225	曲-日5887	
歌-日2011	かみよねがはくは	神よ我を探り給へ	書70 書71	曲-日1462	
歌-日2012	神代のままなる	明治神宮 [神代のままなる]	書350	曲-日6610	
歌-日2013	神代のみ雪は千歳に消えず	大和島根 [神代のみ雪は千歳に消えず]	書182	曲-日6861	
歌-日2014	神代の昔も明治の今も	皇統	書46 書147 書161 書165	曲-日6439	
歌-日2015	神代よりながれきて	五十鈴川	書182	曲-日440	
歌-日2016	髪より細きいとくりいでて	蜘蛛 [髪より細きいとくりいでて]	書225	曲-日1972	
歌-日2017	かみはひとり子を	神は愛なり	書70 書71	曲-日1463	
歌-日2018	かみはみたまもて	再び興せ	書70 書71	曲-日5913	
歌-日2019	かめとうさぎとあるときに [亀兎]	亀兎	書165	曲-日1465	
歌-日2020	亀と兎とある時に [亀と兎]	亀と兎	書225	曲-日1466	
歌-日2021	亀の尾山の巖角を	教育勅語唱歌 [亀の尾山の巖角を]	書62	曲-日1806	
歌-日2022	かモメ飛んだ	かもめ [かモメ飛んだ]	書315	曲-日1471	
歌-日2023	がもは空にまひをどり	雪 [がもは空にまひをどり]	書166	曲-日6996	
歌-日2024	かやかり茅野の	茅苺	書315	曲-日1473	
歌-日2025	華陽の夢の花遊ぶ	第二十一回記念祭歌(44年東)	書386	曲-日3969	
歌-日2026	通はしやんせ	ヒヤヒヤ節	書368	曲-日5794	
歌-日2027	からからからあしださんずん	夜の道 [からからからあしださんずん]	書54	曲-日7175	
歌-日2028	からくのことたひらきて	大元帥陛下奉迎の歌	書166	曲-日3780	
歌-日2029	唐衣わがものとせば	大和錦 [唐衣わがものとせば]	書164	曲-日6878	
歌-日2030	からこんからこんからこん	からこん	書117	曲-日1477	
歌-日2031	からすア畑でかやの実ひろた	かやの実	書2 書315	曲-日1475	
歌-日2032	カラスガコナヤニコナカヒニ	カラストロバ	書358	曲-日1485	
歌-日2033	烏が種蒔く雀が見ている	烏の番・雀の番	書49	曲-日1488	
歌-日2034	からすからすかんさぶらう	からす [からすからすかんさぶらう]	書144 書165	曲-日1479	
歌-日2035	からすなぜなくの	七つの子	書27 書60 書117	曲-日4951	
歌-日2036	からすにはんぼのかうかうあり	烏と鳩	書165	曲-日1484	
歌-日2037	烏は反哺の孝をなし	孝行 [烏は反哺の孝をなし]	書237	曲-日2231	
歌-日2038	からたちの花が咲いたよ	からたちの花 [からたちの花が咲いたよ]	書40 書117 書385	曲-日1490	
歌-日2039	カラッカラッ	夜の道 [カラッカラッ]	書201 書202	曲-日7176	
歌-日2040	唐なでしこや	花の王	書143	曲-日5440	
歌-日2041	からなでしこやえびすぐさ	さくらの歌 [からなでしこやえびすぐさ]	書161	曲-日2691	
歌-日2042	からまつの林を過ぎて	落葉松	書317	曲-日1492	
歌-日2043	カランカラン	駐車場の鈴	書202	曲-日4569	
歌-日2044	かりかりわたるなにしてわたる	雁 [かりかりわたるなにしてわたる]	書166	曲-日1494	

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
か	歌-日2045	かりかりわたれ	かり [かりかりわたれ]	書144 書165	曲-日1493
	歌-日2046	雁がわたる鳴いてわたる	雁がわたる	書209	曲-日1499
	歌-日2047	狩りくらしつつ	太田道灌	書270	曲-日889
	歌-日2048	仮寝の夢さめて	故郷の母 [仮寝の夢さめて]	書92	曲-日2343
	歌-日2049	雁の叫び霧立つ空の	雁の叫び	書241	曲-日1502
	歌-日2050	かりのつらなるそのかつは	雁 [かりのつらなるそのかつは]	書166	曲-日1495
	歌-日2051	枯葦に	猟犬	書159	曲-日7256
	歌-日2052	枯れ木にとまって鶯のお昼寝	鶯のお昼寝	書49	曲-日4833
	歌-日2053	枯木に登つて	花咲翁 [枯木に登つて]	書264	曲-日5413
	歌-日2054	かれ高時は何者ぞ	護良親王 [かれ高時は何者ぞ]	書68	曲-日6709
	歌-日2055	枯れたる落ち葉	冬の森	書269	曲-日5971
	歌-日2056	枯野に立てる [冬の歌]	冬の歌 [枯野に立てる]	書138 書225	曲-日5965
	歌-日2057	かれのたてるひとつまつ [冬]	冬 [かれのたてるひとつまつ]	書165	曲-日5951
	歌-日2058	かれのこふひかけきて	今日の別れ	書166	曲-日1839
	歌-日2059	かれののほらにゆふひおちて	枯野 [かれののほらにゆふひおちて]	書54	曲-日1512
	歌-日2060	枯野の夕日かけ消えて	今日も別れ	書285	曲-日1843
	歌-日2061	かれ無礼なる清国を	連戦連勝	書365	曲-日7304
	歌-日2062	可愛いお馬がわたしをのせて	お馬 [可愛いお馬がわたしをのせて]	書262	曲-日848
	歌-日2063	かわいいおゆめはももいろ	夢の小函	書54	曲-日7088
	歌-日2064	かはいすずめに呼びおこされて	起きてから	書262	曲-日904
	歌-日2065	かはい蝶々花より花へ	蝶々 [かはい蝶々花より花へ]	書116	曲-日4405
	歌-日2066	可愛い人形はどこへいた	人形の行方	書60	曲-日5170
	歌-日2067	かはいゆくとびてチュチュチュ	子雀 [かはいゆくとびてチュチュチュ]	書116	曲-日2428
	歌-日2068	かはいやにはととり	鶏 [かはいやにはととり]	書206	曲-日5157
	歌-日2069	可愛や花売り	花売女 [可愛や花売り]	書54 書60 書281	曲-日5404
	歌-日2070	川をうづめてみだれ咲く	桃花源	書358	曲-日4646
	歌-日2071	ガワガワガワガワ	ひかうせん [ガワガワガワガワ]	書104	曲-日5713
	歌-日2072	かはづなくかどたのみづにけむりゆく	農夫の吟	書166	曲-日5238
	歌-日2073	蛙の歌の合奏に	五月雨 [蛙の歌の合奏に]	書60	曲-日2746
	歌-日2074	川瀬にさわぐ [川瀬にさわぐ]	川瀬にさわぐ	書381	曲-日1521
	歌-日2075	川瀬にさわぐ [川瀬の千鳥]	川瀬の千鳥	書379	曲-日1522
	歌-日2076	川竹に	川たけ	書368	曲-日1524
	歌-日2077	彼は誰れのたづつ丘に	第三十九回記念祭寄贈(昭和4年東大)	書386	曲-日3810
	歌-日2078	かはでひらうたおおももの	桃太郎 [かはでひらうたおおももの]	書124	曲-日6696
	歌-日2079	かわの水温みたり	ハイキングの歌	書78 書241	曲-日5302
	歌-日2080	川べの右のねむの花	ねむの花	書373	曲-日5193
	歌-日2081	河原の藪に	河原の藪	書34	曲-日1541
	歌-日2082	河原真菰は夜風になびく	娘船頭さん	書363	曲-日6574
	歌-日2083	かはらんといのるいのちは	母子	書165	曲-日5485
	歌-日2084	変わりなく流れをる	故郷に帰って	書350	曲-日2331
	歌-日2085	がんがいく	がん [がんがいく]	書358	曲-日1543
	歌-日2086	雁が来る雁が来る飛んで来る	がん [雁が来る]	書208	曲-日1544
	歌-日2087	かんからり	赤い襦	書4	曲-日60
	歌-日2088	がんが渡るぞ青空を	稲刈 [がんが渡るぞ青空を]	書190	曲-日511
	歌-日2089	がんがん [雁]	雁 [がんがん]	書267	曲-日1546
	歌-日2090	カンカンカン鐘が鳴る	鐘	書269	曲-日1422
	歌-日2091	がんがんがんがらがん [がんがん]	がんがん	書104	曲-日1563
歌-日2092	韓国即ち朝鮮は	外国地理唱歌	書38	曲-日1157	
歌-日2093	神さりました大君の	乃木大将 [神さりました大君の]	書270	曲-日5256	
歌-日2094	かんしゃせよ	神に感謝せよ	書70 書71	曲-日1448	
歌-日2095	奸智に長し閑族は	東学党の内乱	書314	曲-日4645	
歌-日2096	寒天小屋見えたなつかしの野营地	古巢	書78	曲-日6015	
歌-日2097	寒灯夜は暗うして	青島陥落捷歌	書386	曲-日4439	
歌-日2098	関八州のつはものあつめ	曾我兄弟 [関八州のつはものあつめ]	書270	曲-日3694	
歌-日2099	橄欖のかけ柏木の	第二十六回記念祭寄贈歌(5年東大)	書386	曲-日4034	
歌-日2100	橄欖の梢の尖に	第三十五回記念祭祭歌 [橄欖の梢の尖に]	書386	曲-日3818	
歌-日2101	橄欖の森春たけて	第二十五回記念祭祭歌(4年栄)	書386	曲-日3984	
歌-日2102	橄欖花は乱れ咲く	ホッケー部部歌	書387	曲-日6231	
き	歌-日2103	ぎいこぎいこーりんしゃ	ーりんしゃ	書358	曲-日465
	歌-日2104	きいておくれ双六勝負	新酒場の唄	書11	曲-日3292
	歌-日2105	きえずにあれとたのしみし	雪投げ	書54 書60 書68 書138	曲-日7040
	歌-日2106	喜び感激その声響	満州建国の歌	書358	曲-日6395
	歌-日2107	義を見て勇む	大和魂 [義を見て勇む]	書231	曲-日6869
	歌-日2108	きかいつくりやてづくりと	工業の歌 [きかいつくりやてづくりと]	書166	曲-日2219
	歌-日2109	きかいてづくりさまさまに	工業の歌 [きかいてづくりさまさまに]	書166 書217	曲-日2220
	歌-日2110	聞かずや君よ	普通選挙の歌	書392	曲-日5917
	歌-日2111	聞かそか	ひやくしよう	書17	曲-日5792
	歌-日2112	聞かまほしさに足引の	郭公 [聞かまほしさに足引の]	書122	曲-日6239
	歌-日2113	きかんしゃいさせきにげゆくを	きかんしゃ	書166	曲-日1615
	歌-日2114	義氣一徹に祈りをこめて	新田義貞 [義氣一徹に祈りをこめて]	書270	曲-日5061
	歌-日2115	木々にうづまき空におどりて	夕の雲	書87	曲-日6962
	歌-日2116	木々や千草に咲花の	かみの力	書251	曲-日1451
	歌-日2117	義侠に富める日本国	世界の日本	書200	曲-日3562
	歌-日2118	木々は皆青葉にして	五月を楽め	書232	曲-日2314
	歌-日2119	きくもいさましらつぱそつ	喇叭卒 [きくもいさましらつぱそつ]	書166	曲-日7212
	歌-日2120	聴け聴けめぐし少女よ	聴け少女よ	書232	曲-日1639
	歌-日2121	聞け空に叫ぶ声す	興国行進曲	書326	曲-日2235
	歌-日2122	聞け万国の労働者	メーデー歌(一)	書392	曲-日6632
	歌-日2123	きけよきけよつちのをと	大工	書166	曲-日3778

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
き	歌-日2124	きげよなんぢらていこくの	国民の義務	書166	曲-日2366
	歌-日2125	きげよもりのをちこちに	歓迎の歌 [きげよもりのをちこちに]	書165 書175	曲-日1568
	歌-日2126	きこえあげたることのはを	詠史 [きこえあげたることのはを]	書165 書169	曲-日761
	歌-日2127	皇后神よろひに	神功皇后 [皇后神よろひに]	書353	曲-日3269
	歌-日2128	木ささげ木ささげ木のささげ	木ささげ	書358	曲-日1648
	歌-日2129	祈山悲愁の風更けて	祈山悲愁	書40	曲-日1649
	歌-日2130	雉子射ち翁さん雉子射たず	雉子射ち翁さん	書60	曲-日1650
	歌-日2131	きしのさくらははなさきかりは	岸の桜	書152 書153 書161 書166 書169	曲-日1652
	歌-日2132	岸の姫松よわくとも	松の操 [岸の姫松よわくとも]	書136	曲-日6325
	歌-日2133	きしのやなぎのえだやたかき	池の蛙	書87 書166 書169	曲-日415
	歌-日2134	岸の柳の芽がのびて	月 [岸の柳の芽がのびて]	書358	曲-日4458
	歌-日2135	岸辺にたてる白菊は影をうつして	水辺白菊	書45	曲-日6453
	歌-日2136	汽車がゴウゴウ走つてきては	ステーション	書267	曲-日3443
	歌-日2137	汽車ちふものが	鉄道開通	書202	曲-日4582
	歌-日2138	汽車の馳しは馬より速し [汽車汽船]	汽車汽船 [汽車の馳しは]	書102	曲-日1669
	歌-日2139	汽車のまどから [汽車汽船]	汽車汽船 [汽車のまどから]	書138	曲-日1668
	歌-日2140	汽車の窓より [富士山]	富士山 [汽車の窓より]	書225	曲-日5874
	歌-日2141	きしゃのまどよりあふぎみる	富士登山 [きしゃのまどよりあふぎみる]	書93 書166	曲-日5885
	歌-日2142	きしゃはるはうまよりはやし [汽車汽船]	汽車汽船 [きしゃはるは]	書166	曲-日1667
	歌-日2143	汽車は速い煙吐いて	汽車 [汽車は速い煙吐いて]	書60 書266	曲-日1663
	歌-日2144	紀州的那智ともろともに [華巖の滝]	華巖の滝	書225	曲-日2113
	歌-日2145	紀州的那智ともろともに [日光]	日光 [紀州的那智ともろともに]	書93	曲-日5050
	歌-日2146	寄宿流れて工場が焼けて	女工小歌	書392	曲-日3217
	歌-日2147	鬼神の斧に刻まれて	鳳凰山	書359	曲-日6088
	歌-日2148	木曾へ木曾へとつけ出す米は	伊那節(長野)	書385	曲-日496
	歌-日2149	木曾の御嶽夏でも寒い	木曾節 [木曾の御嶽夏でも寒い]	書184	曲-日1696
	歌-日2150	木曾のななかのりさん	木曾節 [木曾のななかのりさん]	書40 書363 書385	曲-日1697
	歌-日2151	鍛いし手なみ今こそ見せめ	高田屋嘉兵衛 [鍛いし手なみ今こそ見せめ]	書60 書270	曲-日4128
	歌-日2152	北魚臥の山を負ひ	朝来郡牧田村歌	書253	曲-日222
	歌-日2153	きたかぜさむきふゆのよに	寒夜の水鳥	書54	曲-日1607
	歌-日2154	北風さむく吹きあれて [忠勇唱歌 楠公父子]	忠勇唱歌 楠公父子	書165	曲-日4386
	歌-日2155	北風さむく吹きあれて [楠公父子]	楠公父子 [北風さむく吹きあれて]	書96	曲-日4997
	歌-日2156	北風寒く吹き荒れて [根室町歌]	根室町歌	書253	曲-日5209
	歌-日2157	北風の荒ぶがままに	春を待つ歌	書159 書269	曲-日5535
	歌-日2158	北窮髪風寒く	旅順陥落歌	書386	曲-日7269
	歌-日2159	来たぞ少年戦車兵	少年戦車兵	書191	曲-日3166
	歌-日2160	北に向へる	鴻門の会	書333	曲-日2290
	歌-日2161	きたにはつくばにしにふじ	東京 [きたにはつくばにしにふじ]	書45 書165	曲-日4649
	歌-日2162	北よりわたる黒雲に	第一回旅順口攻撃及び仁川沖海戦の歌	書166 書255	曲-日3769
	歌-日2163	来る春風氷が解ける	小原節(其の一)	書363	曲-日1031
	歌-日2164	きたれ秋よ軒端の鈴に	来れ秋	書279	曲-日1712
	歌-日2165	来れ遊べ我等が友よ	来れ遊べ	書135	曲-日1713
	歌-日2166	きたれきたれいざやいざ	運動会 [きたれきたれいざやいざ]	書166	曲-日740
	歌-日2167	きたれきたれともびとよ	来たれ来たれ [きたれきたれともびとよ]	書381	曲-日1716
	歌-日2168	来れ来れ懐しの五月	来れ五月	書232	曲-日1717
	歌-日2169	来れ来れ早来れ	栽樹日	書185	曲-日2618
	歌-日2170	きたれきたれみなみなきたれ	来たれきたれ [きたれきたれみなみなきたれ]	書141	曲-日1715
	歌-日2171	来たれや来たれいざ来たれ [皇国の守]	皇国の守 [来たれや来たれ]	書60 書138	曲-日2240
	歌-日2172	来たれや来れいざ来れ [御国を守れ]	御国を守れ [来たれや来れいざ来れ]	書198	曲-日6412
	歌-日2173	来れや来れいざ来れ [来たれや来たれ]	来たれや来たれ [来れや来れいざ来れ]	書287	曲-日1721
	歌-日2174	来れや来れいざきたれ御国を守れ諸ともに [大軍歌]	大軍歌	書200 書376	曲-日3779
	歌-日2175	来れや来れいざ来たれ御国を守れや [軍歌]	軍歌 [来れや来れいざ来たれ御国を守れや]	書303	曲-日2014
歌-日2176	きたれやきたれや [御国を守]	御国の守 [きたれやきたれや]	書166	曲-日6424	
歌-日2177	きたれやきたれやいざきたれ [来れや来れ]	来れや来れ [きたれやきたれやいざきたれ]	書148 書166	曲-日1722	
歌-日2178	きたれやきたれやいざきたれ [皇国の守]	皇国の守 [きたれやきたれや]	書46 書54 書139 書170	曲-日6425	
歌-日2179	来れや友よ打ちつれて [散歩唱歌]	散歩唱歌	書165 書337	曲-日2817	
歌-日2180	来れや友よ打ちつれて [春]	春 [来れや友よ打ちつれて]	書131	曲-日5532	
歌-日2181	きたれよきたれ [来れ罪ある人]	来れ罪ある人	書70	曲-日1719	
歌-日2182	きたれよきたれ [来れ罪ある人よ]	来れ罪ある人よ	書71	曲-日1720	
歌-日2183	来れ吾友いざ立たん	縣内唱歌	書299	曲-日2158	
歌-日2184	きたれわがともよ	野辺	書60 書166 書225	曲-日5280	
歌-日2185	きたはまきたのかぎりまで	太平洋 [きたはまきたのかぎりまで]	書165 書279	曲-日4074	
歌-日2186	ギットンギットン	水車 [ギットンギットン]	書345	曲-日3367	
歌-日2187	きてきいっせいこちよく	汽船 [きてきいっせいこちよく]	書166 書217 書225	曲-日1693	
歌-日2188	汽笛一声新橋を [鉄道唱歌]	鉄道唱歌	書165	曲-日4583	
歌-日2189	汽笛一声新橋を [鉄道唱歌第1集]	鉄道唱歌第1集	書293 書294	曲-日4584	
歌-日2190	汽笛の響いさまく	満韓鉄道唱歌	書357	曲-日6394	
歌-日2191	汽笛一声あとにして	航海唱歌	書321	曲-日2208	
歌-日2192	きてみよきみもわがはこにわを	箱庭	書166	曲-日5328	
歌-日2193	幾内五国は三方を	日本地理唱歌	書327	曲-日5121	
歌-日2194	義にあらざれば得居らず	日韓の談判	書200	曲-日5049	
歌-日2195	ぎにいさむますらをが	赤穂義士 [ぎにいさむますらをが]	書165	曲-日183	
歌-日2196	きにとまるはとのこも	鳩鳥	書165 書225	曲-日5387	
歌-日2197	きぬに包める真白玉	四季の月 [きぬに包める真白玉]	書310	曲-日2857	
歌-日2198	絹や錦のあやなきも	井上傳子	書270	曲-日514	
歌-日2199	きのふけふさきそめし	庭の菊	書166 書176	曲-日5162	
歌-日2200	きのふけふとおもひしを	きのふけふ	書153 書154 書166 書169	曲-日1737	
歌-日2201	昨日きょうと思ひしも早一月の旅衣	湘南秋信	書303	曲-日3161	
歌-日2202	きのうといいけふとすぎ	歳暮 [きのうといいけふとすぎ]	書165 書279	曲-日3531	

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
き	歌-日2203	きのふとくらしけふとすぎ	終業式 [きのふとくらしけふとすぎ]	書46 書165	曲-日3019
	歌-日2204	昨日にかはり今日はなど	山内一豊の妻 [昨日にかはり今日はなど]	書270	曲-日6895
	歌-日2205	きのふのあさのおほゆきに	雪だるま [きのふのあさのおほゆきに]	書54 書206	曲-日7030
	歌-日2206	昨日残しし早苗とると	田家	書182	曲-日4603
	歌-日2207	昨日も今日もあそこの原で	練兵	書79	曲-日7306
	歌-日2208	きのうも今日もエスは	昨日も今日も永遠	書70 書71	曲-日1738
	歌-日2209	きのふも今日も降る雪に	わすれがたみ	書28	曲-日7451
	歌-日2210	きのふもらったかはいいこねこ	こねこ [きのふもらったかはいいこねこ]	書27 書60	曲-日2502
	歌-日2211	昨日は悲しく今日は嬉し	昨日は悲しく	書232	曲-日1739
	歌-日2212	昨日は涼しき夏のしらべ	秋の名残 [昨日は涼しき夏のしらべ]	書28	曲-日134
	歌-日2213	きのふはひがしけふはにし	花紅葉 [きのふはひがしけふはにし]	書166	曲-日5467
	歌-日2214	木の葉が落ちた	落葉 [木の葉が落ちた]	書266	曲-日963
	歌-日2215	木の芽も春の朝ぼらけ	第十二回記念祭歌(35年中)	書386	曲-日3902
	歌-日2216	きびしき冬ぞ	きびしき冬	書232	曲-日1752
	歌-日2217	吉備の郡の北端に	吉備郡大和村の歌	書253	曲-日1751
	歌-日2218	岐阜は良い處	トコホイ節	書368	曲-日4755
	歌-日2219	義兵を出し賊を打つ	日本刀 [義兵を出し賊を打つ]	書166 書365	曲-日5128
	歌-日2220	騎兵が通る	騎兵 [騎兵が通る]	書232	曲-日1757
	歌-日2221	騎兵もすぎぬ	霞 [騎兵もすぎぬ]	書181	曲-日362
	歌-日2222	希望に萌ゆる若草に	朝倉郡久喜村歌	書253	曲-日215
	歌-日2223	希望の光仰ぎつつ	明治四十二年寮歌	書77	曲-日6628
	歌-日2224	君をいさめし言の葉も	さくら井の里	書161	曲-日2676
	歌-日2225	きみをおうみのひじりぞと	近江聖人 [きみをおうみのひじりぞと]	書165	曲-日858
	歌-日2226	きみが門やなぎみどり	きみが門	書146 書166	曲-日1768
	歌-日2227	きみがためしなんとねがふ	国の宝 [きみがためしなんとねがふ]	書165	曲-日1945
	歌-日2228	きみが剣の戦士なら	南進男児の歌	書238	曲-日5004
	歌-日2229	君が恵はみそらの星よ	恩恵	書28	曲-日1109
	歌-日2230	君が代かがやく	卒業式 [君が代かがやく]	書92	曲-日3710
	歌-日2231	きみがよのあきはをだにぞ	新嘗 [きみがよのあきはをだにぞ]	書165	曲-日5019
	歌-日2232	きみがよのひなめまつり	にひなめ [きみがよのひなめまつり]	書165	曲-日5018
	歌-日2233	君が代の初春	君が代の初春	書139 書170 書225 書284	曲-日1772
	歌-日2234	君が代は千ひろの底のさざれ石の	君が代 [君が代は千ひろの底の]	書198	曲-日1771
	歌-日2235	君が代はちよにやちよに [君が代]	君が代 [君が代はちよにやちよに]		曲-日1770
	歌-日2236	君がよはちよにやちよにさざれいしの [万歳のうた]	万歳のうた	書141	曲-日5675
	歌-日2237	きみがわかれのかなしさを	別れの歌 [きみがわかれのかなしさを]	書139 書165 書170	曲-日7426
	歌-日2238	君不聞	胡笳曲	書178	曲-日2311
	歌-日2239	君ぞ真の大丈夫	嗚呼乃木大将	書54 書344	曲-日8
	歌-日2240	君と親との [恩の歌]	恩の歌	書143	曲-日1116
	歌-日2241	君と親との二見湯	敬愛信義	書102 書165	曲-日2094
	歌-日2242	きみとくにとのためならば	弥陀の心	書166	曲-日6464
	歌-日2243	君と民と父子のごと	君と民と	書197 書337	曲-日1774
	歌-日2244	君に国に	家の風 [君に国に]	書353	曲-日396
	歌-日2245	君に事ふる真心は	伏見城	書287	曲-日5901
	歌-日2246	君には忠を親には孝を	忠孝文武	書102 書165	曲-日4377
	歌-日2247	君の馬は茶色のお馬	お馬 [君の馬は茶色のお馬]	書225	曲-日849
	歌-日2248	君の賜ふ記章隊の仰ぐ	軍旗 [君の賜ふ記章隊の仰ぐ]	書365	曲-日2065
	歌-日2249	君のためには [君のため]	君のため	書225	曲-日1775
	歌-日2250	きみのためにはみをわすれ	忠君愛国	書166	曲-日4373
	歌-日2251	君の御稜威をいただく徒は	君の御稜威	書365	曲-日1776
	歌-日2252	きみのみいつかがやかし	凱旋の歌 [きみのみいつかがやかし]	書169	曲-日1188
	歌-日2253	君の御稜威も高千穂の [黄金の鶏]	黄金の鶏	書143	曲-日2320
	歌-日2254	君の御稜威も高千穂の [霊鶏]	霊鶏	書235	曲-日7294
	歌-日2255	きみのみことをかしくみて	金鶏勲章 [きみのみことをかしくみて]	書103 書143 書166 書235	曲-日1887
	歌-日2256	きみのみためとくにのため	皇国新軍歌 楠公	書165	曲-日2237
歌-日2257	きみのめぐみしらのめげみ	終業の歌	書165	曲-日3026	
歌-日2258	君のめぐみにくらふれば	忠勇唱歌 四十七士	書165	曲-日4385	
歌-日2259	きみのめぐみのうをいて	明治の御代 [きみのめぐみのうをいて]	書165 書226	曲-日6621	
歌-日2260	きみのめぐみはたふとくたかく	君の恵み [きみのめぐみはたふとくたかく]	書165	曲-日1779	
歌-日2261	君は兵士で太平洋	元気で皆勤	書179	曲-日2134	
歌-日2262	きみみずやえきすい	別れ [きみみずやえきすい]	書28	曲-日7418	
歌-日2263	きみもきたまへわれもゆく	ともだち [きみもきたまへわれもゆく]	書68 書165	曲-日4793	
歌-日2264	君よ知るや南の国	君よ知るや南の国	書59	曲-日1782	
歌-日2265	君等は休暇に	夏期休業	書374	曲-日1243	
歌-日2266	きみは神あらひと神	君は神	書284	曲-日1781	
歌-日2267	君は師団の長として	老壮士	書391	曲-日7309	
歌-日2268	君は幼より法律の	弁護士免許を得るを祝す	書203	曲-日6083	
歌-日2269	逆臣のやいばに	和氣清麻呂 [逆臣のやいばに]	書333	曲-日7438	
歌-日2270	休暇は夢と	始業式 [休暇は夢と]	書227	曲-日2868	
歌-日2271	仇敵北に壘して	柔道部凱歌	書386	曲-日3044	
歌-日2272	消ゆる思ひの	王照君	書178	曲-日832	
歌-日2273	清い風がかるくふいて	朝 [清い風がかるくふいて]	書116	曲-日190	
歌-日2274	けふあらたまのとしをむかへつ	始業式 [けふあらたまのとしをむかへつ]	書165	曲-日2865	
歌-日2275	けふ一日の疲れをば	正直なる馬方	書124	曲-日3135	
歌-日2276	けふをたりびとえらばれて	始業式の歌 [けふをたりびとえらばれて]	書165	曲-日2870	
歌-日2277	今日から一人でねんねせう	一人でねんねせう	書60	曲-日5737	
歌-日2278	競技の使命感に銘じ	早稲田応援歌	書40	曲-日7454	
歌-日2279	曙光みなぎる日の本の国	東京帝大緑会会歌	書40	曲-日4658	
歌-日2280	今日こそ国の祝日なれば	国の祝日	書116	曲-日1937	
歌-日2281	けふしもひらくにひむろの	新築落成	書165	曲-日3310	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
き	歌-日2282	強者存して弱者滅び	強者強国	書93 書225	曲-日1815
	歌-日2283	強大世界に類なしと	名誉の日本	書369	曲-日6631
	歌-日2284	兄弟そろひ仲よくくらす	兄弟 [兄弟そろひ仲よくくらす]	書262	曲-日1827
	歌-日2285	けふのけいこもすみました	きよなら [けふのけいこもすみました]	書60 書165 書378	曲-日2757
	歌-日2286	京の五條の橋の上	牛若丸 [京の五條の橋の上]	書207	曲-日626
	歌-日2287	けふのこともけふのわざも	今日の日	書165	曲-日1837
	歌-日2288	今日のよき日 [天長節]	天長節 [今日のよき日]	書138	曲-日4621
	歌-日2289	けふのよき日つけてほしはきらめき	今日のよき日	書28	曲-日1838
	歌-日2290	今日の吉日の [天長節]	天長節 [今日の吉日の]	書46	曲-日4623
	歌-日2291	今日の吉き日は大君の [天長節]	天長節 [今日の吉き日は]	書46	曲-日4622
	歌-日2292	きょうはまなびのいとまなり	紅葉狩 [きょうはまなびのいとまなり]	書45 書166	曲-日6689
	歌-日2293	けふほころびし彼岸ざくら	桜の歌 [けふほころびし彼岸ざくら]	書312	曲-日2692
	歌-日2294	けふまでももるともにながめしまどの	あすの空	書169	曲-日268
	歌-日2295	今日回り来る歡喜に	第三十四回記念祭寄贈歌(13年東大) [今日回り来る歡喜に]	書386	曲-日3833
	歌-日2296	けふもいつしかあかあかと	ゆふべ [けふもいつしかあかあかと]	書54 書174 書186	曲-日6974
	歌-日2297	けふもはやおきよいてんき	はやおき [けふもはやおきよいてんき]	書318	曲-日5510
	歌-日2298	今日も日すからかすみつつ	春雨 [今日も日すからかすみつつ]	書161	曲-日5558
	歌-日2299	けふよりひらくこのにはの	始業式 [けふよりひらくこのにはの]	書46 書165 書225 書337	曲-日2866
	歌-日2300	けふよりひらくまなびのまど	開校式 [けふよりひらくまなびのまど]	書165	曲-日1138
	歌-日2301	けふはあをぞらよいてんき	せんたく	書94	曲-日3624
	歌-日2302	今日のうちでは餅つきぢや	餅つき [今日のうちでは餅つきぢや]	書210	曲-日6667
	歌-日2303	今日はうれしい [運動会の朝]	運動会の朝	書266	曲-日754
	歌-日2304	今日は嬉しいおひな様	おひなさま [今日は嬉しいおひな様]	書60 書159 書160	曲-日1039
	歌-日2305	今日は嬉しい三月三日	雛まつり [今日は嬉しい三月三日]	書267	曲-日5746
	歌-日2306	けふはうれしい日よーび	笛と太鼓 [けふはうれしい日よーび]	書68	曲-日5840
	歌-日2307	けふはお祭	お祭 [けふはお祭]	書159 書160	曲-日1057
	歌-日2308	けふは今年の	一月一日 [けふは今年の]	書266	曲-日458
	歌-日2309	今日はしも	校友会・同窓会	書181	曲-日2293
	歌-日2310	けふは十一月三日の朝よ	天長節 [けふは十一月三日の朝]	書144 書165	曲-日4618
	歌-日2311	ケフハタノシ	ウンドウクワイ [ケフハタノシ]	書171	曲-日744
	歌-日2312	けふはどえうびがくくわもはてぬ	野あそび [けふはどえうびがくくわもはてぬ]	書166	曲-日5224
	歌-日2313	今日は芽出度い	天長節 [今日は芽出度い]	書266	曲-日4624
	歌-日2314	清き心	真心の歌	書257	曲-日6273
	歌-日2315	きよきすがたにわきいでて	谷間の泉 [きよきすがたにわきいでて]	書60 書166	曲-日4202
	歌-日2316	きよきながれのいさをがは	蚩 [きよきながれのいさをがは]	書166	曲-日6199
	歌-日2317	清き流れの山河に	水車 [清き流れの山河に]	書54 書136 書138	曲-日6438
	歌-日2318	清き汀の柵に	常盤の陰	書168	曲-日4727
	歌-日2319	きよき水に枝ひぢて	やさしの山吹	書166 書176	曲-日6763
	歌-日2320	清きやさしき君唄へば	君唄へば	書197 書337	曲-日1765
	歌-日2321	清きは梅の花よりも	菅公 [清きは梅の花よりも]	書68	曲-日1580
	歌-日2322	旭日煌々太平洋に	皇軍の歌	書385	曲-日2228
	歌-日2323	旭日燦たる帝国の	陸軍行進曲 其二	書40	曲-日7223
	歌-日2324	きよけき白雪やまずに降りて	雪 [きよけき白雪やまずに降りて]	書116	曲-日6997
	歌-日2325	清けき水を鏡として	藤の花 [清けき水を鏡として]	書52	曲-日5896
	歌-日2326	巨大の天雲とくどく出でよ	第十八回記念祭祭歌(41年中)	書386	曲-日3911
	歌-日2327	去年今夜侍清涼	九月十日	書166	曲-日1906
	歌-日2328	魚雷かかへて	潜水艦 [魚雷かかへて]	書190	曲-日3620
	歌-日2329	清らなり小川は	小川 [清らなり小川は]	書232	曲-日901
	歌-日2330	清らに咲きて	真実の愛	書232	曲-日6277
	歌-日2331	魚鱗鶴翼縦横に	親兵式 [魚鱗鶴翼縦横に]	書92	曲-日1603
	歌-日2332	キョロッキョロツ	七面鳥	書54 書266	曲-日2931
	歌-日2333	きらきら [星様]	星様 [きらきら]	書345	曲-日6176
	歌-日2334	キラキラキラ [お日様]	お日様 [キラキラキラ]	書267	曲-日1038
	歌-日2335	キラキラキラ [向日葵]	向日葵	書266	曲-日5787
	歌-日2336	キラキラキラキラ [閃く星]	閃く星 [キラキラキラキラ]	書353	曲-日1865
歌-日2337	きらきらびかびか星つきよ	星 [きらきらびかびか]	書318	曲-日6171	
歌-日2338	きらめく星なつかしや	煌く星 [きらめく星なつかしや]	書52	曲-日1866	
歌-日2339	霧をふらす滝のながめ	嶺は近し	書350	曲-日6505	
歌-日2340	霧を山田の	水の変態 [霧を山田の]	書225	曲-日6451	
歌-日2341	霧淡晴の野にみだれ	第二十二回記念祭祭歌(45年西)	書386	曲-日4010	
歌-日2342	桐の一と葉に秋告げて	秋の遠足	書28	曲-日117	
歌-日2343	霧霽れわたる鳥海の	山形高校開校祝賀歌	書40	曲-日6829	
歌-日2344	霧よとぎせ船路をと	佐用郡久崎村歌	書253	曲-日2755	
歌-日2345	霧は晴れるよ夜が明ける	夜明けのうた	書238 書317	曲-日7098	
歌-日2346	霧はふかくあたりこめておそろし	霧 [霧はふかくあたりこめておそろし]	書116	曲-日1868	
歌-日2347	きるべしきるべしきれきれきれ	切るべし	書166	曲-日1871	
歌-日2348	きるものにたちぬみつくるおりものは	織物の歌	書166	曲-日1103	
歌-日2349	きれいきれいシヤボンだま	シヤボンだま [きれいきれいシヤボンだま]	書116	曲-日2993	
歌-日2350	キレイナキレイナ	アサガホ [キレイナキレイナ]	書171	曲-日198	
歌-日2351	きれいなこえでまつむしが	川虫 鈴虫	書54 書60	曲-日6330	
歌-日2352	きれいな水がながれてる	川遊び [きれいな水がながれてる]	書174	曲-日1516	
歌-日2353	きれいに [イルミネーション]	イルミネーション	書267	曲-日542	
歌-日2354	きれいにさいたつばき	つばき [きれいにさいたつばき]	書116	曲-日4500	
歌-日2355	綺麗に咲いたよ	私の花壇	書267	曲-日7463	
歌-日2356	きれいにさくらがさいている	さくら [きれいにさくらがさいている]	書116	曲-日2653	
歌-日2357	きれいにさける野川のはたの	あやめ	書116	曲-日343	
歌-日2358	木は繁り	詩の韻	書232	曲-日2947	
歌-日2359	金鳥翔けりて	少年易老 [金鳥翔けりて]	書28	曲-日3163	
歌-日2360	金閣寺の	金閣寺	書368	曲-日1872	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号	
き	歌-日2361	ギンギンギラギラ	夕日 [ギンギンギラギラ]	書60	曲-日6966	
	歌-日2362	きんこつきたへやみくにのたみ	筋骨	書166	曲-日1883	
	歌-日2363	金鶏輝く日本の	紀元二千六百年	書317	曲-日1645	
	歌-日2364	金字塔下に陽は落ちて	六高全奏々歌	書40	曲-日7332	
	歌-日2365	金城の	庭球部応援歌 [金城の]	書18	曲-日4560	
	歌-日2366	銀燭ゆらぐおぼしまに	八高奏歌	書40	曲-日5357	
	歌-日2367	銀砂ざらざら	砂のトンネル	書60	曲-日3452	
	歌-日2368	金石鋼鉄皆湯と鎔かす	征夷歌	書16	曲-日3487	
	歌-日2369	銀扇空に	第八高等学校校歌 [銀扇空に]	書40 書252	曲-日4065	
	歌-日2370	金の尾鱈に銀の貝	日本産業の歌(三)	書239	曲-日5098	
	歌-日2371	金の自動車に飛び乗ると	夢 [金の自動車に飛び乗ると]	書210	曲-日7080	
	歌-日2372	銀のナイフがきらきらと	りんご [銀のナイフがきらきらと]	書358	曲-日7283	
	歌-日2373	金の牛コに錦の手綱	金山踊 [からめ節 岩手]	書385	曲-日1426	
	歌-日2374	勤勉なれよ物ごとに	処世の歌	書93	曲-日3226	
	歌-日2375	金や銀に輝いて	噴水 [金や銀に輝いて]	書209	曲-日6025	
	歌-日2376	きんらんどんすの帯しめながら	花嫁人形	書334 書363 書385	曲-日5471	
	歌-日2377	金襴織子の帯しめながら [お人形(花嫁人形)]	お人形(花嫁人形)	書40	曲-日1014	
	歌-日2378	金爐にたかし	桜冠舞	書178	曲-日2685	
	く	歌-日2379	くしゅうなんぞおそるべき	空襲なんぞ恐るべき	書236	曲-日1902
		歌-日2380	溟洋の胸の扉を秘めて	第四十回記念祭歌 [溟洋の胸の扉を秘めて]	書386	曲-日4093
歌-日2381		くさかりがまをこしにはさみ	草刈 [くさかりがまをこしにはさみ]	書166	曲-日1907	
歌-日2382		くさきにのみとおもひしを	頭の雪	書153 書154 書169	曲-日283	
歌-日2383		草木も眠る丑三つをなれし道とて只ひとり	寒村夜帰	書303	曲-日1591	
歌-日2384		草木はしげりて	故郷	書54	曲-日2327	
歌-日2385		草津鉄道のよホホホイ遊覧電車よ	草津湯もみ唄	書363	曲-日1913	
歌-日2386		草津よいとこ一度はおいで	草津節(群馬)	書363 書385	曲-日1912	
歌-日2387		草に湧きしやはた水に	白萩	書28 書100	曲-日3250	
歌-日2388		草の上に座りて	春野 [草の上に座りて]	書60	曲-日5565	
歌-日2389		草の上に玉なす露	愛らしき花 [草の上に玉なす露]	書60 書184	曲-日35	
歌-日2390		くさはずえにたまをおく	時はこがね [くさはずえにたまをおく]	書165	曲-日4723	
歌-日2391		草葉繁れる山里の	郭公	書223	曲-日1371	
歌-日2392		草葉にまじれる撫子ひめゆり	ふるさと [草葉にまじれる撫子ひめゆり]	書176	曲-日6001	
歌-日2393		くさもひびくとのこえ	鶏 [くさもひびくとのこえ]	書165	曲-日4813	
歌-日2394		草より明けて草にくれ	第三十四回記念祭歌(13年) [草より明けて草にくれ]	書386	曲-日3835	
歌-日2395		九十九のひつじは	九十九の羊	書70 書71	曲-日1917	
歌-日2396		郡上の八幡出て行く時は	郡上節	書363 書385	曲-日1918	
歌-日2397		楠の大木の枯しより	小楠公 [楠の大木の枯しより]	書103	曲-日3156	
歌-日2398		楠勢の守れる千早ぞ	千早城 [楠勢の守れる千早ぞ]	書174	曲-日4362	
歌-日2399		砕けても	武士 [砕けても]	書324	曲-日6678	
歌-日2400		くだもの畠の	ニュートン	書333	曲-日5149	
歌-日2401		くだる小舟の	都鳥	書337	曲-日6520	
歌-日2402		靴先かろく雪を蹴て	雪中の行軍	書279	曲-日3585	
歌-日2403		国を愛せよわれらの国を	国産愛用の歌	書239	曲-日2346	
歌-日2404		くにおもふ	和歌朗詠曲 [くにおもふ]	書29	曲-日7432	
歌-日2405		くを出てから幾月ぞ	愛馬進軍歌	書363	曲-日33	
歌-日2406		国をてらすは	神器国旗	書46	曲-日3265	
歌-日2407		くにこそひろかれくにがらみ	士気之歌	書166	曲-日2852	
歌-日2408		国挙る大事のまへに	国ごぞる	書317	曲-日1935	
歌-日2409		国民栄ゆる	御代を上げ	書350	曲-日6535	
歌-日2410		国と国との戦いに	征清首途の歌	書216	曲-日3518	
歌-日2411		くににたいしてちうぎのしたき	臥薪嘗胆	書166	曲-日1324	
歌-日2412		国に召された感激を	のぼる朝日に照る月に	書317	曲-日5286	
歌-日2413		国の鎮めのみやしろと	国の鎮め [国の鎮めのみやしろと]	書46 書103 書165 書200 書203 書287 書303 書376 書383	曲-日1942	
歌-日2414		国のためいまや行く	出陣告別	書92	曲-日3070	
歌-日2415		くにのなげがすな	修身	書165 書230	曲-日3035	
歌-日2416		国の花桜はよし野	吉野山 [国の花桜はよし野]	書52	曲-日7142	
歌-日2417		国の光	国の光 [国の光]	書181	曲-日1949	
歌-日2418		国のみためにますらをが	招魂社 [国のみためにますらをが]	書365	曲-日3131	
歌-日2419		国の憲法はかしこくも	国憲	書102 書165	曲-日1950	
歌-日2420		国の御旗	花火 [国の御旗]	書324	曲-日5458	
歌-日2421		国の御母と慕はるる	女徳唱歌	書194	曲-日3236	
歌-日2422		国の基は農なるぞ	全日本農民組合同盟歌	書392	曲-日3634	
歌-日2423		くにはひのもとおてんしまの	子守謡 [くにはひのもとおてんしまの]	書166	曲-日2566	
歌-日2424		国はひろく	御世の栄 [国はひろく]	書85	曲-日6538	
歌-日2425		苦悩吾等は知らず	平心	書232	曲-日6052	
歌-日2426		首をか上げて春日をあびて	おきな草 [首をか上げて春日をあびて]	書358	曲-日905	
歌-日2427		颯風を孕み雨を呼ぶ	第二十回記念祭歌(43年中)	書386	曲-日4049	
歌-日2428		くまがいてきをくみしきて	須磨の曲 [くまがいてきをくみしきて]	書166	曲-日3464	
歌-日2429		熊毛の西北岩尾の峯の	熊毛郡勝間村郷土の歌	書253	曲-日1956	
歌-日2430		熊笹	兵隊ゴッコ	書315	曲-日6058	
歌-日2431		くまなきつきのかげに	秋 [くまなきつきのかげに]	書165	曲-日81	
歌-日2432		くまなくてらす秋の月	月見	書225 書309	曲-日4482	
歌-日2433		熊野の村はそのむかし	八東郡熊野村歌	書253	曲-日6816	
歌-日2434		くみあげしゆふしほに	夜網	書166	曲-日7099	
歌-日2435		くめどつきせぬ	わがみつ	書257	曲-日7399	
歌-日2436		くもいをしのぐまでんれい	大寺少将	書166 書169	曲-日890	
歌-日2437		くもいにかかるむらさきの	ゆかりの色	書165	曲-日6994	
歌-日2438		くもいにそびゆるふじのねの	狩場の嵐	書165 書169	曲-日1503	
歌-日2439		雲井に聳ゆる峰の松	松の勢	書311	曲-日6322	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
く	歌-日2440	くもいにたかきおほみや	東京名所	書165	曲-日4660
	歌-日2441	雲井に高く神さびたてる	富士山 [雲井に高く神さびたてる]	書60 書350	曲-日5873
	歌-日2442	くもいにはのしらぎくの	皇后宮御降誕	書165	曲-日2233
	歌-日2443	雲居のよその	別れ [雲居のよその]	書181	曲-日7419
	歌-日2444	雲を凌げる老木の	鶯 [雲を凌げる老木の]	書213 書214	曲-日7446
	歌-日2445	雲をば凌ぎて大空に	不二山 [雲をば凌ぎて大空に]	書100	曲-日5866
	歌-日2446	雲か霧か雨のあとか	亡き友 [雲か霧か雨のあとか]	書165 書366	曲-日4864
	歌-日2447	雲がぞろぞろ鬼ごっこ	鬼ごっこ	書269	曲-日1005
	歌-日2448	雲かとばかり	宮島	書215	曲-日6527
	歌-日2449	雲かとまがふ桜花	額田郡山中村歌	書253	曲-日5178
	歌-日2450	くもかやまかごかえつか [汽車]	汽車 [くもかやまかごかえつか]	書166	曲-日1656
	歌-日2451	くもかやまか呉か越か [泊天草洋]	泊天草洋	書166	曲-日305
	歌-日2452	くもかやまかなみまのかげは	待つらん人	書166	曲-日6337
	歌-日2453	くもかゆきかの [雲か雪か]	雲か雪か	書381	曲-日1974
	歌-日2454	雲か雪かの花のよそめも	大原女	書161 書379	曲-日1034
	歌-日2455	くもきりふきははれてかがやくつき	雲霧	書169 書366	曲-日1975
	歌-日2456	雲こそよけれ此の郷は	第二十一回記念祭寄贈歌(44年京大)	書386	曲-日3964
	歌-日2457	雲白く残れども	早春 [雲白く残れども]	書222	曲-日3660
	歌-日2458	雲漂ふ	海辺に立ちて	書201 書202	曲-日693
	歌-日2459	くもとまがひゆきとまがひ	さくら [くもとまがひゆきとまがひ]	書54	曲-日2654
	歌-日2460	雲と湧くアジヤの力	アジヤの力	書179 書236 書238	曲-日266
	歌-日2461	くもなきてんにらいひびき	花火 [くもなきてんにらいひびき]	書166	曲-日5454
	歌-日2462	雲なす黒煙天を突き奔行く鉄艦	軍艦戦闘 [雲なす黒煙天を突き奔行く鉄艦]	書118	曲-日2028
	歌-日2463	雲に聳ゆるいぶりさし	岩船郡関谷村歌	書253	曲-日556
	歌-日2464	くもにそびゆるたかちほの	紀元節 [くもにそびゆるたかちほの]		曲-日1640
	歌-日2465	雲に聳ゆる高山も	国船	書287	曲-日1952
	歌-日2466	雲の彼方	旅の友	書350	曲-日4257
	歌-日2467	雲の色うすれて	今日も暮れぬ	書184 書283	曲-日1840
	歌-日2468	雲の上野もきのう今日	春 [雲の上野もきのう今日]	書303	曲-日5528
	歌-日2469	雲のうす墨末きえて	雲間雁	書166 書223	曲-日1983
	歌-日2470	雲の中から	雪 [雲の中から]	書267	曲-日7006
	歌-日2471	雲の波はてもなく	海 [雲の波はてもなく]	書135	曲-日671
	歌-日2472	雲晴れ風和ぎ稀なる	晴れの日	書60	曲-日5669
	歌-日2473	雲ふみ分けて訪ひ入りし	第二十六回記念祭寄贈歌(5年東北大)	書386	曲-日4035
	歌-日2474	雲間を光明の	揺籠	書281	曲-日7091
	歌-日2475	雲巻き雲舒ぶ天外に	第二十一回記念祭寄贈歌(44年東大)	書386	曲-日3966
	歌-日2476	雲迷ふ夕立烈し笠寺に	織田信長 [雲迷ふ夕立烈し笠寺に]	書54	曲-日950
	歌-日2477	雲や紫背振山 [雲や紫]	雲や紫	書40	曲-日1984
	歌-日2478	雲や紫背振山 [第二十一回記念祭寄贈歌(44年九大)]	第二十一回記念祭寄贈歌(44年九大)	書386	曲-日3965
	歌-日2479	くもよせきたるくもよせきたる	鐘が浦の驟雨	書166 書217	曲-日1423
	歌-日2480	雲よせきたる雲よせきたる	鏡が浦驟雨	書217 書225 書312	曲-日1238
	歌-日2481	曇らぬ心の鏡に照して	誠の道 [曇らぬ心の鏡に照して]	書60	曲-日6283
	歌-日2482	雲湧けり雲湧けり	大日本の歌	書317	曲-日4055
	歌-日2483	雲は洞に	送別 [雲は洞に]	書265	曲-日3675
	歌-日2484	くらいおうちの戸をあけて	竹の子 [くらいおうちの戸をあけて]	書208	曲-日4159
	歌-日2485	鞍馬の寺の	五條の橋	書225	曲-日2422
	歌-日2486	倶利伽羅山の阪おとし	斉藤実盛 [倶利伽羅山の阪おとし]	書270	曲-日2627
	歌-日2487	くりげのうまにむちをあげて	馬上の少年 [くりげのうまにむちをあげて]	書166 書279	曲-日5340
	歌-日2488	くりのみがおちたそれみてこりす	栗と小栗鼠	書54	曲-日1988
	歌-日2489	クリミヤの野は	ナイチンゲール [クリミヤの野は]	書138	曲-日4844
	歌-日2490	クルクル [独楽]	独楽	書267	曲-日2537
	歌-日2491	グルグルグルグル [テクオンキ]	テクオンキ [グルグルグルグル]	書222	曲-日4338
歌-日2492	ぐるぐるぐるぐる [縄飛び]	縄飛び [ぐるぐるぐるぐる]	書166	曲-日4985	
歌-日2493	クルクルクルクルめぐるは [水車と風車]	水車と風車	書204	曲-日3373	
歌-日2494	くるくるくるみづぐるま [水車]	水車 [くるくるくる]	書54	曲-日6435	
歌-日2495	くるくる廻る目が廻る [山雀]	山雀	書210	曲-日6837	
歌-日2496	くるくる廻るは [つむぎうた]	つむぎうた	書188	曲-日4541	
歌-日2497	苦しき恋よ	花園の恋	書385	曲-日5427	
歌-日2498	苦しみ悲しみ	姉と妹 [苦しみ悲しみ]	書182 書336	曲-日299	
歌-日2499	クルックルッ [水車]	水車 [クルックルッ]	書266	曲-日6436	
歌-日2500	来るとしごとにあたらなる	新年 [来るとしごとにあたらなる]	書141	曲-日3331	
歌-日2501	車をひきて	坂に車 [車をひきて]	書225	曲-日2639	
歌-日2502	くるまにつめばななくるま	豊年 [くるまにつめばななくるま]	書166	曲-日6119	
歌-日2503	車はくるくる	車はくるくる	書46 書88	曲-日1991	
歌-日2504	クルリクルリ風車	風車 [クルリクルリ風車]	書267	曲-日1303	
歌-日2505	暮れてゆく	帆	書257	曲-日6087	
歌-日2506	紅香ふ朝霧に	遠漕歌	書386	曲-日796	
歌-日2507	紅匂う野ばらの花も	紅匂う野ばら	書232	曲-日1995	
歌-日2508	くれない燃え立つ	世紀の若人	書238	曲-日3498	
歌-日2509	紅萌ゆる	第三高等学校寮歌 [紅萌ゆる]	書252	曲-日3804	
歌-日2510	紅燃ゆる岡の上 [月見草]	月見草	書387	曲-日4483	
歌-日2511	紅萌ゆる岡の花 [紅萌ゆる(三高)]	紅萌ゆる(三高)	書40	曲-日1996	
歌-日2512	紅萌ゆる岡の花	逍遥の歌	書240 書387	曲-日3182	
歌-日2513	紅萌ゆる岡の花 [紅萌ゆる岡の花(第三高等学校寮歌)]	紅萌ゆる岡の花(第三高等学校寮歌)	書385	曲-日1997	
歌-日2514	呉服長田の二流	阿山郡小田村歌	書253	曲-日342	
歌-日2515	暮れゆく浜に佇み	孤児 [暮れゆく浜に佇み]	書223	曲-日2402	
歌-日2516	暮れ行く春の川岸に	五月雨の歌	書40	曲-日2749	
歌-日2517	くれゆくまどにふみよむひとの	夜の歌	書166 書176	曲-日7165	
歌-日2518	黒い鯉やら赤い鯉	鯉のぼり [黒い鯉やら赤い鯉]	書267	曲-日2180	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
く	歌-日2519	黒い眸よ今いつこ	黒い眸	書385	曲-日2001
	歌-日2520	くろがねの腕とどろく血潮	産報青年隊歌	書179	曲-日2816
	歌-日2521	黒鉄真鉄鍛にきたい	抜刀隊 [黒鉄真鉄鍛にきたい]	書365	曲-日5373
	歌-日2522	くろかみけづるあさあらし	黒髪櫛る	書166	曲-日2004
	歌-日2523	黒き烟を後にして	黒き烟	書166	曲-日2005
	歌-日2524	黒き幕うすれ緑葉色さえて	夏の森けしき	書100	曲-日4927
	歌-日2525	黒きりボンを緑の髪に	あはれ乙女子	書197 書337	曲-日385
	歌-日2526	黒雲とざせし東洋も	大親兵士の歌	書258	曲-日3773
	歌-日2527	黒潮鳴れる滄海超えて	昭和四年寮歌	書77	曲-日3193
	歌-日2528	黒潮寄せ来る大うな原も	山田長政 [黒潮寄せ来る大うな原も]	書191	曲-日6851
	歌-日2529	黄麗木伝い春告げば	寮歌(昭和8年) [黄麗木伝い春告げば]	書387	曲-日7248
	歌-日2530	桑田開けし五区の春	諏訪郡川岸村歌	書253	曲-日3485
	歌-日2531	桑名の殿さまヤンレサ [桑名の殿様]	桑名の殿様	書363	曲-日2007
	歌-日2532	桑名の殿さんやんれやつとこせー [桑名の殿様(三重)]	桑名の殿様(三重)	書385	曲-日2008
	歌-日2533	鍬に剣を取りそへて	上川郡永山村歌	書253	曲-日1439
	歌-日2534	軍艦進む	軍艦 [軍艦進む]	書267	曲-日2021
	歌-日2535	軍旗軍旗天皇陛下の	軍旗 [軍旗軍旗天皇陛下の]	書190	曲-日2066
	歌-日2536	軍刀霜のごとく	軍人	書94 書138	曲-日2083
	歌-日2537	軍馬の塵に天暗く撃出す	野戦(騎兵隊) [軍馬の塵に天暗く撃出す]	書118	曲-日6803
歌-日2538	群馬の塵佐波の郡	佐波郡采女村唱歌	書253	曲-日2773	
け	歌-日2539	敬神崇仏俗をなし	糸島郡長糸村歌	書253	曲-日486
	歌-日2540	鯨波きりて巨大の舟	第四拾回記念祭寄贈歌(昭和5年東大)	書386	曲-日4090
	歌-日2541	芸文の花咲きみだれ	第二十回記念祭寄贈歌(43年東大)	書386	曲-日4046
	歌-日2542	激する波岩を砕く	堅き心	書232	曲-日1355
	歌-日2543	けさあきかぜのたちそめて	織姫	書166	曲-日1102
	歌-日2544	けさたちいでししらみ子を	遠征の夕	書166	曲-日795
	歌-日2545	今朝まで居たる籠の小鳥	籠の小鳥	書312	曲-日1291
	歌-日2546	今朝もとうから母様が	小鳥 小鳥の歌	書24	曲-日2489
	歌-日2547	今朝は霞もはるばると	野あそび [今朝は霞もはるばると]	書28	曲-日5226
	歌-日2548	毛だらけの人	エスキモのかりうど	書17	曲-日772
	歌-日2549	けつきよけよきよぐひす	篤 [けつきよけよきよ]	書54	曲-日581
	歌-日2550	げにいさまきはへいしなり	実にいさまき	書142	曲-日2129
	歌-日2551	げにうつききあめつちの	美しき天然 [げにうつききあめつちの]	書136	曲-日653
	歌-日2552	げにおこなひはあふぎなり	行状	書165	曲-日1820
	歌-日2553	実に悲あれば後に歎あらむ	実に悲あれば	書232	曲-日2130
	歌-日2554	げによのなかははりのみち	針の道	書102 書166	曲-日5521
	歌-日2555	煙り争ふ春霞	第三十六回記念祭祭歌 [煙り争ふ春霞]	書386	曲-日3841
	歌-日2556	けぶりのたなびくかこのかげに	御国の旗	書166	曲-日6420
	歌-日2557	煙ると見ゆる	雨 [煙ると見ゆる]	書159	曲-日324
	歌-日2558	煙ぶる柳絲を垂れて	のどけき春 [煙ぶる柳絲を垂れて]	書29	曲-日5273
	歌-日2559	煙を立てて	自動車	書267	曲-日2938
	歌-日2560	けむりをはきたてトンネルぬけて	汽車 [けむりをはきたてトンネルぬけて]	書68	曲-日1658
	歌-日2561	煙か浪かはた雲か	坂本少佐 [煙か浪かはた雲か]	書67 書164 書166 書169	曲-日2642
	歌-日2562	煙か浪かはた雪か	坂本少佐 [煙か浪かはた雪か]	書40	曲-日2643
	歌-日2563	煙に似たる花霞	第二十回記念祭祭歌(43年北)	書386	曲-日4051
	歌-日2564	煙の末に夕迷ふ	佐賀高校記念祭歌	書40	曲-日2635
	歌-日2565	煙も見えず雲もなく [勇敢なる水兵]	勇敢なる水兵	書29 書67 書164 書166 書169 書385	曲-日6930
	歌-日2566	煙も見えず雲もなく [勇敢なる水兵]	勇敢なる水兵	書40	曲-日6929
	歌-日2567	煙はさびしさとつづき	高津の宮 [煙はさびしさとつづき]	書164 書165	曲-日4132
	歌-日2568	煙はたれて水むせぶ	名古屋高工寮歌	書40	曲-日4874
	歌-日2569	けものとりのおひださへ	猫とかなりや	書124	曲-日5182
	歌-日2570	ケルナー! ツァーレン!	ボーイさんお会計	書232	曲-日6145
	歌-日2571	けはしきやまじにけふもくれぬ	学ひの山路	書165 書169	曲-日6368
	歌-日2572	玄海の波はあらくも青年団	福岡県連合青年団団歌	書31	曲-日5854
	歌-日2573	剣が岳の崇高くて	河西郡御影村歌	書253	曲-日1296
	歌-日2574	けんけん小雉山雉啼くな	けんけん子雉	書117	曲-日2138
	歌-日2575	元寇十万筑紫の海に [元寇]	元寇 [元寇十万筑紫の海に]	書67 書169	曲-日2139
	歌-日2576	げんこうじうまんつくしのうみ [元寇問答歌]	元寇問答歌	書165	曲-日2146
	歌-日2577	建国以来外国の	国民の務	書124	曲-日2367
	歌-日2578	建国二千有余年 [帝国在郷軍人の歌]	帝国在郷軍人の歌	書385	曲-日4565
	歌-日2579	建国二千有余年 [帝国在郷軍人会歌]	帝国在郷軍人会歌	書240	曲-日4563
	歌-日2580	建国二千有余年 [帝国在郷軍人会会歌]	帝国在郷軍人会会歌	書40	曲-日4564
	歌-日2581	健児の胸に燃ゆる火の	山口高校々歌	書40	曲-日6840
	歌-日2582	源氏平家のたたかひは	源平の戦	書68	曲-日2163
	歌-日2583	玄如見たさの朝水汲めば	玄如節(福島)	書385	曲-日2151
	歌-日2584	憲政はじめて国の基	伊藤公	書182	曲-日483
	歌-日2585	建武の昔正成は [楠正成桜井駈に於て正行へ遺訓の歌]	楠正成桜井駈に於て正行へ遺訓の歌	書287 書303	曲-日1924
歌-日2586	建武の昔正成は [楠正成其子正行へ遺訓の歌]	楠正成其子正行へ遺訓の歌	書198	曲-日1925	
歌-日2587	源平勝負の晴の場所	那須余一 [源平勝負の晴の場所]	書208	曲-日4881	
歌-日2588	建武の昔楠氏あり	乃木大将 [建武の昔楠氏あり]	書60	曲-日5255	
歌-日2589	建武の昔し正成は [楠公の歌]	楠公の歌	書200	曲-日1921	
歌-日2590	権利幸福きらひな人に	オッペケペ	書385	曲-日980	
歌-日2591	元暦二年暮の春	壇の浦	書60	曲-日4312	
こ	歌-日2592	孤鞍衝雨入茅茨	道灌借蓑図	書166	曲-日4648
	歌-日2593	こひしきおやの	わがやど [こひしきおやの]	書265	曲-日7407
	歌-日2594	恋しやわが父	孤児 [恋しやわが父]	書60	曲-日2400
	歌-日2595	五一車のお爺さん	五一爺さん [五一車のお爺さん]	書60	曲-日2171
	歌-日2596	来いと見たとて	佐渡は四十五里	書368	曲-日2734
	歌-日2597	恋の灯かがやく	浅草行進曲	書385	曲-日214

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
こ	歌-日2598	恋は楽しや街に	僕の青春	書385	曲-日6163
	歌-日2599	恋はやさしい野辺の花よ	恋はやさしい野辺の花よ(ボソカチオ)	書385	曲-日2185
	歌-日2600	恋はわがごと	恋は命よ	書11	曲-日2184
	歌-日2601	紅雲映ゆる曙の色	第十九回記念祭歌(42年中)	書386	曲-日3871
	歌-日2602	香雲深く立ち暈めて	第十五回記念祭歌(38年北)	書386	曲-日3882
	歌-日2603	皇恩普き北海の	函館支庁管内	書253	曲-日5326
	歌-日2604	慷慨志士をあつめては	徳川光国 [慷慨志士をあつめては]	書68	曲-日4730
	歌-日2605	皇化にいまだ潤ほはぬ	能久親王	書270	曲-日7146
	歌-日2606	皎月かかり	秋の夜 [皎月かかり]	書181	曲-日166
	歌-日2607	紅酒に香ふ	CAFEの唄 [紅酒に香ふ]	書11	曲-日1430
	歌-日2608	工場だ機械だ鉄だよ音だよ	機械	書191	曲-日1610
	歌-日2609	轟然一発水煙揚るや砕けぬ敵の艦	軍艦戦闘 [轟然一発水煙揚るや砕けぬ敵の艦]	書118	曲-日2043
	歌-日2610	高知県治の北八里	土佐郡森村歌	書253	曲-日4759
	歌-日2611	皇統連綿 [日本国民の歌]	日本国民の歌	書215	曲-日5096
	歌-日2612	皇統連綿皇国のほこり	皇国のほこり	書177	曲-日6423
	歌-日2613	皇統連綿我らが誇り	起てよや青年	書60	曲-日4199
	歌-日2614	公に奉じて義に勇に大和魂純潔き	軍艦戦闘 [公に奉じて義に勇に大和魂純潔き]	書118	曲-日2041
	歌-日2615	紅葩したたる花の上に	野球部部歌(44年)	書387	曲-日6758
	歌-日2616	かうべのみなどをこぎいでて	瀬戸内海 [かうべのみなどをこぎいでて]	書54	曲-日3588
	歌-日2617	子馬いくのか馬市に	馬市	書373	曲-日665
	歌-日2618	子馬に乗って	小さなかりうど	書17	曲-日4326
	歌-日2619	傲慢無礼の清国は	豊島沖の海戦	書391	曲-日6113
	歌-日2620	かうもり君かうもり君	かうもり [かうもり君かうもり君]	書163	曲-日2288
	歌-日2621	かうもりこいかうもりこい	かうもり [かうもりこいかうもりこい]	書318	曲-日2287
	歌-日2622	高梁枯れて烏啼く	祖国の柱	書95	曲-日3701
	歌-日2623	こうりょういかりてくもをおこし	群籠争珠	書166	曲-日2093
	歌-日2624	紅輪いまか	第五高等学校祭歌 [紅輪いまか]	書252	曲-日3794
	歌-日2625	香炉峰の	清少納言 [香炉峰の]	書86	曲-日3514
	歌-日2626	声をあげて送る	入営の歌	書240 書241	曲-日5146
	歌-日2627	肥えたるわが馬手なれしわが鞭	騎馬旅行	書225	曲-日1749
	歌-日2628	子を思ふごと民おもふ	皇恩 [子を思ふごと民おもふ]	書68	曲-日2195
	歌-日2629	氷がはった	氷がはった	書225	曲-日2301
	歌-日2630	氷がやつと解けかけて	親子のあひる	書117	曲-日1078
	歌-日2631	氷か雪か将霜か	日本刀(其二)	書200	曲-日5130
	歌-日2632	凍りてつづく雪の原	防人の唄	書317	曲-日2646
	歌-日2633	水閉ぢし	冬 [水閉ぢし]	書159	曲-日5958
	歌-日2634	氷にとざすえぞのはて	高田屋嘉兵衛 [氷にとざすえぞのはて]	書69	曲-日4129
	歌-日2635	こほりのうへをつるつと	冬の遊び	書54	曲-日5964
	歌-日2636	氷の刃御腹に当てて	大塔宮	書47 書211 書212	曲-日891
	歌-日2637	こおりもいまはあとなくきえ	探梅	書122 書165	曲-日4313
	歌-日2638	氷は跡なく川水踊り	春 [氷は跡なく川水踊り]	書312	曲-日5531
	歌-日2639	ゴールド眼鏡のハイカラは	ハイカラ節 [ゴールド眼鏡のハイカラは]	書385	曲-日5299
	歌-日2640	こほれるなみだいつしかとけて	鶯のうた	書54 書281	曲-日596
	歌-日2641	こほろぎころころ	こほろぎ [こほろぎころころ]	書174	曲-日2306
	歌-日2642	蟋蟀鳴く秋の夜	夜の思ひ [蟋蟀鳴く秋の夜]	書312	曲-日7168
	歌-日2643	ごーろごーろ	ごーろごーろごーろごーろ	書104	曲-日2310
	歌-日2644	蚕かひの道は千草振る	養蚕	書166 書310	曲-日7102
	歌-日2645	木陰ふかきみどりの森	楽しき森 [木陰ふかきみどりの森]	書52	曲-日4229
	歌-日2646	軽風そよそよと野良吹き行けば	曙光	書28	曲-日182
	歌-日2647	五月の風は	初夏 [五月の風は]	書86	曲-日3196
	歌-日2648	五月の空は晴れわたり	鯉織 [五月の空は晴れわたり]	書85	曲-日2182
	歌-日2649	黄金さらす	ゆたけき秋 [黄金さらす]	書181	曲-日7071
	歌-日2650	黄金しろかね	黄金白銀	書381	曲-日2318
	歌-日2651	こがねのなみをうちよせて	豊年 [こがねのなみをうちよせて]	書54 書136	曲-日6120
	歌-日2652	黄金の波かと	たそがれ [黄金の波かと]	書166 書175	曲-日4176
	歌-日2653	黄金の穂	夕陽 [黄金の穂]	書281	曲-日6967
歌-日2654	こがねむしはかねもちだ	黄金虫	書27 書54	曲-日2323	
歌-日2655	こがめがやまみちのそのそと	亀のちえ	書27	曲-日1467	
歌-日2656	木がらし声して	初冬	書265	曲-日3234	
歌-日2657	こがらしさきゆふべのそら	冬の夕	書122 書165	曲-日5973	
歌-日2658	こがらし吹ききて	松柏	書282	曲-日3173	
歌-日2659	子鳥親を思ふ捕はれて歎く	親子鳥	書311	曲-日1076	
歌-日2660	国威を揚るは此時と	軍艦戦闘 [国威を揚るは此時と]	書118	曲-日2044	
歌-日2661	虚空にはねうつ大鳥見ずや	皆わが眼	書366	曲-日6503	
歌-日2662	黒煙吐きつ波を挙げ	威海衛 [黒煙吐きつ波を挙げ]	書391	曲-日402	
歌-日2663	こくみんこくみんわがくにあいして	国民 [こくみんこくみんわがくにあいして]	書165	曲-日2357	
歌-日2664	国民こそって記憶せよ	日本海大海戦	書322	曲-日5090	
歌-日2665	漕ぐや海の直中に	湖上の述懐	書28	曲-日2420	
歌-日2666	孤軍異境に進みては	加藤清正 [孤軍異境に進みては]	書60	曲-日1402	
歌-日2667	孤軍憤闘かこみをやぶりて	逸題 [孤軍憤闘かこみをやぶりて]	書166	曲-日476	
歌-日2668	苔生ひ茂り卒塔婆朽ちて	友の墓	書28 書100	曲-日4800	
歌-日2669	こげこげこげこげよ	競漕の歌 [こげこげこげこげよ]	書166	曲-日1823	
歌-日2670	コケココココ	鶏 [コケココココ]	書68	曲-日5158	
歌-日2671	虎穴に入らば虎の子を [虎穴に入らば]	虎穴に入らば	書164 書166	曲-日2372	
歌-日2672	虎穴に入らば虎の子を [野戦(抜刀隊)]	野戦(抜刀隊) [虎穴に入らば虎の子を]	書118	曲-日6808	
歌-日2673	苔の上の露	幽棲	書60	曲-日6990	
歌-日2674	苔のころもに纏はる老木のはなも春たてば	胡蝶の末	書303	曲-日2458	
歌-日2675	こけのひげあらうばかりに	水鳥 [こけのひげあらうばかりに]	書137	曲-日6445	
歌-日2676	こげやこげや [松島]	松島 [こげやこげや]	書225	曲-日6313	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
こ	歌-日2677	こげやこげやいざふなこ [松島船遊び]	松島船遊び	書165	曲-日6317
	歌-日2678	ここ奥州の北の海	鮫港	書287	曲-日2753
	歌-日2679	此所から見えるよドッチボール	ドッチボール	書358	曲-日4776
	歌-日2680	ここちよきみそらは	山に遊びて	書27	曲-日6885
	歌-日2681	心地よく風かをる	山路	書350	曲-日6847
	歌-日2682	ここなる門は [ここなる門は]	ここなる門は	書381	曲-日2384
	歌-日2683	ここなるもんはたれがもん [ここなる門]	ここなる門	書67 書161 書164 書166 書379	曲-日2383
	歌-日2684	ここなるもんはたれかもんどうらばとうれ [門]	門	書132	曲-日6732
	歌-日2685	此処にいうカノーネンとは	カノーネン?	書232	曲-日1427
	歌-日2686	茲に藤原保昌は嵯峨野の月にあくがれて	保昌の威武	書237	曲-日6104
	歌-日2687	ここにまつるきみがみたま	招魂祭	書67 書139 書153 書154 書165 書170	曲-日3128
	歌-日2688	ここに村上義光は	村上義光 [ここに村上義光は]	書303	曲-日6581
	歌-日2689	このいけうれしこのきしたのし	池の小魚	書166 書285	曲-日419
	歌-日2690	ココノオイケニ	オイケノカメ	書171	曲-日811
	歌-日2691	このおしへのにはのまど	開校記念式	書165	曲-日1136
	歌-日2692	ここはからくにきんさんの	虎狩	書166	曲-日4811
	歌-日2693	此処は何処ぞ新島の	新島本村村歌 宮塚山上(勇敢なる水兵の譜)	書253	曲-日5015
	歌-日2694	ここほれワンワン	はなさかぢいさん	書104	曲-日5409
	歌-日2695	ここもうき世の嵯峨のおく	小督 [ここもうき世の嵯峨のおく]	書147 書161	曲-日2374
	歌-日2696	ここやみなせのさとのあたり	水辺春暁	書166	曲-日3384
	歌-日2697	ここの月日たゆみなく	今は学校後に見て	書166 書279	曲-日527
	歌-日2698	ここの富をも枯らし	力	書60	曲-日4330
	歌-日2699	意志ありとも白菊黄菊	菊 [意志ありとも白菊黄菊]	書60 書68	曲-日1623
	歌-日2700	心憂ひ	佐太大神	書178	曲-日2710
	歌-日2701	こころをかたくし	なぜ今夜	書70 書71	曲-日4884
	歌-日2702	こころをのべに	野遊 [こころをのべに]	書54 書282	曲-日5228
	歌-日2703	志しては	学生の歌	書29	曲-日1253
	歌-日2704	心寂し旅路の	旅路	書310 書336	曲-日4247
	歌-日2705	こころしておほしたて	おやの恩 [こころしておほしたて]	書165	曲-日1083
	歌-日2706	こころとどめて世界を見れば	自然	書136	曲-日2904
	歌-日2707	こころに心配あるもの	エスにはなせ	書70 書71	曲-日774
	歌-日2708	こころに智徳を備ふればかならず容に形れて	西行高雄の法華会に詣る	書237	曲-日2606
	歌-日2709	心の奥より湧き出る真清水	交友の道	書311	曲-日2296
	歌-日2710	心の故郷に石狩の	心の故郷(大正十一年)	書77	曲-日2387
	歌-日2711	心の底より勇ましくきたい上たる魂の	退散の歌	書375	曲-日3849
	歌-日2712	心のどけき	摘草 [心のどけき]	書324	曲-日4537
	歌-日2713	こころのひろいかひばらせんせい	貝原益軒 [こころのひろいかひばらせんせい]	書124	曲-日1193
	歌-日2714	こころはたけく	心は猛く	書161	曲-日2391
	歌-日2715	こころは玉なり曇りもあらし	心は玉	書154	曲-日2395
	歌-日2716	こころむなく中とほり	雪の竹	書161	曲-日2392
	歌-日2717	こころもうきたちあしかりく	遠足 [こころもうきたちあしかりく]	書262	曲-日2396
	歌-日2718	心もそらにて	秋の夜 [心もそらにて]	書185	曲-日7050
	歌-日2719	こころもはれゆくあさひのそらに	故郷の山	書166	曲-日797
	歌-日2720	心もふかき	西郷隆盛 [心もふかき]	書225	曲-日164
	歌-日2721	こころもゆかしきゆふべのそら	夕風	書27 書174	曲-日6013
	歌-日2722	こころゆかしやはるのくさ	春の草秋の草	書54 書60 書201 書382	曲-日2608
	歌-日2723	こころゆるすな	兎と亀 [こころゆるすな]	書124	曲-日6928
	歌-日2724	心はきよき梅のはな	管公 [心はきよき梅のはな]	書165	曲-日5601
	歌-日2725	こころはたけく	こころはたけく	書379 書381	曲-日614
	歌-日2726	こころは玉なり曇りもあらし	心は玉	書153	曲-日1575
	歌-日2727	ここは何処の海なるぞ	那須の与一 [ここは何処の海なるぞ]	書203	曲-日4879
	歌-日2728	ここは近江の琵琶の湖	琵琶湖 [ここは近江の琵琶の湖]	書52	曲-日5820
	歌-日2729	ここはお国を何百里	戦友 [ここはお国を何百里]	書40 書44 書385	曲-日3638
	歌-日2730	ここは串本向ひは大島	串本節	書363 書385	曲-日1916
	歌-日2731	茲は生死の海の上	軍艦戦闘 [茲は生死の海の上]	書118	曲-日2061
歌-日2732	ここは過ぎし年友と遊びつる	夢 [ここは過ぎし年友と遊びつる]	書88	曲-日7078	
歌-日2733	此処は朝鮮北端の	朝鮮警備の唄	書385	曲-日4394	
歌-日2734	ここは何所の細道ぢゃ	第二場 出征途上の場 犬猿雄勢揃ひの段	書25	曲-日4053	
歌-日2735	此所は春風湯崗子	湯崗子温泉で	書358	曲-日4664	
歌-日2736	此処は御国の	戦友 [此処は御国の]	書29	曲-日3640	
歌-日2737	ここはわれらがはなのその	花園 [ここはわれらがはなのその]	書166	曲-日5425	
歌-日2738	ここんこん啼くのは	母さんこよ	書315	曲-日1119	
歌-日2739	古今の人の学問に	学問の勉強	書203	曲-日1261	
歌-日2740	胡妙吹き荒ぶ満州の	馬賊の歌 [胡妙吹き荒ぶ満州の]	書40	曲-日5348	
歌-日2741	来し方の睦まじき	離別の曲	書28 書100	曲-日7234	
歌-日2742	こしにとりはくろのたちを	太刀と銃	書166	曲-日4187	
歌-日2743	五尺のからだ一ぱいに	北条時宗 [五尺のからだ一ぱいに]	書68	曲-日6102	
歌-日2744	古城の春は古い易く	昭和七年度寮歌	書77	曲-日3189	
歌-日2745	湖水の波に舟を浮べ	舟遊 [湖水の波に舟を浮べ]	書310 書336	曲-日5932	
歌-日2746	こずえいろづきいなばみのり	秋 [こずえいろづきいなばみのり]	書165	曲-日82	
歌-日2747	こずえこずえをゆりうごかして	森林	書54	曲-日3356	
歌-日2748	梢に蝉の	山げしき	書225	曲-日6841	
歌-日2749	梢の桜は	吊花吟	書201 書202	曲-日4391	
歌-日2750	こずえのはなは	蝉 [こずえのはなは]	書206	曲-日3600	
歌-日2751	梢まばらに咲初めし	夜の梅	書213 書214	曲-日7166	
歌-日2752	梢はいかに高くとも	佐久間象山 [梢はいかに高くとも]	書270	曲-日2649	
歌-日2753	ごせんよまんあにおとどもよ	五千余万	書165	曲-日2440	
歌-日2754	去年の今日は庭の桜	花下懐友	書185	曲-日1228	
歌-日2755	姑蘇の台は荒れ果てて	第十一回記念祭歌(34年北)	書386	曲-日3866	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
こ	歌-日2756	後醍醐天皇第三の	大塔の宮	書203	曲-日3959
	歌-日2757	こだまにこたふる	さをしか	書374	曲-日2633
	歌-日2758	東風に	霞姫	書178	曲-日1331
	歌-日2759	こちさゆるあかつきにみな	春を呼ぶ	書165	曲-日5536
	歌-日2760	こちのもりの〔朝暉夕映〕	朝暉夕映	書29	曲-日246
	歌-日2761	こちの森のかた〔朝夕の歌〕	朝夕の歌	書265	曲-日255
	歌-日2762	東風吹くもわれらおそれず	海洋健児南進歌	書78	曲-日1202
	歌-日2763	胡蝶の飛交う	友どち〔胡蝶の飛交う〕	書374	曲-日4794
	歌-日2764	こっかいかいじょうくもあれて	ナイチンゲール〔こっかいかいじょうくもあれて〕	書166	曲-日4845
	歌-日2765	国境今や春おとづれて	黒龍江の解氷	書358	曲-日2370
	歌-日2766	こっけこっけこっけこ	鶏〔こっけこっけこっけこ〕	書54	曲-日5160
	歌-日2767	コッココッタのし吾がよは	健具匠	書374	曲-日4195
	歌-日2768	こつこつたけ	浦島太郎〔こつこつたけ〕	書124	曲-日721
	歌-日2769	ごつとんごつとんぎいごつとん	水車〔ごつとんごつとんぎいごつとん〕	書60	曲-日3368
	歌-日2770	ことある時には家をもわずれ	忠孝〔ことある時には家をもわずれ〕	書52	曲-日4374
	歌-日2771	ことあるときは君がため散れと	楠正行〔ことあるときは君がため散れと〕	書303	曲-日1926
	歌-日2772	ゴトゴトガバガバ	汽船〔ゴトゴトガバガバ〕	書68	曲-日1694
	歌-日2773	ことしの夏の休には	夏やすみ〔ことしの夏の休には〕	書93 書225	曲-日4940
	歌-日2774	ことしの休暇は	休暇	書227	曲-日1787
	歌-日2775	今年もいまは休み時	終業式〔今年もいまは休み時〕	書55	曲-日3022
	歌-日2776	今年や十三月	ぶらぶら節	書363	曲-日5985
	歌-日2777	ことしはお米がたくさんとれた	豊年まつり〔ことしはお米がたくさんとれた〕	書94 書225	曲-日6125
	歌-日2778	古都先年の夢つむ	野球部凱歌	書386	曲-日6754
	歌-日2779	ことなきをりもそのみだれ	尚武会	書164	曲-日3176
	歌-日2780	事なき時は	興国の人	書281	曲-日2239
	歌-日2781	琴の音もおもしろし	自然の音楽〔琴の音もおもしろし〕	書88 書166	曲-日2910
	歌-日2782	琴ひくおうな	琴弾く媼	書166 書176	曲-日2472
	歌-日2783	子供が居たかと	呼子鳥	書60	曲-日7157
	歌-日2784	こどもこども	こどもこども	書67 書144 書166 書379 書381	曲-日2475
	歌-日2785	言も業も一として	伊藤仁齋先生〔言も業も一として〕	書124 書165	曲-日484
	歌-日2786	子どもの車だ八百屋の車だ	子ども八百屋	書190	曲-日2480
	歌-日2787	子供の時は馬木に乗るよ	騎馬	書232	曲-日1747
	歌-日2788	こどもよきたれ	日曜学校	書70 書71	曲-日5047
	歌-日2789	こどもよこどもこのひろにはに	運動	書166	曲-日737
	歌-日2790	小鳥さん小鳥さん	小鳥 令嬢独唱	書24	曲-日2496
	歌-日2791	小鳥にさそはれ	森	書185	曲-日6707
	歌-日2792	小鳥のつどいは緑の森の	小鳥のつどひ	書232	曲-日2493
	歌-日2793	小鳥の音をきき谷川ながめ	登山〔小鳥の音をきき谷川ながめ〕	書116	曲-日4760
	歌-日2794	小鳥も歌ふいざや友	歌へや舞へや	書60 書350	曲-日638
	歌-日2795	小鳥よ	小鳥よ	書86	曲-日2495
	歌-日2796	こころこころ	子とろ	書34	曲-日2498
	歌-日2797	こな雪さらさら	こな雪〔こな雪さらさら〕	書358	曲-日2500
	歌-日2798	この川上に寺やある	月〔この川上に寺やある〕	書54	曲-日4452
	歌-日2799	この曲歌ふに	この曲	書232	曲-日2509
	歌-日2800	此の大世界の国々を	世界万国	書165	曲-日3565
	歌-日2801	このとしこのひをしむべし〔歳暮〕	歳暮〔このとしこのひをしむべし〕	書165	曲-日3532
	歌-日2802	この歳この日惜むべし〔歳暮歌〕	歳暮歌	書147 書166	曲-日3537
	歌-日2803	此月此日をしむべし〔歳暮の歌〕	歳暮の歌	書161	曲-日3538
	歌-日2804	木の葉が散るよ	山の木野の木	書27 書222	曲-日6898
	歌-日2805	木の葉に草に	村時雨	書85	曲-日6590
	歌-日2806	この陽この空この光	国民進軍歌	書179 書238	曲-日2364
	歌-日2807	この旋律歌ひ次げ	歌ひ次げ	書232	曲-日632
	歌-日2808	木の間をわくる風青く	新緑〔木の間をわくる風青く〕	書166 書285	曲-日3355
	歌-日2809	木の間	夜〔木の間〕	書188	曲-日7164
	歌-日2810	このまま別れてそれでよけりや〔『カルメン』別れの歌〕	『カルメン』別れの歌	書11	曲-日1510
	歌-日2811	このまま別れてそれでよけりや〔別れの唄〕	別れの唄〔このまま別れてそれでよけりや〕	書385	曲-日7424
歌-日2812	このみうゆればこのこそただず	棄児歌	書166	曲-日3444	
歌-日2813	このみすすめ	此道すすめ	書166	曲-日2523	
歌-日2814	この道はいつか来た道	この道〔この道はいつか来た道〕	書40 書117 書184 書241	曲-日2522	
歌-日2815	この芽もはるの花さくには	懐友〔この芽もはるの花さくには〕	書54 書165 書175	曲-日1198	
歌-日2816	この山越えて	子守歌〔この山越えて〕	書60	曲-日2547	
歌-日2817	この世のうへには	楽しい国〔この世のうへには〕	書70 書71	曲-日4218	
歌-日2818	この世のたから	吾望	書70 書71	曲-日7387	
歌-日2819	この世の富も繁栄も	メーデー歌(三)	書392	曲-日6633	
歌-日2820	小菘露けき宮城野に	第三十九回記念祭寄贈歌	書386	曲-日3811	
歌-日2821	小春の朝の空はれて	冬〔小春の朝の空はれて〕	書131	曲-日5955	
歌-日2822	御飯が済んで	庭の雀	書202	曲-日5163	
歌-日2823	ごひきのねずみはだいどこに	指遊び〔ごひきのねずみはだいどこに〕	書166	曲-日7073	
歌-日2824	小舟ささやく水は	こぎてあそべや	書350	曲-日2326	
歌-日2825	こぼるなみだおなじそでに	親しき友〔こぼるなみだおなじそでに〕	書122 書165	曲-日2923	
歌-日2826	こぼれ大豆が芽を出した	芽を出した	書174	曲-日6637	
歌-日2827	こぼれて落ちる微笑も	女優の唄(女優の生活)	書11	曲-日3238	
歌-日2828	こまが	こま〔こまが〕	書222	曲-日2535	
歌-日2829	駒のひづめも匂ふまで	八幡太郎	書210	曲-日5363	
歌-日2830	こまのわたりのうりつくり	狛の渡	書145 書166	曲-日2544	
歌-日2831	こみちのはたにさいてる野菊	野ざく〔こみちのはたにさいてる野菊〕	書116	曲-日5250	
歌-日2832	ごめんくださいはなごさん	お客様	書54 書60 書267	曲-日913	
歌-日2833	小諸出て見よ浅間の山に	馬子唄	書363	曲-日6271	
歌-日2834	御門の上に	三羽の雀〔御門の上に〕	書267	曲-日2809	

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
こ	歌-日2835	小山田太郎高家は君のめぐみにむくはんと	小山田高家	書303	曲-日2572
	歌-日2836	今宵淋しき雫の音に	回顧	書223	曲-日1133
	歌-日2837	こよひさんごのもちのつき	秋月	書54	曲-日3028
	歌-日2838	今宵出船がお名残り惜しや	出船の唄	書40	曲-日4592
	歌-日2839	今宵名残りの三日月も	天国に結ぶ恋	書385	曲-日4606
	歌-日2840	こよひ花野の夕づくよ	侍ごろ	書337	曲-日2751
	歌-日2841	こよひもいざやうちつどひ	獣あそび	書166	曲-日2132
	歌-日2842	こよひものどかにかすめる	春の夜 [こよひものどかにかすめる]	書165	曲-日5647
	歌-日2843	こよこよ稚なき	をさなき兵士	書46	曲-日920
	歌-日2844	こよこよこよこよ飛びこよ螢	螢来よ	書60	曲-日6216
	歌-日2845	こよこよてふてふくわだんのぼたん	蝶蝶とんぼ [こよこよてふてふくわだんのぼたん]	書166	曲-日4409
	歌-日2846	こよこよつばめよ	春野 [こよこよつばめよ]	書28	曲-日5564
	歌-日2847	来よ友いざいざ	来よ友	書232	曲-日2577
	歌-日2848	来よ友よ	来よ友よ	書232	曲-日2578
	歌-日2849	来よや [水辺の螢]	水辺の螢	書60	曲-日6455
	歌-日2850	来よや陸に	来よや陸に	書28	曲-日2579
	歌-日2851	こよよこよよこよつばくらめ	燕 [こよよこよよこよつばくらめ]	書67 書152 書153 書166	曲-日4518
	歌-日2852	こよよこよよこよつばくらめ [燕と時鳥]	燕と時鳥	書54	曲-日4509
	歌-日2853	こよよこよよつばくらめこよよ	燕 [こよよこよよつばくらめこよよ]	書54	曲-日4506
	歌-日2854	来よや来よや燕々来よや	つばめ [来よや来よや燕々]	書60 書350	曲-日4515
	歌-日2855	子等よ目醒めよ	目醒めよ	書232	曲-日6654
	歌-日2856	こらはみないさのにはに	御製 [こらはみないさのにはに]	書165 書255	曲-日1851
	歌-日2857	これご覽なさい	花瓶の花	書267	曲-日1429
	歌-日2858	これなくばいかにかせまし	団子 [これなくばいかにかせまし]	書166	曲-日4301
	歌-日2859	これのとのも寄る人も	集会 [これのとのも寄る人も]	書100	曲-日3007
	歌-日2860	これはカーノンかをかし	諧謔曲	書232	曲-日1124
	歌-日2861	ころころころころ	こほろぎ [ころころころころ]	書34 書315	曲-日2307
	歌-日2862	ころころころころ	夕立 [ころころころころ]	書79	曲-日6950
	歌-日2863	コロコロコロコロ転げても	達磨 [コロコロコロコロ転げても]	書239	曲-日4279
	歌-日2864	ころころころびころんではおきる	だるま [ころころころびころんではおきる]	書27 書54 書60	曲-日4277
	歌-日2865	ごろごろなるのは雷よ	夕立 [ごろごろなるのは雷よ]	書378	曲-日6952
	歌-日2866	頃しも文月すへつかた	海戦の最初(日本海軍)	書19	曲-日1191
	歌-日2867	ころしも弥生の	帰雁 [ころしも弥生の]	書120 書121 書166	曲-日1613
	歌-日2868	頃は正平十四年	大原野	書300	曲-日892
	歌-日2869	頃は明治の午のとし	豊島の大捷	書200	曲-日6116
	歌-日2870	衣至肝袖至腕	前兵児謡	書166	曲-日3635
	歌-日2871	コロリンカラリン	ウサギウマ	書358	曲-日610
	歌-日2872	候は寛保の秋のすえ間の東の洪水は	奥貫五平次の卓挙	書237	曲-日914
	歌-日2873	頃は菊月半過ぎ	黄海の大捷勇	書40	曲-日2217
	歌-日2874	ころはきさらぎやうかのよ	騙逐隊の夜襲	書166	曲-日6084
	歌-日2875	頃は元弘三年の	吉野城	書287	曲-日7136
	歌-日2876	頃は建治の四年とや	やまと心 [頃は建治の四年とや]	書303	曲-日6856
	歌-日2877	頃は万延元年の	桜田の雪	書287	曲-日2687
	歌-日2878	頃は文月の末つかた	牙山占領	書391	曲-日1309
	歌-日2879	頃は水無月初めより	成勸駅	書391	曲-日3489
	歌-日2880	頃は明治の二十七	征清軍	書166	曲-日3516
	歌-日2881	こわいぞ	赤い面と青い面	書222	曲-日62
	歌-日2882	こは不思議	『椿姫』の一節	書11	曲-日4504
	歌-日2883	こはれし車は	初日の歌	書281	曲-日3237
	歌-日2884	こんがうせきもみがかずば [勤学の歌]	勤学の歌 [こんがうせきもみがかずば]	書165	曲-日1556
歌-日2885	金剛石もみがかずば [金剛石]	金剛石	書40 書46 書47 書55 書67 書129 書144 書160 書170 書225 書309 書324 書337	曲-日2591	
歌-日2886	金剛石もみがかずば [金剛石・水は器]	金剛石・水は器	書211 書212	曲-日2592	
歌-日2887	こんこん霞が降つて来て	霞と雪	書60	曲-日365	
歌-日2888	こんこん小狐	こんこん小狐	書315	曲-日2593	
歌-日2889	こんこんこさめのふるころは	コンコンコサメ	書174	曲-日2594	
歌-日2890	こんこんこんこん	あられ [こんこんこんこん]	書54 書267	曲-日358	
歌-日2891	金色の槌高くをどれば	進水式 [金色の槌高くをどれば]	書211 書212	曲-日3303	
歌-日2892	GONSHAN. GONSHAN. 何処へゆく	曼珠沙華	書338	曲-日5701	
歌-日2893	混濁の浪逆巻きて	第十二回記念祭歌(35年日)	書386	曲-日3905	
歌-日2894	今年ござらばもて来てたもれ	投げ節	書363	曲-日4872	
歌-日2895	今年今日満期にて	除隊の兵歓迎	書203	曲-日3230	
歌-日2896	金びら船々	金びら船々	書363 書368 書385	曲-日2598	
歌-日2897	ごんべがごんべがごんべが	権兵衛と田吾作	書27	曲-日2600	
歌-日2898	権兵衛が種まく	権兵衛種蒔	書368	曲-日2599	
歌-日2899	紺碧の空仰ぐ日輪	紺碧の空(早稲田大学応援歌)	書385	曲-日2601	
歌-日2900	こんもり繁った木の下に	公園 [こんもり繁った木の下に]	書264	曲-日2191	
歌-日2901	こんろんさんとうなんのその	崑崙山頭	書166	曲-日2603	
歌-日2902	権兵衛が種まきや鳥がほじくる	太郎兵衛独唱「おぢさん」	書106	曲-日4291	
さ	歌-日2903	さあこい	加藤清正 [さあこい]	書159	曲-日1400
	歌-日2904	さあさあ元気で働け働け	作業の歌	書191	曲-日2648
	歌-日2905	さあさあ誰でもおとびなさい	縄飛 [さあさあ誰でもおとびなさい]	書60	曲-日4984
	歌-日2906	サアサア皆さん祈りませう	村の少女たち合唱「いのりませう」	書106	曲-日6598
	歌-日2907	サアサ伐り出せ深山の宝	筏流し	書317	曲-日405
	歌-日2908	さあさみんなで踊りませう	太郎さんの夢 第五の歌	書24	曲-日4285
	歌-日2909	ザープレツチ	カフエーの唄 [ザープレツチ]	書11	曲-日1431
	歌-日2910	さあ本をふせませう	さよなら [さあ本をふせませう]	書17	曲-日2758
	歌-日2911	西行さんが將軍さんに	西行さん	書51	曲-日2605
	歌-日2912	西條山の	川中島 [西條山の]	書324	曲-日1527
	歌-日2913	西條山は霧ふかし	川中島 [西條山は霧ふかし]	書165 書217 書225	曲-日1528

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
さ	歌-日2914	さいせいきたのうみにおち	丁汝昌	書166	曲-日4570
	歌-日2915	咲いた朝顔竹垣の	垣根の朝顔	書60	曲-日1245
	歌-日2916	咲いた咲いた桜が咲いた [さくら]	さくら [咲いた咲いた桜が咲いた]	書29	曲-日2664
	歌-日2917	咲いた咲いたよ [さくら音頭]	さくら音頭	書385	曲-日2678
	歌-日2918	さいたさいたよさいたさくらが [桜]	桜 [さいたさいたよさいたさくらが]	書90	曲-日2670
	歌-日2919	咲いた咲いたよ輪になれをとめ	乙女の唄	書31 書184 書240	曲-日994
	歌-日2920	さいたよさいたうめのはなさいた	うめ [さいたよさいたうめのはなさいた]	書68 書165	曲-日702
	歌-日2921	さいたよさいたさくらの花が [さくら]	さくら [さいたよさいたさくらの花が]	書262	曲-日2655
	歌-日2922	咲いたよ咲いたたんぽぽ咲いた	咲いたよ咲いた	書262	曲-日2625
	歌-日2923	サイタヨサイタヨ [オニハノウメ]	オニハノウメ	書171	曲-日1011
	歌-日2924	サイタヨサイタヨ [菊ノ花]	菊ノ花 [サイタヨサイタヨ]	書138	曲-日1636
	歌-日2925	咲いたよ咲いたよ [菊]	菊 [咲いたよ咲いたよ]	書267	曲-日1625
	歌-日2926	咲いたよ咲いたよ [桃咲く里]	桃咲く里	書54	曲-日6694
	歌-日2927	さいたよさいたよさくらの花が [花ざかり]	花ざかり	書263	曲-日5415
	歌-日2928	才徳を兼ねて	高き誉 [才徳を兼ねて]	書353	曲-日4120
	歌-日2929	沢内三千石お米の出所	南部牛追唄	書363	曲-日5007
	歌-日2930	囀るとりにさそわれつつ	登山 [囀るとりにさそわれつつ]	書60	曲-日4762
	歌-日2931	囀る雲雀の歌につれて	春の曲 [囀る雲雀の歌につれて]	書177	曲-日5600
	歌-日2932	さえだにやどれる小鳥さへ礼はしる	小枝	書153 書154	曲-日2632
	歌-日2933	さ枝もたわわに	花売女 [さ枝もたわわに]	書60 書180	曲-日5402
	歌-日2934	竿さす小船のかじをたへ	ヴエニスの船歌 [竿さす小船のかじをたへ]	書40	曲-日6079
	歌-日2935	棹なす雁は	秋の夕 [棹なす雁は]	書215	曲-日154
	歌-日2936	さをになりてむれゆくかりよ	むれゆく雁	書169	曲-日6608
	歌-日2937	さかえの王エスの	カルバリの十字架	書70 書71	曲-日1506
	歌-日2938	栄えゆく天つ御空の光をうけて	体育運動歌 第一(栄えゆく)	書31 書240	曲-日3754
	歌-日2939	さか木の枝にかけませう	天の岩屋	書190	曲-日316
	歌-日2940	盃あげよや	祝宴の輪唱	書232	曲-日3062
	歌-日2941	嵯峨野の秋の夜	嵯峨の秋	書282	曲-日2640
	歌-日2942	逆まく潮をどるなみ [海軍教育航海唱歌(その一)]	海軍教育航海唱歌(その一)	書165	曲-日1161
	歌-日2943	逆まく潮をどる波 [航海唱歌 上巻]	航海唱歌 上巻	書39	曲-日2209
	歌-日2944	逆まく怒濤は天を拍ち	征露の歌 [逆まく怒濤は天を拍ち]	書116	曲-日3554
	歌-日2945	逆巻く浪を [海国女子]	海国女子	書110	曲-日1151
	歌-日2946	さかまく波を蹴破りて [海国の大丈夫]	海国の大丈夫	書225	曲-日1158
	歌-日2947	さかまく波を蹴破りて [海国男児]	海国男児 [さかまく波を蹴破りて]	書166 書217	曲-日1154
	歌-日2948	さかまくなみはてんをつき	海戦 [さかまくなみはてんをつき]	書166	曲-日1170
	歌-日2949	逆巻く浪は海洋の常	軍艦戦闘 [逆巻く浪は海洋の常]	書118	曲-日2039
	歌-日2950	相模駿河と	箱根山 [相模駿河と]	書225	曲-日5334
	歌-日2951	さかみちおしゆくくるまのすす	坂に車 [さかみちおしゆくくるまのすす]	書165	曲-日2637
	歌-日2952	さかやのくらのおほやねの	鬼瓦	書54	曲-日1004
	歌-日2953	さかゆくためしに	婚礼	書165	曲-日2602
	歌-日2954	さかゆくみよにうまれしも	栄行く御代 [さかゆくみよにうまれしも]	書139 書152 書153 書161 書165 書170	曲-日2644
	歌-日2955	さかゆく御世の君が代や	栄ゆくみよ [さかゆく御世の君が代や]	書142	曲-日2645
	歌-日2956	さかりに匂う	鶯 [さかりに匂う]	書225	曲-日589
	歌-日2957	坂は照る照る鈴鹿はくもる	鈴鹿馬士唄(三重)	書385	曲-日3404
	歌-日2958	盛なるかな明治の御代	明治の御代 [盛なるかな明治の御代]	書68	曲-日6622
	歌-日2959	咲きたつ [風と水]	風と水	書281	曲-日1338
	歌-日2960	咲き立つ花の東京市	汽車 [咲き立つ花の東京市]	書308	曲-日1665
	歌-日2961	さきにほふやまのさくらの	四季の月 [さきにほふやまのさくらの]	書54 書139 書153 書154 書164 書165 書170 書225 書337	曲-日2855
	歌-日2962	前方に飛べる	園生の遊	書265	曲-日3736
	歌-日2963	さきのがんもまげずにすすめ	がん [さきのがんもまげずにすすめ]	書68 書165	曲-日1545
	歌-日2964	さきのこりたるあさがほや	秋草 [さきのこりたるあさがほや]	書67 書153 書154 書161 書165 書225 書226 書337	曲-日96
	歌-日2965	咲きもあえぬ	鶯 [咲きもあえぬ]	書120	曲-日588
	歌-日2966	前ゆく舟は	前ゆく舟	書46	曲-日2647
	歌-日2967	さ霧消ゆる湊江の [冬の景色]	冬の景色	書60	曲-日5968
	歌-日2968	さ霧消ゆる湊江の [冬景色]	冬景色	書47 書54 書174 書211 書212	曲-日5963
	歌-日2969	狭霧にむせびて	秋郊散歩	書222	曲-日3029
	歌-日2970	さ霧這ふ丘の草原	第三十八回記念祭歌 [さ霧這ふ丘の草原]	書386	曲-日3829
	歌-日2971	狩霧はれゆくあかつきの	水泳部部歌 [狩霧はれゆくあかつきの]	書386	曲-日3362
	歌-日2972	さぎりはれゆくひうがのや	国の姿	書165	曲-日1943
	歌-日2973	さぎりふかくたちこめて	日出の富士	書165 書176	曲-日5755
	歌-日2974	小霧は晴れてみ園の菊の	露 [小霧は晴れてみ園の菊の]	書60 書222	曲-日4542
	歌-日2975	さぎりははれてみそらのきくの	露 [さぎりははれてみそらのきくの]	書54	曲-日4544
	歌-日2976	咲く花香りて	新入生を迎ふ	書181	曲-日3319
	歌-日2977	さくらをかざしもみちををり	かざしの桜	書166 書169 書230	曲-日1308
	歌-日2978	桜が枝にふけゆく月	四季の月 [桜が枝にふけゆく月]	書147 書165	曲-日2858
	歌-日2979	桜が咲いた咲いた	さくら [桜が咲いた咲いた]	書60	曲-日2665
	歌-日2980	さくらがさいたさくらがさいた	さくら [さくらがさいたさくらがさいた]	書54 書159 書160 書266	曲-日2656
	歌-日2981	さくらがさいたさくらがちつた	さくらがさいた	書117	曲-日2679
	歌-日2982	さくらかつちるやまぢには	春興 [さくらかつちるやまぢには]	書165	曲-日3089
	歌-日2983	さくらがり	桜狩 [さくらがり]	書178	曲-日2682
	歌-日2984	さくらさくらみやまのさくら	さくら [さくらさくらみやまのさくら]	書78	曲-日2657
	歌-日2985	桜さくら弥生の空は	桜 [桜さくら弥生の空は]	書67 書166	曲-日2673
	歌-日2986	さくらさくら吉野のさくら	花の歌 [さくらさくら吉野のさくら]	書161	曲-日5438
	歌-日2987	さくらさけさけ	さくら [さくらさけさけ]	書373	曲-日2658
	歌-日2988	さくらなのはなれんげそう	さくら [さくらなのはなれんげそう]	書165 書166	曲-日2659
	歌-日2989	桜に明けゆき桜に暮れゆく	春 [桜に明けゆき桜に暮れゆく]	書60	曲-日5529
	歌-日2990	さくらにうづむはるやまの	桜狩 [さくらにうづむはるやまの]	書166	曲-日2683
	歌-日2991	桜に名を得し嵐山	京都	書137	曲-日1830
	歌-日2992	さくらはなのさくころは	春の唄 [さくらはなのさくころは]	書54	曲-日5578

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
さ	歌-日2993	桜の花はいつか散りて	暮春 [桜の花はいつか散りて]	書223	曲-日6185
	歌-日2994	さくらのなはなながるみづに [春の月]	春の月 [さくらのなはなながるみづに]	書165	曲-日5613
	歌-日2995	桜の花は流るる水に [春の日]	春の日	書166 書285	曲-日5632
	歌-日2996	さくらのみやのゆふかぜに	旅の後	書169	曲-日4251
	歌-日2997	桜の若葉吹く風も [記念歌祭]	記念歌祭	書387	曲-日1732
	歌-日2998	桜の若葉吹く風も [三高記念祭の歌]	三高記念祭の歌	書40	曲-日2791
	歌-日2999	桜花咲き菊香る	青訓歌	書31 書241	曲-日3505
	歌-日3000	桜は皇国の花てふ花よ	さくら [桜は皇国の花てふ花よ]	書102	曲-日2666
	歌-日3001	桜ほころび	わがすむ里	書29	曲-日7373
	歌-日3002	桜真白く咲きいでて	第二十七回記念祭歌(6年栄)	書386	曲-日4004
	歌-日3003	桜も今日がさかりなり	春の山 [桜も今日がさかりなり]	書68	曲-日5638
	歌-日3004	桜も散りて貴人等が	メーデー歌(二)	書392	曲-日6634
	歌-日3005	桜もちりて春くれかか	山里 [桜もちりて春くれかか]	書225	曲-日6845
	歌-日3006	桜はかぐはしますらをはいさまし	日本男児 [桜はかぐはしますらをはいさまし]	書166 書365	曲-日5119
	歌-日3007	桜は微笑	蝶鳥	書201 書202	曲-日4413
	歌-日3008	さくらはみくにのはな	さくら [さくらはみくにのはな]	書166	曲-日2660
	歌-日3009	咲け咲け花よとしの花よ	花と小供	書52	曲-日5431
	歌-日3010	さけ花よさくらの花よ	さけ花も	書139 書153 書154 書161 書166 書170 書336	曲-日2697
	歌-日3011	咲けや菜の花もめるや菜の葉	菜の花踊り	書241	曲-日4959
	歌-日3012	酒は涙かためいきか	酒は涙か溜息か	書385	曲-日2700
	歌-日3013	酒は飲め飲め飲むならば	黒田節(福岡)	書385	曲-日2006
	歌-日3014	酒は正宗芸者は万龍	間がいいソング	書385	曲-日6264
	歌-日3015	酒は元より害あらず	酒の戒	書203	曲-日2696
	歌-日3016	酒は養老孝子のほまれ	長良ぶし	書363	曲-日4859
	歌-日3017	ささからひびくよ	お祭り [ささからひびくよ]	書54	曲-日1058
	歌-日3018	さざ波の	沖の鷗 [さざ波の]	書178	曲-日909
	歌-日3019	さざ波よする	湖上夜景	書120 書121 書166	曲-日2425
	歌-日3020	笹の葉木の葉を浮かぶのごとく	漁船	書225	曲-日433
	歌-日3021	笹の葉の白きは霜の光にて	霜 [笹の葉の白きは霜の光にて]	書210	曲-日2973
	歌-日3022	ささぶねうかしてあそびませう	ささぶね [ささぶねうかしてあそびませう]	書116	曲-日2701
	歌-日3023	笹舟をりて流ししも	故郷の小川	書136 書138	曲-日6011
	歌-日3024	笹やさささ笹やささ	奈良丸くづし(笹や節)	書385	曲-日4979
	歌-日3025	笹藪小藪小藪のなかで	笹のお宿 [笹藪小藪小藪のなかで]	書54 書60 書117	曲-日3434
	歌-日3026	ささら流れの水ゆるむ	第二十三回記念祭歌(2年東)	書386	曲-日3991
	歌-日3027	さしのほるあさひのごとくさわやかに	御製 [さしのほるあさひのごとくさわやかに]	書31	曲-日1852
	歌-日3028	さしひく汐は鼓のしらべ岩こす波は太鼓のひびき	月と我と	書87	曲-日4468
	歌-日3029	さしも烈しき大火事もまたたく間にけしとめて	鎮火整列の歌	書375	曲-日4435
	歌-日3030	さすやをぶこのみなれざを	老渡子	書166	曲-日7312
	歌-日3031	挿すや小舟の [ふなうた]	ふなうた [挿すや小舟の]	書257	曲-日5935
	歌-日3032	さすや小舟のみなれざを [老渡子]	老渡子	書122	曲-日817
	歌-日3033	さすらひの路ははるけく	旅愁 [さすらひの路ははるけく]	書317	曲-日7264
	歌-日3034	さすらふ旅の	郷愁 [さすらふ旅の]	書4	曲-日1818
	歌-日3035	さそへてあそぶはなのひつきの夜 [親しき友垣]	親しき友垣	書233	曲-日2926
	歌-日3036	誘へてあそぶ花の日月の夜 [楽き友]	楽き友	書100	曲-日4223
	歌-日3037	さそれすすめ	すすめ [さそれすすめ]	書17	曲-日3413
	歌-日3038	さだめなくしぐれて渡る	紅葉 [さだめなくしぐれて渡る]	書225 書309	曲-日6683
	歌-日3039	さだめのもじを	新井白石 [さだめのもじを]	書124	曲-日345
	歌-日3040	幸ある御代の	新年 [幸ある御代の]	書122 書165	曲-日3328
	歌-日3041	幸亡き家に身は出でて	加藤清正 [幸亡き家に身は出でて]	書270	曲-日1403
	歌-日3042	幸なき淵に	慈善 [幸なき淵に]	書333	曲-日2905
	歌-日3043	薩海の月	第七高等学校記念祭歌 [薩海の月]	書252	曲-日3860
	歌-日3044	五月の朝の丘の上	いてふ	書211 書212	曲-日464
	歌-日3045	サツサトンデイク	テフテフ [サツサトンデイク]	書171	曲-日4399
	歌-日3046	札幌農学校は蝦夷ヶ島熊が棲む	ストームの歌	書77	曲-日3447
歌-日3047	さても見事だ牛方の浴衣	南部牛追唄(岩手)	書385	曲-日5008	
歌-日3048	さてやさてや	国の声 [さてやさてや]	書29	曲-日1940	
歌-日3049	さとかへりしそののちとて	兵士の告別	書166	曲-日6042	
歌-日3050	さとのをがはにささ舟うかべ	ささ舟 [さとのをがはにささ舟うかべ]	書318	曲-日2702	
歌-日3051	里の小川の板橋に	冬来る	書85	曲-日5962	
歌-日3052	さとのこがものすぬらし	民草(第二三四五六七段)	書166	曲-日4268	
歌-日3053	さとのもみぢはいろづきぬ	秋は来ぬ	書54	曲-日177	
歌-日3054	里見治部大輔義実の	富山の隠家(八犬伝)	書287	曲-日4804	
歌-日3055	里は稲刈りいそがしや	稲を刈る日	書60	曲-日509	
歌-日3056	さなへとりつるあしたより	稲刈 [さなへとりつるあしたより]	書165	曲-日510	
歌-日3057	早苗ととり賤の女が	早苗 [早苗ととり賤の女が]	書161	曲-日2737	
歌-日3058	早苗ナー(ハドツコイセ)	瑞穂踊り	書238	曲-日6457	
歌-日3059	さながら山もくづるばかり	遊瀧 [さながら山もくづるばかり]	書07 書132 書152 書153 書161 書166 書169 書225 書226	曲-日6987	
歌-日3060	さばかりほしく	山内一豊の妻 [さばかりほしく]	書324	曲-日6893	
歌-日3061	さばきの日は	審判の日近し	書70 書71	曲-日2741	
歌-日3062	砂漠に日が落ちて夜となる頃	アラビアの唄	書363 書385	曲-日357	
歌-日3063	猿羽根山越え船形越えて	新庄節(山形)	書385	曲-日3302	
歌-日3064	佐波の流れの上つ方	佐波郡八坂村歌	書253	曲-日2742	
歌-日3065	サハラの涯に日は落ちて	埃及の夕	書40 書54	曲-日770	
歌-日3066	さびしき宵の	川辺の逍遙	書353	曲-日1538	
歌-日3067	淋しさに	思ひ出	書186	曲-日1062	
歌-日3068	さびしさもたはざりけりやまざとは	自然の友	書166	曲-日2911	
歌-日3069	寂れゆく裏庭	コスモス	書159	曲-日2431	
歌-日3070	さほどにひろきしなのくに	牛莊城の戦	書166	曲-日1792	
歌-日3071	サマリヤの女なよ	主は井戸にて待ち給う	書70 書71	曲-日3085	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
さ	歌-日3072	五月雨昏く降りし中に	織田信長 [五月雨昏く降りし中に]	書270	曲-日951
	歌-日3073	さみだれさみだれ今日も雨	五月雨 [さみだれさみだれ今日も雨]	書174	曲-日2747
	歌-日3074	五月雨そぼふる田にたちて	稲 [五月雨そぼふる田にたちて]	書166 書225	曲-日507
	歌-日3075	さみだれふる日も	五月雨 [さみだれふる日も]	書120 書121	曲-日2748
	歌-日3076	さみだれやみてあさひはさしぬ	早苗 [さみだれやみてあさひはさしぬ]	書165	曲-日2735
	歌-日3077	さみどり染めし楊柳の糸の	楊柳	書359	曲-日6818
	歌-日3078	さ緑庭に萌え初めて	第三十六回記念祭歌 [さ緑庭に萌え初めて]	書386	曲-日3840
	歌-日3079	寒い北風吹いたとて	わたしたち	書358	曲-日7458
	歌-日3080	寒い霜夜の	冬の夜のひびき	書201 書382	曲-日5974
	歌-日3081	寒い夜中に	火の用心	書159 書160	曲-日5761
	歌-日3082	寒けき冬の真夜中に梢をならす北風は	消防夫の歌	書375	曲-日3181
	歌-日3083	寒さいとわぬ垂髪子が	少年雪の戯れ	書203	曲-日3171
	歌-日3084	寒さをいはず	駆足	書283	曲-日1271
	歌-日3085	さやかにひらくふたつのまど	家来十人	書166	曲-日2133
	歌-日3086	さよならさよならかへりませう	さよならの歌	書51	曲-日2759
	歌-日3087	小夜更けて	さのさ節 [小夜更けて]	書368	曲-日2740
	歌-日3088	さらさら小雪よ	小雪	書345	曲-日2573
	歌-日3089	サラサラサラサラ清き小川は	清き小川	書116	曲-日1844
	歌-日3090	さらさらところ細かに雪が降る	スキー民謡 [さらさらところ細かに雪が降る]	書241	曲-日3396
	歌-日3091	さらば [告別]	告別 [さらば]	書159	曲-日2353
	歌-日3092	さらば真幸あれよ	さらば [さらば真幸あれよ]	書232	曲-日2760
	歌-日3093	さらば緑の野辺よ	さらば [さらば緑の野辺よ]	書232	曲-日2761
	歌-日3094	さらば別れむまごころの	まごころの友よ	書28 書100	曲-日6274
	歌-日3095	去りね疾く疾く	死と少女	書28	曲-日2940
	歌-日3096	去りゆく秋をば	霜枯	書60 書350	曲-日2975
	歌-日3097	さわぐ浪なき浦安の [浦安]	浦安	書161	曲-日727
	歌-日3098	さわぐ浪なき浦安の [天長節]	天長節 [さわぐ浪なき浦安の]	書143	曲-日4619
	歌-日3099	佐波の郡の東南に	佐波郡剛志村の歌	書253	曲-日2774
	歌-日3100	沢辺の蛭まどの雪	我が友 [沢辺の蛭まどの雪]	書102 書165	曲-日7380
	歌-日3101	さんがくづれうしほわく	旅順口の戦 [さんがくづれうしほわく]	書166	曲-日7274
	歌-日3102	山岳めぐる北安曇	北安曇唱歌	書58	曲-日1698
	歌-日3103	三韓誌と	鍛冶工	書374	曲-日1415
	歌-日3104	三願のめぐみに	孔明 [三願のめぐみに]	書283	曲-日2284
	歌-日3105	さんさ時雨の萱野の雨か	さんさ時雨	書363 書385	曲-日2793
	歌-日3106	山椒小粒	オツペケ	書368	曲-日979
	歌-日3107	山水きよく土壌肥えて	糸島地理唱歌	書10	曲-日487
	歌-日3108	山川草木	唐詩朗吟曲	書29	曲-日4671
	歌-日3109	さんせんさうもくうた	詩吟	書54	曲-日2874
	歌-日3110	三千余万あにおとどもよ	三千余万 [三千余万あにおとどもよ]	書139 書170 書198 書284 書381	曲-日2803
	歌-日3111	さんぜんよまんかんどりかこよ	三千余まん [さんぜんよまんかんどりかこよ]	書381	曲-日2802
	歌-日3112	三大節のいらい日の	天長節 [三大節のいらい日の]	書287	曲-日4625
歌-日3113	サンタクローズ	サンタクローズ	書222	曲-日2805	
歌-日3114	去める九月十五日	抜群兵士玄武門を開く	書314	曲-日5367	
歌-日3115	三百年來此の方に	杵島郡福富村歌	書253	曲-日1654	
歌-日3116	山野にひびく喊の声	喊の声	書28	曲-日4722	
し	歌-日3117	ぢいさんこほれわんわんわん	花咲翁 [ぢいさんこほれわんわんわん]	書124	曲-日5410
	歌-日3118	爺さん酒飲んで	狸の腹太鼓の歌	書11	曲-日4208
	歌-日3119	紫雲棚引く [応援歌 第一]	応援歌 第一	書18	曲-日821
	歌-日3120	紫雲揺曳く瑤台に [野球部部歌(大正3年)]	野球部部歌(大正3年)	書387	曲-日6759
	歌-日3121	塩釜街道に白菊植えて [はつとせ節(塩釜基句)]	はつとせ節(塩釜基句)	書363	曲-日5376
	歌-日3122	塩釜街道に白菊植えて [塩釜基句(ハツトセ節 宮城)]	塩釜基句(ハツトセ節 宮城)	書385	曲-日2827
	歌-日3123	潮みちぬこぎだせよ	ポート [潮みちぬこぎだせよ]	書135	曲-日6149
	歌-日3124	潮は遠くへ残らずひいて	しお干狩 [潮は遠くへ残らずひいて]	書27 書60	曲-日2832
	歌-日3125	しほはひくいそにあつまるからすは	鳥のち恵	書54 書206	曲-日1486
	歌-日3126	四海なみ風	英雄	書166 書228	曲-日767
	歌-日3127	四海の鼎と	吉田松陰 [四海の鼎と]	書283	曲-日7135
	歌-日3128	しかいのなみもおとたえて	泰平曲	書166	曲-日4069
	歌-日3129	四角な紙を	畳み紙	書267	曲-日4186
	歌-日3130	鹿の声ききつつ	旧都	書350	曲-日1793
	歌-日3131	鹿も四足	源義経 [鹿も四足]	書270	曲-日6499
	歌-日3132	しかも四つ足馬も四つ足	ひよどり越	書191 書209	曲-日5803
	歌-日3133	しかられてしかられて	叱られて	書40 書54 書117 書241	曲-日2837
	歌-日3134	しきしまのやまごころを	大和心 [しきしまのやまごころを]	書165	曲-日6858
	歌-日3135	しぐれを誘へる	谷間の流	書180	曲-日4204
	歌-日3136	しぐれしぐれて	冬 [しぐれしぐれて]	書46	曲-日5952
	歌-日3137	時雨に色ます唐くれぬい	紅葉 [時雨に色ます唐くれぬい]	書69	曲-日6685
	歌-日3138	時雨に霜に落葉して	惜陰	書28	曲-日3567
	歌-日3139	時雨に濡るる旅ごろも	漂泊	書223	曲-日5797
	歌-日3140	時雨にぬれたる	落葉 [時雨にぬれたる]	書222	曲-日959
	歌-日3141	時雨のそらの晴間なく	孝明天皇祭 [時雨のそらの晴間なく]	書145	曲-日2286
	歌-日3142	時雨ひと時ふる宵の	時雨ひととき	書385	曲-日2875
	歌-日3143	ちくろをそらぬるすうひやくのぐんかん	凱旋 [ちくろをそらぬるすうひやくのぐんかん]	書166	曲-日1174
	歌-日3144	茂りあふ若葉に静なる朝風	首夏の朝	書311	曲-日3061
	歌-日3145	しげりにしげれる	心の鑑	書181	曲-日2385
	歌-日3146	志げれよしげれとどもにも	をしへ草	書141	曲-日932
	歌-日3147	茂れる枝は	緑陰 [茂れる枝は]	書353	曲-日7263
	歌-日3148	茂れる森かげ	茂れる森 [茂れる森かげ]	書121	曲-日2880
	歌-日3149	醜雲かかれり	神功皇后 [醜雲かかれり]	書29	曲-日3270
	歌-日3150	醜の夷の軍艦健気な頭来りたり	軍艦戦闘 [醜の夷の軍艦健気な頭来りたり]	書118	曲-日2048

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
し	歌-日3151	紫金の彩羽美はしき	第十七回記念祭歌(40年西)	書386	曲-日3895
	歌-日3152	ジジコチコ	九蓮環	書368	曲-日1798
	歌-日3153	しじまなる丘べに立てば	第三十九回記念祭歌 [しじまなる丘べに立てば]	書386	曲-日3814
	歌-日3154	無言に憩う向陵の	第二十五回記念祭歌(4年西)	書386	曲-日3980
	歌-日3155	静寂の夜の更け行きて	柔道部遠征歌	書387	曲-日3043
	歌-日3156	四十七士の武夫	赤穂四十七義士歌	書166	曲-日186
	歌-日3157	獅子は檻より逃げ出たり	母の愛 [獅子は檻より逃げ出たり]	書93	曲-日5489
	歌-日3158	賤がいほりの庭の面に	虫 [賤がいほりの庭の面]	書166 書285	曲-日6559
	歌-日3159	静かにあくる夜のとき	皇太子殿下御誕生奉祝歌	書184	曲-日2257
	歌-日3160	静かにあけゆく五月の空いとときよく	五月の歌	書174	曲-日2716
	歌-日3161	静かに鶯は	鶯の輪唱	書232	曲-日598
	歌-日3162	しづかにきたれ	第三高等学校祭歌 [しづかにきたれ]	書252	曲-日3803
	歌-日3163	静に來たれなつかしき	行春哀歌	書387	曲-日2248
	歌-日3164	静かに暮れゆく秋の夕や	秋の夕 [静かに暮れゆく秋の夕や]	書177	曲-日158
	歌-日3165	しづかに沈む春の日の	第二十二回記念祭歌(45年東)	書386	曲-日4012
	歌-日3166	しづかにたてるありさまは	甲鉄艦	書166 書279	曲-日2259
	歌-日3167	しづかに照らす	秋の夜 [しづかに照らす]	書6	曲-日162
	歌-日3168	しづかにながるるみづのおと	牧ばの歌	書54	曲-日6270
	歌-日3169	しづかにやさしく	來れ罪ある友	書70 書71	曲-日1718
	歌-日3170	しづくのあめにそぼぬれて	旅の空	書54	曲-日4256
	歌-日3171	雫も露も流れて海と	雫も露	書251	曲-日2896
	歌-日3172	静けき窓の	窓の小鳥	書110	曲-日6344
	歌-日3173	しづけきみづのうへを	静けき水	書166 書285	曲-日2898
	歌-日3174	沈む光の永劫に	凱旋(大正10年)	書387	曲-日1185
	歌-日3175	姿勢の正きは部隊の風紀	歩兵 [姿勢の正きは部隊の風紀]	書365	曲-日6245
	歌-日3176	四千余万あにおとともよ	四千余万 [四千余万あにおとともよ]	書67 書225	曲-日2913
	歌-日3177	しせんよまんのはらからよ	四千余万 [しせんよまんのはらからよ]	書166	曲-日2912
	歌-日3178	しそんじたりなやりつかひ	正直なる子	書124	曲-日3136
	歌-日3179	したきりすずめのおみやげの	舌切雀 [したきりすずめのおみやげの]	書54 書267	曲-日2914
	歌-日3180	したきりすずめはかわいいすずめ	舌切雀 [したきりすずめはかわいいすずめ]	書54	曲-日2915
	歌-日3181	したきりすずめはどこへいた	舌切雀 [したきりすずめはどこへいた]	書54 書117	曲-日2916
	歌-日3182	したしき友だちとまにあつまり	冬の夜 [したしき友だちとまにあつまり]	書116	曲-日5975
	歌-日3183	親しき友と涼しき川に	川遊び [親しき友と涼しき川に]	書116	曲-日1517
	歌-日3184	したしきともはけふよりは	送別歌 [したしきともはけふよりは]	書165	曲-日3679
	歌-日3185	したたる汗をぬぐひつつ	ありときりぎりす	書124	曲-日373
	歌-日3186	下ゆく水を	忠臣 [下ゆく水を]	書227	曲-日4382
	歌-日3187	シダレヤナギニ	小野道風	書206	曲-日1018
	歌-日3188	垂枝柳に燕とぶ	剣道部部歌(昭和3年)	書387	曲-日2157
	歌-日3189	しだれ柳に飛びつく蛙	蛙と蜘蛛	書208	曲-日1216
	歌-日3190	ジチコリウコ	算命曲	書368	曲-日2818
	歌-日3191	七十五里の	遠州灘	書225	曲-日794
	歌-日3192	死地と定めて築きつる	牙山の占領 [死地と定めて築きつる]	書235	曲-日1311
	歌-日3193	自治の大旗ひるがへし	仙北郡峰吉川村歌	書253	曲-日3637
	歌-日3194	自治の流れは小止みなく	第三十二回記念祭歌(11年) [自治の流れは小止みなく]	書386	曲-日3827
	歌-日3195	七面鳥さん	七面鳥さん	書315	曲-日2932
	歌-日3196	七里が浜のいそ伝ひ	鎌倉	書213 書214	曲-日1435
	歌-日3197	しなじんまちのはとぼつぽ	支那人町の鳩ポッポ	書54	曲-日2941
	歌-日3198	しなどのかぜによこごもははれて	級戸の風	書166	曲-日2942
	歌-日3199	信濃路はひなにはあれど	佐久間象山 [信濃路はひなにはあれど]	書200	曲-日2650
	歌-日3200	信濃の国に成長し	巴御前	書203	曲-日4788
	歌-日3201	信濃の国は	信濃国	書119	曲-日2945
	歌-日3202	支那は元來韓国を	普の談判(大鳥公使)	書19	曲-日6246
歌-日3203	支那も昔は聖賢の	北京まで	書314	曲-日6069	
歌-日3204	しなりしなりしなりしなり	川辺の柳	書116	曲-日1539	
歌-日3205	死ぬまでふきし笛の音みに	嗚呼此喇叭手	書235	曲-日4	
歌-日3206	死や死ね死益良雄よ	野戦 [死や死ね死益良雄よ]	書118	曲-日6789	
歌-日3207	篠つく如く降りしきる	富士の裾野 [篠つく如く降りしきる]	書287	曲-日5889	
歌-日3208	篠つく如く降る雨は	桶峽	書287	曲-日917	
歌-日3209	東雲紅く	二十世紀	書231	曲-日5039	
歌-日3210	しのめめれり凜たるしのめ	昭和の黎明	書326	曲-日3192	
歌-日3211	東雲の光を浴びて	防空青年の歌	書317	曲-日6094	
歌-日3212	しのめのわれは野ばらよ	少女の歌	書184	曲-日3141	
歌-日3213	忍び返し	フイトサ節	書368	曲-日5831	
歌-日3214	しのびやかにほおほぞらゆ	あかしや	書358	曲-日68	
歌-日3215	しのぶがをかにうえそめし	忍が岡 [しのぶがをかにうえそめし]	書165	曲-日2954	
歌-日3216	忍ぶ恋路はさてはかなきよ	忍ぶ恋路	書363	曲-日2955	
歌-日3217	しのぶのころもをそのみにまとへ	忍ぶのころも	書165 書175	曲-日2956	
歌-日3218	柴刈り縄なひ草鞋をつくり	二宮金次郎	書208	曲-日5073	
歌-日3219	しばし友よけふ円居別れ路の名残告げん	卒業生に別るる歌	書309	曲-日3730	
歌-日3220	しばしも休まずつち打つ響き	村の鍛冶屋 [しばしも休まずつち打つ響き]	書54 書191	曲-日6595	
歌-日3221	しばしもやすまずに	村の鍛冶屋 [しばしもやすまずに]	書60	曲-日6594	
歌-日3222	しばしも止まずに槌うつ響	村の鍛冶屋 [しばしも止まずに槌うつ響]	書210	曲-日6596	
歌-日3223	柴の網戸の	臥龍岡	書50	曲-日1504	
歌-日3224	柴のあみ戸の明けほのに	花鳥 [柴のあみ戸の明けほのに]	書137	曲-日1369	
歌-日3225	しばのあみどのひまみえて	孔明 [しばのあみどのひまみえて]	書166	曲-日2283	
歌-日3226	芝生に落ちて走り舞ふ	あられ [芝生に落ちて走り舞ふ]	書303 書366	曲-日359	
歌-日3227	しばふのうへにをざさの	雀の子 [しばふのうへにをざさの]	書166	曲-日3437	
歌-日3228	芝生のすみれなつかし	芝生の堇	書52	曲-日2961	
歌-日3229	芝生の床のゆふひばり	芝生の床	書166 書285	曲-日2962	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
し	歌-日3230	芝生のむしろ	芝生のむしろ	書350	曲-日2963
	歌-日3231	四百余州を〔元寇軍歌〕	元寇軍歌	書368	曲-日2143
	歌-日3232	しひやくよろをこぞる〔元寇〕	唱元寇	書166	曲-日3124
	歌-日3233	四百余州を挙る〔元寇〕	元寇〔四百余州を挙る〕	書40 書46 書103 書143 書385	曲-日2141
	歌-日3234	四百余州を挙十万余騎の敵〔四百余州〕	四百余州	書67	曲-日2966
	歌-日3235	四百余州を挙る	元寇の歌	書203	曲-日2145
	歌-日3236	四百余州の醜草を	軍人観迎	書216	曲-日2084
	歌-日3237	四百余州の武威をたのみ	蒙古襲来	書135	曲-日6658
	歌-日3238	潮の音遠し	海の朝〔潮の音遠し〕	書159	曲-日677
	歌-日3239	紫魔黄金の	第四高等学校野球部部歌	書252	曲-日3853
	歌-日3240	島を縫ふ	日本三景〔島を縫ふ〕	書282	曲-日5103
	歌-日3241	島てふしまは多かれど	日本三景〔島てふしまは多かれど〕	書67 書147 書165	曲-日5101
	歌-日3242	しまてふしまはおほけれど	日本三景〔しまてふしまはおほけれど〕	書165	曲-日5100
	歌-日3243	島と名がつきや	東都流行 大島節	書11	曲-日4694
	歌-日3244	島波かへる北溟さして	桜星会歌(大正三年)	書77	曲-日834
	歌-日3245	島のいろいろなみまにたち	日本三景〔島のいろいろなみまにたち〕	書68	曲-日5102
	歌-日3246	島また島を送り迎へ	瀬戸内海〔島また島を送り迎へ〕	書54	曲-日3589
	歌-日3247	島また島を迎えつつ	瀬戸内海〔島また島を迎えつつ〕	書54 書215	曲-日3593
	歌-日3248	四面海なる帝国を	艦船勤務	書40	曲-日1590
	歌-日3249	四面海なる日の本の	五港	書68	曲-日2377
	歌-日3250	しめんうみもてかこまれし	日本海軍〔しめんうみもてかこまれし〕	書98	曲-日5088
	歌-日3251	霜満軍営秋気清	陣中作	書166	曲-日3311
	歌-日3252	しもぐんえいにみちみちて	月下野営	書165	曲-日2122
	歌-日3253	霜にあげ行く朝の冷え	鳩時計	書359	曲-日5389
	歌-日3254	霜に色添ふもみぢ葉の	紅葉〔霜に色添ふもみぢ葉の〕	書303	曲-日6686
	歌-日3255	霜に乱るる暁の	野球部部歌(41年)	書387	曲-日6757
	歌-日3256	霜にも傲れる園の黄菊	三秀	書147	曲-日2795
	歌-日3257	霜のあした淡き夢を驚かし	曉鐘	書222	曲-日1819
	歌-日3258	霜雪冒して咲くかよ梅	咲けや梅花	書223	曲-日2699
	歌-日3259	シャボン玉とんだ	シャボン玉〔シャボン玉とんだ〕	書2 書54 書60	曲-日2999
	歌-日3260	しゃぼんの水を	しゃぼんだま〔しゃぼんの水を〕	書225	曲-日2994
	歌-日3261	じゃんけんぼんじゃんけんぼん	かくれんぼ〔じゃんけんぼんじゃんけんぼん〕	書27	曲-日1266
	歌-日3262	じゃんけんぼんよ〔じゃんけんぼん〕	じゃんけんぼん	書60	曲-日3000
	歌-日3263	ぢやんけんぼんよ〔かくれんぼ〕	かくれんぼ〔ぢやんけんぼんよ〕	書159	曲-日1267
	歌-日3264	ヂヤンチャー	火車	書159	曲-日1313
	歌-日3265	ジヤムボリージヤムボリー	ジヤムボリーの歌	書78 書241	曲-日3003
	歌-日3266	愁雲桐き桃山に	第二十五回記念祭歌(4年西)	書386	曲-日4043
	歌-日3267	自由を叫ぶ	日本労働組合総連合関西連合会熱血団歌	書392	曲-日5141
	歌-日3268	銃を立て天幕張って	新くれ節	書111	曲-日3273
	歌-日3269	銃をになひて行列たてて	小き兵士	書225	曲-日4322
	歌-日3270	十五夜お月さんががみのやうな	十五夜〔十五夜お月さんががみのやうな〕	書54	曲-日3032
	歌-日3271	十五夜お月さんごきげんさん	十五夜お月さん	書54 書60	曲-日3033
	歌-日3272	舟師をひきい	樺原の宮	書66 書165	曲-日1317
	歌-日3273	十字架にかかりたる	唯信ぜよ	書70 書71	曲-日4182
	歌-日3274	十字架よりながるる	エス我を救へり	書70 書71	曲-日782
	歌-日3275	十七ナ今朝のナ若草	秀子節	書363	曲-日5724
	歌-日3276	十人十色で	十人十色	書232	曲-日3049
	歌-日3277	十年以来の経営に	旅順陥落史	書389	曲-日7270
	歌-日3278	蹴破ス三韓八道ノ風	加藤清正〔蹴破ス三韓八道ノ風〕	書166	曲-日1404
	歌-日3279	銃はとらねどハンマーもつて	産業戦士の歌	書179	曲-日2789
	歌-日3280	寿永の秋の	薩摩守忠度〔寿永の秋の〕	書110	曲-日2722
	歌-日3281	寿永の三年三月の半	那須の与一〔寿永の三年三月の半〕	書336	曲-日4880
	歌-日3282	しゅエスのながせし血にて	君はエスの血にて洗われしや	書70 書71	曲-日1783
	歌-日3283	主エスよわれを	我を雪よりも白せよ	書70 書71	曲-日7476
	歌-日3284	肅肅として御旗は昇れり	国旗掲揚	書78	曲-日2465
	歌-日3285	主とともにあゆむ	一あし一あし	書70 書71	曲-日5725
	歌-日3286	主と別れてしばしだに	中江藤樹先生〔主と別れてしばしだに〕	書124	曲-日4848
歌-日3287	主命いなむに	静御前〔主命いなむに〕	書222	曲-日2893	
歌-日3288	主よつみになやみ	主よ迷へる者を帰し給へ	書70 書71	曲-日3082	
歌-日3289	主よ雨が血に	主よ我は今ぞゆく	書70 書71	曲-日3083	
歌-日3290	主よ恵を垂れよ	神の恵	書232	曲-日1456	
歌-日3291	主よわがいのち	我生命取給へ	書70 書71	曲-日7336	
歌-日3292	主よわれはすべてを	聖別	書70 書71	曲-日3530	
歌-日3293	しゅらのすえをふくかぜに	修羅の野末	書166	曲-日3084	
歌-日3294	春蟻かすむ臙夜は	第十七回記念祭歌(40年南)	書386	曲-日3898	
歌-日3295	硝煙弾雨今何処	旅順乃月	書391	曲-日7277	
歌-日3296	せうえんみるみるやまをなし〔軍艦〕	軍艦〔せうえんみるみるやまをなし〕	書166	曲-日2018	
歌-日3297	硝煙見る見る〔黄海の戦〕	黄海の戦〔硝煙見る見る〕	書225	曲-日2214	
歌-日3298	焔煙朦朧電光閃々	露営の夢〔焔煙朦朧電光閃々〕	書166	曲-日7321	
歌-日3299	唱歌うたひて列立てて	行進唱歌春の曲	書81	曲-日2254	
歌-日3300	正月一日は	新年の曲	書368	曲-日3334	
歌-日3301	商工業を始めとし	博覧会之案内	書259	曲-日5321	
歌-日3302	将基の盤のくみたてに	将基の盤	書165	曲-日3126	
歌-日3303	正じきちーさんおくやまで	癩取〔正じきちーさんおくやまで〕	書54	曲-日2531	
歌-日3304	しやうじきちいさんつえについて	舌切雀〔しやうじきちいさんつえについて〕	書54	曲-日2917	
歌-日3305	正直爺が灰まけば	花咲翁〔正直爺が灰まけば〕	書207	曲-日5414	
歌-日3306	さうじの紙はうすけれど	松下禅尼〔さうじの紙はうすけれど〕	書146 書161 書165	曲-日6311	
歌-日3307	證證證城寺	證城寺の狸囃子	書315	曲-日3140	
歌-日3308	鏘々と声起る	緊縮の歌	書326	曲-日1889	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
し	歌-日3309	小隊右むけ一二三	小隊	書46 書144 書166	曲-日3151
	歌-日3310	正中元年高時は	阿新丸	書165	曲-日267
	歌-日3311	将に将たる智仁勇	徳川家康 [将に将たる智仁勇]	書270	曲-日4729
	歌-日3312	少年おいやしく学なりがたし	逸題 [少年おいやしく学なりがたし]	書166	曲-日477
	歌-日3313	正平四年正行は吉野の皇居に参内し [正行吉野参内の歌]	正行吉野参内の歌	書303	曲-日6295
	歌-日3314	正平四年正行は芳野の皇居に参内し [楠正行出陣の歌]	楠正行出陣の歌	書200	曲-日1928
	歌-日3315	峭壁峨々と峙ちて	天目山	書287	曲-日4635
	歌-日3316	勝利のよろこび溢るる影に	落城	書40	曲-日7191
	歌-日3317	書生書生と軽蔑するな	書生節	書385	曲-日3228
	歌-日3318	白雲か	懐独	書282	曲-日3318
	歌-日3319	しらくもたなびくたかちほの	高千穂	書165	曲-日4130
	歌-日3320	白雲なびく [第三高等学校寮歌]	第三高等学校寮歌 [白雲なびく]	書252	曲-日3805
	歌-日3321	白雲なびく駿河台 [白雲なびく]	白雲なびく	書385	曲-日3245
	歌-日3322	白雲なびく駿河台 [明治大学校歌]	明治大学校歌	書40	曲-日6614
	歌-日3323	白雲なびく比叡山 [寮歌]	寮歌 [白雲なびく比叡山]	書387	曲-日7244
	歌-日3324	白雲の向伏す高嶺	第三十九回記念寮歌 [白雲の向伏す高嶺]	書386	曲-日3815
	歌-日3325	しらじらと朝霧の山をこめて	霧 [しらじらと朝霧の山をこめて]	書213 書214	曲-日1867
	歌-日3326	しらずやひにひに	成金の戦	書166	曲-日3491
	歌-日3327	白玉は人に知らえず知らずともよし	白玉	書122	曲-日3246
	歌-日3328	白波騒ぎ熱砂舞ふ	第四十二回記念祭寄贈歌	書386	曲-日4086
	歌-日3329	知らぬ所も見まほしく	初旅	書279	曲-日5371
	歌-日3330	知らぬ間に柳の芽が	春の風	書27 書174	曲-日5596
	歌-日3331	白陽に映ゆる桜花	第三十四回記念寮歌(13年) [白陽に映ゆる桜花]	書386	曲-日3836
	歌-日3332	しらふのたかをてにすえもち	鷹狩	書132 書153 書154 書166 書336	曲-日4119
	歌-日3333	しらべしことども	書生の歌	書92	曲-日3227
	歌-日3334	白帆行く静かに	秋の湖上	書54 書60 書222	曲-日124
	歌-日3335	しらみし窓をあけの鴉	花の暁	書311	曲-日5436
	歌-日3336	しらみそむる	川舟	書188	曲-日1533
	歌-日3337	白ゆきかさねてまなびし人は	白雪ほたる	書142	曲-日3251
	歌-日3338	白雪ふかくふりつもる	陸奥のふぶき	書364 書385	曲-日6579
	歌-日3339	チリチリチリン	電話 [チリチリチリン]	書267	曲-日4640
	歌-日3340	白いお帽子むぎわら帽子	白い帽子	書51	曲-日3253
	歌-日3341	白い紙で何折らう	折紙	書208	曲-日1099
	歌-日3342	白い着物と	白鳩	書345	曲-日3258
	歌-日3343	白い菅笠赤だすき	田植 [白い菅笠赤だすき]	書208	曲-日4113
	歌-日3344	白い砂地にしょんぼりと	お家はどこ	書54	曲-日843
	歌-日3345	しろいなしろいなゆきのやうに	たんぼぼ [しろいなしろいなゆきのやうに]	書54	曲-日4314
	歌-日3346	白兔	白兔	書60	曲-日3254
	歌-日3347	次郎さんおいで太郎さんも	水鉄砲 [次郎さんおいで太郎さんも]	書166	曲-日6443
	歌-日3348	次郎さん次郎さんなに遊ぶ	なに遊ぶ	書380	曲-日4954
	歌-日3349	次郎さんも太郎さんも	菊の花 [次郎さんも太郎さんも]	書60	曲-日1638
	歌-日3350	しろかねこがねそれよりも	親友	書165	曲-日3350
	歌-日3351	白銀しきたる	雪戦	書60 書121	曲-日3580
	歌-日3352	しろがね遠くましろみの	第三十五回記念寮歌 [しろがね遠くましろみの]	書386	曲-日3819
	歌-日3353	白がねのうてな白がねのくさき	雪 [白がねのうてな白がねのくさき]	書135 書138	曲-日7015
	歌-日3354	しろがねもこがねもいかでくろがねの	日本刀 [しろがねもこがねもいかでくろがねの]	書166	曲-日5123
	歌-日3355	しろがねもこがねも玉も	子等を思ふ歌	書317	曲-日2580
歌-日3356	白き手に播かれて	夢見草	書257	曲-日7090	
歌-日3357	白地に赤く	日の丸の旗 [白地に赤く]	書207	曲-日5758	
歌-日3358	白と赤との穂二つ	滝鶴台の妻	書270	曲-日4148	
歌-日3359	城の石垣城の溝	玄武門 [城の石垣城の溝]	書391	曲-日2160	
歌-日3360	城の馬場で	城の馬場	書368	曲-日3256	
歌-日3361	城の南に	野球部応援歌 (第一)	書18	曲-日6752	
歌-日3362	白よこいこい	白よこいこい	書166 書378	曲-日3259	
歌-日3363	師走十あまり九日に	須磨の潮騒	書1	曲-日3465	
歌-日3364	甚句最中に誰茄子投げた	秋田甚句	書363	曲-日105	
歌-日3365	唇齒輔車とて往古より	朝鮮の地理歌	書234	曲-日4396	
歌-日3366	信州信濃の善光寺様は	信州信濃	書363	曲-日3297	
歌-日3367	神璽は今尚	神璽	書165 書230	曲-日3293	
歌-日3368	人生五十槐無功	逸題 [人生五十槐無功]	書166	曲-日478	
歌-日3369	神聖神武のわが皇祖	光は東方より	書241	曲-日5698	
歌-日3370	人生の行路	進取 [人生の行路]	書159	曲-日3295	
歌-日3371	しんたいはつぎづつくな	子の道 [しんたいはつぎづつくな]	書165	曲-日2521	
歌-日3372	デンチロゲヤチンチロゲ	デンチロゲ踊の歌	書387	曲-日3312	
歌-日3373	神統二千五百年	開校祝賀の歌	書77	曲-日1143	
歌-日3374	しんととろりと見惚れる殿御	きんきらきん節	書363	曲-日1880	
歌-日3375	しんねんいはふや	新年 [しんねんいはふや]	書165	曲-日3323	
歌-日3376	しんの間夜に	真の間夜	書368	曲-日3336	
歌-日3377	審判官が	野球	書159	曲-日6749	
歌-日3378	新府や灰背となりけん	天目山曲	書307	曲-日4636	
歌-日3379	新湊沖海の底	佐久間艇長	書270	曲-日2651	
歌-日3380	人民国家を保護して	徴兵の入営	書203	曲-日4414	
歌-日3381	人類文化の実権を	横浜市電共和会会歌	書392	曲-日7125	
歌-日3382	人類文化の創造は	日本交通労働総連盟交通労働歌	書392	曲-日5092	
歌-日3383	神話かしこき和爾賀波の	木田郡井戸村歌	書253	曲-日1702	
す	歌-日3384	瑞雲映ゆる旭日に	撃剣部部歌(弥生会歌)	書386	曲-日2124
	歌-日3385	水源はるかに	揚子江	書138 書333	曲-日7108
	歌-日3386	スイスよい国ブルの楽園	国際労働会議の歌	書392	曲-日2345
	歌-日3387	好いたどうしが	好たどうし	書368	曲-日3381

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
す	歌-日3388	好いちやをれども好かれちやをらぬ	女給の唄 [好いちやをれども好かれちやをらぬ]	書385	曲-日3207
	歌-日3389	好いて好かれて	女給の唄(別れ)	書11	曲-日3208
	歌-日3390	水天遠く連なりて	太平洋 [水天遠く連なりて]	書269	曲-日4076
	歌-日3391	末野の土筆も籠に満ちぬ	すみれ [末野の土筆も籠に満ちぬ]	書87	曲-日3471
	歌-日3392	周防の国は熊毛郡	熊毛郡塩田村の歌	書253	曲-日1957
	歌-日3393	巢を出たばかりのかはいいい雀	子雀 [巢を出たばかりのかはいいい雀]	書263	曲-日2429
	歌-日3394	姿やさしき秋萩すすき	七草	書225	曲-日4950
	歌-日3395	すがたやさしきひめゆりの	け粧の水 [すがたやさしきひめゆりの]	書102 書165	曲-日2114
	歌-日3396	すかんぼは酸いな	とんぼがへり	書117	曲-日4839
	歌-日3397	過ぎし日露の戦ひの	満州行進曲	書241 書385	曲-日6396
	歌-日3398	杉の林に雲ぞ迫り	白雨	書336	曲-日5314
	歌-日3399	過ぎゆく月日は矢よりはやし	勧学 [過ぎゆく月日は矢よりはやし]	書145 書165	曲-日1553
	歌-日3400	すくひにいるべき	窄き門より入れよ	書70 書71	曲-日3595
	歌-日3401	すくひぬしのみうせし	聖名を讃美せよ	書70 書71	曲-日6483
	歌-日3402	すくひのかみなるエホバを	詩篇第九十五篇	書70 書71	曲-日2968
	歌-日3403	すくひのしらせ	叫び伝えよ	書70 書71	曲-日2698
	歌-日3404	すごいまなこは千りをにらみ	鶯 [すごいまなこは千りをにらみ]	書68 書166	曲-日7445
	歌-日3405	すこく門ひらけ	天門ひらけあり	書70 書71	曲-日4637
	歌-日3406	巢ごもる瓦の雀	頑童	書374	曲-日1595
	歌-日3407	健か幸い吾等が願	幸福の願	書232	曲-日2278
	歌-日3408	健かなくば	幸福	書232	曲-日2276
	歌-日3409	すこやかに在ませ	健かに	書232	曲-日3402
	歌-日3410	双六遊びは	双六遊び	書266	曲-日3403
	歌-日3411	すずかぜそよぐなつのゆふべ	涼夜散策	書166	曲-日7259
	歌-日3412	すすきをぬきはぎをおり	夢なれや	書166 書285	曲-日7084
	歌-日3413	薄のしげる	開墾	書333	曲-日1160
	歌-日3414	涼しい風にゆらゆらと	夏の月	書210	曲-日4923
	歌-日3415	涼しい木蔭にやすんだら	木蔭の歌	書359	曲-日2312
	歌-日3416	涼しき風に吹かれつつありし昔の我父の	ブルウムフィルド氏兵士帰郷の歌	書303	曲-日5994
	歌-日3417	すずしき流れ清き風	夏 [すずしき流れ清き風]	書131	曲-日4892
	歌-日3418	すずしやかはかせ	水辺の夏	書54	曲-日6454
	歌-日3419	煤とり餅つき	歳暮 [煤とり餅つき]	書374	曲-日3535
	歌-日3420	進みて備へて敵を討ち	盛軍の歌	書305	曲-日3506
	歌-日3421	すずむしすずむしちんちろりん	鈴虫の鈴	書54	曲-日3411
	歌-日3422	すすむもひくもとどまるも	歩兵 [すすむもひくもとどまるも]	書166	曲-日6244
	歌-日3423	進めいさみすすめ	大和魂 [進めいさみすすめ]	書365	曲-日6870
	歌-日3424	雀おどりは面白や面白や	雀踊り	書2 書315	曲-日3420
	歌-日3425	すずめかやぶになきはじめ	朝のつとめ	書165	曲-日232
	歌-日3426	雀小すずめ学校の雀	雀 [雀小すずめ学校の雀]	書79	曲-日3418
	歌-日3427	すすめすすめ [木口小平]	木口小平 [すすめすすめ]	書159	曲-日1630
	歌-日3428	すすめすすめあしとくすすめ [進め進め]	進め進め [すすめすすめあしとくすすめ]	書67 書132 書139 書161 書166 書170 書225 書379 書381	曲-日3424
	歌-日3429	すずめすずめけふもまた	雀 [すずめすずめけふもまた]	書40 書165 書378	曲-日3414
	歌-日3430	すずめすずめすすめ	雀と鳥	書165	曲-日3427
	歌-日3431	すすめすすめといさましく	喇叭卒 [すすめすすめといさましく]	書124	曲-日7213
	歌-日3432	すすめすすめひとひととこども	対舞	書166	曲-日4447
	歌-日3433	進め力を踏みしめて	第一線	書359	曲-日3770
歌-日3434	雀チユンチユンチユン	雀チユンチユンチユン	書51	曲-日3426	
歌-日3435	進め波をきりて勇気を楯に	軍艦 [進め波をきりて勇気を楯に]	書365	曲-日2023	
歌-日3436	すずめのお宿の竹やぶに	すずめのおやど [すずめのお宿の竹やぶに]	書116	曲-日3433	
歌-日3437	すずめのおやどはやまかげに	雀のお宿 [すずめのおやどはやまかげに]	書54	曲-日3432	
歌-日3438	進めのをえを	先登兵士	書92	曲-日3631	
歌-日3439	すずめの鳴く声八千代ときこえ	祝ひ日	書134	曲-日548	
歌-日3440	雀の鳴く音に	朝のみ雪	書350	曲-日233	
歌-日3441	進め喇叭音たかく	進め喇叭	書286	曲-日3439	
歌-日3442	進めハイハイ	小軍人	書159	曲-日3122	
歌-日3443	進めや勤軍機まず進め	勤俵 [進めや勤軍機まず進め]	書102 書165	曲-日1882	
歌-日3444	すすめやけつしのますらをよ	日本刀 [すすめやけつしのますらをよ]	書166	曲-日5124	
歌-日3445	すすめや進め [春の野遊]	春の野遊 [すすめや進め]	書46 書145 書166	曲-日5627	
歌-日3446	進めや進めいざすすめ	進軍(在朝の弟に寄す)	書305	曲-日3276	
歌-日3447	進めや進め国のため	安城川の勇戦(松崎大尉)	書19	曲-日388	
歌-日3448	すすめやすすめたいこをこしに	軍隊遊び [すすめやすすめたいこをこしに]	書166	曲-日2090	
歌-日3449	すすめやすすめ日本人	清国征伐軍歌	書200	曲-日3288	
歌-日3450	すすめやすすめひとすじに	進めや進め	書166 書286	曲-日3440	
歌-日3451	進めやすすめひとすじに [行軍歌]	行軍歌 [進めやすすめひとすじに]	書148 書166	曲-日2227	
歌-日3452	すすめやすすめまなびのみちを	学びのみち [すすめやすすめまなびのみちを]	書165	曲-日6364	
歌-日3453	進めや進めや [海国男児]	海国男児 [進めや進めや]	書39 書225	曲-日1155	
歌-日3454	進めや進めや太鼓を腰に	軍隊あそび [進めや進めや太鼓を腰に]	書54 書60 書225	曲-日2089	
歌-日3455	すすめやすすめらつばをくちに	軍隊あそび [すすめやすすめらつばをくちに]	書166	曲-日2088	
歌-日3456	進めや進め我が兵よ	日清開戦	書391	曲-日5057	
歌-日3457	進め矢玉の雨の中	進め矢玉	書46 書138 書164 書166	曲-日3441	
歌-日3458	すすめよ主のつばものよ	進め主の兵士	書70 書71	曲-日3422	
歌-日3459	雀よすずめあしたになれば	雀 [雀よすずめあしたになれば]	書45 書165	曲-日3417	
歌-日3460	雀よ雀君のため尽す道をば	雀と鳥	書60	曲-日3428	
歌-日3461	すずめはあさとくねぐらをいでて	すずめ [すずめはあさとくねぐらをいでて]	書166	曲-日3415	
歌-日3462	裾野をかけて吹きおろす	曾我兄弟の歌	書165	曲-日3698	
歌-日3463	すそののしばふに	春の夜 [すそののしばふに]	書54	曲-日5648	
歌-日3464	すそののはらあればはてて	旅の夜	書28	曲-日4260	
歌-日3465	すだく虫の声にも	秋の夜 [すだく虫の声にも]	書174	曲-日171	
歌-日3466	すつるはいまぞおほきみに	捨つるは今ぞ	書166	曲-日3442	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
す	歌-日3467	すていのちはきみがため	戦死者を吊ふ歌 [すていのちはきみがため]	書165	曲-日3612
	歌-日3468	すてよいのちくいのため	軍歌 [すてよいのちくいのため]	書166	曲-日2011
	歌-日3469	ストンストンと通はせて	ストン節	書385	曲-日3448
	歌-日3470	砂のお城におしよせる	波の兵隊さん	書51	曲-日4971
	歌-日3471	砂の白きに	藤	書85	曲-日5860
	歌-日3472	すのとひらきてはなちやる	鳩の子	書166	曲-日5392
	歌-日3473	すはやと照らす	広瀬中佐 [すはやと照らす]	書215	曲-日5811
	歌-日3474	数百の書物写し得し	栗田寛先生	書124	曲-日1987
	歌-日3475	すべてどーぐをたいせつに	おつもの行状	書124	曲-日981
	歌-日3476	すべてのつみ	凡ての汚穢より潔めらる	書70 書71	曲-日3454
	歌-日3477	滑るよ滑るよ	スキー遊び	書159	曲-日3394
	歌-日3478	すべれスケート今こそ冬よ	スケート	書359	曲-日3401
	歌-日3479	須磨の浦和のうら若く	飯の梅	書303	曲-日788
	歌-日3480	すまのうらわのなつげしき	須磨浦 [すまのうらわのなつげしき]	書165	曲-日3460
	歌-日3481	すみかはいつくぞ	こだま [すみかはいつくぞ]	書52 書60	曲-日2450
	歌-日3482	隅田川のはるの夜や	隅田川 [隅田川のはるの夜や]	書142	曲-日3469
	歌-日3483	すみだかわらの [隅田川]	隅田川 [すみだかわらの]	書60 書151 書153 書161 書165 書225	曲-日3468
	歌-日3484	墨田川原のゆふすずみ [夏]	夏 [墨田川原のゆふすずみ]	書303	曲-日4896
	歌-日3485	すみよりくさき	我信仰に由て潔めらる	書70 書71	曲-日7479
	歌-日3486	すみれさくののあさつゆを	花がたみ	書166	曲-日5405
	歌-日3487	菫咲ける春の丘	桜狩 [菫咲ける春の丘]	書60	曲-日2681
	歌-日3488	すみれたんぼぼたうたんぼ	雲雀子 [すみれたんぼぼたうたんぼ]	書166	曲-日5780
	歌-日3489	すみれつみつつかへりゆく	春の景色 [すみれつみつつかへりゆく]	書54 書93 書225	曲-日5603
	歌-日3490	菫の床に花のえだに	春の心 [菫の床に花のえだに]	書122	曲-日5606
	歌-日3491	菫の花さく野辺の罌を	雲雀 [菫の花さく野辺の罌を]	書185	曲-日5779
	歌-日3492	すみれのはなやさくらばな	花鳥 [すみれのはなやさくらばな]	書166	曲-日1367
	歌-日3493	菫はないか	雪の森	書273	曲-日7056
	歌-日3494	菫は紫	菫たんぼぼ	書266	曲-日3472
	歌-日3495	皇祖の御恩頼受けてをさまる	皇祖を祀る	書124	曲-日3475
	歌-日3496	すめら御国に住むものは	皇御国 [すめら御国に住むものは]	書286	曲-日3478
	歌-日3497	すめらみくにのくにぶりを	本居宣長	書270	曲-日6671
	歌-日3498	皇国の興敗は	出陣の歌	書28	曲-日3071
	歌-日3499	すめらみくにのものふは [皇御国]	皇御国 [すめらみくにのものふは]	-----	曲-日3477
	歌-日3500	皇国のものふは礎としもたへつつ [楠正成]	楠正成 [皇国のものふは礎としもたへつつ]	書376	曲-日1922
	歌-日3501	すめら御国は神代より	忠孝 [すめら御国は神代より]	書165 書226	曲-日4375
歌-日3502	すめらみことののおほみこと	誉は朽ちじ	書166	曲-日6247	
歌-日3503	天皇尊の統御する	扶桑歌 [天皇尊の統御する]	書287 書303	曲-日5910	
歌-日3504	皇帝の稜威をば広く	野戦 [皇帝の稜威をば広く]	書118	曲-日6788	
歌-日3505	播盆を	きびすかんかん	書368	曲-日1753	
歌-日3506	駿河なるふじの高嶺をあおぎても	富士筑波	書153 書154 書161 書166 書169	曲-日5882	
せ	歌-日3507	生活万歳朝日は昇る	朝日はのぼる	書241	曲-日250
	歌-日3508	成歎の戦ひは	成歎の喇叭手白神源次郎氏	書314	曲-日3496
	歌-日3509	成歎の一戦で	黄州の陥落	書314	曲-日2247
	歌-日3510	成歎に籠れる清兵唯一撃ちと	喇叭手を吊ふ	書305	曲-日7210
	歌-日3511	正気あふるる向陵の	野球部応援歌	書386	曲-日6751
	歌-日3512	正義と有らば魁けて引かぬ	軍艦戦闘 [正義と有らば魁けて引かぬ]	書118	曲-日2049
	歌-日3513	世紀の流れ絶えずして	第十一回記念祭歌(34年南)	書386	曲-日3865
	歌-日3514	政治経済とりどりに	松平定信 [政治経済とりどりに]	書270	曲-日6319
	歌-日3515	清新の血は朝日ともえて	くろがねの力	書238 書317	曲-日2003
	歌-日3516	征塵万里進み寄す	勝利の歌(大正9年)	書387	曲-日3184
	歌-日3517	青天白日俯地天仰	誠の道 [青天白日俯地天仰]	書60	曲-日6282
	歌-日3518	セイラーパンツのおそろひで	水兵さん	書358	曲-日3383
	歌-日3519	青鷲精を啄みし	第二十回記念祭歌(43年西)	書386	曲-日4048
	歌-日3520	瀬をなうづまきさざなみ立て	小川 [瀬をなうづまきさざなみ立て]	書262	曲-日900
	歌-日3521	世界を見ま国民	いざ起て	書350	曲-日427
	歌-日3522	世界をめぐるいましの	世界一週航海唱歌	書249	曲-日3557
	歌-日3523	世界に多き国国の	世界唱歌 上巻 [世界に多き国国の]	書250	曲-日3561
	歌-日3524	世界に輝く	凱旋歌	書281	曲-日1184
	歌-日3525	世界に名高き日本国 [征露軍歌]	征露軍歌 [世界に名高き日本国]	書243 書245	曲-日3545
	歌-日3526	世界に名高き日本国 [露国征討軍歌]	露国征討軍歌	書394	曲-日7327
	歌-日3527	世界に名高き日本国 [露国討伐軍歌]	露国討伐軍歌	書395	曲-日7328
	歌-日3528	世界にひろき	富士山 [世界にひろき]	書227	曲-日5876
	歌-日3529	世界にまたなき	わが帝国	書47 書94 書138 書225	曲-日7377
	歌-日3530	世界に類なき日本国	公德 [世界に類なき日本国]	書124 書165	曲-日2268
	歌-日3531	世界の友よ	大国民唱歌(第一種)	書261	曲-日3790
	歌-日3532	せかいの広き	世界はひろし	書120	曲-日3564
	歌-日3533	世界の歴史に日の本の	陸軍々歌	書16	曲-日7221
	歌-日3534	せかいはひろしとちおほし	地球送り	書166	曲-日4334
	歌-日3535	世界は震ふ	大阪鉄工組合歌	書392	曲-日883
	歌-日3536	関の五本松アドツコイシヨ	関の五本松(島根)	書385	曲-日3575
	歌-日3537	寂寞破る鳥の音に	柔道部合宿之歌	書387	曲-日3045
	歌-日3538	勢子よ追へやころはよし	兎がり [勢子よ追へやころはよし]	書52	曲-日611
	歌-日3539	勢多の夕日おちぬれば	湖上の詠	書311	曲-日2418
	歌-日3540	せどにさきにほふちとせのきくも	田舎秋景	書165 書230	曲-日4612
	歌-日3541	背戸の柿の木	柿と栗	書159	曲-日1244
	歌-日3542	背戸の藪から	なんだつけ! ? [背戸の藪から]	書201 書202	曲-日5006
	歌-日3543	せどのやまからのそのそと	なんだつけ [せどのやまからのそのそと]	書54	曲-日5005
	歌-日3544	せにおはれたるあまつひのかけ [神武天皇祭]	神武天皇祭 [せにおはれたるあまつひのかけ]	書166	曲-日3346
	歌-日3545	せにおはれたるあまつ日ひのかけ [神武天皇]	神武天皇	書68	曲-日3345

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
せ	歌-日3546	瀬の岩に翡翠あそび	故郷の小川	書28	曲-日2333
	歌-日3547	蝉は梢に声立てて歌ひ	夏の遊び	書28	曲-日4910
	歌-日3548	せめて東風の吹かん折ぞ	不知火	書60	曲-日3249
	歌-日3549	一九一二年四月	勝利の歌	書40	曲-日3183
	歌-日3550	千軍万馬のちからでさへ	大砲 [千軍万馬のちからでさへ]	書68	曲-日4079
	歌-日3551	千古の雪を載きて	教育総監部募集入選軍歌 第三	書40	曲-日1801
	歌-日3552	千山万岳高きを競ひ	松本高等学校々歌	書40	曲-日6331
	歌-日3553	戦場に屍を曝す勇士の覚悟	軍人の功名	書375	曲-日2087
	歌-日3554	全身こごえて呼吸はせわしく	陸奥の花 [全身こごえて呼吸はせわしく]	書166	曲-日6578
	歌-日3555	先生おはよう [おはよう]	おはよう [先生おはよう]	書60	曲-日1027
	歌-日3556	先生お早う [幼稚園]	幼稚園	書266	曲-日7109
	歌-日3557	宣戦大詔ありしより	得利寺附近戦争の歌	書166 書255	曲-日4737
	歌-日3558	千艘や万艘	千艘や万艘	書368	曲-日3623
	歌-日3559	全長	利根川	書159	曲-日4783
	歌-日3560	ぜん地よエホバに	詩篇第百篇	書70 書71	曲-日2969
	歌-日3561	船頭可愛や	ふなうた [船頭可愛や]	書346	曲-日5934
	歌-日3562	前途に山あり	士官候補生	書92	曲-日2838
	歌-日3563	前途万里の雲を隔てて	前途万里	書166 書279	曲-日3632
	歌-日3564	善には善の報果あり	廉潔	書237	曲-日7302
	歌-日3565	せんべんまんぐわんよむふみも	千篇万巻	書102 書165	曲-日3636
歌-日3566	千里の山河	千里の山河	書159	曲-日3641	
歌-日3567	千里の他に	伝書鳩	書225	曲-日4614	
歌-日3568	千里の外も目に浮ぶ	仲秋月	書305	曲-日4379	
歌-日3569	千里の道も足もとよりぞ始まれる	千里の道	書154 書225	曲-日3643	
そ	歌-日3570	蒼空高く翔らむと	昭和二年寮歌	書77	曲-日3190
	歌-日3571	荘厳余所に	夕暮 [荘厳余所に]	書283	曲-日6938
	歌-日3572	壯嚴余所の比もあらず	夕暮 [壯嚴余所の比もあらず]	書60	曲-日6937
	歌-日3573	壯士その数	四十七士	書46	曲-日2882
	歌-日3574	総帆追風に	商船学校校歌	書252	曲-日3150
	歌-日3575	蒼茫遠く窈冥の	第十八回記念祭寮歌(41年西)	書386	曲-日3910
	歌-日3576	相馬流山ナー [相馬流山]	相馬流山	書363	曲-日3687
	歌-日3577	相馬流山ナアエナアエ [相馬流山節(福島)]	相馬流山節(福島)	書385	曲-日3688
	歌-日3578	桑榆哺紅に彩なせる	桜星会優勝歌	書77	曲-日837
	歌-日3579	曾我十郎祐成は	小袖曾我	書86	曲-日2442
	歌-日3580	賊軍大方	北白川宮 [賊軍大方]	書159	曲-日1707
	歌-日3581	ぞくとへのいよにみちて	湊川 [ぞくとへのいよにみちて]	書165	曲-日6493
	歌-日3582	そこひなき淵やはさわぐ	慎言謙讓 [そこひなき淵やはさわぐ]	書102 書165	曲-日3285
	歌-日3583	祖国の恩に報ゆべき	野戦 [祖国の恩に報ゆべき]	書118	曲-日6791
	歌-日3584	祖国の名譽我が肩にあり	ネルソン	書311	曲-日5211
	歌-日3585	そこはいまやのにやまに [第七回旅順攻撃の歌]	第七回旅順攻撃の歌	書166	曲-日3856
	歌-日3586	祖国は今や野に山に [第七回旅順口攻撃の歌]	第七回旅順口攻撃の歌	書255	曲-日3857
	歌-日3587	底津岩根に宮柱	宮城	書161	曲-日6517
	歌-日3588	そせんのみたま幽冥界に	祖先の霊	書279	曲-日3702
	歌-日3589	そそらそそら兎のだんす	兎のだんす	書117 書315	曲-日616
	歌-日3590	そぞろありきに今日も出でし	遊彌 [そぞろありきに今日も出でし]	書185	曲-日6988
	歌-日3591	そつとくもまにかほをだし	お月様 [そつとくもまにかほをだし]	書54	曲-日972
	歌-日3592	袖が浜辺の夕潮に	第十七回記念祭寄贈歌(40年九大)	書386	曲-日3893
	歌-日3593	そでにふきくはるはかせは	春の三月	書166	曲-日5608
	歌-日3594	そでふきかへすあさかぜも	秋の景	書165	曲-日119
	歌-日3595	外へ出る時とんで来て	犬 [外へ出る時とんで来て]	書207	曲-日499
	歌-日3596	外ににこにこ	幸福に進む道	書239	曲-日2277
	歌-日3597	外へ出る時	ぼち	書60	曲-日6225
	歌-日3598	其の牛牽けよや	田植 [其の牛牽けよや]	書283	曲-日4112
	歌-日3599	園生の梅の追風に	園生の梅	書153 書154 書161 書166	曲-日3737
	歌-日3600	園生の芝生に	小鳥 [園生の芝生に]	書175	曲-日2483
	歌-日3601	そのかみ天つち開けしはじめ	建国歌	書40 書241 書326	曲-日2147
	歌-日3602	その茎ほそく	こすもすの花	書373	曲-日2432
	歌-日3603	其東南は日本海	支那の地理歌	書234	曲-日2944
	歌-日3604	其時母はとりすがりやよまてしばし正行よ	賢母の慈訓	書303	曲-日2165
	歌-日3605	其とき判官正成は肌の守り取出し	楠公桜驛遺訓の歌	書237	曲-日4994
	歌-日3606	その名も世界に	ナイヤガラ瀑布	書333	曲-日4846
	歌-日3607	その名も高い	加藤清正 [その名も高い]	書138 書206	曲-日1401
	歌-日3608	その名は四方に敷島の	公德唱歌 [その名は四方に敷島の]	書89 書165	曲-日2270
	歌-日3609	園にあえかは	鄙乙女	書222	曲-日5738
	歌-日3610	園の小百合撫子垣根の千草	故郷を離るる歌	書54 書60 書201 書202 書241 書336	曲-日2330
	歌-日3611	その火絶やすな潔めの火なら	その火絶やすな	書317	曲-日3742
	歌-日3612	そのふのしばふにあされることり	小鳥 [そのふのしばふにあされることり]	書166	曲-日2481
	歌-日3613	その古里の	ふる里 [その古里の]	書186	曲-日6002
	歌-日3614	其又隣の	売な節	書368	曲-日728
	歌-日3615	その水上は高千穂の	その水上	書102 書165	曲-日3743
	歌-日3616	その身は儉素を事として	瓜生岩子	書270	曲-日729
	歌-日3617	其身は布衣に起れども	豊太閤 [其身は布衣に起れども]	書96 書165 書225	曲-日6108
	歌-日3618	そびえる金剛とりでは千早	千早城 [そびえる金剛とりでは千早]	書191	曲-日4361
	歌-日3619	笹ゆる山にかこまれたる	故郷 [笹ゆる山にかこまれたる]	書177	曲-日6008
歌-日3620	そびゆる山は木木青く	わがふるさと	書263	曲-日7397	
歌-日3621	そぼふる雨にぬるる翼	そぼふる雨	書166 書285	曲-日3744	
歌-日3622	粗末にすなと母上の	人形 [粗末にすなと母上の]	書54 書136 書166	曲-日5168	
歌-日3623	染めし紫なつかしく	高き誉 [染めし紫なつかしく]	書67 書147	曲-日4121	
歌-日3624	抑も熊谷直実は頼朝公の御内にて [熊谷直実暁に敦盛を追ふの歌]	熊谷直実暁に敦盛を追ふの歌	書303	曲-日1954	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
そ	歌-日3625	抑も [新壮士剣舞節]	新壮士剣舞節	書368	曲-日3309
	歌-日3626	そもそも熊谷直実は [熊谷直実]	熊谷直実	書200 書203	曲-日1953
	歌-日3627	抑も熊谷直実は [熊谷直実敦盛を追う]	熊谷直実敦盛を追う	書287	曲-日1955
	歌-日3628	そもそも兵を出すのは	出兵	書203	曲-日3075
	歌-日3629	そも靈魂の眠るのは	人生の詩「ロンクフェルロー」氏作	書287	曲-日3307
	歌-日3630	微風よそよ吹け	微風よ	書232	曲-日3745
	歌-日3631	そよぐ微風かほる	第十八回記念祭歌(41年北)	書386	曲-日3914
	歌-日3632	ソヨソソヨ	桃の春	書345	曲-日6705
	歌-日3633	そよそよ	瀬戸内海 [そよそよ]	書167	曲-日3590
	歌-日3634	空朝風わたり	希望の暁	書281	曲-日1763
	歌-日3635	空うちみればうすぐもり	春雨 [空うちみればうすぐもり]	書161	曲-日5557
	歌-日3636	空うららかに渡る雁	秋の山路 [空うららかに渡る雁]	書28	曲-日153
	歌-日3637	空を洗ふ	航路難	書215	曲-日2299
	歌-日3638	空を紅に染めて	朝やけ	書232	曲-日254
	歌-日3639	空を指さすお釈迦様	花祭	書2	曲-日5460
	歌-日3640	空清らかに澄みわたる	菊の香 [空清らかに澄みわたる]	書86	曲-日1634
	歌-日3641	そらとぶとりにねぐらあり	逝きし父母	書54	曲-日7026
	歌-日3642	そらとぶとりも	地史	書282	曲-日4347
	歌-日3643	そらにかがやくひのみはた	年の始 [そらにかがやくひのみはた]	書165	曲-日4766
	歌-日3644	空にきらきら星ひかる	蛍狩 [空にきらきら星ひかる]	書373	曲-日6214
	歌-日3645	空に囀る鳥の声 [天然の美]	天然の美	書40	曲-日4631
	歌-日3646	空に囀る鳥の声 [美しき天然]	美しき天然 [空に囀る鳥の声]	書28 書29 書100 書385	曲-日654
	歌-日3647	空にすみゆく	吉野山 [空にすみゆく]	書225	曲-日7141
	歌-日3648	そらにたかくかかると	星 [そらにたかくかかると]	書54	曲-日6172
	歌-日3649	天に高くかかれる	星 [天に高くかかれる]	書350	曲-日6174
	歌-日3650	空にたなびく霞も淡く	落花 [空にたなびく霞も淡く]	書54	曲-日7204
	歌-日3651	空に月なく星さへなくて	灯台 [空に月なく星さへなくて]	書94 書225	曲-日4686
	歌-日3652	空につらなるのりくら穂高	山の歌 [空につらなるのりくら穂高]	書40 書241	曲-日6892
	歌-日3653	空に流るるひとひらの	春の曲 [空に流るるひとひらの]	書85	曲-日5599
	歌-日3654	空にのぼれば雲となり	水蒸気 [空にのぼれば雲となり]	書79	曲-日3375
	歌-日3655	蒼空に日あり地に国あり	国民歌 [蒼空に日あり地に国あり]	書184 書326	曲-日2359
	歌-日3656	空に見ゆる雲はおはじ	希望 [空に見ゆる雲はおはじ]	書60	曲-日1760
	歌-日3657	空にや今日もアドバルーン	ああそれなのに	書363	曲-日5
	歌-日3658	空には月なく星さえ見えぬ	灯台 [空には月なく星さえ見えぬ]	書213 書214	曲-日4685
	歌-日3659	空のあを	秋 [空のあを]	書257	曲-日87
	歌-日3660	そらものどけき春の日や	若ざら	書141	曲-日7369
	歌-日3661	空もみなとも夜ははれて	みなと	書60 書165 書217 書225 書309	曲-日6490
	歌-日3662	空やおほへる広き水を	海辺の眺望 [空やおほへる広き水を]	書54 書60 書181	曲-日697
	歌-日3663	空ゆく雲も水の音も	朝 [空ゆく雲も水の音も]	書146 書148	曲-日189
	歌-日3664	空は青雲わしらは若い	空は青雲	書2 書31 書40 書240 書326	曲-日3748
	歌-日3665	空はあわい星かげの	乙女のゆくえ	書11	曲-日997
	歌-日3666	天は東北	第二高等学校校歌	書252	曲-日3960
	歌-日3667	空は晴れど波あらき	日本海海戦を偲ぶ	書36	曲-日5086
	歌-日3668	空は晴れたり気は澄みて	青年団行進歌	書2 書31 書240	曲-日3528
	歌-日3669	空はるりいろ輝くリンク	スケーティングの歌	書358	曲-日3399
	歌-日3670	それがよいそれがよい	村の少女たち合唱「それがよい」	書106	曲-日6599
	歌-日3671	夫れ此たびの戦いは	観慮	書314 書391	曲-日768
歌-日3672	夫れ達人は大観す [西郷隆盛を追慕する歌]	西郷隆盛を追慕する歌	書287	曲-日2612	
歌-日3673	夫れ達人は大観す [西郷隆盛]	西郷隆盛 [夫れ達人は大観す]	書200	曲-日2609	
歌-日3674	それと分ねどおうか否か	諾と否	書232	曲-日844	
歌-日3675	それは天の羽衣なるを	天女	書60 書312	曲-日4629	
歌-日3676	揃た揃たよ田の畔道に	田植唄 [揃た揃たよ田の畔道に]	書184	曲-日4115	
歌-日3677	そろた出そろたさなへがそろた	田植 [そろた出そろたさなへがそろた]	書190	曲-日4110	
た	歌-日3678	たあんきぼうんき	たあんき ぼうんき	書117 書315	曲-日3751
	歌-日3679	太虚の齢は知らねども	明治四十一年寮歌	書77	曲-日6625
	歌-日3680	大憲法大憲法	大憲法	書60	曲-日3782
	歌-日3681	たいごをここに [太鼓を腰に]	太鼓を腰に	書381	曲-日3784
	歌-日3682	太鼓を腰に [太鼓を腰]	太鼓を腰	書46	曲-日3783
	歌-日3683	たいごをみださずいといましく	唱歌行進の曲	書166	曲-日3111
	歌-日3684	隊伍堂堂数万の兵	観兵式 [隊伍堂堂数万の兵]	書60 書159	曲-日1604
	歌-日3685	たいこのおきにはいかづちどよむ	黄海の戦 [たいこのおきにはいかづちどよむ]	書166	曲-日2218
	歌-日3686	大勝利大勝利	將軍不誇	書305	曲-日3123
	歌-日3687	大政維新の光さして	明治天皇	書270	曲-日6616
	歌-日3688	大西洋のあなたには	ころんぶす [大西洋のあなたには]	書136	曲-日2589
	歌-日3689	大雪みだれて	征露記念速鳥	書324	曲-日3544
	歌-日3690	だいだんじぬべきときに	大男児	書166	曲-日3955
	歌-日3691	大地をたく雨のしずく	雲のけしき	書366	曲-日1979
	歌-日3692	大同江の北岸に二万の敵兵	野戦(戦闘)	書118	曲-日6805
	歌-日3693	大同江は広けれど [平壤の大捷]	平壤の大捷	書203 書235 書314	曲-日6049
	歌-日3694	大同江は広けれど [平壤大捷]	平壤大捷	書166 書391	曲-日6046
	歌-日3695	大同江は広けれど [平壤凱旋軍歌]	平壤凱旋軍歌	書305	曲-日6045
	歌-日3696	大東洋の	応援歌 第二	書18	曲-日822
	歌-日3697	鯛と漆器で世に高き	下新川郡上野方村歌	書253	曲-日2982
	歌-日3698	だいなるうみちによをわたる	小さき水夫	書166	曲-日4318
	歌-日3699	第二師団の兵士は	第二師団の軍歌	書314 書391	曲-日3963
	歌-日3700	大日本	大日本	書60	曲-日4054
	歌-日3701	太平洋の [第一高等学校寮歌]	第一高等学校寮歌 [太平洋の]	書252	曲-日3761
	歌-日3702	太平洋の波きよく	日本歴史唱歌(一)	書165	曲-日5139
	歌-日3703	太平洋のなみの穂に	第十六回記念祭歌(39年西)	書386	曲-日3929

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
た	歌-日3704	太平洋の波間より	教育総監部募集入選軍歌 第二	書40	曲-日1802
	歌-日3705	大砲ガラガラ曳き出して	大砲 [大砲ガラガラ曳き出して]	書267	曲-日4080
	歌-日3706	大砲小銃	戦	書229	曲-日4179
	歌-日3707	大砲ひびき	征露軍歌 [大砲ひびき]	書244	曲-日3546
	歌-日3708	たいやうへだててほまれはたつとも	墳墓の国	書54	曲-日6031
	歌-日3709	大陸に征戦進み	大建設の歌	書317	曲-日3781
	歌-日3710	絶えず振りあぐる槌の響	鍛冶の歌	書166 書87	曲-日1315
	歌-日3711	妙に清らのああわが児よ	花の少女 [妙に清らのああわが児よ]	書28	曲-日5443
	歌-日3712	堪へよ忍べよ物事は容易に整ふものならず	堪忍	書237	曲-日1600
	歌-日3713	たをやめながら	神功皇后 [たをやめながら]	書138	曲-日3268
	歌-日3714	倒れし戦友抱き起し	ラツバ節	書368 書385	曲-日7216
	歌-日3715	タラシヘイシヲダキヲコシ	民謡ラツバぶし	書28	曲-日6547
	歌-日3716	たかいおそらでほしのこが	お星さま [たかいおそらでほしのこが]	書54	曲-日1049
	歌-日3717	高い空につつ立つポブラ	ポブラ [高い空につつ立つポブラ]	書208	曲-日6242
	歌-日3718	たがいになれし学びの友	我師の恩	書142	曲-日7371
	歌-日3719	互いに励まし良きに進み	朋友 [互いに励まし良きに進み]	書47 書135 書166	曲-日6137
	歌-日3720	互いの心を照しあひつつ	親しき友 [互いの心を照しあひつつ]	書52	曲-日2925
	歌-日3721	高井の村の幅員は	上高井郡高井村歌	書253	曲-日1443
	歌-日3722	高いみ空に灯がひとつ	灯	書85	曲-日5681
	歌-日3723	たかい山から谷そこ見れば [高い山]	高い山	書145 書166 書368	曲-日4118
	歌-日3724	高い山から谷底見れば [ギツチョンチョン]	ギツチョンチョン	書363	曲-日1725
	歌-日3725	たかきかな	御空	書29	曲-日6461
	歌-日3726	高きくらの身をかるく	手植の松	書165	曲-日4571
	歌-日3727	高き屋に	仁徳天皇 [高き屋に]	書159	曲-日5176
	歌-日3728	高く御旗を掲げ宛湊蹴て	軍艦戦闘 [高く御旗を掲げ宛湊蹴て]	書118	曲-日2042
	歌-日3729	たかさごのをのへのまつのしたかげに	高砂	書165	曲-日4122
	歌-日3730	たかつのみやにもるあめを	聖徳	書165	曲-日3523
	歌-日3731	高津の宮の高殿に	民の庵	書143	曲-日4271
	歌-日3732	高津の宮より	高津の宮 [高津の宮より]	書165 書225	曲-日4133
	歌-日3733	たかてるひかげ香はしく	東頭城郡松代村歌	書253	曲-日5690
	歌-日3734	高鳴る血潮たぎりたつ力	体育運動歌 第二(高鳴る血潮)	書240	曲-日3753
	歌-日3735	たかねをこえてひはいでにけり	高嶺	書153 書154 書169 書336	曲-日4134
	歌-日3736	たかねのくさきのはずえをすべりて	海 [たかねのくさきのはずえをすべりて]	書27	曲-日669
	歌-日3737	高嶺の雲も	山桜 [高嶺の雲も]	書120	曲-日6843
	歌-日3738	たかねのまつにつきかけふけぬ	武将の徳	書165	曲-日5904
	歌-日3739	高嶺の夕日かけきえて	旅の道	書185	曲-日4258
	歌-日3740	たがのりすてしこなまらむ	はなれ駒	書166	曲-日5477
	歌-日3741	たかむらいでてあしたより	竹むら	書161 書379	曲-日4162
	歌-日3742	財を山に積みなすも	ふぢ女の公益	書124	曲-日5881
	歌-日3743	宝てふ宝はあれど	玉	書145 書165	曲-日4263
	歌-日3744	財は蔵に山をなし	公德 [財は蔵に山をなし]	書124	曲-日2265
	歌-日3745	薪せおひくる	たのし我家 [薪せおひくる]	書166 書175	曲-日4241
	歌-日3746	たきびのたねははやくつきて	貧しき人	書166	曲-日6299
	歌-日3747	竹馬竹馬	竹馬 [竹馬竹馬]	書266	曲-日4154
	歌-日3748	たけうまならべてすめともよ	竹馬 [たけうまならべてすめともよ]	書87 書166	曲-日4152
	歌-日3749	竹籠手に手にさげ	摘草 [竹籠手に手にさげ]	書310	曲-日4538
	歌-日3750	たけきたけをよ	進撃歌	書166	曲-日3282
	歌-日3751	猛きにほこる虎さへも	親の心	書102 書165	曲-日1090
	歌-日3752	竹の子のこのこあそこにここに	竹の子 [竹の子のこのこあそこにここに]	書318	曲-日4160
	歌-日3753	竹の園生に生ひ出でて	護良親王 [竹の園生に生ひ出でて]	書165	曲-日6710
	歌-日3754	竹の園生のふかみどり	地久節奉祝歌	書239	曲-日4337
	歌-日3755	竹の園生の尊き身にて	閑院宮	書124	曲-日1548
	歌-日3756	紙鶯紙鶯揚れ	紙鶯の歌 [紙鶯紙鶯揚れ]	書207	曲-日4170
	歌-日3757	田子のうら [不二]	不二 [田子のうら]	書29	曲-日5861
	歌-日3758	たごのうらゆうちいでてみれば	田子の浦	書165	曲-日4171
	歌-日3759	たごの手ぐるまわくぐるま	ぼくのたご	書117	曲-日6162
歌-日3760	但馬の南朝来郡	朝来郡山口村の歌	書253	曲-日223	
歌-日3761	助けよ驚しらべを合はせて	子どもの愛	書88 書166	曲-日2476	
歌-日3762	尋ねて来ませわが家は	おとづれ	書88 書166	曲-日989	
歌-日3763	たそがれ時の	たそがれ [たそがれ時の]	書186	曲-日4175	
歌-日3764	黄昏時の夢の国	第二十六回記念祭歌(5年采)	書386	曲-日4041	
歌-日3765	ただ一面に立ちこめた牧場の朝の霧の海	牧場の朝	書210	曲-日6269	
歌-日3766	たたへた水の見えないほどに	お池の蓮	書263	曲-日812	
歌-日3767	讃えん君が代	讃歌	書232	曲-日2778	
歌-日3768	たたかひに今日も暮れゆく	母の背は	書317	曲-日5499	
歌-日3769	戦へば勝ち攻むれば取る	豊太閤 [戦へば勝ち攻むれば取る]	書165 書279	曲-日6107	
歌-日3770	ただ白雲の内に埋れ	桜狩 [ただ白雲の内に埋れ]	書311	曲-日2684	
歌-日3771	ただしろたへのゆきのうちに	梅松 [ただしろたへのゆきのうちに]	書165	曲-日715	
歌-日3772	たたたてちてたととつとて	武夫	書166	曲-日5946	
歌-日3773	タタタ吾等のメルツェル	メトロノームの発明者に	書232	曲-日6656	
歌-日3774	唯に歌へ唯に歌へ	唯に歌へ	書232	曲-日4183	
歌-日3775	唯に鳴かず飛ばず沈む鶯	美しき小鳥	書232	曲-日651	
歌-日3776	只わが楽しみ旅よ旅よ	旅	書185	曲-日4245	
歌-日3777	立おほふ都大路の	紫式部 [立おほふ都大路の]	書69	曲-日6589	
歌-日3778	たちをれやつきぬわがこと	我も人	書165	曲-日7482	
歌-日3779	たちつどひたるそがなかに	太郎	書166	曲-日4283	
歌-日3780	立ち並ぶ松の木	松島 [立ち並ぶ松の木]	書47 書54 書337	曲-日6315	
歌-日3781	たちばをさそふもりのしくれ	旅の暮 [たちばをさそふもりのしくれ]	書166	曲-日4254	
歌-日3782	橘の白き花	水無月	書78	曲-日6489	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
た	歌-日3783	たちまちそでもつおびて	静 [あめもしづかつちもしづか]	書165	曲-日2888
	歌-日3784	佇つ影に	追憶	書186	曲-日4444
	歌-日3785	田鶴さへ	老松 [田鶴さへ]	書181	曲-日819
	歌-日3786	たつたの姫が今むすぶ	秋夜読書 [たつたの姫が今むすぶ]	書28 書100	曲-日3054
	歌-日3787	たつたの姫の	秋夜読書 [たつたの姫の]	書265	曲-日3055
	歌-日3788	だつて逢はずにや居られない	ザツツ・オーケー	書385	曲-日2718
	歌-日3789	たつなみもころへだてぬ	朋友 [たつなみもころへだてぬ]	書102 書165 書166	曲-日6135
	歌-日3790	たつやたちまちげきめつ	大東亜決戦の歌	書236	曲-日3958
	歌-日3791	たてがみふって	おうま [たてがみふって]	書104	曲-日846
	歌-日3792	たてしはらのまがりなき	学校新築落成式	書164	曲-日1384
	歌-日3793	起て起てわが友よ	日本青年	書269	曲-日5110
	歌-日3794	立て！呪はれしもの！	インタナショナルの歌	書392	曲-日559
	歌-日3795	立てよ立てよその湯気	水蒸気 [立てよ立てよその湯気]	書87 書166	曲-日3376
	歌-日3796	起てよ日本の労働者	日本労働総同盟歌	書392	曲-日5142
	歌-日3797	たてりや倒れあるかぬ人形	太郎さんの夢 第二の歌	書24	曲-日4287
	歌-日3798	たとひ千里をへだつとも	別れの歌 [たとひ千里をへだつとも]	書139 書170	曲-日7427
	歌-日3799	たとひのやまのすえなるも	公德 [たとひのやまのすえなるも]	書124	曲-日2263
	歌-日3800	譬へば海のただ中に	第十八回記念祭歌(41年東)	書386	曲-日3912
	歌-日3801	たとへ火の雨槍の雨	ほんとにそうなら	書385	曲-日6253
	歌-日3802	たなびきわたる薄霧 [第五回記念祭歌(28年東)]	第五回記念祭歌(28年東)	書386	曲-日3785
	歌-日3803	たなびき渡る春霞 [春の野]	春の野 [たなびき渡る春霞]	書310	曲-日5619
	歌-日3804	たなびくくもおしひらき	日本国 [たなびくくもおしひらき]	書165	曲-日5093
	歌-日3805	たなびく旗の	源平 [たなびく旗の]	書46	曲-日2162
	歌-日3806	谷あひの里をせせらぎなして	里の小川	書174 書269	曲-日2729
	歌-日3807	谷川の清き水	谷川の水	書232	曲-日4200
	歌-日3808	谷には狭霧	不思議	書232	曲-日5863
	歌-日3809	たにのうぐひす	音楽会	書110	曲-日1107
	歌-日3810	谷のとぼその	春興 [谷のとぼその]	書159	曲-日3091
	歌-日3811	谷の古巢	黄鳥	書110	曲-日841
	歌-日3812	谷の真清水	静御前 [谷の真清水]	書46	曲-日2894
	歌-日3813	谷間を出でてたのしき春を	うぐひす [谷間を出でてたのしき春を]	書60 書68	曲-日586
	歌-日3814	谷間真清水ひとしづく	のぞみ [谷間真清水ひとしづく]	書317	曲-日5266
	歌-日3815	たぬきのおふねは	かちかちおやま	書104	曲-日1362
	歌-日3816	種まき田うえ田の草とり	稲苺 [種まき田うえ田の草とり]	書52	曲-日512
	歌-日3817	多年琢磨の功見へて	大学校卒業	書203	曲-日3772
	歌-日3818	多年の宿志も	学留	書231	曲-日1264
	歌-日3819	田の畔かへる	よるのつとめ	書138 書165	曲-日7173
	歌-日3820	たのしかりしこぞの夏の	たのしき野宮	書78	曲-日4230
	歌-日3821	たのしきうたごえりにみちて	祝日	書88 書165	曲-日3065
	歌-日3822	たのしきキヤムプたのしきかがり火よ	たのしきキヤムプ	書78	曲-日4215
	歌-日3823	たのしき旅路よ	瀬戸内海 [たのしき旅路よ]	書54 書159	曲-日3591
	歌-日3824	たのしき春の花間のまとい	まとい	書225 書310	曲-日6341
	歌-日3825	たのしきわがみそのよ	たのしきみその	書28 書54 書100	曲-日4227
	歌-日3826	たのしきわがやよきいへ	好き家	書166	曲-日7114
	歌-日3827	たのしきは父と共に	我家 [たのしきは父と共に]	書279 書166	曲-日7406
	歌-日3828	楽しく踊れよ	舞踊	書232	曲-日5980
	歌-日3829	楽しく談らむ	楽しく談らむ	書232	曲-日4237
	歌-日3830	たのしく友と山路ゆけば	山路 [たのしく友と山路ゆけば]	書116	曲-日6911
	歌-日3831	楽しや今日も集い来て	学びの歌	書60	曲-日6348
	歌-日3832	楽しや八束の稲の穂波	豊年 [楽しや八束の稲の穂波]	書166 書225	曲-日6122
	歌-日3833	楽しや吾が里に夏は来ぬ	夏の輪唱	書232	曲-日4937
	歌-日3834	楽しやわが世うれしやわが世	楽しや我世	書52 書60	曲-日4239
	歌-日3835	たのしわれまなびもをへ日もくれぬ	楽しわれ [たのしわれまなびもをへ日もくれぬ]	書153 書154 書166	曲-日4242
	歌-日3836	煙草のめのめ空までけがせ [『カルメン』煙草のめのめの歌]	『カルメン』煙草のめのめの歌	書11	曲-日1509
	歌-日3837	煙草のめのめ空迄煙せ [煙草のめのめ]	煙草のめのめ	書385	曲-日4244
	歌-日3838	旅から旅に彼等は行く	巡礼は行く	書232	曲-日3105
	歌-日3839	旅路にのぼりてはや幾日ぞ	旅愁 [旅路にのぼりてはや幾日ぞ]	書177	曲-日7266
	歌-日3840	旅宿にあうみの物語	熊沢蕃山	書69	曲-日1958
	歌-日3841	旅の燕寂しかないか	サーカスの唄	書385	曲-日2604
	歌-日3842	玉をたたへし谷間の泉	谷間の泉 [玉をたたへし谷間の泉]	書174	曲-日4203
	歌-日3843	玉を流す清き川	小舟をこげ	書60 書350	曲-日1045
	歌-日3844	たまをまるばすこずえのつゆ	おく山	書166	曲-日916
	歌-日3845	靈魂こもる	亡友の写真	書283	曲-日6141
	歌-日3846	玉砂のべたるしづけき浜辺	浜辺あるき	書116	曲-日5507
	歌-日3847	たまたま吾等が	同窓会 [たまたま吾等が]	書92	曲-日4681
	歌-日3848	玉とまがふ	秋の名残 [玉とまがふ]	書265	曲-日133
	歌-日3849	玉なす朝露	姫百合 [玉なす朝露]	書353	曲-日5790
	歌-日3850	たまのあられもをそれずに	軍歌 [たまのあられもをそれずに]	書166 書251	曲-日2012
	歌-日3851	玉の台のおばしまに	第十九回記念祭歌(42年北)	書386	曲-日3874
	歌-日3852	玉の輿ぞと皆人の	節婦お政	書270	曲-日3587
	歌-日3853	弾丸の飛ぶ空をかけ	鳩の群	書60	曲-日5393
	歌-日3854	たまのみやいはあれはてて	玉の宮居	書67 書132 書151 書153 書161 書165 書169 書225 書226	曲-日4267
	歌-日3855	玉の宮居は名のみにて	仁徳天皇 [玉の宮居は名のみにて]	書137	曲-日5175
	歌-日3856	弾丸はあられとふりしきり	谷村計介	書124	曲-日4206
	歌-日3857	玉銚のみちはあれてもすすみ行	かへし	書200	曲-日1206
	歌-日3858	玉藻匂ふ	いざ海越えて	書60 書350	曲-日424
	歌-日3859	たまゆらの三年が懸い	第三十七回記念祭歌(昭和2年) [たまゆらの三年が懸い]	書386	曲-日3823
	歌-日3860	たまよたまよみどりいろ	石鯨玉 [たまよたまよみどりいろ]	書165	曲-日2998
	歌-日3861	弾丸は霞と空に飛び [進軍歌]	進軍歌	書200 書203 書287 書376	曲-日3277

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
た	歌-日3862	弾丸は霞と空に飛び [進軍の歌]	進軍の歌	書198 書303	曲-日3279
	歌-日3863	たみくさのさかゆるときは	民草(第一段)	書166	曲-日4269
	歌-日3864	民安かれときさらぎの	新嘗祭 [民安かれときさらぎの]	書46 書55 書126 書127 書128 書129 書161 書165 書303	曲-日5021
	歌-日3865	袂にかよふ夕風に	夏の旅	書122 書165	曲-日4922
	歌-日3866	揺蕩ふ小舟に	たゆたふ小舟	書54 書241	曲-日4275
	歌-日3867	たゆまず勤めて	勸学 [たゆまず勤めて]	書336	曲-日1552
	歌-日3868	タラータラ	楽隊の分	書204	曲-日1257
	歌-日3869	ならへやならせやたもうつわざ	習へや	書165	曲-日4976
	歌-日3870	たらたらおほほぞらたく	飛行機 [たらたらおほほぞらたく]	書27 書54	曲-日5707
	歌-日3871	たりほの稲田を	豊年祭 [たりほの稲田を]	書265	曲-日6127
	歌-日3872	垂穂の稲田そよ風わたりて	里祭 [垂穂の稲田そよ風わたりて]	書27 書60	曲-日2730
	歌-日3873	たりほのいねをこぎとりて	団子 [たりほのいねをこぎとりて]	書166	曲-日4302
	歌-日3874	垂穂吹く	秋の実りの [垂穂吹く]	書282	曲-日143
	歌-日3875	達摩九年の修行には	達摩 [達摩九年の修行には]	書60	曲-日4278
	歌-日3876	達磨達磨雪達磨	雪達磨 [達磨達磨雪達磨]	書207	曲-日7036
	歌-日3877	誰をかまつ [み山ざくら]	み山ざくら	書269	曲-日6531
	歌-日3878	たれをかまつ待宵草の [待宵草]	待宵草	書361	曲-日6307
	歌-日3879	たれがかいたかべにおうまとはとを	壁の絵	書27	曲-日1433
	歌-日3880	誰が風を見たでせう	風 [誰が風を見たでせう]	書117	曲-日1334
	歌-日3881	誰か知るべき秋の葉の	屋 [誰か知るべき秋の葉の]	書317	曲-日5808
	歌-日3882	たれにかうらんわがこのはなを	花売並二花買	書166	曲-日5403
	歌-日3883	誰にかかたらん	今宵の心	書166 書366	曲-日2576
	歌-日3884	たらうがむくろもたふれたり	すすめすめ [たらうがむくろもたふれたり]	書166	曲-日3423
	歌-日3885	太郎兵衛ちいやのたんこぶが	全員合唱「めでたし」	書106	曲-日3606
	歌-日3886	たろとじろのわんぱくこ	太郎と次郎	書166	曲-日4289
	歌-日3887	たわまずつとめよ	たわまずつとめよ	書52	曲-日4294
	歌-日3888	俵はごろごろ	俵はごろごろ	書117	曲-日4298
	歌-日3889	弾丸霞と降らば降れ	野戦 [弾丸霞と降らば降れ]	書118	曲-日6792
	歌-日3890	弾丸如何に烈しきも	野戦(抜刀隊) [弾丸如何に烈しきも]	書118	曲-日6809
	歌-日3891	弾丸雨飛のその中に	九連城占領の歌	書166 書255	曲-日1999
	歌-日3892	弾丸銃砲鋒剣	振天府	書136	曲-日3317
	歌-日3893	男子一度誓ひては	東征歌(昭和8年)	書387	曲-日4678
	歌-日3894	ダンスしませうか	書11	曲-日1508	
	歌-日3895	だんす始めた燕	燕 [だんす始めた燕]	書117	曲-日4507
	歌-日3896	淡青春に霞して	第二十八回記念祭寄贈歌(7年東北大)	書386	曲-日4018
	歌-日3897	丹波篠山山家の猿が	でつかんしよ節 [丹波篠山山家の猿が]	書363	曲-日4573
	歌-日3898	たんぼぼさいてうつくしい	たんぼぼ [たんぼぼさいてうつくしい]	書116	曲-日4315
	ち	歌-日3899	千秋万歳謳歌ふ間に	新婚の祝	書28
歌-日3900		小さい子小さい子お前はなにを居ます	ほーほけきよ	書166 書378	曲-日6153
歌-日3901		小さい時からいひなづけ	この太陽	書385	曲-日2512
歌-日3902		小さい鉢の花ばらが	ばらの唄	書385	曲-日5518
歌-日3903		ちいさいはながきてたく	釣鐘草	書54	曲-日4551
歌-日3904		小さき砂の一粒も	小さき砂	書138 書165 書217 書225	曲-日4319
歌-日3905		小き露より真砂より	小き露	書132 書165	曲-日4320
歌-日3906		ちひさしとでもにつぼんだんじ	運動会 [ちひさしとでもにつぼんだんじ]	書68 書138 書166	曲-日741
歌-日3907		ちひさないけにきんぎょがいつつ	金魚 [ちひさないけにきんぎょがいつつ]	書79	曲-日1874
歌-日3908		小さな駅にさいている	小さな駅	書358	曲-日4324
歌-日3909		小さな体で	強者の理由	書201 書202	曲-日1816
歌-日3910		小さな鯉に	小さな鯉	書266	曲-日4327
歌-日3911		ちいさなながれふたすぢみすぢ	小さき流	書166	曲-日4321
歌-日3912		ちひさなふねがならんでゆくよ	笹舟 [ちひさなふねがならんでゆくよ]	書27	曲-日2703
歌-日3913		ちいしばつばちいばつば	雀の学校	書54	曲-日3436
歌-日3914		千五百の稲	豊のみのり	書350	曲-日7070
歌-日3915		チェッコ機銃の霞の下を	敵前掃海者の謡	書317	曲-日4574
歌-日3916		千重波五百重波	海辺の朝	書185	曲-日694
歌-日3917		智恵の宝を限りもなく	図書館	書311	曲-日4770
歌-日3918		千重の山路を踏み分けて	児島高德 [千重の山路を踏み分けて]	書60 書270	曲-日2410
歌-日3919		ちからあはせよあにおとと	北條泰時	書124	曲-日6105
歌-日3920		ちからじまんの	のみのすくね [ちからじまんの]	書174	曲-日5290
歌-日3921		ちからはやまをぬくととも	力は山	書166	曲-日4333
歌-日3922		地球は円し	コロンブス [地球は円し]	書333	曲-日2590
歌-日3923		契し友をまつち山	月夜泛舟 [契し友をまつち山]	書28	曲-日4489
歌-日3924		筑後平野の唯中に	八女郡水田村歌	書253	曲-日6916
歌-日3925		ちぐさにすだく	月 [ちぐさにすだく]	書110	曲-日4453
歌-日3926		ちぐさのかげになくむしの	虫と月	書54 書60	曲-日6560
歌-日3927		千草の花に置きあまる	秋の野 [千草の花に置きあまる]	書28	曲-日137
歌-日3928		ちぐさのはなもなくむしの	露霜	書165	曲-日4546
歌-日3929		千草の花は露をそめ	千草の花	書153 書154 書161	曲-日4341
歌-日3930		千草八千草乱れ咲きて	虫の楽隊	書54 書60 書69 書153 書166	曲-日6565
歌-日3931		チクタクチクタク	時計 [チクタクチクタク]	書60 書267	曲-日4741
歌-日3932		千曲・犀川二川の間	川中島 [千曲・犀川二川の間]	書209	曲-日1529
歌-日3933		ちごよちごねむれよちごよ	子守唄 [ちごよちごねむれよちごよ]	書54 書136	曲-日2548
歌-日3934		ちさとにつづくてつだうせんろ	鉄道	書165	曲-日4581
歌-日3935		千里のはてまで隈もあらず	故郷の母 [千里のはてまで隈もあらず]	書54 書60 書265	曲-日2342
歌-日3936		千里の道も足もとよりぞ	千里のみち	書153 書165 書169 書226 書336 書337	曲-日4346
歌-日3937		千里の山坂ひたばしり	汽車の旅 [千里の山坂ひたばしり]	書337	曲-日1678
歌-日3938		血潮と代へし遼東に	討露の歌 [血潮と代へし遼東に]	書316	曲-日4709
歌-日3939		千嶋の奥の占守嶋	郡司大尉を送る歌	書287	曲-日2081
歌-日3940		地上を離れて	軽気球	書138	曲-日2102

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ち	歌-日3941	乳いろお月さま朝の月	お月見	書117	曲-日976
	歌-日3942	父上います	楽しき我家 [父上います]	書333	曲-日4235
	歌-日3943	父上様か母様か	負傷	書44	曲-日5903
	歌-日3944	父上母上いざさらば	出征	書44	曲-日3072
	歌-日3945	父が残し	楠正行の母	書46	曲-日1929
	歌-日3946	父がのこし言の葉は	言の葉	書165	曲-日2471
	歌-日3947	チチクチ	雲雀の歌 [チチクチ]	書60	曲-日5783
	歌-日3948	父なき後に何事も	兄弟 [父なき後に何事も]	書102 書165	曲-日1828
	歌-日3949	ちちなる神の	沖に出て見よ	書70 書71	曲-日907
	歌-日3950	ちぢにはなさくはるののに	春の野 [ちぢにはなさくはるののに]	書165	曲-日5620
	歌-日3951	父の遺言はありつれど	本多忠朝	書124	曲-日6251
	歌-日3952	父のをしへの貴さよ	父母のをしへ	書225	曲-日4351
	歌-日3953	ちぢのたくみのしなしなを	展覧会	書165	曲-日4638
	歌-日3954	父の膝たのしくも	眠れる子	書60	曲-日5207
	歌-日3955	ちぢのみのちぢやもうえし	橘 [ちぢのみのちぢやもうえし]	書153 書154 書161 書165 書169	曲-日4188
	歌-日3956	ちぢははいかになりたまふ	皇国新軍歌 牛若丸	書165	曲-日2236
	歌-日3957	ちぢはははわれをうみ	孝の道 [ちぢはははわれをうみ]	書165	曲-日2274
	歌-日3958	父や	親よこひし	書350	曲-日1098
	歌-日3959	地中海上	ナボレオン	書159	曲-日4960
	歌-日3960	父よあなたは強かつた	父よあなたは強かつた	書363	曲-日4353
	歌-日3961	父よりうけし	親のめぐみ [父よりうけし]	書350	曲-日1094
	歌-日3962	父はをはりのつゆときえ	牛若丸 [父はをはりのつゆときえ]	書68 書138	曲-日627
	歌-日3963	父は身まかり弟をさなく	二宮尊徳 [父は身まかり弟をさなく]	書52	曲-日5078
	歌-日3964	ちてちてたと	兵士来る	書166	曲-日6038
	歌-日3965	チチチチチチタタ	兵隊さん [チチチチチチタタ]	書116	曲-日6060
	歌-日3966	池凍東頭風にとけ	新年宴会	書203	曲-日3332
	歌-日3967	千年契る	飯盛山懐古	書202	曲-日393
	歌-日3968	ちとせの雪いだきて	富士山 [ちとせの雪いだきて]	書52	曲-日5870
	歌-日3969	ちのりしめたるえうがいも	東北男児	書166	曲-日4701
	歌-日3970	大地はなごやかになるほひて	二十週年記念寮歌	書77	曲-日5045
	歌-日3971	千葉の県の北の方	印旛郡本野村歌	書253	曲-日564
	歌-日3972	千早振神代の昔し神々の	秋津洲 [千早振神代の昔し神々の]	書200	曲-日110
	歌-日3973	ちはやふるかみより	富士山 [ちはやふるかみより]	書165	曲-日5871
	歌-日3974	ちびきのいしもくろかかねも	勤勉	書165	曲-日1897
	歌-日3975	千引の岩は重からず	千引の岩	書67 書102 書166	曲-日4363
	歌-日3976	千ひろの海のその底に	海の世界	書68	曲-日688
	歌-日3977	千尋の海もうづむべし	日本男子 [千尋の海もうづむべし]	書148 書166	曲-日6853
	歌-日3978	ちひろのうみもそこひあり	父母教師の恩	書165	曲-日5947
	歌-日3979	ちひろのうみもそのみなもとは	千尋の海	書165	曲-日4364
	歌-日3980	地平のはてに雲白く	楡の樹	書358	曲-日5153
	歌-日3981	千町田の稲の葉に	千町田	書120 書121	曲-日4365
	歌-日3982	茶釜にたぎる湯気の水こころを留めて見よや人	湯気の水	書87	曲-日7066
	歌-日3983	茶釜に手が生え足が生え	文福茶釜 [茶釜に手が生え足が生え]	書54 書267	曲-日6029
	歌-日3984	中央大学これ吾が母校	中央大学校歌	書40	曲-日4371
	歌-日3985	忠魂義胆胸に満つ	愉快	書42 書166	曲-日6991
	歌-日3986	ちゆうちゆうちゆうちゆうとほくのはうへ	水鉄砲 [ちゆうちゆうちゆうちゆうとほくのはうへ]	書27	曲-日6442
	歌-日3987	忠と孝とは水と波	忠義	書237	曲-日4372
	歌-日3988	忠と勇とのふたすぢに	第八回記念寮歌(31年西)	書386	曲-日4061
	歌-日3989	忠勇義烈の我軍が	旅順の凱歌	書389	曲-日7276
歌-日3990	ちゆうぶそうのわがへいは	玄武門 [ちゆうぶそうのわがへいは]	書166 書169	曲-日2159	
歌-日3991	中和の村に日はおちて	中和の朝風	書391	曲-日4388	
歌-日3992	ちゅつちゅつちゅつちゅつすぢのこ	雀の子 [ちゅつちゅつちゅつちゅつすぢのこ]	書27 書60	曲-日3438	
歌-日3993	長鯨息吹く北の海	占守島	書279	曲-日2971	
歌-日3994	長江の水天をうち	長江の水	書240	曲-日4392	
歌-日3995	長袖花は乱れうち	蹴球部独立記念歌	書387	曲-日3017	
歌-日3996	朝鮮国王雄々しくも	京城の小闘	書200	曲-日2106	
歌-日3997	朝鮮国王我国へ	成歎の大捷	書314	曲-日3494	
歌-日3998	朝鮮と満州の境のあの鴨緑江	鴨緑江節	書363 書385	曲-日864	
歌-日3999	ちようちようちようちようひらひら飛べよ	蝶々と仔牛	書117	曲-日4408	
歌-日4000	てふてふとまれなのはにとまれ [蝶]	蝶 [てふてふとまれなのはにとまれ]	書166	曲-日4390	
歌-日4001	てふてふとまれやなのはにとまれ [てふ]	てふ [てふてふとまれやなのはにとまれ]	書166	曲-日4389	
歌-日4002	蝶々とんぼや	蝶々とんぼ [蝶々とんぼや]	書368	曲-日4410	
歌-日4003	蝶々蝶々葉の葉に止まれ	蝶々 [蝶々蝶々葉の葉に止まれ]	書67 書132 書151 書153 書161 書166 書225 書233 書379	曲-日4407	
歌-日4004	蝶々飛べ花に	舞踏曲 [蝶々飛べ花に]	書92	曲-日5927	
歌-日4005	ちよーちよよちよーちよよちよーちよよ	ちよーとんぼ	書79	曲-日4411	
歌-日4006	長汀曲浦海青く	三豊郡仁尾村歌	書253	曲-日6479	
歌-日4007	長堤十里露こめて	郵便車	書54	曲-日6970	
歌-日4008	てふよはなよとうつくしみ	父母の恩	書165	曲-日5948	
歌-日4009	チョーチョーチョーチョーユフベノオヤド	蝶々 [チョーチョーチョーチョーユフベノオヤド]	書206	曲-日4406	
歌-日4010	チョーチョーチョーチョー	ナノハナ [チョーチョーチョーチョー]	書94	曲-日4957	
歌-日4011	猪牙でサツサ行くのは深川がよひ	深川節	書363	曲-日5847	
歌-日4012	直立一千二百丈	富士山 [直立一千二百丈]	書165 書279	曲-日5877	
歌-日4013	千代田の春風	間宮海峡	書333	曲-日6377	
歌-日4014	ちよだのみやいゆうべぞたてる	千代田の宮居	書165	曲-日4425	
歌-日4015	ちよだのみやにちよかけて [勅語]	勅語	書165	曲-日4418	
歌-日4016	千代田の宮にちよかけて [教育勅語]	教育勅語	書146 書148	曲-日1803	
歌-日4017	千代田の宮に千代かけて [教育勅語拝読の歌]	教育勅語拝読の歌	書161	曲-日1807	
歌-日4018	千代田の宮の宮柱	千代田の宮 [千代田の宮の宮柱]	書225	曲-日4424	
歌-日4019	一寸この路通しておくれ	お手手の門	書373	曲-日984	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ち	歌-日4020	ちよにちよに千代ませきみは	千代に	書132 書151 書153 書161	曲-日4426
	歌-日4021	千代の色香の	千代の色香	書178	曲-日4427
	歌-日4022	千代の松後の	海辺のすまい	書29	曲-日696
	歌-日4023	ちよへむにはのまつかぜに	四季 [ちよへむにはのまつかぜに]	書166	曲-日2841
	歌-日4024	千代ゆるぎなき粟が岳	中蒲原郡七谷村歌	書253	曲-日4853
	歌-日4025	千代よぶ声に星はさり	第十回記念祭歌(33年東)	書386	曲-日3937
	歌-日4026	ちよよろづよときみがよの	大婚二十五年奉祝唱歌	書165	曲-日3798
	歌-日4027	千代万代に動きなき [西多摩郡戸倉村の歌]	西多摩郡戸倉村の歌	書253	曲-日5038
	歌-日4028	千代万代に動きなき [藤津郡古枝村歌]	藤津郡古枝村歌	書253	曲-日5883
	歌-日4029	チヨロチヨロ	蟻 [チヨロチヨロ]	書267	曲-日369
	歌-日4030	ちよんきな	ちよんきな	書368	曲-日4429
	歌-日4031	ちらちらちら草葉の上に	雨中の花	書225 書310	曲-日648
	歌-日4032	ちらちらちらちらこのはがちるよ	木の葉 [ちらちらちらちらこのはがちるよ]	書27	曲-日2514
	歌-日4033	チラチラチラ雪が降る	雪が降る	書60	曲-日7023
	歌-日4034	ちらちらとみそらより [雪あそび]	雪あそび [ちらちらとみそらより]	書54 書138 書225	曲-日7017
	歌-日4035	ちらちらとみ空より降る雪のうつくしき [雪月花]	雪月花	書309	曲-日3577
	歌-日4036	ちらちらゆきがふつてきて	雪遊び [ちらちらゆきがふつてきて]	書165	曲-日7018
	歌-日4037	ちらりちらりあれよゆき	雪 [ちらりちらりあれよゆき]	書262	曲-日6998
	歌-日4038	ちらりと粉雪降つて来た	粉雪 [ちらりと粉雪降つて来た]	書117	曲-日2501
	歌-日4039	散り交ふ花の	朧月夜 [散り交ふ花の]	書28 書54 書100 書265	曲-日1056
	歌-日4040	散りし桜を踏みなづみ	第二十五回記念祭寄贈歌(4年京大)	書386	曲-日3977
	歌-日4041	ちりちんちりりんあれりんがなる	リン [ちりちんちりりんあれりんがなる]	書54	曲-日7280
	歌-日4042	ちりぬべきときををしへて [桜井駅]	桜井駅	書165	曲-日2675
	歌-日4043	散りぬべき時をおしえてしばしよに [ちりぬべき]	ちりぬべき	書132	曲-日4432
	歌-日4044	塵も積れば早晩に	奨励	書237	曲-日3185
	歌-日4045	散り行く花の下蔭に	第三十七回記念祭歌(昭和2年) [散り行く花の下蔭に]	書386	曲-日3824
	歌-日4046	ちりりんちりりんあれりんがなる	リン [ちりりんちりりんあれりんがなる]	書27	曲-日7281
	歌-日4047	ちりりんちりりんちりりん	電話 [ちりりんちりりんちりりん]	書54	曲-日4641
	歌-日4048	ちりんちりんちりんちりん	号外	書54	曲-日2204
	歌-日4049	散るよ散るよ [蛇の目の傘]	蛇の目の傘	書201 書202	曲-日2992
	歌-日4050	ちるよちるよきのはがちるよ [落葉]	落葉 [ちるよちるよきのはがちるよ]	書54	曲-日958
	歌-日4051	散るよ散るよ木の葉が散るよ [木の葉]	木の葉 [散るよ散るよ木の葉が散るよ]	書60 書201 書382	曲-日2517
	歌-日4052	チロリチロリンすずのねが	鈴の音 [チロリチロリンすずのねが]	書174	曲-日3407
	歌-日4053	血は青社の脈管に湧き	覚醒の歌	書387	曲-日1252
	歌-日4054	ちんからこんこんちんからこん	歌時計	書358	曲-日641
	歌-日4055	ちんころちんころちりちりちん	ちんころ兵隊	書54 書117	曲-日4436
	歌-日4056	鎮守の森に日が落ちて	楽しいお家	書264	曲-日4210
	歌-日4057	鎮守の森の森かげに	田舎のたぐれ [鎮守の森の森かげに]	書137 書138	曲-日491
	歌-日4058	青島の山から指さして	青島節	書385	曲-日4440
	歌-日4059	チンチロチンチロチンチロチンチロリン	虫の音 [チンチロチンチロチンチロチンチロリン]	書60 書350	曲-日6569
	歌-日4060	ちんちろ松虫の声	秋 [ちんちろ松虫の声]	書190	曲-日86
	歌-日4061	ちんちろちんちろちろ	鈴の音 [ちんちろちんちろちろ]	書54 書267	曲-日3406
	歌-日4062	チンチン動きまます	電車 [チンチン動きまます]	書159	曲-日4610
	歌-日4063	ちんちんすずめよどこにねる	ちんちん雀	書54 書315	曲-日4441
	歌-日4064	ちんちん千鳥の [子守唄(ちんちん千鳥)]	子守唄(ちんちん千鳥)	書107	曲-日2567
	歌-日4065	ちんちん千鳥の啼く夜さは [ちんちん千鳥]	ちんちん千鳥	書117	曲-日4442
	歌-日4066	チンチンチンチン [デンシヤ]	デンシヤ [チンチンチンチン]	書171	曲-日4608
	歌-日4067	ちんちんちんちん電車さん [電車と汽車]	電車と汽車	書117	曲-日4613
	歌-日4068	チンチン電車が動き出す	電車 [チンチン電車が動き出す]	書267	曲-日4609
歌-日4069	亭に見はらす夏の街	北山	書358	曲-日1710	
歌-日4070	狎わん猫ニヤア鼠	ちんわんの唄	書23	曲-日4443	
つ	歌-日4071	つかふるきみのためならば [加藤清正]	加藤清正 [つかふるきみのためならば]	書165	曲-日1399
	歌-日4072	つかふる君のためならば [清正]	清正	書365	曲-日1860
	歌-日4073	月落鳥啼霜满天	楓橋夜泊	書166	曲-日5833
	歌-日4074	月落ち霜満ち	演習 [月落ち霜満ち]	書228	曲-日792
	歌-日4075	月を捕とて手伸し猿猴が	さとりうた	書251	曲-日2733
	歌-日4076	月影青き白砂に	月夜の海	書54	曲-日4487
	歌-日4077	月影うすれつつ明け行く御空	暁起	書54 書180	曲-日1808
	歌-日4078	月かげおぼろに霞む空を	帰雁 [月かげおぼろに霞む空を]	書60 書166 書279	曲-日1614
	歌-日4079	月影さやけく風も吹かぬ	湖上の月	書54 書60 書184 書283	曲-日2421
	歌-日4080	月かげ照る夜半は	月かげ [月かげ照る夜半は]	書28	曲-日4464
	歌-日4081	月影のこりて露おくあした	百合と薔薇	書185	曲-日7095
	歌-日4082	月かげほそき大江山	大江山 [月かげほそき大江山]	書165	曲-日873
	歌-日4083	月影水のごとく	虫の音 [月影水のごとく]	書60 書222	曲-日6571
	歌-日4084	月かげみるから更科こひしも	月影 [月かげみるから更科こひしも]	書161	曲-日4465
	歌-日4085	つきかげもらさぬ若葉のみどりは	夕暮 [つきかげもらさぬ若葉のみどりは]	書161 書166	曲-日6935
	歌-日4086	つきがでたでた [爺]	爺	書272	曲-日2822
	歌-日4087	月が出た出た踊れよピエロ	ピエロの唄	書11 書385	曲-日5685
	歌-日4088	月が出て来る砂の上	月が出て来る	書358	曲-日4466
	歌-日4089	月が上るよ此のタベ	守備兵さん	書358	曲-日3080
	歌-日4090	月がみ空の鏡なら	み空の鏡	書54 書60	曲-日6462
	歌-日4091	月こそをかき	月 [月こそをかき]	書374	曲-日4459
	歌-日4092	月さえわたり花さく野辺	秋景	書54 書136 書166	曲-日3027
	歌-日4093	月冴えわたる秋の野に	虫 [月冴えわたる秋の野に]	書134 書138	曲-日6558
	歌-日4094	月白く [犬]	犬 [三日の食に恩義を知り]	書225	曲-日500
	歌-日4095	つきしろくかぜさむき	夜の守り	書165	曲-日7174
	歌-日4096	つきすむそのふにらららら	月下の吹奏	書27	曲-日2121
	歌-日4097	月と花とに	友	書228	曲-日4787
	歌-日4098	月と花とは昔しより	花月の歌	書165 書200 書303 書376	曲-日1281

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
つ	歌-日4099	月なき空に煌めく光り	星の界	書54 書184 書241	曲-日6181
	歌-日4100	月なき夜半の空高く	小さき星	書116	曲-日4323
	歌-日4101	月に懸るは村雲よ花を散すは山風よ	菅相公謫居の歌	書237	曲-日1589
	歌-日4102	月に響く笛の調べ	笛の音 [月に響く笛の調べ]	書312	曲-日5844
	歌-日4103	月にむらくも花に風	逝去の友 [月にむらくも花に風]	書165	曲-日3503
	歌-日4104	つきによさむのさとすぎて	月に夜寒	書165	曲-日4470
	歌-日4105	月のあかりに黒いがん	雁 [月のあかりに黒いがん]	書165 書378	曲-日1547
	歌-日4106	月のある夜は草叢に	虫のお遊び	書54 書60 書104	曲-日6564
	歌-日4107	月の桂も手折るべし	松の操 [月の桂も手折るべし]	書147 書165	曲-日6326
	歌-日4108	月の御殿の月姫さまは	月姫さま	書51	曲-日4480
	歌-日4109	月の砂漠をはるばると	月の砂漠	書2 書40	曲-日4472
	歌-日4110	つきのでるよのうれしさに	月待草	書27	曲-日4481
	歌-日4111	月の名にたつ	姨捨山	書119	曲-日1022
	歌-日4112	つきのきばにふみよむよは	秋の声 [つきのきばにふみよむよは]	書54	曲-日123
	歌-日4113	つきのひかりにさそはれて	秋の宵	書54	曲-日167
	歌-日4114	つきひすぐればふたたびと	光陰	書165	曲-日2188
	歌-日4115	月日のあゆみいとほやく	月日のあゆみ	書225	曲-日4478
	歌-日4116	つきますみよみよ	建都 [つきますみよみよ]	書166 書285	曲-日2154
	歌-日4117	月まだ残る小倉城	地理歴史教育福岡県内唱歌	書300	曲-日4434
	歌-日4118	月もないのに星の夜は	星の夜	書373	曲-日6182
	歌-日4119	月雪蛭と学びの窓に	送別歌 [月雪蛭と学びの窓に]	書122 書165	曲-日3680
	歌-日4120	月よなつかし汝が清けき影	ミネトカカの湖畔	書241	曲-日6504
	歌-日4121	月夜の畑の白れんげ	月夜の畑	書47 書54	曲-日4477
	歌-日4122	つきよのやねのまどがらす	ねんね唄	書54	曲-日5216
	歌-日4123	月夜や	千鳥 [月夜や]	書265	曲-日4356
	歌-日4124	月は出でけり	聴虫曲	書204	曲-日4398
	歌-日4125	つきはいでぬもりのかなたに	良夜	書27	曲-日7258
	歌-日4126	つきはおぼろに	さめよ君	書197	曲-日2754
	歌-日4127	月は朧に香をこめて	第二十一回記念祭歌(44年西)	書386	曲-日3967
	歌-日4128	月はおぼろに東山	祇園小唄	書385	曲-日1608
	歌-日4129	月はかくれて海くらき	水雷艇	書67 書166	曲-日3388
	歌-日4130	月はかすむ春の夜に [ドナウ河の漣]	ドナウ河の漣 [月はかすむ春の夜に]	書40	曲-日4779
	歌-日4131	月はかすむ春の夜に [ドナウ河の漣の歌]	ドナウ河の漣の歌 [月はかすむ春の夜に]	書11	曲-日4781
	歌-日4132	月は霞む春の夜や [ドナウ河の漣]	ドナウ河の漣 [月は霞む春の夜や]	書385	曲-日4780
	歌-日4133	月は霞む春の夜 [ダニューブ河の漣]	ダニューブ河の漣	書241	曲-日4207
	歌-日4134	つきはくらしか世はさむし	廣瀬中佐 [つきはくらしか世はさむし]	書166	曲-日5814
	歌-日4135	月はくらし薩摩の海	西郷隆盛 [月はくらし薩摩の海]	書270	曲-日2611
	歌-日4136	月はそらにのこりて	夏の曙 [月はそらにのこりて]	書54 書60 書175	曲-日4907
	歌-日4137	月は無情といふけれど	月は無情	書363 書385	曲-日4492
	歌-日4138	机をともに揃へてならべ	楽しき教場 [机をともに揃へてならべ]	書225	曲-日4217
	歌-日4139	つくえのまへでは	よく学びよく遊べ	書29	曲-日7124
	歌-日4140	筑紫をさしてとび梅の	菅公 [筑紫をさしてとび梅の]	書165	曲-日1574
	歌-日4141	筑紫の野辺に生ひ出でて	処女会歌	書60	曲-日3225
	歌-日4142	筑紫の配所や	菅公 [筑紫の配所や]	書324	曲-日1582
	歌-日4143	筑紫の富士にくれかかる	第二十二回記念祭寄贈歌(45年九大)	書386	曲-日4005
	歌-日4144	つくしのやすの弥次郎は	孝子	書145 書165	曲-日2242
	歌-日4145	つくせよつくせはらからよ	親のたまもの	書141	曲-日1091
歌-日4146	筑波おろしは	夜半の嵐	書1	曲-日7183	
歌-日4147	筑波根あたり霞籠め	第十三回記念祭寄贈歌(36年東大)	書386	曲-日3891	
歌-日4148	坤うらかに動揺めけば	第二十九回記念祭寄贈歌(8年東北大)	書386	曲-日3974	
歌-日4149	つちかひこやすをしへぐさ	開校式の歌	書165	曲-日1142	
歌-日4150	土に生れて農に活き	農民歌	書392	曲-日5239	
歌-日4151	土に枕しこの下に身をかくしたる若人は	碑文	書303	曲-日5786	
歌-日4152	つちもてかぢや	鍛冶	書166	曲-日1314	
歌-日4153	つつのひびきにけつうふり	雲鷹	書166	曲-日7297	
歌-日4154	つつみのお花はまっさかり	花のとんねる	書117	曲-日5445	
歌-日4155	つつみのさくらさきみちて	隅田川 [つつみのさくらさきみちて]	書165	曲-日3466	
歌-日4156	堤の桜名に	高等工業学校校歌	書252	曲-日2262	
歌-日4157	堤のさくらは	落花流水	書29	曲-日7208	
歌-日4158	堤の柳影やせ水上の	千鳥 [堤の柳影やせ水上の]	書182	曲-日4359	
歌-日4159	つつみのやなぎによのいろのこして	隅田川 [つつみのやなぎによのいろのこして]	書165 書175	曲-日3467	
歌-日4160	煙突よりもらす	深夜の都会	書120 書121 書166	曲-日3349	
歌-日4161	つづれのころもなはのをび	労働	書166	曲-日7310	
歌-日4162	ツチツチジャン	トチチリ拳	書368	曲-日4771	
歌-日4163	つどひてつくるはなをみよ	椿 [つどひてつくるはなをみよ]	書166	曲-日4502	
歌-日4164	集ひに集ひて来ませり来ませり	岩戸開きの曲	書312	曲-日555	
歌-日4165	つとめはげめふみよむみちを	勉め	書165	曲-日4498	
歌-日4166	務めよや己が業	人の務	書124	曲-日5731	
歌-日4167	勉めん時に	能く勉め能く遊ぶ	書231	曲-日7119	
歌-日4168	常に父母	人の道	書225	曲-日5732	
歌-日4169	つのだせやりだせまいいつぶり	まいまいつぶり	書166	曲-日6261	
歌-日4170	つばきやつばきつばきのはな	椿 [つばきやつばきつばきのはな]	書166	曲-日4503	
歌-日4171	つばくらめつばくらめ	燕の電信	書269	曲-日4525	
歌-日4172	翼撃たれて血みどろに	小鳥 独唱 [翼撃たれて血みどろに]	書24	曲-日2491	
歌-日4173	翼白き鳥ぞ一羽	海の朝 [翼白き鳥ぞ一羽]	書117	曲-日678	
歌-日4174	翼持てる小鳥ならば	小鳥ならば	書232	曲-日2492	
歌-日4175	つばめすずめなかくあそべ	つばめ [つばめすずめなかくあそべ]	書141	曲-日4510	
歌-日4176	つばめつばめつばめ	燕 [つばめつばめつばめ]	書68	曲-日4519	
歌-日4177	ツバメノヒナガ	燕 [ツバメノヒナガ]	書206	曲-日4520	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
つ	歌-日4178	爪紅の黎明の風	五十週年記念寮歌	書77	曲-日2416
	歌-日4179	妻さへ	仇国打倒	書46	曲-日279
	歌-日4180	妻臥病床児泣飢	訣別	書166	曲-日2128
	歌-日4181	罪あらばわれをとがめよ天つ神	明治大帝御製頌歌	書367	曲-日6615
	歌-日4182	つみある世の世のため	エスの救うけよ	書70 書71	曲-日775
	歌-日4183	つみ木つみましよ	つみ木 [つみ木つみましよ]	書207	曲-日4531
	歌-日4184	つみ木のお家の花の門	つみ木のお家	書51	曲-日4533
	歌-日4185	積木の城を守るのは	積木の城	書60	曲-日4534
	歌-日4186	つみのけがれより	なぜに受ぬや	書70 書71	曲-日4888
	歌-日4187	つみもなくて遠く西のはてに	異郷の月	書60	曲-日407
	歌-日4188	つむぎし糸の数はわずかけふも暮れぬあはかなの世や	工女の歌	書88	曲-日2250
	歌-日4189	つめたき冬の帳開け	第二十七回記念祭寄贈歌(6年九大)	書386	曲-日3996
	歌-日4190	積つた積つた	雀のお宿 [積つた積つた]	書159	曲-日3435
	歌-日4191	つもったつもった真白しろに	雪連磨 [つもったつもった真白しろに]	書380	曲-日7035
	歌-日4192	つもらばつもれはつみゆき	初み雪	書165	曲-日5383
	歌-日4193	つもればおいとなげきつつ	月 [つもればおいとなげきつつ]	書166	曲-日4454
	歌-日4194	露をふくめる朝風に	白塔	書358	曲-日5317
	歌-日4195	露しげき	秋の夜 [つきのひかりにさそはれて]	書282	曲-日163
	歌-日4196	露霜繁くなるままに	晩秋 [露霜繁くなるままに]	書28	曲-日5677
	歌-日4197	露霜のおきわたす	冬の野	書60 書120 書121 書336	曲-日5970
	歌-日4198	つゆしものたくともしらでしらぎくの	白菊	書165	曲-日3243
	歌-日4199	露ちる白萩すすきの葉	秋草の家	書174	曲-日99
	歌-日4200	露にぬれて野辺に匂ふ糸萩	蟋蟀 [露にぬれて野辺に匂ふ糸萩]	書312	曲-日2309
	歌-日4201	露にもあきてころなく	ほたる [露にもあきてころなく]	書161	曲-日6197
	歌-日4202	ツユノイチゴヲカゾヘマス	カゾヘマス	書358	曲-日1354
	歌-日4203	露の白玉かけしかと	蛍 [露の白玉かけしかと]	書136	曲-日6207
	歌-日4204	つゆのたまのこしてはれわたる	露の玉	書54 書138 書166 書169	曲-日4547
	歌-日4205	露の細みち通りやんせ	青葉のトンネル	書373	曲-日52
	歌-日4206	露の真玉おきあまり	郊外散歩 [露の真玉おきあまり]	書239	曲-日2207
	歌-日4207	露の身と思へば軽き我が命	ホーカイ節	書385	曲-日6146
	歌-日4208	露の身ながらおきかねて	新曲太田道灌	書195	曲-日3266
	歌-日4209	露もつ草葉を鞋にふめば	旅路の愉快	書166 書279	曲-日4249
	歌-日4210	露は玉ときらめき	夜半	書185	曲-日7180
	歌-日4211	強きからだ父にうけ	親の恩 [強きからだ父にうけ]	書116	曲-日1087
	歌-日4212	強く体を馴らさんと	運動会の歌 [強く体を馴らさんと]	書47	曲-日756
	歌-日4213	つらつらつばきつらつらに	巨勢山	書165	曲-日2433
	歌-日4214	つらなる窓に	寄宿舎	書231	曲-日1681
	歌-日4215	列ねし袂を	送別(友に對す)	書121	曲-日3682
	歌-日4216	つりのいとまもなみのうへ	八島 [つりのいとまもなみのうへ]	書166	曲-日6766
	歌-日4217	釣舟拂りて	漁村の夕	書336	曲-日1857
	歌-日4218	剣と鏡と玉との教	日本青年の歌 [剣と鏡と玉との教]	書240	曲-日5112
	歌-日4219	剣の前にあぐみいて	第十七回記念祭寮歌(40年北)	書386	曲-日3899
歌-日4220	つるぎのひかりひづめのひびき	行軍 [つるぎのひかりひづめのひびき]	書365	曲-日2222	
歌-日4221	剣は躍りて室を出で	野戦(戦闘歌) [剣は躍りて室を出で]	書118	曲-日6806	
歌-日4222	つるさん	鶴と狼	書159	曲-日4554	
歌-日4223	つるのよはひのちとせまで	祝歌鶴亀	書165	曲-日3064	
歌-日4224	つるもきてすむいそやまの	今様 [つるもきてすむいそやまの]	書166	曲-日528	
歌-日4225	積んでも積んでもくづれるお山	砂遊び	書207	曲-日3450	
歌-日4226	壘始めて	角力 [壘始めて]	書201 書202	曲-日3480	
て	歌-日4227	てあしもはなもめもみも	風船玉 [てあしもはなもめもみも]	書54	曲-日5834
	歌-日4228	帝国軍隊整々と	野戦 [帝国軍隊整々と]	書118	曲-日6794
	歌-日4229	帝国まもる軍艦は	軍艦唱歌	書74 書165	曲-日2025
	歌-日4230	帝都を北に三百里	明治四十三年寮歌	書77	曲-日6627
	歌-日4231	てをひきあひしそのなかに	めくら鬼 [てをひきあひしそのなかに]	書166	曲-日6645
	歌-日4232	てがひのひよこにえがいでんと	ひよこ [てがひのひよこにえがいでんと]	書165	曲-日5800
	歌-日4233	デカンシヨデカンシヨで半年や暮らす	デカンシヨ節 [デカンシヨデカンシヨで半年や暮らす]	書385	曲-日4580
	歌-日4234	敵艦いかに多くとも	海軍 [敵艦いかに多くとも]	書16	曲-日1127
	歌-日4235	敵艦何処と指潮や	軍艦戦闘 [敵艦何処と指潮や]	書118	曲-日2052
	歌-日4236	敵艦精鋭三十隻	東郷大將 [敵艦精鋭三十隻]	書313	曲-日4666
	歌-日4237	敵艦見えたり近づきたり	日本海海戦 [敵艦見えたり近づきたり]	書213 書214	曲-日5085
	歌-日4238	てきかんみゆのけいほうに	マレー沖の凱歌	書236	曲-日6389
	歌-日4239	敵国伏して正義は勝てり	凱旋 [敵国伏して正義は勝てり]	書225	曲-日1178
	歌-日4240	敵陣みえたり	発火演習	書231	曲-日5366
	歌-日4241	てきちふかくのりいりし	斥候騎兵	書166	曲-日3579
	歌-日4242	てきにおはれたじこくのへいし	マリー-のきてん	書27	曲-日6383
	歌-日4243	敵に勝て我が軍隊よ	陸路進軍の歌	書16	曲-日7230
	歌-日4244	敵の艦隊うちやぶり	威海衛 [敵の艦隊うちやぶり]	書225	曲-日403
	歌-日4245	てきのかんたいうみをおほひ	敵の艦隊	書166	曲-日4575
	歌-日4246	てきのせんぼうすう百人 [敵の先鋒]	敵の先鋒	書166	曲-日4576
	歌-日4247	敵の先鋒数百人 [野戦]	野戦 [敵の先鋒数百人]	書118	曲-日6795
	歌-日4248	てきのみかたのつつのおと	敵の味方	書166	曲-日4577
	歌-日4249	敵の要害遼陽城や	遼陽占領	書166 書255	曲-日7261
	歌-日4250	敵は間近く寄りたりな	野戦(抜刀隊) [敵は間近く寄りたりな]	書118	曲-日6810
	歌-日4251	敵は間近しいさすめ	成敵の進撃	書235	曲-日3493
	歌-日4252	敵味方	恵の波	書110	曲-日6641
	歌-日4253	てきもみかたもつかれしか	兵士の夢	書166	曲-日6043
	歌-日4254	敵は幾万ありとても	敵は幾万	書40 書46 書166	曲-日4578
	歌-日4255	出た出た月が	月 [出た出た月が]	書207	曲-日4460
	歌-日4256	鉄のくさりを [母の愛]	母の愛 [鉄のくさりを]	書159	曲-日5490

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
て	歌-日4257	鉄の鎖を打ち切りて [団結の歌]	団結の歌	書392	曲-日4299
	歌-日4258	鉄の道走る車のその早さ	汽車汽船 [鉄の道走る車のその早さ]	書225	曲-日1670
	歌-日4259	鉄砲かついだ兵隊さん	兵隊さん [鉄砲かついだ兵隊さん]	書207	曲-日6061
	歌-日4260	鉄路のつづき眺めつつ	埼玉新唱歌 [鉄路のつづき眺めつつ]	書301	曲-日2623
	歌-日4261	出て来る	活動写真	書266	曲-日1394
	歌-日4262	出て来い出て来い [出て来い]	出て来い	書23	曲-日4586
	歌-日4263	出て来い出て来い池の鯉	池の鯉 [出て来い出て来い池の鯉]	書60 書207	曲-日417
	歌-日4264	デデッポッポデッポ	春は行く	書54 書60	曲-日5661
	歌-日4265	手と手をつなぎ唱歌をうたひ	進め進め [手と手をつなぎ唱歌をうたひ]	書263	曲-日3425
	歌-日4266	てならふちごよなにはづに	手習	書166	曲-日4587
	歌-日4267	手に手をつないで氷の上を	氷すべり [手に手をつないで氷の上を]	書116	曲-日2303
	歌-日4268	出舟を知らする汽笛の響	送別 [出舟を知らする汽笛の響]	書185	曲-日3677
	歌-日4269	手繰つき来るは	手繰	書28	曲-日4594
	歌-日4270	てまりはまろくかつかろく	指遊び [てまりはまろくかつかろく]	書166	曲-日7074
	歌-日4271	照らすか月影	月下懐郷	書283	曲-日2116
	歌-日4272	照らす陽光にぞ	茂る森	書350	曲-日2878
	歌-日4273	てんいくにちやけにやけて	夕立 [ごろごろなるのは雷よ]	書165	曲-日6951
	歌-日4274	天を仰げばいと広し [刺客を詠ず]	刺客を詠ず	書287	曲-日2836
	歌-日4275	天を仰げばいと広し [刺客を詠ずる歌]	刺客を詠ずる歌	書303	曲-日2864
	歌-日4276	天を動かし地を砕き	学びの力 [天を動かし地を砕き]	書102 書166	曲-日6358
	歌-日4277	天をひたして底もなき	明智左馬之助湖水渡りの歌	書200	曲-日179
	歌-日4278	天下に稀なる国民の	野戦(抜刀隊) [天下に稀なる国民の]	書118	曲-日6811
	歌-日4279	天下の敵を拒まざる	早大応援歌	書40	曲-日3667
	歌-日4280	天下の名器に逢ばやと	弁慶	書45 書165	曲-日6082
	歌-日4281	天下わけめの関が原	愛国唱歌 徳川時代	書165	曲-日21
	歌-日4282	天気晴朗風しづか	天長節 [天気晴朗風しづか]	書203	曲-日4627
	歌-日4283	天地の正気向陵に	野球部部歌 [天地の正気向陵に]	書386	曲-日3757
	歌-日4284	天気も今日は日本晴	遠足の歌 [天気も今日は日本晴]	書60	曲-日6756
	歌-日4285	電光ひらめき	衛生隊	書225	曲-日803
	歌-日4286	てんじかちりか	旅順口の戦 [てんじかちりか]	書166 書169	曲-日766
	歌-日4287	天日はるかにみ隠れまして	第二十三回記念祭寄贈歌(2年京大)	書386	曲-日7275
	歌-日4288	天使は天使は	天使の歌	書232	曲-日3986
	歌-日4289	天神怒り地祇患る	起てよ国民	書241	曲-日4607
	歌-日4290	天じんさまといふかたは	天神様	書206	曲-日4198
	歌-日4291	電信線に	燕 [電信線に]	書266	曲-日4615
	歌-日4292	電信柱に燕がとまる	よされ節(青森)	書385	曲-日4524
	歌-日4293	天地を洗ふ大雷雨	南山占領の歌	書166 書255	曲-日7129
	歌-日4294	天地蕭條秋高く	遠足の歌 [天地蕭條秋高く]	書15	曲-日4998
	歌-日4295	天地とともに限りなき	皇統 [天地とともに限りなき]	書365	曲-日804
	歌-日4296	天地に響く砲の音	船橋里	書391	曲-日2261
	歌-日4297	天地に響く鯨波の声	野戦 [天地に響く鯨波の声]	書118	曲-日3607
	歌-日4298	天地の正気向陵に	第一高等学校野球部部歌	書40 書252	曲-日6797
	歌-日4299	てんちようせつのおさぞらに	天長節 [てんちようせつのおさぞらに]	書165	曲-日4620
歌-日4300	テンテンテマリのお月さま	太郎兵衛独唱「おつきさま」	書106	曲-日4292	
歌-日4301	てんてんてん天神さまのお祭り	手まり歌 [てんてんてん天神さまのお祭り]	書190	曲-日4597	
歌-日4302	てんてんてん手繰	穂と殿様(手繰唄)	書385	曲-日6384	
歌-日4303	でんでん虫虫かたつむり	かたつむり [でんでん虫虫かたつむり]	書207	曲-日1359	
歌-日4304	天と地をつくりし	唯一の真神	書70 書71	曲-日4185	
歌-日4305	天にあふるる文明の	慶大塾歌	書40 書252	曲-日2109	
歌-日4306	天に懸れる日月星地には三種の神器	三種の神器 [天に懸れる日月星地には三種の神器]	書309	曲-日2798	
歌-日4307	天に代りて不義を討つ	日本陸軍	書99 書385	曲-日5138	
歌-日4308	天に代りて不義を討つ	陸軍	書40	曲-日7219	
歌-日4309	てんにつつけるうなばらも	海山	書165	曲-日700	
歌-日4310	てんにふたつのひはてらず	ハワイ大海戦	書236	曲-日5671	
歌-日4311	天に二つの太陽は照らず	興亜奉公の歌	書317	曲-日2186	
歌-日4312	天には自由の鬼となり	自由の歌	書303 書376	曲-日3050	
歌-日4313	天皇陛下の大詔勅	凱旋の歌 [天皇陛下の大詔勅]	書165 書226	曲-日1189	
歌-日4314	天のたすくる正義のいくさ	凱旋 [天のたすくる正義のいくさ]	書68 書166	曲-日1179	
歌-日4315	天時さへ地理さへ	野戦 [天時さへ地理さへ]	書118	曲-日6796	
歌-日4316	天龍流れて稲穂は黄金	龍映小唄	書40	曲-日7237	
歌-日4317	天龍眠る富士の峰	第二十二回記念祭歌	書386	曲-日4008	
歌-日4318	天は騰りて極みなく	大陸日本の歌	書323	曲-日4100	
歌-日4319	天は晴れたり気は澄みぬ	慶應義塾野球歌	書40 書252	曲-日2098	
歌-日4320	天はゆるさじ良民の	ワシントン [天はゆるさじ良民の]	書138 書137	曲-日7449	
歌-日4321	てんはわれをめぐるなり	天は我を	書169	曲-日4642	
と	歌-日4322	東海染むる紅の	第三十一回記念祭歌(10年) [東海染むる紅の]	書386	曲-日3808
	歌-日4323	東海道の	五十三次	書159	曲-日2415
	歌-日4324	東海波は太平の	御大典奉祝歌 [東海波は太平の]	書386	曲-日2444
	歌-日4325	東海日出でて波濤うつところ	帝国青年の歌 [東海日出でて波濤うつところ]	書2 書40 書239 書240	曲-日4567
	歌-日4326	とうぎよはをどりてなみおこし	忠臣 [とうぎよはをどりてなみおこし]	書165	曲-日4380
	歌-日4327	峠茶屋ではヨイコランヨ	富士民謡	書184	曲-日5902
	歌-日4328	峠の清水	峠の清水	書227	曲-日4663
	歌-日4329	峠の松までのぼつたら	峠の上から	書174	曲-日4662
	歌-日4330	東皇回る暁色に	東和寮落成記念歌(8年)	書386	曲-日4711
	歌-日4331	東郷大将雲よべば	東郷大将 [東郷大将雲よべば]	書270	曲-日4667
	歌-日4332	東西凡そ一里半	和氣郡神根村統計唱歌	書253	曲-日7434
	歌-日4333	東照宮の廟畔の	公園 [東照宮の廟畔の]	書229	曲-日2193
	歌-日4334	トウジワン	トウジワン	書368	曲-日4672
	歌-日4335	堂々と隊伍を整へ草木も眠る	成歌の捷利	書375	曲-日3492

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
と	歌-日4336	尊かりける皇の	鴨緑江 [尊かりける皇の]	書391	曲-日865
	歌-日4337	たふとき教わするなよ	太郎さんの夢 第四の歌	書24	曲-日4288
	歌-日4338	尊き御神よ我が世の悩	尊き御神よ	書232	曲-日4692
	歌-日4339	動物園に熊がいる	白熊	書267	曲-日3255
	歌-日4340	動物園ののどかな午後は	動物園 [動物園ののどかな午後は]	書210	曲-日4698
	歌-日4341	動物園はおもしろい	動物園 [動物園はおもしろい]	書380	曲-日4699
	歌-日4342	東北北海中堅と	釧路郡釧路村歌	書253	曲-日1919
	歌-日4343	東洋亜細亜の大日本帝国は	東洋亜細亜	書165 書251	曲-日4704
	歌-日4344	東洋平和を護らんと	戦勝	書248	曲-日3614
	歌-日4345	東洋平和これぞいさの目的なる	征露の歌 [東洋平和これぞいさの目的なる]	書16	曲-日3556
	歌-日4346	東洋平和の其為に	平和のため	書16	曲-日6065
	歌-日4347	とうやうむそふのかいぐんと	東洋無双	書166	曲-日4707
	歌-日4348	東洋無双の軍港と	征露軍歌旅順陥落	書247	曲-日3550
	歌-日4349	遠い国から来たつばめ	つばめ [遠い国から来たつばめ]	書60	曲-日4512
	歌-日4350	遠い山から吹いて来る	野菊 [遠い山から吹いて来る]	書190	曲-日5251
	歌-日4351	とほいやまねのしらくもも	汽車 [とほいやまねのしらくもも]	書79	曲-日1659
	歌-日4352	遠い山道迷はず来たよ	山の電気	書269	曲-日6900
	歌-日4353	十日戎の売物は	十日戎	書363 書368	曲-日4712
	歌-日4354	とほかのあめやいつかのかぜ	五風十雨	書165	曲-日2530
	歌-日4355	遠き神代の [韓国旅行]	韓国旅行	書333	曲-日1584
	歌-日4356	遠き神代のいにしへに [日本全国地理摘要唱歌]	日本全国地理摘要唱歌	書325	曲-日5114
	歌-日4357	とほきかみよのむかしより	君の恵 [とほきかみよのむかしより]	書165	曲-日1780
	歌-日4358	とほきかみよのむかしより [御国の光]	御国の光	書166 書169	曲-日6421
	歌-日4359	遠き神代の昔より [上古之部]	上古之部	書330	曲-日3127
	歌-日4360	とほきとほころにゆかんにも	遠きとほころ	書165	曲-日4713
	歌-日4361	遠き山の雪消えて	初春	書54 書60	曲-日3224
	歌-日4362	遠くきこえる子守歌	親なし鳥	書54 書60	曲-日1081
	歌-日4363	遠くの低い山々を	赤い夕日	書358	曲-日63
	歌-日4364	遠すめろぎのかしこくも	紀元二千六百年頌歌	書317	曲-日1646
	歌-日4365	トホセンボトホセンボ	トホセンボ [トホセンボトホセンボ]	書51	曲-日4715
	歌-日4366	尊き人善きをなす	尊き人	書232	曲-日4691
	歌-日4367	遠音にひびくはつづみか琴か [鳥]	鳥 [遠音にひびくはつづみか琴か]	書130 書165	曲-日4814
	歌-日4368	遠音にひびくはつづみか琴か [鳥の歌]	鳥の歌	書309	曲-日4822
	歌-日4369	とほのうなばら	故国	書28 書265	曲-日2379
	歌-日4370	都会の事も田舎の事も	新聞紙	書94	曲-日3339
	歌-日4371	ときをたがへずまられるは	時を守れ	書165	曲-日4720
	歌-日4372	時乾坤に移ろいて	時乾坤に移ろいて(水戸高寮歌)	書40	曲-日4721
	歌-日4373	時乾坤のうつろひに	柔道部部歌	書386	曲-日3046
	歌-日4374	時轍乾坤に回り来て	大正四年寮歌	書77	曲-日3951
	歌-日4375	時しも夏のやみの夜に文書かんとて我庵の	見蠅蛾有感	書303	曲-日3209
	歌-日4376	時知るものは	雪の梅	書161	曲-日7045
	歌-日4377	時の流れもゆるやかに	第二十九回記念祭寄贈歌(8年東大)	書386	曲-日3973
	歌-日4378	時のみかどの	楽聖	書110	曲-日1249
	歌-日4379	時は至れり日本刀	征清軍歌	書314	曲-日3517
歌-日4380	時は今ぞ齊しく起て	勇婦 [時は今ぞ齊しく起て]	書312	曲-日6973	
歌-日4381	時はつばさ飛び去るかげ忍ちに	時は翼	書87 書165	曲-日4726	
歌-日4382	時は流れて十四歳	第十四回記念祭寄贈歌(37年京大)	書386	曲-日3917	
歌-日4383	ときはに春ありて	楽しい春 [ときはに春ありて]	書185	曲-日4219	
歌-日4384	ときはの操色かへぬ	初日影	書28	曲-日5382	
歌-日4385	時は春ぞ	楽しめ楽しめ!	書232	曲-日4238	
歌-日4386	夙く起き出でて川辺に立てば	朝風 [夙く起き出でて川辺に立てば]	書116	曲-日209	
歌-日4387	とく起出でて桑摘めば	蚕 [とく起出でて桑摘めば]	書317	曲-日1134	
歌-日4388	疾く起き出でてよ	朝暁 [疾く起き出でてよ]	書159	曲-日236	
歌-日4389	疾く起きて日の出拝み	まどい	書317	曲-日6342	
歌-日4390	とく来よ	美しき春よ来よ	書232	曲-日655	
歌-日4391	読書の窓をたくは誰ぞ	読書の窓	書169 書366	曲-日4735	
歌-日4392	疾く疾く我靴拾いて来れ	張良韓信	書159	曲-日4415	
歌-日4393	時計がなった	時計 [時計がなった]	書94 書225	曲-日4744	
歌-日4394	時計台の鐘が鳴る	時計台の鐘	書241	曲-日4745	
歌-日4395	とけいのはりのめぐるごと	時計の針 [とけいのはりのめぐるごと]	書165	曲-日4748	
歌-日4396	とけいのはりはよるひるわかず	時計の針 [とけいのはりはよるひるわかず]	書165	曲-日4749	
歌-日4397	時計は朝からかつちんかつちん	時計の歌	書208	曲-日4747	
歌-日4398	とけいはよるひるたたくめぐる	時計と明鏡	書165	曲-日4746	
歌-日4399	どこかで春が生れ出る	どこかで春が	書31	曲-日4752	
歌-日4400	何処から来たのか飛んで来た木の葉	木の葉	書60 書207	曲-日1744	
歌-日4401	どこからわたしや来たのやら [森の娘]	森の娘	書40 書385	曲-日6726	
歌-日4402	どこからまじや来たのやら [『沈鐘』森の娘の歌]	『沈鐘』森の娘の歌	書11	曲-日4438	
歌-日4403	永遠の幸朽ちざる誓	校歌 [永遠の幸朽ちざる誓]	書77	曲-日2197	
歌-日4404	どこにありても真北の方を	磁石	書225	曲-日2881	
歌-日4405	床にかざれる福壽草	福壽草	書225	曲-日5856	
歌-日4406	何処の野べでも秋風立ば	蛩 [何処の野べでも秋風立ば]	書203	曲-日6202	
歌-日4407	何處の山から	達磨さん [何處の山から]	書201 書382	曲-日4282	
歌-日4408	どこまでつづくぬかるみぞ	討匪行	書385	曲-日4696	
歌-日4409	とこよのさかえに	第二十七回記念祭寄贈歌(6年東大)	書386	曲-日3997	
歌-日4410	処は越後の松山の	松山鏡 [処は越後の松山の]	書165	曲-日6336	
歌-日4411	処は上野館林	文福茶釜 [処は上野館林]	書348	曲-日6028	
歌-日4412	土佐の高知の播磨屋橋で	よさこい節 [土佐の高知の播磨屋橋で]	書363 書385	曲-日7128	
歌-日4413	土佐の郡の南部にて	土佐郡旭村村歌(御大典記念)	書253	曲-日4757	
歌-日4414	年をかさねて栄えゆく	学校記念日 [年をかさねて栄えゆく]	書337	曲-日1378	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
と	歌-日4415	年来日ごろ	庭球歌 [年来日ごろ]	書28	曲-日4558
	歌-日4416	年ごろ睦びし学びの友	校友会の歌	書28	曲-日2294
	歌-日4417	年たちかへる新玉の	新年 [年たちかへる新玉の]	書223	曲-日3329
	歌-日4418	としたちかへるはるのそら	落梅 [としたちかへるはるのそら]	書166	曲-日7196
	歌-日4419	年立つ朝の [田家早梅]	田家早梅	書29	曲-日5739
	歌-日4420	年立朝の [新年]	新年 [年立朝の]	書165 書175	曲-日3330
	歌-日4421	年たつけふの大空に	一月一日 [年たつけふの大空に]	書144 書145 書165	曲-日456
	歌-日4422	年たつけさのそにぎわいは	年たつ今朝	書153 書152 書161 書165	曲-日4763
	歌-日4423	年たつ今朝の初そらに	初空	書143	曲-日5369
	歌-日4424	とし立やまなびの庭の梅がえも	初はる [とし立やまなびの庭の梅がえも]	書141	曲-日5379
	歌-日4425	年月をむつみあそびたる	懐しの友	書116	曲-日4899
	歌-日4426	としつきめぐりてはやよとせ	卒業式の歌 [としつきめぐりてはやよとせ]	書138 書165	曲-日3718
	歌-日4427	年なほ若く封をつぎ	上杉鷹山	書270	曲-日570
	歌-日4428	としのとなへはしようへいと	菊池武光	書165	曲-日1632
	歌-日4429	年のはじめを家々で	日の丸	書68 書166	曲-日5756
	歌-日4430	年のはじめの例とて	一月一日 [年のはじめの例とて]	-----	曲-日457
	歌-日4431	年の始めの目出度さを	出初式の歌	書375	曲-日4579
	歌-日4432	年のはじめはうれしいな	羽子 [年のはじめはうれしいな]	書68	曲-日5325
	歌-日4433	としのはじめはめでたやな	年の始め [としのはじめはめでたやな]	書165	曲-日4767
	歌-日4434	としはや己に十八と	第十八回記念寄贈歌	書386	曲-日3907
	歌-日4435	年よや年よや	年の暮 [年よや年よや]	書68	曲-日4765
	歌-日4436	としはいちねんじゆうにがつ	年中唱歌	書165	曲-日5212
	歌-日4437	年は老ゆともしかすがに	斎藤実盛 [年は老ゆともしかすがに]	書213 書214	曲-日2626
	歌-日4438	嫁ぐ日ちかき夏衣	嫁ぐ日近く	書317	曲-日4773
	歌-日4439	とつたぞとつたぞ証拠をとつたぞ	鬼共合唱「とつたぞ」「それみよ」	書106	曲-日1008
	歌-日4440	鳥取県の八頭郡	八頭郡那岐村の歌	書253	曲-日6777
	歌-日4441	トテッコトテッコ	にはつ鳥	書165 書379	曲-日5154
	歌-日4442	都都逸ア野暮でも遣繰りや上手	都都逸	書363	曲-日4777
	歌-日4443	ドドンポーン	はなび [ドドンポーン]	書104	曲-日5451
	歌-日4444	とどさまいかいにくさのはなし	軍の話	書166	曲-日2091
	歌-日4445	とどさまも母さまもかみなでさすりいづくしむ	とどさま	書141	曲-日4778
	歌-日4446	十年が間こもりいて	伊藤仁齋先生 [十年が間こもりいて]	書124	曲-日485
	歌-日4447	十歳のむかし我が友が	征露のうた [十歳のむかし我が友が]	書16	曲-日3551
	歌-日4448	ドドソラミアソ	階名法	書232	曲-日1197
	歌-日4449	トトトタタタテテトタ	進軍 [トトトタタタテテトタ]	書27 書54 書60 書267	曲-日3274
	歌-日4450	とどろき渡る滝つせみれば	滝 [とどろき渡る滝つせみれば]	書225	曲-日4142
	歌-日4451	とどろくいかづちぢらいをやぶり	神の擁護	書166	曲-日1457
	歌-日4452	轟く号砲響く楯音	進水式 [轟く号砲響く楯音]	書312	曲-日3304
	歌-日4453	轟く砲音飛来る弾丸	廣瀬中佐 [轟く砲音飛来る弾丸]	書54 書60 書191 書210	曲-日5816
	歌-日4454	とどろく砲の音すぐく	樋口大尉	書164	曲-日5702
	歌-日4455	とどろくはあめとともに	夕だつ雨	書88 書165 書169	曲-日6959
	歌-日4456	とどろけ青雲東は白んだ	昭和の日本	書184 書241 書326	曲-日3191
	歌-日4457	ドンガドガドガ	相撲 [ドンガドガドガ]	書159 書160	曲-日3481
	歌-日4458	どなたです？おもて戸開けて	冬 [どなたです？おもて戸開けて]	書359	曲-日5953
	歌-日4459	となりの家は	人橋	書34	曲-日5733
	歌-日4460	となりのかぢやでとんてんかん	かぢや [となりのかぢやでとんてんかん]	書27	曲-日1319
	歌-日4461	トナリノコネコ	トナリノコネコ	書171	曲-日4782
	歌-日4462	隣の次郎さん次郎さん	小運動会	書155	曲-日3106
	歌-日4463	隣の春ちやんアラ嫌だ	お鬚の唄	書23	曲-日1035
	歌-日4464	図南の翼千里	第二十七回記念祭歌(6年東)	書386	曲-日4001
	歌-日4465	とねのまつばらひとよねて	勿来の関	書166	曲-日4873
	歌-日4466	とのかけかすかになる	露堂の夢 [とのかけかすかになる]	書166	曲-日7317
	歌-日4467	外の面には北風吹きてやまず	雪の日 [外の面には北風吹きてやまず]	書359	曲-日7052
	歌-日4468	とびくるたまはあめあられ	松島艦の水兵	書124	曲-日6316
	歌-日4469	飛び来よ小とり	小鳥 [飛び来よ小とり]	書28	曲-日2484
	歌-日4470	ドヘウガデキタ	スモウ [ドヘウガデキタ]	書171	曲-日3479
	歌-日4471	とぶにははやきうさぎさへ	兎 [とぶにははやきうさぎさへ]	書46 書165	曲-日606
	歌-日4472	飛ぶよ飛ぶ飛ぶ銀翼は	空の握手	書358	曲-日3746
	歌-日4473	とぶよとぶよこのはがとぶよ	木の葉 [とぶよとぶよこのはがとぶよ]	書54	曲-日2515
	歌-日4474	とぶよとぶよ白雲	山の歌 [とぶよとぶよ白雲]	書190	曲-日6891
	歌-日4475	とぶよとぶよ群れとぶ小鳥	群れとぶ小鳥	書350	曲-日6607
	歌-日4476	ドブンと音して川に落ちた	大きな人	書232	曲-日878
	歌-日4477	とべとべとんびそらたかく	とんび	書54 書117	曲-日4832
	歌-日4478	泊まりはいづこか	漂流の船	書281	曲-日5798
	歌-日4479	富の山よりながむれば	日本三景 [富の山よりながむれば]	書134	曲-日5105
	歌-日4480	ともしびをかきたてて	昔がたり	書169 書366	曲-日6548
	歌-日4481	ともし火くらき窓の内	慈愛の手	書185	曲-日2821
	歌-日4482	燈火ちかく衣縫ふ母は	冬の夜 [燈火ちかく衣縫ふ母は]	書209	曲-日5977
	歌-日4483	ともしびなくてむしの火の	蛭と雪	書233	曲-日6217
	歌-日4484	友だちつどうや	園の遊 [友だちつどうや]	書166 書230	曲-日3741
	歌-日4485	友だちつれて渡る雁の	雁 [友だちつれて渡る雁の]	書225	曲-日1497
	歌-日4486	ともどちのつどへるにはに	盲鬼 [ともどちのつどへるにはに]	書166	曲-日6647
	歌-日4487	ともとたけうまのりしむかし	その友こひし	書165	曲-日3739
	歌-日4488	友達うちつれ分け入る森岡	楽しき森 [友達うちつれ分け入る森岡]	書60	曲-日4228
	歌-日4489	友どちきたれともどちきたれ	友どちきたれ	書381 書141	曲-日4796
	歌-日4490	友どちきたれわれらのとも	友どち [友どちきたれわれらのとも]	書139 書161 書166 書170 書379	曲-日4795
	歌-日4491	ともどちの	親睦会	書282	曲-日3341
	歌-日4492	友と釣せし	帰省 [友と釣せし]	書231	曲-日1690
	歌-日4493	友と中よく打ちつれだちて	学びの園 [友と中よく打ちつれだちて]	書134	曲-日6354

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
と	歌-日4494	ともにまちはるそのみちは	朋友の道 [ともにまちはるそのみちは]	書165	曲-日6142
	歌-日4495	ともにまなびしやまとぶみ	共に学びし	書165 書169	曲-日4797
	歌-日4496	ともに見つる春の花は	なき友 [ともに見つる春の花は]	書166 書176	曲-日4863
	歌-日4497	友にやわかれつらん	一羽の雁	書309	曲-日466
	歌-日4498	ともに世にあり	世は相持	書333	曲-日7181
	歌-日4499	鞆の音きこえぬ国と梓弓	乱を忘れず	書102 書165	曲-日7217
	歌-日4500	友よ祝の酒を	歌劇カルメン(ドレアドルの唄)	書11	曲-日1274
	歌-日4501	友よ歌へ美しく歌へ	友よ歌へ	書232	曲-日4802
	歌-日4502	友よ友よわがよき友よ	友よ友よ	書225	曲-日4803
	歌-日4503	友よ校庭に野辺に鍛へよからだ	鍛へよからだ	書177	曲-日1699
	歌-日4504	友よが雲雀の	愛らしき花 [友よが雲雀の]	書166 書176	曲-日36
	歌-日4505	友よ吾等は楽しく遊ばむ	音楽指導	書232	曲-日1108
	歌-日4506	豊葦原の葦わけて	河辺郡戸米川村歌	書253	曲-日1536
	歌-日4507	豊葦原の草分けて	日本の歴史	書231	曲-日5136
	歌-日4508	豊あし原の千五百秋	下都賀郡瑞穂村歌	書253	曲-日2980
	歌-日4509	豊葦原の中つ国	天照大神	書213 書214	曲-日315
	歌-日4510	とよあしはらのみづほのくに	瑞穂の国	書166	曲-日6458
	歌-日4511	とよさかのぼるあさひのみはた [旭の御旗]	旭の御旗 [とよさかのぼるあさひのみはた]	書165	曲-日242
	歌-日4512	とよさかのぼる旭のみはた [旭旗]	旭旗	書365	曲-日1858
	歌-日4513	とよさかのぼるひのもとの	国体	書166	曲-日2347
	歌-日4514	とよとしのみとしにあひて	民草(第八段)	書166	曲-日4270
	歌-日4515	トラーララララララララ	笛の音 [トラーララララララララ]	書159	曲-日5843
	歌-日4516	捕らへて見ればその手から [恋の鳥]	恋の鳥	書385	曲-日2176
	歌-日4517	捕らへて見れば其の手から [『カルメン』恋の鳥の歌]	『カルメン』恋の鳥の歌	書11	曲-日1507
	歌-日4518	虎をば斬るもの真の勇士か	真の勇士	書135	曲-日6284
	歌-日4519	とらとうそぶきたつとかけりし	古戦場 [とらとうそぶきたつとかけりし]	書166	曲-日2436
	歌-日4520	虎は死して皮を留む	名は万代	書137 書138	曲-日4987
	歌-日4521	虎伏す韓山踏みならし	九連城と鳳凰城との陥落	書391	曲-日2000
	歌-日4522	虎臥す野辺を踏立て	野戦 [虎臥す野辺を踏立て]	書118	曲-日6786
	歌-日4523	虎臥す野辺も	探険	書231	曲-日4300
	歌-日4524	鳥とけものとなかたがへ	蝙蝠	書68 書159	曲-日2289
	歌-日4525	鶏なき夜は明たり	今日の務め	書239	曲-日1836
	歌-日4526	鳥にならばやみ空の鳥に	鳥と花	書47 書211 書212	曲-日4821
	歌-日4527	鳥の歌	望郷 [鳥の歌]	書188	曲-日6091
	歌-日4528	とりのかけるかためもおくれば	夕の鐘 [とりのかけるかためもおくれば]	書54 書166 書176	曲-日6977
	歌-日4529	鳥の声木々の花	鳥の声 [鳥の声木々の花]	書152 書153 書161 書165	曲-日4825
	歌-日4530	鳥の声に	春の朝 [鳥の声に]	書60	曲-日5571
	歌-日4531	鶏の声のどかにて	元旦の歌	書161	曲-日1594
	歌-日4532	鳥の音しげき山あひの	風薫る	書85	曲-日1336
	歌-日4533	鶏の林に風立ちて	豊島の戦 [鶏の林に風立ちて]	書67 書166 書385	曲-日6117
	歌-日4534	鳥の群	社会奉仕	書159	曲-日2988
	歌-日4535	とりもおうちへいそぐころ	巡礼さん	書54 書104	曲-日3104
	歌-日4536	鳥も通はぬ玄海の	汽車 [鳥も通はぬ玄海の]	書57	曲-日1666
	歌-日4537	鳥も獣も草も木も	世の為に	書102 書165 書166	曲-日7153
	歌-日4538	鳥は自然の音楽ならん	鳥は自然	書251	曲-日4826
	歌-日4539	泥田のうちに	はちす	書336	曲-日5359
	歌-日4540	泥で描きし之は	諺	書232	曲-日2499
	歌-日4541	泥のうちよりぬけいでて	白蓮白菊 [泥のうちよりぬけいでて]	書67 書139 書153 書154 書161 書164 書165 書170 書225 書388	曲-日5322
	歌-日4542	どろの坂道	あとおし	書159 書160	曲-日289
	歌-日4543	とろろんとろろんとりがなく	あさね	書54	曲-日227
	歌-日4544	永久に汝が友	永久に	書232	曲-日4829
	歌-日4545	ドンチヤンドンチヤン	おもちゃ祭	書51	曲-日1072
	歌-日4546	とんとんかんかん朝から晩まで	村のかぢや [とんとんかんかん朝から晩まで]	書54	曲-日6593
	歌-日4547	トンテンカントンテンカン	かじ屋 [トンテンカントンテンカン]	書54	曲-日1318
	歌-日4548	ドンとドンとドンと	出船の港	書2 書31 書40 書241 書385	曲-日4593
	歌-日4549	とんとん鍛冶屋の黒ん坊が	鍛冶屋の黒んぼ	書54	曲-日1321
歌-日4550	とんとんかちことんかちこ	海国 [とんとんかちことんかちこ]	書166	曲-日1146	
歌-日4551	とんとんからから夜明より	機織	書310	曲-日5349	
歌-日4552	トントン手毬の	手毬と紙鳶	書201 書382	曲-日4601	
歌-日4553	とんとんとろりことんとろり	新子守歌	書54	曲-日3289	
歌-日4554	とんとんとんあけてください	お月夜	書117	曲-日977	
歌-日4555	トントントントントン先づ初春の	十二月手鞠歌	書368	曲-日3048	
歌-日4556	どんなかぜにも	ぐんかん [どんなかぜにも]	書104	曲-日2016	
歌-日4557	豚尾が勢の二万余騎	連城陥落	書314	曲-日7303	
歌-日4558	とんびひろひろ	鳶ひろひろ	書54	曲-日4834	
歌-日4559	とんぼ来るかなと裏へ出て見たりや	紅殻とんぼ	書349	曲-日6077	
歌-日4560	蜻蛉とびかうのどけき日和	秋 [蜻蛉とびかうのどけき日和]	書54 書213 書214	曲-日93	
歌-日4561	とんぼとんぼおりにこい	とんぼとんぼ	書373	曲-日4841	
歌-日4562	とんぼとんぼ来い来い	とんぼ [とんぼとんぼ来い来い]	書266	曲-日4836	
歌-日4563	とんぼとんぼとべよやとんぼ	蜻蛉 [とんぼとんぼとべよやとんぼ]	書68 書138 書165	曲-日4838	
歌-日4564	とんぼとんぼ庭のとんぼ	とんぼ [とんぼとんぼ庭のとんぼ]	書225	曲-日4835	
歌-日4565	とんぼのやうの軽くうんで	飛行機 [とんぼのやうの軽くうんで]	書60 書159 書209	曲-日5708	
歌-日4566	蜻蛉やとんぼ	とんぼ [蜻蛉やとんぼ]	書46	曲-日4837	
歌-日4567	トンボよトンパウ眠れよねむれ	ねむれ蜻蛉	書28	曲-日5203	
な	歌-日4568	泣いちゃいけない気が弱い	青春の唄	書385	曲-日3511
	歌-日4569	ないてるないてるたかいこえで	かなりや [ないてるないてるたかいこえで]	書262	曲-日1417
	歌-日4570	ながめそぼふる小川べに	あやめぐさ	書177	曲-日344
	歌-日4571	ながい年月風雪を	学校免状授与式	書203	曲-日1390
	歌-日4572	ながいなつの日むぎつくおとか	五一ちいさん [ながいなつの日むぎつくおとか]	書318	曲-日2170

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
な	歌-日4573	長き日飽かで眺めてし花はいつしか散果てぬ	夏のはじめ	書303	曲-日4926
	歌-日4574	なかつにねむれせなのちご	子守唄(其二)	書166	曲-日2561
	歌-日4575	流そ流そ柳の葉で流そ	青蛙 [流そ流そ柳の葉で流そ]	書117	曲-日44
	歌-日4576	中にも十八連隊の [佐藤大佐の軍歌]	佐藤大佐の軍歌	書391	曲-日2724
	歌-日4577	中にも十八連隊の [佐藤大佐陣中の軍歌]	佐藤大佐陣中の軍歌	書314	曲-日2723
	歌-日4578	なかのなかのなかにたつ	蛇の目遊	書166	曲-日2991
	歌-日4579	ながめは枯れぬ大野原	枯野 [ながめは枯れぬ大野原]	書166 書225	曲-日1513
	歌-日4580	汝が夜に何をかなす	汝が夜を談れ	書232	曲-日4856
	歌-日4581	永らへば人は皆	永らへば	書232	曲-日4857
	歌-日4582	流るる雲の色にさへ	秋草 [流るる雲の色にさへ]	書86	曲-日98
	歌-日4583	ながるるときおほゆきに	守永偵察隊	書166	曲-日6711
	歌-日4584	流るる光途重ね来て	桜星会歌(大正七年)	書77	曲-日835
	歌-日4585	流るる水の [初夏山居]	初夏山居	書28	曲-日3200
	歌-日4586	流るる水のうへにもさく花ころせよや	小船	書153 書154 書166	曲-日1044
	歌-日4587	ながるみずのかへりこぬ	流るる水	書166	曲-日4860
	歌-日4588	流れを乱して突きすすむ	鴨緑江 [流れを乱して突きすすむ]	書185	曲-日863
	歌-日4589	ながれぞめでたき	ながれ	書121	曲-日4861
	歌-日4590	ナガレトイコイ	カハノミヅ	書171	曲-日1532
	歌-日4591	ながれての世にも名高く	養老の滝	書145 書166	曲-日7113
	歌-日4592	流れ流れて落ちゆく先は	流浪の旅 [流れ流れて落ちゆく先は]	書40 書385	曲-日7291
	歌-日4593	流れ流れて落ち行く末は	流浪の旅 [流れ流れて落ち行く末は]	書11	曲-日7292
	歌-日4594	ながれのきしのひともとは	わすれな草	書184	曲-日7452
	歌-日4595	流れはげしく底ふかく	安城渡(松崎大尉忠戦)	書235	曲-日389
	歌-日4596	流れも清き九頭龍や	吉田郡下志比村歌	書253	曲-日7132
	歌-日4597	流れも清き茗溪の	東京高師桐寮の歌	書40	曲-日4652
	歌-日4598	ながれゆくせにおとしを	滑川	書165	曲-日4972
	歌-日4599	流れ行く二つの水の会う処	第三十三回記念祭歌(12年) [流れ行く二つの水の会う処]	書386	曲-日3822
	歌-日4600	ながれはしづけく	舟遊 [ながれはしづけく]	書27	曲-日5931
	歌-日4601	なき名たつみかうしとらか	かひなき旅	書165	曲-日1192
	歌-日4602	泣きの涙の青い鳥	青い鳥	書54 書222	曲-日41
	歌-日4603	なきわが父上	なき父母	書165 書176	曲-日4862
	歌-日4604	鳴く声おかし鶯鳥は	鶯鳥	書232	曲-日1370
	歌-日4605	啼く鳥ききつつ	夏やすみ [啼く鳥ききつつ]	書180	曲-日4942
	歌-日4606	啼く鳥は	僧院の庭	書201 書202	曲-日3648
	歌-日4607	泣くな妹よ妹よ泣くな	人生の並木路	書363	曲-日3308
	歌-日4608	泣くなよよしねんねしな	赤城の子守唄	書363 書385	曲-日66
	歌-日4609	鳴く音妙なる [森の鳥]	森の鳥	書202	曲-日6725
	歌-日4610	なくねたえなるもりのとり [森の小鳥]	森の小鳥 [なくねたえなるもりのとり]	書54	曲-日6721
	歌-日4611	鳴くやひばりの声うららかに	遠足 [鳴くやひばりの声うららかに]	書213 書214	曲-日801
	歌-日4612	なけなけ雀朝日のかげに	なけなけ雀	書225	曲-日4871
	歌-日4613	なけや鶯ホーケキョケキョと	鶯 [なけや鶯ホーケキョケキョと]	書60 書225	曲-日590
	歌-日4614	鳴ける鳴ける	こほろぎ [鳴ける鳴ける]	書188	曲-日2308
	歌-日4615	和むときには	大洋	書228	曲-日4081
	歌-日4616	なごりをしさのころにも	留別の歌	書165	曲-日7290
	歌-日4617	情の深いお爺さん	舌切雀 [情の深いお爺さん]	書54 書60	曲-日2921
	歌-日4618	なじか星の瞬は	何故に?	書232	曲-日4887
歌-日4619	なじかは知らねど心わびて	ローレライ [なじかは知らねど心わびて]	書28 書54 書60 書184 書188 書265 書336	曲-日7323	
歌-日4620	名知らぬはな	夏の野 [名知らぬはな]	書28	曲-日4925	
歌-日4621	なぜ信ぜぬや	なぜ信ぜぬや [なぜ信ぜぬや]	書71	曲-日4886	
歌-日4622	なぜに信ぜぬや	なぜ信ぜぬや [なぜに信ぜぬや]	書70	曲-日4885	
歌-日4623	なだかきひととなりたくば	名高き人	書165	曲-日4890	
歌-日4624	菜種の花に	春の野 [菜種の花に]	書54 書225 書337	曲-日5624	
歌-日4625	なつあきにみのるくだもの	くだものうた	書166	曲-日1930	
歌-日4626	なつかし	門出	書159	曲-日1408	
歌-日4627	なつかしきおやいませり	わがやど [なつかしきおやいませり]	書28 書54	曲-日7408	
歌-日4628	なつかしきしたはしき	野遊び [なつかしきしたはしき]	書68	曲-日5230	
歌-日4629	なつかしき月の影	月の影	書366	曲-日4471	
歌-日4630	なつかしき光は濯ふか胸を	雨後の月かけ	書28 書100	曲-日601	
歌-日4631	なつかしきやまみゆ	帰省 [なつかしきやまみゆ]	書166	曲-日1687	
歌-日4632	懐しき五月よ	懐しき五月	書232	曲-日4897	
歌-日4633	なつかしの想ひ出にさしぐむ涙	巴里の屋根の下	書385	曲-日5522	
歌-日4634	夏がすぎて	冬のおぢさん	書17	曲-日5967	
歌-日4635	夏の暁	夏の暁 [夏の暁]	書29	曲-日4904	
歌-日4636	夏の楽しみ	水泳	書227	曲-日3359	
歌-日4637	なつのひざかり	きんぎょやさん	書104	曲-日1878	
歌-日4638	なつのひざかりうなだれて	はちとねこ	書165	曲-日5361	
歌-日4639	なつのまひるのさかみちを	助力	書54	曲-日3239	
歌-日4640	夏のやすみ今ぞあそべ	夏やすみ [夏のやすみ今ぞあそべ]	書165 書279	曲-日4941	
歌-日4641	なつのやすみもはやすぎて [なつやすみ]	なつやすみ [なつのやすみもはやすぎて]	書165	曲-日4939	
歌-日4642	夏の休みもはやすぎて [夏の休み]	夏の休み	書217	曲-日4929	
歌-日4643	夏の休は	水およぎ	書225	曲-日6434	
歌-日4644	夏の夜毎夜すがら蛍集め文読み	燈火	書311	曲-日4792	
歌-日4645	夏は余所なる深山の奥昔は	松下清水	書279	曲-日6310	
歌-日4646	夏も近づく八十八夜	茶摘	書209	曲-日4369	
歌-日4647	夏休みみな旅路	夏休み [夏休みみな旅路]	書310	曲-日4944	
歌-日4648	なつはたちぬちかのもりのきぎに	首夏	書166	曲-日3060	
歌-日4649	夏は逝けども戦場に	白百合	書317	曲-日3252	
歌-日4650	なつはよそなるみやまのおく	松下清水	書166	曲-日3115	
歌-日4651	なでてそだてて教えたて	母のおもひ [なでてそだてて教えたて]	書134	曲-日5492	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
な	歌-日4652	などで落つるあはれ朽葉	朽葉	書28	曲-日1932
	歌-日4653	七浦めぐれる大潮に	巖島 [七浦めぐれる大潮に]	書54	曲-日471
	歌-日4654	ななへやへさくらの花も	七重八重	書102 書165	曲-日4948
	歌-日4655	七草千草のおほかる秋に	菊 [七草千草のおほかる秋に]	書166 書217	曲-日1626
	歌-日4656	七たび此世に生き更り	廣瀬中佐 [七たび此世に生き更り]	書16	曲-日5817
	歌-日4657	七たびころび八たびおき	七倒八起	書102 書165	曲-日2930
	歌-日4658	七たび八たび生きかへり	臣の鑑	書148 書161 書164 書165	曲-日3335
	歌-日4659	七年八年とく経ちて学びの窓のくらしみも	送友	書303	曲-日4789
	歌-日4660	七百年の昔より	宇陀郡三本松村歌	書253	曲-日640
	歌-日4661	なにをかほんのせいきといふ	正氣ノ歌	書166	曲-日3497
	歌-日4662	何をくよくよ	キンニヨモニヨ節	書368	曲-日1894
	歌-日4663	何をくよくよ	隊長かね	書368	曲-日3956
	歌-日4664	なにをくよくよ川ばた柳	東雲節	書363	曲-日2952
	歌-日4665	何か云はふと思つても	うちの女房にや髭がある	書363	曲-日646
	歌-日4666	なにかは知らねども心わびし	ローレライの歌	書11	曲-日7325
	歌-日4667	なにのねぞなにのひびきぞ	飛行機 [なにのねぞなにのひびきぞ]	書54 書222	曲-日5709
	歌-日4668	浪速の津より	遣唐使	書138 書333	曲-日2156
	歌-日4669	なにはも知らぬ春べより	母の恵	書147 書164 書165	曲-日5501
	歌-日4670	菜の花島に入日薄れ	朧月夜 [菜の花島に入日薄れ]	書54 書60 書164 書174 書213 書214	曲-日1055
	歌-日4671	なのはにたはむれあそべてふも	四季の景色 [なのはにたはむれあそべてふも]	書166	曲-日2853
	歌-日4672	葉の葉にたはむれあそべる蝶も	御国の四季 [葉の葉にたはむれあそべる蝶も]	書139 書170	曲-日6417
	歌-日4673	名告るか郭公カッコカッコ	郭公 [名告るか郭公カッコカッコ]	書232	曲-日1372
	歌-日4674	なのれば答ふら	人に親切なれ	書229	曲-日5729
	歌-日4675	靡かす袖雪を廻し	舞踏 [靡かす袖雪を廻し]	書60 書337	曲-日5925
	歌-日4676	なみうちよすういそぎはの	蟹	書54	曲-日1418
	歌-日4677	波を蹴たてて	海 [波を蹴たてて]	書110	曲-日674
	歌-日4678	なみをけやぶりがせをきり	廣瀬中佐 [なみをけやぶりがせをきり]	書166	曲-日5815
	歌-日4679	波をけやぶりがせをきり	航海 [波をけやぶりがせをきり]	書134 書166	曲-日2201
	歌-日4680	波を蹴やぶりがせをきり	世界唱歌 合衆国	書165	曲-日3558
	歌-日4681	波をけ破るボートの慕進	ボートレースの唄	書11	曲-日6150
	歌-日4682	波をけり	コルネビエの鐘	書11	曲-日2582
	歌-日4683	波風あらし海原	訓の歌 [波風あらし海原]	書102 書165	曲-日525
	歌-日4684	浪風荒る海原に	軍艦戦闘 [浪風荒る海原に]	書118	曲-日2059
	歌-日4685	なみかぜさかまくあをうなばらに	なみ風	書138 書153 書154 書166	曲-日4966
	歌-日4686	なみ木のざんぱつちよきちよきぱさり	なみ木のざんぱつ	書358	曲-日4967
	歌-日4687	湧穹窿を洗ひては	水上部部歌(40年)	書387	曲-日3379
	歌-日4688	波路を破りて	水雷隊	書46	曲-日3387
	歌-日4689	浪路かしこき	学海 [浪路かしこき]	書228	曲-日6351
	歌-日4690	波しづかなる瀬戸内海は	瀬戸内海 [波しづかなる瀬戸内海は]	書373	曲-日3594
	歌-日4691	涙ぐんでる上海の	上海ブルース	書363	曲-日3002
	歌-日4692	涙の嵐愛の雨	未来花の歌	書385	曲-日6543
	歌-日4693	波と戯れ遊びつつ	海水浴 [波と戯れ遊びつつ]	書225	曲-日1168
	歌-日4694	波に暑さ	納涼船	書324	曲-日5248
	歌-日4695	波に漂ふありあけの月はあなたに成にけり	水辺の落花	書303	曲-日3385
	歌-日4696	浪の花咲く北の海	上川郡比布村歌	書253	曲-日1440
	歌-日4697	波間に	航海 [波間に]	書159	曲-日2202
	歌-日4698	波間になびくは河柳	河柳	書166 書285	曲-日1540
歌-日4699	波間のかもめはきらくなものよ	沖のかもめ [波間のかもめはきらくなものよ]	書359	曲-日908	
歌-日4700	波間の千鳥は淡路が島を	小鳥 開幕前合唱	書24	曲-日2485	
歌-日4701	波は逆巻き風あれて	第十六回記念祭歌(39年北)	書386	曲-日3934	
歌-日4702	浪は高く	学海 [浪は高く]	書231	曲-日6350	
歌-日4703	波は泊々信濃川	新潟医大歌	書40	曲-日5012	
歌-日4704	名も荒川のたぎりゆく	埼玉新唱歌 [名も荒川のたぎりゆく]	書302	曲-日2624	
歌-日4705	なもうれしわかうら	和歌の浦 [なもうれしわかうら]	書165	曲-日7385	
歌-日4706	名も知らぬ遠き島より	椰子の実	書238 書317	曲-日6764	
歌-日4707	なもたかなはのせんがくじ	義士の歌	書165	曲-日1651	
歌-日4708	名も高輪の泉岳寺	赤穂義士の歌	書251	曲-日185	
歌-日4709	なもなきをぐさもえたつのべに	新緑 [なもなきをぐさもえたつのべに]	書27 書31 書174 書222	曲-日3353	
歌-日4710	名もなき草に	姫百合 [名もなき草に]	書110	曲-日5791	
歌-日4711	悩悲心にしのび	幸は日毎に	書232	曲-日2713	
歌-日4712	なやめるつみびと	唯エスにたよれ	書70 書71	曲-日4178	
歌-日4713	ならひにもれず花ぐもり	静けき宿	書310	曲-日2899	
歌-日4714	習へよ習へ見習へよ	東籬の菊	書161	曲-日4708	
歌-日4715	ならず鈴の音か	虫の音 [ならず鈴の音か]	書185	曲-日6570	
歌-日4716	鳴らず太鼓の音をかこみ	盆踊	書116	曲-日6249	
歌-日4717	ならの都のそのむかし	奈良の都	書67 書138 書153 書154 書161 書165 書169 書225 書226	曲-日4978	
歌-日4718	奈良の都の空高く	和氣清塵 [奈良の都の空高く]	書270	曲-日7441	
歌-日4719	奈良の都の春訪へば	奈良 [奈良の都の春訪へば]	書373	曲-日4975	
歌-日4720	ならべるほづつは [親兵式]	親兵式 [ならべるほづつは]	書46 書169	曲-日1602	
歌-日4721	ならべるほづつははやしなし [親兵式の歌]	親兵式の歌	書164 書166	曲-日1605	
歌-日4722	櫓や櫓の葉は黄にそまり	妻まき	書60 書209	曲-日6552	
歌-日4723	ならはちとせのそのむかし	奈良めぐり	書165	曲-日4980	
歌-日4724	なりもの鳴らすも	稽古	書92	曲-日2104	
歌-日4725	雷とどろく桶狭間の雨こそ時なれ	此戦ひ	書365	曲-日2513	
歌-日4726	なるはいかづちか	滝 [なるはいかづちか]	書166 書169	曲-日4143	
歌-日4727	馴れし狭西また東	遊学する友	書182	曲-日6927	
歌-日4728	馴れては来啼く	紀内侍	書28	曲-日1743	
歌-日4729	縄こそ朽ちたれこの古つるべ	寄宿舎の古釣瓶	書166 書279	曲-日1683	
歌-日4730	苗代小田に引く水の	戒の歌 [苗代小田に引く水の]	書102 書165	曲-日524	

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
な	歌-日4731	睨つたひに	初夏の夜	書54	曲-日3205
	歌-日4732	なはとびあそびはおもしろい	なはとび [なはとびあそびはおもしろい]	書263	曲-日4982
	歌-日4733	南柯紫柑の	野球部応援歌 (第二)	書18	曲-日6753
	歌-日4734	南京町にも日が暮れりや	南京町	書40	曲-日4990
	歌-日4735	汝が知る事	汝が知る事	書232	曲-日4999
	歌-日4736	なんぢしらざるかきかざるか	能力ある神 [なんぢしらざるかきかざるか]	書70 書71	曲-日4332
	歌-日4737	なんぢ清兵よくきけよ	征清の歌	書235	曲-日3519
	歌-日4738	楠氏の先祖は皇子にて	楠正成 [楠氏の先祖は皇子にて]	書203	曲-日1923
	歌-日4739	なんぢらちんのこころぞと [皇国を護れ]	皇国を護れ [なんぢらちんのこころぞと]	書166	曲-日6413
	歌-日4740	汝等朕の股肱ぞと [愛国心]	愛国心	書200	曲-日22
	歌-日4741	汝等朕の股肱ぞと [護国の歌]	護国の歌 [汝等朕の股肱ぞと]	書303	曲-日2382
	歌-日4742	何んだ神田の神田橋	スカラング	書385	曲-日3391
	歌-日4743	なんにも言へず靖国の	さうだその意気	書179	曲-日3668
	歌-日4744	何の因果か知らねども	太郎兵衛独唱「何の因果か」	書106	曲-日4293
	歌-日4745	南北凡そ二十丁	長岡郡十市村歌(楊梅廻郷)	書253	曲-日4851
に	歌-日4746	新草萌ゆる浅みどり	第二十回記念祭歌(43年南)	書386	曲-日4050
	歌-日4747	新桑摘みて	田家夏月	書265	曲-日4604
	歌-日4748	新高山は高けれど	大国民唱歌(第二種)	書261	曲-日3791
	歌-日4749	匂すみれの咲く丘で	歌劇小唄 田舎娘	書11	曲-日1275
	歌-日4750	にほひぞきよきうめのはな	艱難に耐えよ	書165	曲-日1599
	歌-日4751	匂ふ色も形も	造花	書92	曲-日3649
	歌-日4752	にほへにほへ花よ	花鳥 [にほへにほへ花よ]	書337	曲-日1368
	歌-日4753	二月三月	梅干	書159	曲-日714
	歌-日4754	肉を盗んで	欲ばり犬	書264	曲-日7120
	歌-日4755	憎き露国の横暴に	旅順陥落 [憎き露国の横暴に]	書28 書100	曲-日7268
	歌-日4756	にげる吾等のあとおひかけて	波 [にげる吾等のあとおひかけて]	書60 書159	曲-日4962
	歌-日4757	ニコニコ婆さん	ニコニコ婆さん	書257	曲-日5028
	歌-日4758	ニコライの無礼は会堂しりめにかけて	第八回記念祭歌(31年東)	書386	曲-日4062
	歌-日4759	西を揚げばぶなが嶽	高島郡安曇村歌	書253	曲-日4124
	歌-日4760	西を流るる揖斐川と	揖斐郡川合村村歌	書253	曲-日520
	歌-日4761	虹が出た虹が出た	虹 [虹が出た虹が出た]	書54 書209 書266	曲-日5033
	歌-日4762	にしきをかざるはなぞのも	四季 [にしきをかざるはなぞのも]	書165	曲-日2839
	歌-日4763	錦かざる秋の野辺を分け行けば	秋の野原	書60	曲-日139
	歌-日4764	錦に秋を	菊 [錦に秋を]	書350	曲-日1624
	歌-日4765	錦の袂布の袖	公園 [錦の袂布の袖]	書185	曲-日2192
	歌-日4766	錦の帆影爽やかに	宝船 [錦の帆影爽やかに]	書28 書100	曲-日4140
	歌-日4767	にしきのみはたぞかぜにひらめく	錦の御旗 [にしきのみはたぞかぜにひらめく]	書166	曲-日5036
	歌-日4768	西と東に二柱	三豊郡豊浜町歌	書253	曲-日6478
	歌-日4769	西に英吉利北に露西亜	外交の歌	書200 書303	曲-日1144
	歌-日4770	にしにおんたけ	木曾の奥	書29	曲-日1695
	歌-日4771	西に聳ゆる美生岳	河西郡芽室村歌	書253	曲-日1297
	歌-日4772	西に東にアジヤの敵を	職場の歌	書179	曲-日3212
	歌-日4773	西に富士東に筑波の峻峰ながめ	第五回記念祭歌(28年北)	書386	曲-日3787
	歌-日4774	虹の影も	雨上り	書222	曲-日326
	歌-日4775	西の空にあさげの光り	桜花園	書92	曲-日2686
	歌-日4776	西東まだ知らざりし	師の恩 [西東まだ知らざりし]	書225	曲-日2950
	歌-日4777	西も東もみな敵ぞ [熊本籠城]	熊本籠城	書287	曲-日1961
	歌-日4778	西も東もみな敵ぞ [熊本籠城の歌]	熊本籠城の歌	書166 書376	曲-日1962
	歌-日4779	二十三夜さままだのぼらない	二十三夜	書319	曲-日5044
	歌-日4780	西よりも	花戦	書281	曲-日5400
	歌-日4781	ニシハユフヤケ	アキ [ニシハユフヤケ]	書358	曲-日83
	歌-日4782	二千五百年以来光り輝く日本国	軍旗の歌 [二千五百年以来]	書198 書287 書303	曲-日2070
	歌-日4783	二千五百年このかたに光りかがやく日本国	軍旗の歌 [二千五百年このかたに]	書200 書376	曲-日2069
	歌-日4784	二千五百有余年	近衛軍歌	書203	曲-日2508
	歌-日4785	二千里のほかまでも隈なく	秋の月 [二千里のほかまでも隈なく]	書45	曲-日131
	歌-日4786	日光名所は朱ぬりの橋よ	日光和楽	書363	曲-日5054
	歌-日4787	日清談判破裂して	日清談判(欣舞節)	書385	曲-日5058
	歌-日4788	日清のえきわが兵は	木口小平 [日清のえきわが兵は]	書138 書206	曲-日1631
	歌-日4789	新田義貞將軍は	新田義貞 [新田義貞將軍は]	書203	曲-日5063
	歌-日4790	につぼんかいじゃうなみたかし	日本海々戦 [につぼんかいじゃうなみたかし]	書54	曲-日5084
	歌-日4791	につぼんかいになみかぜを	日本海	書166 書217 書225	曲-日5065
	歌-日4792	日本三景	日本三景	書227	曲-日5067
	歌-日4793	日本男子と生れては	遠洋漁業	書93 書225	曲-日806
	歌-日4794	につぼんだんじのころのひかり	別れの血しほ	書165	曲-日7428
	歌-日4795	につぼんだんじのてつせきしん	やまごころ [につぼんだんじのてつせきしん]	書166	曲-日6855
	歌-日4796	日本男児のまごころは	日本男児	書139 書166 書169 書170	曲-日5069
	歌-日4797	日本男児はみな兵よ	陸軍唱歌	書165	曲-日7224
	歌-日4798	につぼんだんじのころはてつよ	破邪の曲	書166	曲-日5338
	歌-日4799	日本の陸海軍	滅茶々々節	書368	曲-日6655
	歌-日4800	日本よい国み神の国よ	日本よい国	書317	曲-日5071
	歌-日4801	二度と行くまい [丹後節]	丹後節	書368	曲-日4303
	歌-日4802	二度と行くまい丹後の宮津 [宮津節]	宮津節	書363 書385	曲-日6529
	歌-日4803	にのみやそんとくせんせいはい	二宮尊徳先生 [にのみやそんとくせんせいはい]	書124	曲-日5080
	歌-日4804	日本一の琵琶湖なる	高島郡本庄村歌	書253	曲-日4126
	歌-日4805	日本海に注ぎ入る	河辺郡下北手村歌	書253	曲-日1535
	歌-日4806	日本帝国金城の	知多郡岡田町の歌	書253	曲-日4349
	歌-日4807	日本鉄道大宮を	上野高崎信越間	書295	曲-日574
	歌-日4808	日本に敵する敵の艦	軍艦戦闘 [日本に敵する敵の艦]	書118	曲-日2053
歌-日4809	日本の国は海の国	日本の景色	書94 書138 書225	曲-日5132	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
に	歌-日4810	日本の国は松の国	日本の国	書209	曲-日5131
	歌-日4811	にほんのこつきはうつくしい	こつき [にほんのこつきはうつくしい]	書116	曲-日2460
	歌-日4812	日本よい国東の空に	日本よい国	書317	曲-日5137
	歌-日4813	ニャーゴ	猫と犬	書159	曲-日5181
	歌-日4814	娘々祭だらからかだ	娘々祭	書358	曲-日5143
	歌-日4815	俄なる疾風俄なる怒浪	坐礁	書28	曲-日2705
	歌-日4816	にわかにとよむひとのこえ	赤穂義士 [にわかにとよむひとのこえ]	書166	曲-日184
	歌-日4817	にはとり鳴きたて星影きえゆき	朝 [にはとり鳴きたて星影きえゆき]	書263	曲-日188
	歌-日4818	鶏はコケココ	動物小舎	書232	曲-日4700
	歌-日4819	庭に柳のわたが舞ふ	春のゆくころ	書358	曲-日5645
	歌-日4820	にはのいけみづこそすみて	蛙 [にはのいけみづこそすみて]	書166	曲-日1212
	歌-日4821	庭の垣根に咲きのこる	秋近し	書85	曲-日107
	歌-日4822	庭の垣根のあさがほよ朝な朝なに怠らず	朝顔に寄る勸学の	書376	曲-日206
	歌-日4823	庭の千草露おきて	庭の千草 [庭の千草露おきて]	書311	曲-日5165
	歌-日4824	庭の千草もむしの音も [菊]	菊 [庭の千草もむしの音も]	書40 書54 書138 書153 書154 書161 書165 書184 書336	曲-日1627
	歌-日4825	庭の千草も虫の音も [庭の千草]	庭の千草 [庭の千草も虫の音も]	書60	曲-日5164
	歌-日4826	にはの中においけをほりて	池に金魚	書68 書166	曲-日414
	歌-日4827	庭の撫子花さきて	哀傷	書185	曲-日26
	歌-日4828	庭の籬に咲く花の	朝顔の花	書223	曲-日207
	歌-日4829	にんぎやう	にこにこ人形	書222	曲-日5027
ぬ	歌-日4830	ぬくい日ざしに赤土とけて	野道 [ぬくい日ざしに赤土とけて]	書359	曲-日5288
	歌-日4831	抜けば心も澄み渡り	野戦(抜刀隊) [抜けば心も澄み渡り]	書118	曲-日6812
	歌-日4832	ぬしは罪だよ	ぬしは罪だよ	書368	曲-日5179
	歌-日4833	ぬらりぬらぬら	鯨の踊	書23	曲-日4961
	歌-日4834	ぬれた瞳とささやきに	麗人の唄	書385	曲-日7295
	歌-日4835	濡羽鴉の黒髪香る	恋の絵日傘	書363	曲-日2175
ね	歌-日4836	倭姦不忠の閨族等	京城小戦	書314	曲-日2105
	歌-日4837	願はくはわれ春風に	春風 [願はくはわれ春風に]	書185	曲-日5546
	歌-日4838	寝くたれ髪のみだれて	たちばな [寝くたれ髪のみだれて]	書161	曲-日4189
	歌-日4839	ねぐらにかへることのごとく	夕の入江	書27	曲-日6960
	歌-日4840	薮に帰る夕鳥三つ二つ四つ五つ	鳥 [薮に帰る夕鳥三つ二つ四つ五つ]	書311	曲-日1483
	歌-日4841	ねぐらにひびく鶏の声	鶏の声 [ねぐらにひびく鶏の声]	書225	曲-日4823
	歌-日4842	薮はなる明鳥	因伯地理唱歌	書12	曲-日563
	歌-日4843	ねごころいとよきねやのとも	鶯 [ねごころいとよきねやのとも]	書374	曲-日591
	歌-日4844	ねこねこ小猫	小猫 [ねこねこ小猫]	書225	曲-日2504
	歌-日4845	猫の居ることもしらずに	小鼠	書145 書166	曲-日2507
	歌-日4846	猫の子ねこ名はお鈴	猫の子	書166 書378	曲-日5183
	歌-日4847	ねざめさゆるねやのあまとの	雪 [ねざめさゆるねやのあまとの]	書166	曲-日6999
	歌-日4848	鼠に	鼠・蛙・蛇	書315	曲-日5190
	歌-日4849	ねむのしごきのそらどけに	有憂華の歌	書385	曲-日718
	歌-日4850	ねむの花咲く木の下蔭	花と人	書312	曲-日5432
	歌-日4851	眠りし真夜に	眠りし真夜に	書232	曲-日5195
	歌-日4852	ねむりませうねむりませう	ねむりませう	書116	曲-日5198
	歌-日4853	眠る心はしめるなり見へる形はおぼろなり	玉の緒の歌	書303 書376	曲-日4266
	歌-日4854	眠るみどり児さはりはなきか	母の慈愛	書174	曲-日5498
	歌-日4855	眠れ眠れ歌をききて	子守歌 [眠れ眠れ歌をききて]	書180 書184	曲-日2565
	歌-日4856	ねむれねむれ人形よねむれなくなくな	人形ねむれ	書141	曲-日5171
	歌-日4857	眠れ眠れ母の胸に [子守歌]	子守歌 [眠れ眠れ母の胸に]	書60	曲-日2557
	歌-日4858	ねむれねむれ母の胸に [ねむれねむれ]	ねむれねむれ	書28 書100	曲-日5204
	歌-日4859	ねむれねむれ母の胸に [子守の歌]	子守の歌	書40	曲-日2569
	歌-日4860	眠れ眠れ母の胸に [シューベルトの子守歌]	シューベルトの子守歌 [眠れ眠れ母の胸に]	書385	曲-日3053
	歌-日4861	ねむれねむれめぐしわくご [美し夢]	美し夢	書54 書188	曲-日666
	歌-日4862	眠れ眠れめぐしわく子 [シューベルトの子守唄]	シューベルトの子守唄 [眠れ眠れめぐしわく子]	書40	曲-日3052
	歌-日4863	ねむれほしひかりをさめて	夜半の曲	書166	曲-日7184
	歌-日4864	ねむれやこよとくねむれ	子守唄 [ねむれやこよとくねむれ]	書27 書54	曲-日2558
	歌-日4865	眠れよ	眠れよ	書232	曲-日5205
	歌-日4866	眠れよ吾児汝を環りて [ブラームスの子守唄]	ブラームスの子守唄 [眠れよ吾児汝を環りて]	書54	曲-日5982
	歌-日4867	眠れよ吾児汝を環りて [子守歌]	子守歌 [眠れよ吾児汝を環りて]	書60	曲-日2556
	歌-日4868	ねむれよ子よくねる稚児は	ねむれよ子	書151 書153 書161	曲-日5206
	歌-日4869	眠れよ眠れ	子守歌 [眠れよ眠れ]	書85 書282	曲-日2564
	歌-日4870	ねむれよ母のふところに	心の子守唄	書317	曲-日2386
	歌-日4871	ねむれるさま	亡児嘆	書282	曲-日6098
	歌-日4872	眠れる獅子の塔かげに	第二十八回記念祭歌(7年祭)	書386	曲-日4023
	歌-日4873	ねむれるひとひと	今は寤べきの時なり	書70 書71	曲-日533
	歌-日4874	眠れ吾が子汝を環りて	ブラームスの子守唄 [眠れ吾が子汝を環りて]	書40	曲-日5983
	歌-日4875	眠れ吾子よ朝ぼらけ	眠れ吾子よ [眠れ吾子よ朝ぼらけ]	書232	曲-日5208
	歌-日4876	ねやの板戸のあけゆく空に	闇の板戸	書132 書151 書153 書161 書166 書169	曲-日5210
	歌-日4877	練鍛たる大和武士	野戦 [練鍛たる大和武士]	書118	曲-日6801
	歌-日4878	粘土お高やんが来ないっていへば	粘土節(山梨)	書385	曲-日5215
	歌-日4879	ネンネコヤナギノネコノコハ	ネコヤナギ	書358	曲-日5184
	歌-日4880	ねんねしなねんねしなあかちやんよ	ねんねしな	書263	曲-日5220
	歌-日4881	ねんねするこがおんぶして	夢のお馬	書54 書60	曲-日7087
	歌-日4882	ねんねなさい	小さい姉さんの子守唄	書17	曲-日4317
	歌-日4883	ねんねのおさとのげんげさう	げんげ草	書54 書315	曲-日2136
	歌-日4884	ねんねやころころねんねしな	子守唄 [ねんねやころころねんねしな]	書2 書31	曲-日2559
	歌-日4885	ねんねやねんねやおねんねや	こもりうた [ねんねやねんねやおねんねや]	書54	曲-日2549
歌-日4886	ねんねん	お人形さん	書159	曲-日1015	
歌-日4887	ねんねんおころり	ねんねのうた [ねんねんおころり]	書315	曲-日5221	
歌-日4888	ねんねんころころころよう	子守歌(東京)	書184	曲-日2568	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ね	歌-日4889	ねんねんころりよおころりよ	子守歌 [ねんねんころりよおころりよ]	書60	曲-日2562
	歌-日4890	年々歳々開けゆくこの大御世に生れ来て	学業	書237	曲-日1248
	歌-日4891	ねんねんほろろんねんほろよ	ねんねのお鳩	書54 書117	曲-日5223
	歌-日4892	ねんねんよ [守り歌]	守り歌	書166	曲-日6708
	歌-日4893	ねんねんよおころりよ [子守歌]	子守歌 [ねんねんよおころりよ]	書54 書60 書317	曲-日2550
の	歌-日4894	囊蚩鑿壁今日まで積み得ざる	辛苦の愉快	書28	曲-日3272
	歌-日4895	能褒野が原を	能褒野が原	書159	曲-日5234
	歌-日4896	のうふはなににする	農夫 [のうふはなににする]	書166	曲-日5236
	歌-日4897	野を越え来れり	笑ひの春	書232	曲-日7470
	歌-日4898	野を流れての末遂に	忍耐 [野を流れての末遂に]	書47 書211 書212	曲-日5173
	歌-日4899	野川を流るる水は温みて	うれしき春 [野川を流るる水は温みて]	書239	曲-日734
	歌-日4900	野川の流れに姿をうつして	山吹	書312	曲-日6908
	歌-日4901	ノガハノミゾ	野川のしらべ	書257	曲-日5249
	歌-日4902	軒をおつる雨だれ	雨だれ [軒をおつる雨だれ]	書27 書60	曲-日308
	歌-日4903	退き去る敵軍	戦の跡 [退き去る敵軍]	書215	曲-日412
	歌-日4904	軒に落つる雨だれ	雨だれ [軒に落つる雨だれ]	書117	曲-日307
	歌-日4905	軒にかかぐるともじびの	早秋夕	書176	曲-日3659
	歌-日4906	軒に巣をくふ [燕]	燕 [軒に巣をくふ]	書60 書201 書382	曲-日4522
	歌-日4907	軒に巣をくふ燕を見たか [親の恩]	親の恩 [軒に巣をくふ燕を見たか]	書207	曲-日1088
	歌-日4908	軒の雨	鶴の声	書368	曲-日4555
	歌-日4909	のきのしのぶみどりふかく	ふるさと [のきのしのぶみどりふかく]	書54	曲-日5999
	歌-日4910	軒のつばくらめ	軒の燕	書232	曲-日5258
	歌-日4911	軒の風鈴夕風に	風鈴 [軒の風鈴夕風に]	書211 書212	曲-日5837
	歌-日4912	のきの松に吹く風	檐の松風	書166 書230	曲-日5716
	歌-日4913	のきばにさくはこぞのはなよ	亡友を思ふ [のきばにさくはこぞのはなよ]	書28	曲-日4867
	歌-日4914	軒端に近き日ぐらしの	夏の夕 [軒端に近き日ぐらしの]	書122 書165	曲-日4932
	歌-日4915	軒端につどひて楽しげに	すずめ [軒端につどひて楽しげに]	書28 書100	曲-日3416
	歌-日4916	のきばのすずめよさとゆく	楽しき秋	書54	曲-日4211
	歌-日4917	軒ばの柳に月かたぶきて	夜学 [軒ばの柳に月かたぶきて]	書175	曲-日6746
	歌-日4918	軒よりおつる雨だれの	何事も精神	書29 書210	曲-日4953
	歌-日4919	野毛の山からノエ [さいさい節(野毛の山から)]	さいさい節(野毛の山から)	書385	曲-日2615
	歌-日4920	野毛の山からノエ [野毛の山から]	野毛の山から	書363	曲-日5261
	歌-日4921	残れる月の影踏みて	夏の暁 [残れる月の影踏みて]	書86 書159 書239	曲-日4905
	歌-日4922	野崎参りは屋形船でまいろ	野崎小唄	書363	曲-日5263
	歌-日4923	野沢の水解け初めて [鶯春を告ぐ]	鶯春を告ぐ	書60	曲-日599
	歌-日4924	野沢の水解け初めて [鶯告春]	鶯告春 [野沢の水解け初めて]	書54 書165 書175	曲-日5562
	歌-日4925	野路の小百合の夢さめて	第二十五回記念祭歌(4年九大)	書386	曲-日3978
	歌-日4926	野末の松原	牧童 [野末の松原]	書120	曲-日6159
	歌-日4927	のそのそのそのそ	かへる [のそのそのそのそ]	書104	曲-日1210
	歌-日4928	希望の光紅に	第二十二回記念祭歌(45年采)	書386	曲-日4014
	歌-日4929	ノリノリ親牛が	親牛子牛	書264	曲-日1074
	歌-日4930	のつぽのおぢさん	異人の花見	書315	曲-日436
	歌-日4931	野寺の鐘に送られて	村の夕べ [野寺の鐘に送られて]	書185	曲-日6603
	歌-日4932	のどかなはるがひろのにくれば	てふてふ [のどかなはるがひろのにくれば]	書27	曲-日4402
	歌-日4933	長閑なひとり	静坐	書282	曲-日3508
	歌-日4934	長閑なる日の陰	初春 [長閑なる日の陰]	書60	曲-日5381
	歌-日4935	のどかにかすむ [すみれ]	すみれ [のどかにかすむ]	書374	曲-日3470
	歌-日4936	のどかに霞む [運動会]	運動会 [のどかに霞む]	書225	曲-日747
	歌-日4937	のどかにそそぐ春雨は	春雨 [のどかにそそぐ春雨は]	書67 書138 書146 書148 書161 書165 書169	曲-日5555
	歌-日4938	のどかに春の訪れて	第三十回記念祭歌(9年) [のどかに春の訪れて]	書386	曲-日3843
	歌-日4939	のどかに吹きくる	風の歌	書225	曲-日1341
	歌-日4940	のどかに吹くか春の風	摘草 [のどかに吹くか春の風]	書66	曲-日4536
	歌-日4941	長閑けき春が里に来れば	小鳥はここに	書232	曲-日2497
	歌-日4942	のどけきはるにをもうどち	遊べ遊べ	書166	曲-日277
	歌-日4943	のどけき春の朝ぼらけ	瀬戸内海 [のどけき春の朝ぼらけ]	書213 書214	曲-日3592
	歌-日4944	のどけき春の日 [花]	花 [のどけき春の日]	書229	曲-日5396
	歌-日4945	のどけき春の日 [我国]	我国 [のどけき春の日]	書120 書121 書165	曲-日7356
	歌-日4946	長閑けき日影暮れ初めて	春の別れ [長閑けき日影暮れ初めて]	書28	曲-日5651
	歌-日4947	長閑き山には	運動会歌	書110	曲-日753
	歌-日4948	野中兼山良継は	野中兼山	書165	曲-日5274
	歌-日4949	のなかのこみちのさくらのかげ	野辺の興	書166 書169 書230	曲-日5282
	歌-日4950	野に立つ案山子がカラコロと	案山子 [野に立つ案山子がカラコロと]	書27 書54 書222	曲-日1233
	歌-日4951	野には草の芽	草の芽木の芽	書47	曲-日1914
	歌-日4952	野のすえやまの辺	空行く雁	書265	曲-日3747
	歌-日4953	野原にぼっちりさびしさう	土まんぢゅう	書358	曲-日4495
	歌-日4954	のばらのばら	のばら [のばらのばら]	書257	曲-日5277
	歌-日4955	のびる引き綱	グライダー	書191	曲-日1985
	歌-日4956	野辺にさくばらのうつくしや其色	野薔薇 [野辺にさくばらのうつくしや其色]	書28	曲-日5278
	歌-日4957	のべにさけるあきはぎ	秋の眺	書54 書265	曲-日132
	歌-日4958	野べに咲けるスマレ	野山の景色	書233	曲-日5294
	歌-日4959	野辺に立ちて露にぬるる	小児の心	書185	曲-日3162
	歌-日4960	野辺になびくちぐさは四方の民の	野辺に	書132 書151 書153 書161	曲-日5281
	歌-日4961	のべにやまにさくらははなが	桜 [のべにやまにさくらははなが]	書68 書166	曲-日2661
	歌-日4962	野辺にや行かん	日曜日	書180	曲-日5048
	歌-日4963	のべのをすきほいでて	暑中休暇後会合	書164	曲-日3231
	歌-日4964	野辺の草木も雨露の	五常の歌	書67 書132 書151 書153 書164 書165 書225	曲-日2419
	歌-日4965	野辺の草木や月と星と	インデアンソング	書40	曲-日560
	歌-日4966	野辺の木かけ走り過ぎて	夏の風	書54 書60	曲-日4916
	歌-日4967	のべのながれにかけをみせて	柳桜	書166 書169	曲-日6819

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
の	歌-日4968	野辺の花に	推移	書232	曲-日3358
	歌-日4969	野べより秋のはやたちそめ	虫の曲	書311	曲-日6566
	歌-日4970	野辺は春風	摘草 [野辺は春風]	書209	曲-日4539
	歌-日4971	のぼりつきたる嶺の	山に登りて	書211 書212	曲-日6886
	歌-日4972	昇る旭日と諸共に	養蚕唱歌 [昇る旭日と諸共に]	書61	曲-日7103
	歌-日4973	のぼるあさひによはあけて	兵士の鑑	書169	曲-日6040
	歌-日4974	昇る朝日の色美しく	国旗	書68	曲-日2344
	歌-日4975	昇る朝日のさしそへば	ポプラ [昇る朝日のさしそへば]	書47	曲-日6243
	歌-日4976	昇る朝日のはたたて	海国 [昇る朝日のはたたて]	書164 書166	曲-日1148
	歌-日4977	昇る日のあきらかなるは	昇る日	書102 書165	曲-日5287
	歌-日4978	のぼるもたのし秋の山	秋の山 [のぼるもたのし秋の山]	書262	曲-日147
	歌-日4979	昇れ太陽世紀の黎明	くろがねの戦士	書179	曲-日2002
	歌-日4980	鑿の顔ひ筆の彩	美術館	書311	曲-日5717
	歌-日4981	野も岡も丘も緑に萌えて	千里の春	書86	曲-日3642
	歌-日4982	のもやまもさみどり	みどり	書54	曲-日6480
	歌-日4983	のもやまもゆきかともがふ	さくら [のもやまもゆきかともがふ]	書54	曲-日2662
	歌-日4984	のやまをおほふさらのくも	つみくさ [のやまをおほふさらのくも]	書54 書165 書175	曲-日4535
	歌-日4985	野山に幾夜おきふして	露営の兵士	書235	曲-日7316
	歌-日4986	のやまにうみにみをすてて	招魂祭の歌 [のやまにうみにみをすてて]	書169	曲-日3129
	歌-日4987	野山のかはきに祈りすると	雨乞ひ	書28	曲-日306
	歌-日4988	のやまにこたふるはるのしらべ	山彦 [のやまにこたふるはるのしらべ]	書166	曲-日6906
	歌-日4989	野山の雪むらぎえて	早春のよろこび	書174	曲-日3663
	歌-日4990	野山も霞む春雨の	藤の花 [野山も霞む春雨の]	書174 書210	曲-日5897
	歌-日4991	野山も草木も	炉辺	書121	曲-日7333
	歌-日4992	野山も人家もつぎつぎ	汽車の旅 [野山も人家もつぎつぎ]	書116	曲-日1679
	歌-日4993	野山は今ぞ花ざかり	花見 [野山は今ぞ花ざかり]	書116	曲-日5465
	歌-日4994	野ゆき山ゆきゆきくれて	野行き山行き	書317	曲-日5296
	歌-日4995	のりをなめたるむくいとて	舌切雀 [のりをなめたるむくいとて]	書68 書165	曲-日2918
	歌-日4996	のりそだをつてしかられし	潮干狩 [のりそだをつてしかられし]	書68	曲-日2834
	歌-日4997	乗る駒風に嘶へ	加藤清正 [乗る駒風に嘶へ]	書47 書215	曲-日1406
	歌-日4998	乗れ乗れ乗れ竹馬に	竹馬 [乗れ乗れ乗れ竹馬に]	書134	曲-日4153
	歌-日4999	ノンキナトウサン野球の稽古	ノンキナ父サン	書385	曲-日5298
	は	歌-日5000	ハアー佐渡へ佐渡へと草木もなびくヨ	佐渡おけさ	書112 書363 書385
歌-日5001		ハアー佐渡を想へばヨ	佐渡を想へば	書385	曲-日2726
歌-日5002		ハア一月が呼んだかコリヤサ	納涼音頭	書385	曲-日5247
歌-日5003		ハア踊り踊るならチョイト東京音頭	東京音頭	書385	曲-日4651
歌-日5004		はあ来タサ新庄習ひか間味屋の作法か	新庄節	書363	曲-日3301
歌-日5005		ハア島で育てば	島の娘	書385	曲-日2970
歌-日5006		はあ相馬相馬と木萱もなびく	相馬節	書363	曲-日3691
歌-日5007		ハア天龍下ればヨ [天龍下れば]	天龍下れば	書385	曲-日4639
歌-日5008		ハア天龍下れば飛沫がかかる [伊那節]	伊那節	書363	曲-日495
歌-日5009		ハアぼんはナぼんは嬉しや	盆踊歌	書184	曲-日6250
歌-日5010		拝啓御無沙汰しましたが	上海だより	書363	曲-日3001
歌-日5011		はいしいはいしいあゆめよ小馬	小馬 [はいしいはいしいあゆめよ小馬]	書208	曲-日2280
歌-日5012		背囊背に銃を肩に	演習 [背囊背に銃を肩に]	書359	曲-日793
歌-日5013		背囊枕に草のうへ	露営 [背囊枕に草のうへ]	書44	曲-日7314
歌-日5014		ハウイコメリー	まつ梨花	書368	曲-日6338
歌-日5015		博多帯締め筑前絞	博多節	書363 書385	曲-日5306
歌-日5016		博多柳町	博多柳町	書368	曲-日5307
歌-日5017		はかなき夢に	乙姫の独唱	書274	曲-日992
歌-日5018		墓べに泣くわれを	妹の墓	書374	曲-日536
歌-日5019		袴よはかまよ	袴	書374	曲-日5308
歌-日5020		はぎにすすきにおみなめし	野辺の錦	書166	曲-日5283
歌-日5021		爆音雲に羽して	航空唱歌	書317	曲-日2221
歌-日5022		バクテクバチバチ	バクテク	書358	曲-日5316
歌-日5023		白頭天地に積りし雪は	白頭山節	書363	曲-日5318
歌-日5024		はげしきあめかぜてんちくらく	助船	書54	曲-日4173
歌-日5025		箱には満ちぬ	秋の散歩 [箱には満ちぬ]	書110	曲-日128
歌-日5026		箱根の山は天下の険 [箱根の山]	箱根の山	書40 書241	曲-日5329
歌-日5027		箱根の山は天下の険 [箱根八里]	箱根八里 [箱根の山は天下の険]	書138 書165 書279	曲-日5330
歌-日5028		箱根八里は馬でも越すが [箱根八里は]	箱根八里は	書332	曲-日5332
歌-日5029		箱根八里は馬でも越すがヨ [箱根八里]	箱根八里 [箱根八里は馬でも越すがヨ]	書363	曲-日5331
歌-日5030		箱根山昔や背で越す駕籠で越す	まつろけ節	書385	曲-日6309
歌-日5031		箱の中から	蓄音機 [箱の中から]	書266	曲-日4339
歌-日5032		箱は担げどマントは着れず	チャカホイ節	書385	曲-日4367
歌-日5033		ハジマルジカンニ	正雄	書124	曲-日6287
歌-日5034		はじめてきみとてをとれば	隔てぬ影	書165 書169	曲-日6072
歌-日5035		はしらのきずはをとどしの	背くらべ	書27	曲-日3504
歌-日5036		はしるにははやくさぎすら	うさぎ [はしるにははやくさぎすら]	書165	曲-日607
歌-日5037		はしるよはしるよおもちやの汽車は	おもちやの汽車	書262	曲-日1068
歌-日5038		はしるは汽船か軍艦か	海のうへ [はしるは汽船か軍艦か]	書166 書378	曲-日681
歌-日5039		走れ！大地を力のかぎり	オリムピック選手応援歌	書241	曲-日1104
歌-日5040		走れ走れ [競馬競漕]	競馬競漕	書159	曲-日2111
歌-日5041		走れ走れ岩間によどめる	小川の流	書166 書279	曲-日902
歌-日5042		はしれよはしれげんきにはしれ	はしれ	書116	曲-日5342
歌-日5043		はしはたえたりせははやし	橋は絶たり	書166	曲-日5343
歌-日5044		葉ずえにむすぶしらつゆは	露 [葉ずえにむすぶしらつゆは]	書28 書54	曲-日4545
歌-日5045		蓮の花さく八田潟	河北郡八田村歌	書253	曲-日1434
歌-日5046		機織る如き人足を	汽車の旅 [機織る如き人足を]	書296	曲-日1674

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
は	歌-日5047	はたかげなびきて砲は鳴りぬ	短艇競漕 [はたかげなびきて砲は鳴りぬ]	書28 書166	曲-日4307
	歌-日5048	畑うち小田耕せ	軍国民	書92	曲-日2079
	歌-日5049	はたけに菜の花咲きました	ひばり [はたけに菜の花咲きました]	書117	曲-日5763
	歌-日5050	畠のうねの大うねり	畠	書358	曲-日5350
	歌-日5051	はたけのなかでひるねのきゅーり	胡瓜	書54	曲-日1797
	歌-日5052	はたとりするにはあひづちまちて	旗とり	書166	曲-日5352
	歌-日5053	働け働け身を粉に働け	働け働け働け	書239	曲-日5353
	歌-日5054	旗は日の丸明るい国だ	昭和音頭	書173	曲-日3186
	歌-日5055	八道の山よいざさらば	八道の山	書40	曲-日5360
	歌-日5056	鉢のすみれ咲きも匂いて	鉢のすみれ	書60 書350	曲-日5362
	歌-日5057	はちよみつばちよ [はちよみつばちよ]	はちよみつばちよ	書381	曲-日5365
	歌-日5058	はちよみつばちよ [蜜蜂]	蜜蜂 [はちよみつばちよ]	書161 書379	曲-日6471
	歌-日5059	はつぐに定めし神の世の	皇霊祭	書139 書170	曲-日2298
	歌-日5060	はつくにしらすすめらぎの	尊王愛国	書165	曲-日3750
	歌-日5061	ばつたはねたぞおほきなばつた	ばつた	書117	曲-日5370
	歌-日5062	初旅するつばくらよ	旅だつ燕	書177	曲-日4250
	歌-日5063	初音をもらす	阿新丸 [初音をもらす]	書333	曲-日1963
	歌-日5064	初音ゆかしき黄鳥の	野梅	書303	曲-日5292
	歌-日5065	はてし知れぬ大海	海 [はてし知れぬ大海]	書177	曲-日670
	歌-日5066	はてしなきまなびのみちも	卒業式 [はてしなきまなびのみちも]	書165 書230	曲-日3705
	歌-日5067	果しなき恵の露は五十鈴川	伊勢の大廟	書124	曲-日443
	歌-日5068	はてしも知らぬ広野原	西比利垂の冬	書359	曲-日2967
	歌-日5069	はてしなき千町田に	豊年 [はてしなき千町田に]	書174	曲-日6121
	歌-日5070	はてなき海にたれあとつけし	学の力 [はてなき海にたれあとつけし]	書139 書165 書170	曲-日6356
	歌-日5071	はてなき野原に朝日あびて	小羊 [はてなき野原に朝日あびて]	書359	曲-日2528
	歌-日5072	派手な浴衣にちよい紅つけて	夕すずみ [派手な浴衣にちよい紅つけて]	書363	曲-日6948
	歌-日5073	波濤千里	太平洋 [波濤千里]	書85	曲-日4077
	歌-日5074	鳩さんはだしでどこへゆく	鳩さんはだし	書54 書60	曲-日5388
	歌-日5075	はとはとはととはと小鳩	鳩 [はとはとはととはと小鳩]	書380	曲-日5385
	歌-日5076	鳩ぽっぽ鳩ぽっぽぽぽと飛んで来い	鳩ぽっぽ [鳩ぽっぽ鳩ぽっぽ]	書166 書378	曲-日5395
	歌-日5077	鳩ぽっぽぽぽ	鳩ぽっぽ [鳩ぽっぽぽぽ]	書40	曲-日5394
	歌-日5078	花ある春の	植物園	書225	曲-日3213
	歌-日5079	花を禰の草枕	大正七年寮歌	書77	曲-日3948
	歌-日5080	はなをたをるなこーえんの	公德 [はなをたをるなこーえんの]	書124	曲-日2264
	歌-日5081	花を見る時はこころいとたのし	花月	書132 書153 書154 書161 書166	曲-日1278
	歌-日5082	花を見ればえみをたたへ	やさしの心	書177	曲-日6762
	歌-日5083	花を召せや色よき花を	花売	書311	曲-日5401
	歌-日5084	花がさいたといふうちに	としのくれ [花がさいたといふうちに]	書138 書225	曲-日4764
	歌-日5085	花こそ薫らねわがこの園	楽しき我家 [花こそ薫らねわがこの園]	書137	曲-日4232
	歌-日5086	はなこそ地球の	花の帝	書166 書230	曲-日5447
	歌-日5087	はなさかばはなさかばあづまのさくらかよしのやま	東の花	書142	曲-日271
	歌-日5088	花さかば花に語りつげん	光陰可惜	書204	曲-日2189
	歌-日5089	花咲き蝶とぶ	屋外の遊戯	書265	曲-日6744
	歌-日5090	はなさきにほふさくらの	楠公桜井之駅決別之歌	書166	曲-日4996
	歌-日5091	はなさきにほふよしのたかね	大和島根 [はなさきにほふよしのたかね]	書166 書169	曲-日6860
	歌-日5092	はなさくあしたも	いそめまなべよ	書233	曲-日448
	歌-日5093	はなさくうめをながむるごとに	菅公 [はなさくうめをながむるごとに]	書169	曲-日1577
	歌-日5094	はなさくさととりなくさと	二つの里	書54	曲-日5914
	歌-日5095	花咲く里曲の渡場訪えば	花咲く里	書232	曲-日5416
	歌-日5096	はなさくはるのあけぼのを [花咲はるの]	花咲はるの	書381	曲-日5419
	歌-日5097	花咲く春のあけぼのを [花さく春]	花さく春 [花咲く春のあけぼのを]	書67 書144 書166 書225 書379 書381	曲-日5418
歌-日5098	花さく春のあしたのけしき	花さく春のあしたのけしき	書151 書153 書161	曲-日5417	
歌-日5099	花さく春のやま	四季のあはれ	書175	曲-日2849	
歌-日5100	はなさくはるのやまに	自然の音楽 [はなさくはるのやまに]	書28	曲-日2909	
歌-日5101	はなさくはるのべにさわに	友の行え	書100	曲-日4801	
歌-日5102	はなさくはるはひがしやま	京の四季 [はなさくはるはひがしやま]	書147 書166	曲-日1833	
歌-日5103	はなさくやまのかけ	運動会 [はなさくやまのかけ]	書166	曲-日742	
歌-日5104	花さく山辺鳥なく野	汽車の旅 [花さく山辺鳥なく野]	書239	曲-日1673	
歌-日5105	花しろくかすみて	なごりをし	書165 書366	曲-日4876	
歌-日5106	花づくし山茶花桜花水仙花	さのさ節 [花づくし山茶花桜花水仙花]	書363 書385	曲-日2739	
歌-日5107	花そめ衣ぬきかへて	山時鳥	書161	曲-日6909	
歌-日5108	はなたちばなにかぜをりて	夏の夕 [はなたちばなにかぜをりて]	書120 書121 書165	曲-日4931	
歌-日5109	はなてふはなはおほかれど	吉野山 [はなてふはなはおほかれど]	書165	曲-日7139	
歌-日5110	花散らざらば実のはらず	未来の快樂	書28	曲-日5268	
歌-日5111	花散りこぼる園生の池に	水鳥 [花散りこぼる園生の池に]	書60 書68 書138 書166	曲-日6444	
歌-日5112	花散る春の	懐友 [花散る春の]	書231	曲-日1199	
歌-日5113	はなてよはなてはなちてやれよ	正雄小鳥を放つ	書124	曲-日6288	
歌-日5114	花といふ花	春興 [花といふ花]	書60	曲-日3090	
歌-日5115	花鳥ゆかし春としなれば	鶯 [花鳥ゆかし春としなれば]	書60	曲-日582	
歌-日5116	花にあけゆく空はうららに	のどけき春 [花にあけゆく空はうららに]	書60 書180	曲-日5272	
歌-日5117	はなにいろづくきさらぎは	風に吹かれて [はなにいろづくきさらぎは]	書54	曲-日1340	
歌-日5118	はなにうたうぐひす	蜂 [はなにうたうぐひす]	書165	曲-日5354	
歌-日5119	はなにうたげのえんはりて	古寺	書54	曲-日6017	
歌-日5120	はなにかすむ	春の歌 [はなにかすむ]	書110	曲-日5583	
歌-日5121	花に鳥に思う	故郷の山河	書60 書350	曲-日2335	
歌-日5122	花に啼く鳥水にすむ虫	春の恵	書147 書161	曲-日5635	
歌-日5123	花にのぼる蟻の子よ吸えや吸えや	蟻の子	書88 書166	曲-日376	
歌-日5124	はなにふけはるかぜ [花に吹け]	花に吹け	書166	曲-日5434	
歌-日5125	はなにふけはるかぜ [花に吹け春風]	花に吹け春風	書169	曲-日5435	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
は	歌-日5126	花に宿れる蝶は今眠さめたり	舞へや歌へや	書47 書211 書212	曲-日6263
	歌-日5127	花にはあらし月に雲	逝去の友 [花にはあらし月に雲]	書139 書170	曲-日3502
	歌-日5128	はなのあげほのにつくすむよは	帰れ我が子	書54	曲-日1222
	歌-日5129	花の晨も	送別 [花の晨も]	書282	曲-日3676
	歌-日5130	花のあるじを争ひし	武田信玄	書276	曲-日4158
	歌-日5131	花の上にこぼれかかる春雨	四季の雨 [花の上にこぼれかかる春雨]	書225 書309 書337	曲-日2848
	歌-日5132	花の乙女がその血で染めた	メーデー歌(四)	書392	曲-日6635
	歌-日5133	はなのおやまはひがくれて	忘れもの	書54	曲-日7453
	歌-日5134	花のかげ小川のはた	散歩	書92	曲-日2814
	歌-日5135	はなのこずえことりぞなく [親睦会の歌]	親睦会の歌	書165	曲-日3342
	歌-日5136	花の梢に [歌の徳]	歌の徳	書121	曲-日643
	歌-日5137	花の木末になく鳥も [友愛]	友愛 [花の木末になく鳥も]	書28	曲-日6925
	歌-日5138	花の御殿の大広間	夢 [花の御殿の大広間]	書54 書60	曲-日7079
	歌-日5139	花のごとくに	奈良 [花のごとくに]	書93 書138 書225	曲-日4973
	歌-日5140	はなのつぼみは	回顧と希望	書28	曲-日1159
	歌-日5141	花の花の	校友会閉会の歌	書110	曲-日2295
	歌-日5142	花の都のおもしろの春べや	花の都	書166 書225	曲-日5448
	歌-日5143	はなのみやこのまんなかの	郵便箱の歌	書166	曲-日6971
	歌-日5144	花の都も秋はなお	月照を吊す	書287	曲-日2127
	歌-日5145	花の都もあきはなほ夕べ淋しき風情なり [僧月照]	僧月照	書200	曲-日3654
	歌-日5146	花の都も秋はなほ夕べ淋しき風情なり [僧月照入水を悼む歌]	僧月照入水を悼む歌	書303	曲-日3655
	歌-日5147	花の名所は嵐山みよしの	名所	書225	曲-日6623
	歌-日5148	花の山ぶみ	迷	書229	曲-日6379
	歌-日5149	はなはいろいろなのはなさくら	はなはいろいろ	書166	曲-日5450
	歌-日5150	花杜鵑過ぎ行けば	皇国の四季 [花杜鵑過ぎ行けば]	書147	曲-日5478
	歌-日5151	花見に行きしは昨日よと	終業式の歌 [花見に行きしは昨日よと]	書56	曲-日6418
	歌-日5152	花もいつしか散りすぎて	夏げしき	書28 書100 書166 書265	曲-日3025
	歌-日5153	はなもこちようも	春暁 [はなもこちようも]	書165 書230	曲-日4901
	歌-日5154	はなもさかずとりなかず	楽しき我が家 [はなもさかずとりなかず]	書54 書311	曲-日3093
	歌-日5155	花もて満たす庭の籬露もて照らす園の草葉	児	書87 書166	曲-日4231
	歌-日5156	花もみぢ散りぬれど [花もみぢ]	花もみぢ [花もみぢ散りぬれど]	書120	曲-日4343
	歌-日5157	花もみぢ散りぬれど [惜時]	惜時	書336	曲-日5466
	歌-日5158	花やかに鳴きぬ	暁起	書374	曲-日3568
	歌-日5159	花屋の嫁さん	花屋の嫁さん	書345	曲-日69
	歌-日5160	花や紅葉もおよぶものかは	秋の夕暮 [花や紅葉もおよぶものかは]	書132 書153 書154 書161 書165 書169	曲-日5469
	歌-日5161	はなよりあくのみそらはうらら	のどけき春 [はなよりあくのみそらはうらら]	書54	曲-日157
	歌-日5162	離れ小島の椰子の木は	離れ小島の	書54 書117	曲-日5271
	歌-日5163	花は色々	テリップタラップ	書368	曲-日5476
	歌-日5164	はなはいろいろなのはなさくら	花はいろいろ	書166	曲-日4431
	歌-日5165	花は上野か隅田川	花見 [花は上野か隅田川]	書227	曲-日5463
	歌-日5166	花は薫るよ花の香に [少年団の歌]	少年団の歌	書326	曲-日3168
	歌-日5167	花は薫るよ花の香に [少年団歌]	少年団歌	書40	曲-日3167
	歌-日5168	花は霧島煙草は国分	鹿児島小原良節	書363 書385	曲-日1288
	歌-日5169	花は桜木人は武士 [花は桜木]	花は桜木	書166	曲-日5479
	歌-日5170	花は桜木人は武士 [端艇部部歌]	端艇部部歌	書386	曲-日4311
	歌-日5171	花は桜木人は武士 [靖国神社]	靖国神社 [花は桜木人は武士]	書210	曲-日6775
	歌-日5172	花は桜とうたひけむ	第二十二記念祭寄贈歌(45年京大)	書386	曲-日4007
	歌-日5173	花は桜よ此さくら木に	児島高德 [花は桜よ此さくら木に]	書303	曲-日2408
	歌-日5174	花は咲けど	告別の歌	書86	曲-日2356
	歌-日5175	花はちりても実を結ぶ	節儉慈善	書102 書165	曲-日3578
	歌-日5176	花は散るべき	名は末代	書231	曲-日4988
	歌-日5177	花は露に蘇える	花は露に	書232	曲-日5480
歌-日5178	はなはほほえみやなぎはまねき	春 [はなはほほえみやなぎはまねき]	書165 書166	曲-日5525	
歌-日5179	花はみながら散りはてて	新緑 [花はみながら散りはてて]	書52	曲-日3354	
歌-日5180	花は空しく咲き散りて	札幌郡広島村開村記念歌	書253	曲-日2719	
歌-日5181	花は笑ひ鳥は歌ふ	春かぜ [花は笑ひ鳥は歌ふ]	書52	曲-日5544	
歌-日5182	はにばちもちていざともに	秋野戯	書166	曲-日126	
歌-日5183	埴生の宿もわが宿	埴生の宿	書40 書54 書60 書138 書166 書169 書225 書226 書284 書336	曲-日5482	
歌-日5184	羽根うちおれし	小鳥の雛	書46	曲-日2494	
歌-日5185	母とよばるる	母のなげき	書1	曲-日5500	
歌-日5186	ははなきわがやはやみゆくこち	母なき吾屋	書165	曲-日5488	
歌-日5187	ははの思ひは空にみち	母の思ひ [ははの思ひは空にみち]	書60 書153 書154 書165 書169 書225 書226	曲-日5494	
歌-日5188	ハハハハハハハ	笑の輪唱 [ハハハハハハハ]	書232	曲-日7471	
歌-日5189	はま千鳥あとふみとめてたどるにも	浜千鳥 [はま千鳥あとふみとめて]	書142	曲-日5504	
歌-日5190	浜千鳥立居にも	楽き家庭作らまし	書92	曲-日4214	
歌-日5191	はまにつくつた	はまに	書358	曲-日5506	
歌-日5192	浜の千鳥の	須磨の浦 [浜の千鳥の]	書225	曲-日3462	
歌-日5193	はや明けちかき東雲の	川中島 [はや明けちかき東雲の]	書287	曲-日1526	
歌-日5194	はやくねむれねたまに	子守歌 [はやくねむれねたまに]	書28	曲-日2563	
歌-日5195	はやくめをだせかきのたね	さるかに	書27 書68 書165	曲-日2765	
歌-日5196	早やさしにけり秋の影	題秋	書303	曲-日111	
歌-日5197	林の奥にそよ風たち	早春 [林の奥にそよ風たち]	書47	曲-日3661	
歌-日5198	はやせに流るるみくづのごと	配所の月	書182	曲-日5303	
歌-日5199	端山淡く月残る	埴頭の朝	書182	曲-日5928	
歌-日5200	はやまのそらあかくはえ	淋しき夕	書54	曲-日2744	
歌-日5201	端山のみ空の雲の旗手	田舎の夕暮 [端山のみ空の雲の旗手]	書54 書184	曲-日492	
歌-日5202	はらからはむつまじみせよ	はらから	書165	曲-日5517	
歌-日5203	ばらの花うつくしや	薔薇 [ばらの花うつくしや]	書310	曲-日5515	
歌-日5204	薔薇の花よ	薔薇 [薔薇の花よ]	書267	曲-日5516	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
は	歌-日5205	はらはら散りくる	山里 [はらはら散りくる]	書47 書54	曲-日6846
	歌-日5206	ばらも胡蝶も眠れる野辺を	星 [ばらも胡蝶も眠れる野辺を]	書60 書188	曲-日6173
	歌-日5207	はるあきにほふくさやきは	開校式祝歌	書169	曲-日1141
	歌-日5208	春浅く風寒き満州の	陸軍記念日	書29	曲-日7220
	歌-日5209	春を知る	春の神	書350	曲-日5597
	歌-日5210	春をばうたふ	梅 [春をばうたふ]	書282	曲-日704
	歌-日5211	遥か彼辺の火影こそ	野戦 [遥か彼辺の火影こそ]	書118	曲-日6800
	歌-日5212	はるかかなたのほかげこそ	遥か彼辺	書166	曲-日5537
	歌-日5213	春が来たか [浪花四季]	浪花四季	書368	曲-日4956
	歌-日5214	春が来たかよ駒場の里に	春が来たかよ	書40	曲-日5540
	歌-日5215	春が来たかよ吉野の山に	ステテコヤンヤン(奈良)	書385	曲-日3445
	歌-日5216	春が来た来た	春が来た [春が来た来た]	書174	曲-日5539
	歌-日5217	春が来た春が来た [野あそび]	野あそび [春が来た春が来た]	書225	曲-日5227
	歌-日5218	春が来た春が来たどこに来た [春が来た]	春が来た [春が来た春が来たどこに来た]	書40 書60 書209	曲-日5538
	歌-日5219	春が来ました庭さきに	春 [春が来ました庭さきに]	書373	曲-日5530
	歌-日5220	はるがくるはるがくる	春が来る [はるがくるはるがくる]	書54	曲-日5541
	歌-日5221	春霞	春霞	書46	曲-日5543
	歌-日5222	はる風うけてうなりをたてて	たこ [はる風うけてうなりをたてて]	書263	曲-日4165
	歌-日5223	春風うづむ嵐の山	嵐山 [春風うづむ嵐の山]	書88 書165 書169	曲-日354
	歌-日5224	はるかぜしづかにうみをぞわたる	一葉の舟 [はるかぜしづかにうみをぞわたる]	書166	曲-日5734
	歌-日5225	春風そよ田舎道	お花見	書60	曲-日1025
	歌-日5226	春風そよと吹けば	桜散る [春風そよと吹けば]	書60	曲-日2689
	歌-日5227	春風そよふく弥生のあした	春風 [春風そよふく弥生のあした]	書151 書153 書161	曲-日5548
	歌-日5228	春風に梅かをる日は今更に	菅原道真 [春風に梅かをる日は今更に]	書8	曲-日3393
	歌-日5229	はるかぜにほふみねのさくら	東洋の光り	書166 書365	曲-日4706
	歌-日5230	はるかぜふいてのやまはかすむ	桜 [はるかぜふいてのやまはかすむ]	書54 書206	曲-日2671
	歌-日5231	春かぜ吹き来て	園生の春	書165 書175	曲-日3738
	歌-日5232	春風吹き来る野辺の	春の野 [春風吹き来る野辺の]	書223	曲-日5625
	歌-日5233	春風吹きそめ	浅緑	書188	曲-日253
	歌-日5234	春風吹けば [春風]	春風 [春風吹けば]	書204	曲-日5549
	歌-日5235	春風吹けば谷の戸開け [春風吹けば]	春風吹けば	書60	曲-日5551
	歌-日5236	はるかぜはふきすぎぬ	別れしあと	書166	曲-日7420
	歌-日5237	はるかにへだたるおもかげ	牧笛	書54	曲-日6157
	歌-日5238	遙に距だる	牧童 [遙に距だる]	書188	曲-日6160
	歌-日5239	はるかにみゆる	国旗 [はるかにみゆる]	書228	曲-日2461
	歌-日5240	遥かに見ゆる軍艦の	軍艦戦闘 [遥かに見ゆる軍艦の]	書118	曲-日2058
	歌-日5241	はるかのをかにものうげに	遥の岡に	書166	曲-日5552
	歌-日5242	はるかのやまべに	田舎のゆふべ	書374	曲-日493
	歌-日5243	春くるたびに驚かないて	鶯鷄	書79	曲-日595
	歌-日5244	春来るやがても谷の戸立出で	早春の鶯	書309	曲-日3662
	歌-日5245	春高樓の花の宴	荒城の月	書2 書31 書40 書54 書166 書240 書257 書279 書385	曲-日2249
	歌-日5246	春こそよけれ	花園 [春こそよけれ]	書185	曲-日5426
	歌-日5247	春雨そそぐ	柳と蛙	書225	曲-日6820
	歌-日5248	春雨に濡るアカシヤ花 [大正十二年寮歌]	大正十二年寮歌	書77	曲-日3945
	歌-日5249	春雨に濡るアカシヤ花 [北大恵迪寮歌]	北大恵迪寮歌	書40	曲-日6155
	歌-日5250	春雨ほそき夕暮れに	妹の歎き	書28 書100	曲-日535
	歌-日5251	春去り来れば吾が心	春去り来れば	書40 書186	曲-日5559
	歌-日5252	はるさればおやまのさくらさきそめて	別師	書28	曲-日6073
	歌-日5253	春三月の武香陵	第十四回記念祭寮歌(37年中)	書386	曲-日3921
	歌-日5254	春寂寥の洛陽に	松本高等学校寮歌 [春寂寥の洛陽に]	書40	曲-日6332
	歌-日5255	はるたちかへるあしたより	四季運動遊戯の歌	書166	曲-日2844
	歌-日5256	春立つにはかのほれる梅の	かほれる梅	書141	曲-日1227
歌-日5257	春だよ春だよ	べんべん草	書358	曲-日6085	
歌-日5258	春長江のをたけびや	第十五回記念祭寮歌(38年中)	書386	曲-日3879	
歌-日5259	はるとあきとのあらしは	春と秋と	書166	曲-日5563	
歌-日5260	はるといへどかぜのふくよは	母ごころ	書165	曲-日5487	
歌-日5261	春東海の桜花	第四十回記念祭寮歌 [春東海の桜花]	書386	曲-日4092	
歌-日5262	春東山の花に酔い	寮歌 [春東山の花に酔い]	書387	曲-日7243	
歌-日5263	春尚ほ浅き曙の	陸上部部歌(大正9年)	書387	曲-日7227	
歌-日5264	春になりて花は咲けども	孤児 [春になりて花は咲けども]	書312	曲-日2401	
歌-日5265	はるのあけぼのほのぼのと	四季の眺 [はるのあけぼのほのぼのと]	書165	曲-日2861	
歌-日5266	春の朝よ咲きにほふ花にも風の恨みあり	正成卿(淡川之段)	書356	曲-日6293	
歌-日5267	はるのうぐいすうらのひ	春秋の野辺	書165	曲-日3100	
歌-日5268	春の台の曙に	第二十回記念祭寮歌(43年采)	書386	曲-日4052	
歌-日5269	はるのうらのうなばらや	二月の海路	書165	曲-日5023	
歌-日5270	はるのうらのすみだがは	花 [はるのうらのすみだがは]	書54	曲-日5397	
歌-日5271	春の小川はさらさら行くよ	春の小川 [春の小川はさらさら行くよ]	書190	曲-日5592	
歌-日5272	春の小川はさらさら流る	春の小川 [春の小川はさらさら流る]	書60 書210	曲-日5593	
歌-日5273	はるのおぼろのあまもよひ	院の荘 [はるのおぼろのあまもよひ]	書54	曲-日561	
歌-日5274	春の籠のよひにして	第二十回記念祭寄贈歌(43年九大)	書386	曲-日4045	
歌-日5275	春の思ひのつかれより	第二十三回記念祭寮歌(2年南)	書386	曲-日3992	
歌-日5276	春の風のべにみちて	菫つみ	書366	曲-日3473	
歌-日5277	春の風の山を吹けば	春風 [春の風の山を吹けば]	書116	曲-日5547	
歌-日5278	花の香むせぶ城の春	第十六回記念祭寄贈歌(39年京大)	書386	曲-日3926	
歌-日5279	春の来るといち早く	春の訪れ	書85	曲-日5594	
歌-日5280	春のけしきをながむれば	春のけしき [春のけしきをながむれば]	書142	曲-日5602	
歌-日5281	春の景色を見渡せば四方の野山の雪解て	春の眺望	書303	曲-日5615	
歌-日5282	春の景色の長閑けさを	シャーールドレアン氏春の詩	書287 書303	曲-日2986	
歌-日5283	春のさかりの桃さくら	四季の歌 [春のさかりの桃さくら]	書165	曲-日2850	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
は	歌-日5284	はるのさくらあきのみち	上野の岡	書166 書169	曲-日575
	歌-日5285	春の樹木の	もつれもつれて	書257	曲-日6670
	歌-日5286	春のたがやし・鋤きならし	取入れ	書209	曲-日4816
	歌-日5287	春のにしきや山里に梅も桜もかほるなり	春のにしき	書141	曲-日5616
	歌-日5288	春の眠りのこまやかに	春曉曲	書166 書285	曲-日3095
	歌-日5289	はるのちくさふみわけて	春郊打球	書165 書166	曲-日3097
	歌-日5290	はるのまきのあらこまは	荒駒	書166	曲-日349
	歌-日5291	春の浜辺に来て見れば	春の浜辺	書174	曲-日5631
	歌-日5292	春の日影を父として	若草 [春の日影を父として]	書47 書269	曲-日7354
	歌-日5293	春の日影長閑なり	桜狩 [春の日影長閑なり]	書60 書165 書175	曲-日2680
	歌-日5294	春の陽がけむり	小馬 [春の陽がけむり]	書3	曲-日2281
	歌-日5295	春の光のゆらめきて	第二十四回記念祭歌(3年南)	書386	曲-日4030
	歌-日5296	春の日暮れた鳥籠を	鳥籠	書54 書60 書241 書315	曲-日4818
	歌-日5297	春の日背をあたためて	第十三回記念祭歌(36年)	書386	曲-日3885
	歌-日5298	ハルノヒナガノ [ナンノハナ]	ナンノハナ	書358	曲-日4878
	歌-日5299	春の日永の村太鼓 [野道]	野道 [春の日永の村太鼓]	書117	曲-日5289
	歌-日5300	春の日なれや	潮	書86	曲-日2824
	歌-日5301	春の真昼の	真剣	書222	曲-日3283
	歌-日5302	春のみどりもあきたちて	秋の景色	書28	曲-日121
	歌-日5303	春の女神のよそほひに	小鳥 子供の世界	書24	曲-日2488
	歌-日5304	はるのやまにおもふどち	春の海山	書165	曲-日5589
	歌-日5305	春の山踏日もうら	花の夢	書353	曲-日5449
	歌-日5306	春の山踏山寺の	夕の鐘	書311	曲-日6961
	歌-日5307	春の弥生を待ち出でて	八十の手習	書28	曲-日5358
	歌-日5308	春の弥生になく鶯は	春の弥生 [春の弥生になく鶯は]	書184	曲-日5640
	歌-日5309	春の弥生の曙に [今様四季]	今様四季	書368	曲-日530
	歌-日5310	春のやよひのあけぼのに [春のやよひ]	春のやよひ [春のやよひのあけぼのに]	書132 書139 書151 書153 書161 書165 書170 書225	曲-日5639
	歌-日5311	春の弥生の三日の朝	汐干狩 [春の弥生の三日の朝]	書228	曲-日2833
	歌-日5312	はるのゆふべにふかぜは	博愛	書122 書165	曲-日5312
	歌-日5313	春の夜深く静けき闇	夜の帰雁	書311	曲-日7170
	歌-日5314	春花の	卒業式の歌 [春花の]	書324	曲-日3724
	歌-日5315	春日影うららとのどけき日和	胡蝶 [春日影うららとのどけき日和]	書54 書60 書283	曲-日2456
	歌-日5316	春また秋と	刑場の袂別	書219	曲-日2107
	歌-日5317	春まだ浅き	行進歌(前編)朝の歌	書18	曲-日2252
	歌-日5318	春まだあさき武陵	第十三回記念祭歌(36年北)	書386	曲-日3890
	歌-日5319	春未だ若き向陵に	第三十一回記念祭寄贈歌(10年東大)	書386	曲-日3847
	歌-日5320	春見にゆきませ	桜紅葉	書151 書153 書161	曲-日2695
	歌-日5321	春養堂のつつし山	上井郡仁礼村歌	書253	曲-日1444
	歌-日5322	春や加茂のさざなみに	第三十四回記念祭寄贈歌(13年京大)	書386	曲-日3831
	歌-日5323	春山にたつかすみ	春山	書132 書151 書153 書161	曲-日5656
	歌-日5324	春よ来れ	春よ来れ	書202	曲-日5657
	歌-日5325	春よ来い	春よ来い	書60	曲-日5658
	歌-日5326	春甍へるときめきに	第三十回記念祭歌(9年) [春甍へるときめきに]	書386	曲-日3845
	歌-日5327	春より暮れて春に入る	第二十二回記念祭歌(45年南)	書386	曲-日4013
	歌-日5328	春嵐峡の [第三高等学校野球部部歌]	第三高等学校野球部部歌	書252	曲-日3802
	歌-日5329	春嵐峡の花に酔い [野球部部歌]	野球部部歌 [春嵐峡の花に酔い]	書387	曲-日6755
	歌-日5330	春爛漫の花霞弥生が岡の岡の上に	第十五回記念祭歌(38年西)	書386	曲-日3878
	歌-日5331	春爛漫の花の色 [第一高等学校祭歌]	第一高等学校祭歌 [春爛漫の花の色]	書252	曲-日3760
	歌-日5332	春爛漫の花の色 [春爛漫(一高)]	春爛漫(一高)	書40	曲-日5659
	歌-日5333	春爛漫の花の色 [春爛漫の花の色(第一高等学校西寮祭歌)]	春爛漫の花の色(第一高等学校西寮祭歌)	書385	曲-日5660
	歌-日5334	春爛漫の花の色 [第十一回記念祭歌(34年西)]	第十一回記念祭歌(34年西)	書386	曲-日3863
	歌-日5335	春暎乱の夕まぐれ	第二十三回記念祭歌(2年栄)	書386	曲-日3994
	歌-日5336	晴るのおもひにいく春の	第二十五回記念祭寄贈歌(4年東大)	書386	曲-日3979
	歌-日5337	はるる空に	花火 [はるる空に]	書282	曲-日5455
	歌-日5338	春はあけぼの花はさかり	山家春暎	書166 書230	曲-日2785
	歌-日5339	春は梅咲く	第六高等学校野球部部歌	書252	曲-日4104
歌-日5340	春はうれしいおもしろい	四季 [春はうれしいおもしろい]	書79 書165	曲-日2842	
歌-日5341	春は嬉しや [京の四季]	京の四季 [春は嬉しや]	書385	曲-日1835	
歌-日5342	春は嬉しや紳士手に取る [春はうれしや]	春はうれしや	書363	曲-日5663	
歌-日5343	春は霞みおく深し	春の野駆	書374	曲-日5628	
歌-日5344	春は霞かさあさ霞か	日本うれしや	書184	曲-日5082	
歌-日5345	春は川風そよそよと	濡れつばめ	書385	曲-日5180	
歌-日5346	春は来れりいざ友よ	春は来れり	書232	曲-日5664	
歌-日5347	春は来ぬ都の眺め面白し	第二十二回記念祭寄贈歌(45年東大)	書386	曲-日4006	
歌-日5348	はるはきぬわがやどはなはさき	吾宿 [はるはきぬわがやどはなはさき]	書166	曲-日7410	
歌-日5349	はるはさかりの	亡友 [はるはさかりの]	書228	曲-日6139	
歌-日5350	春は桜花咲く弥生ヶ陵	第十六回記念祭寄贈歌(39年東大)	書386	曲-日3928	
歌-日5351	春はたのし [楽しき春]	楽しき春 [春はたのし]	書231	曲-日4225	
歌-日5352	はるはたのしきはなのもと	四季の遊	書165	曲-日2846	
歌-日5353	はるはつゆのあけぼの [春は露]	春は露	書169	曲-日5666	
歌-日5354	はるはつゆのあけぼの [露は春]	露は春	書165	曲-日4549	
歌-日5355	春は名のみ風の寒さや	早春賦	書2 書31 書54 書60 書201 書202 書241	曲-日3664	
歌-日5356	春は花いざ見にごんせ東山	京の四季 [春は花いざ見にごんせ東山]	書363	曲-日1834	
歌-日5357	春は花見みよしのおむろ	春は花見	書132 書151 書153 書161	曲-日5667	
歌-日5358	春は早うから川辺の葦に	あわて床屋	書54 書205	曲-日383	
歌-日5359	春は春は桜咲く向島	春は春は	書385	曲-日5668	
歌-日5360	春は万朶の花霞	第四十二回記念祭歌 [春は万朶の花霞]	書386	曲-日4088	
歌-日5361	春はヴェニスの上の夢	ヴェニスの船唄 [春はヴェニスの上の夢]	書385	曲-日6078	
歌-日5362	春はみどりの句めでたく	老松 [春はみどりの句めでたく]	書122 書166	曲-日818	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号	
は	歌-日5363	はるはみどりのののすえに	運動会 [はるはみどりのののすえに]	書165	曲-日743	
	歌-日5364	春は南から杏の花で	南満本線	書358	曲-日5011	
	歌-日5365	春は藻の香に廻り来て	琵琶湖に歌ふ(昭和7年)	書387	曲-日5827	
	歌-日5366	春は物事よろこばし吹く風とても暖かし	春夏秋冬の詩	書303	曲-日3086	
	歌-日5367	春は夕の手枕に	緑かいな	書363	曲-日790	
	歌-日5368	晴れたりけふも暁の	曠野の開発	書238 書317	曲-日2291	
	歌-日5369	晴れたる朝の雪の原	雪合戦 [晴れたる朝の雪の原]	書54 書210	曲-日7022	
	歌-日5370	はれたる空に [運動会]	運動会 [はれたる空に]	書159	曲-日748	
	歌-日5371	晴れたる空に鏡のごとく [月のひかり]	月のひかり [晴れたる空に鏡のごとく]	書116	曲-日4475	
	歌-日5372	ハレルヤハレルヤ	ハレルヤ	書232	曲-日5670	
	歌-日5373	はれ渡る空にひらひらひら	花吹雪	書60 書350	曲-日5459	
	歌-日5374	沓かなる日のうれしさに	第三十五回記念祭歌 [沓かなる日のうれしさに]	書386	曲-日3817	
	歌-日5375	万頃の波涛を破りて我艦体は	豊島撃戦	書375	曲-日6114	
	歌-日5376	万歳君を迎ふる	歓迎	書27 書60 書350	曲-日1567	
	歌-日5377	万歳万歳天にも	万歳 [万歳万歳天にも]	書92	曲-日5674	
	歌-日5378	万歳万歳祝えよ	万歳 [万歳万歳祝えよ]	書232	曲-日5673	
	歌-日5379	万歳万歳日本国 [海軍の花]	海軍の花	書166	曲-日1132	
	歌-日5380	ばんざいばんざいにほんごく [日本帝国]	日本帝国	書166	曲-日5122	
	歌-日5381	ばんざいばんざいばんざい [祝歌]	祝歌	書165 書175	曲-日3063	
	歌-日5382	ばんざいばんざいばんざい [聖寿無量]	聖寿無量	書27	曲-日3510	
	歌-日5383	万歳万歳万歳 [卒業生を送るの歌]	卒業生を送るの歌	書28	曲-日3729	
	歌-日5384	万歳万歳万歳 [祝卒業]	祝卒業	書159	曲-日3067	
	歌-日5385	盤石海に振り撒きて	日本三景 [盤石海に振り撒きて]	書309	曲-日5104	
	歌-日5386	半鐘響きて最先に進むは是ぞ纏持ち	纏持ち	書375	曲-日6343	
	歌-日5387	万世一系限りなき	討清軍歌 [万世一系限りなき]	書305	曲-日4675	
	歌-日5388	万世一系皇国の	軍国唱歌日本海大海戦	書76	曲-日2077	
	歌-日5389	磐梯山の動かない	野口英世	書191	曲-日5260	
	歌-日5390	万葉の桜みだれ咲き	寮歌(昭和6年)	書387	曲-日7246	
	歌-日5391	反哺三枝鳥だにも子たる道は	孝の道 [反哺三枝鳥だにも子たる道は]	書102 書165	曲-日2275	
	歌-日5392	万雷一時に	帝国海軍	書110	曲-日4562	
	歌-日5393	万里の風千里の波	航海 [万里の風千里の波]	書69	曲-日2203	
	ひ	歌-日5394	ピアノの音に足並みそろへ	影法師 [ピアノの音に足並みそろへ]	書208	曲-日1284
		歌-日5395	ピアノはふしぎ	ピアノは小人	書315	曲-日5683
		歌-日5396	ピーチャンピーチャン	たかあしをどり	書358	曲-日4117
		歌-日5397	日出づる国のひいでたる	軍旗 [日出づる国のひいでたる]	書66	曲-日2067
		歌-日5398	日出づるところ沖つ浪	日本青年の歌 [日出づるところ沖つ浪]	書31 書184 書240	曲-日5113
歌-日5399		ピーチク小鳥が	ことり [ピーチク小鳥が]	書17	曲-日2482	
歌-日5400		秀でて高き四方の山	朝来郡東河村の歌	書253	曲-日221	
歌-日5401		びいびいびいと囀る雲雀	雲雀 [びいびいびいと囀る雲雀]	書208	曲-日5770	
歌-日5402		一二三四 [お手玉]	お手玉	書159 書210	曲-日983	
歌-日5403		ひーふーみーよー [羽子]	羽子 [ひーふーみーよー]	書60	曲-日5324	
歌-日5404		比叡の高嶺にかこつはたれたれ	俵藤太	書166 書285	曲-日4297	
歌-日5405		比叡の山に雲消えて	第二十七回記念祭寄贈歌(6年京大)	書386	曲-日3995	
歌-日5406		比叡の山に我立ちて	第十三回記念祭寄贈歌(36年京大)	書386	曲-日3884	
歌-日5407		比叡の山の石だたみ	第十五回記念祭寄贈歌(38年京大)	書386	曲-日3877	
歌-日5408		ひえの山風	平重盛 [ひえの山風]	書46	曲-日4097	
歌-日5409		ひえのやまかぜふきすさび	雲かくす	書165	曲-日1973	
歌-日5410		比叡山おろしは	護良親王 [比叡山おろしは]	書270	曲-日6729	
歌-日5411		緋緘着けし若武者は	第十九回記念祭歌(42年采)	書386	曲-日3875	
歌-日5412		日影麗らにさし匂ふ	新曲蝴蝶	書196	曲-日3267	
歌-日5413		日かげさへぎるむら雲に	菅公 [日かげさへぎるむら雲に]	書47 書211 書212	曲-日1583	
歌-日5414		日影ささぬ	土の窟	書159	曲-日4494	
歌-日5415		日影さびしく雲愁へ	戦死者葬送	書166 書255	曲-日3613	
歌-日5416		日かげにならぶ月かげの	五月二十八日 [日かげにならぶ月かげの]	書165 書169 書230	曲-日2316	
歌-日5417		日影にはゆる	紅葉の山 [日影にはゆる]	書350	曲-日6693	
歌-日5418		日影はきらきら	狐の嫁入 [日影はきらきら]	書201 書202	曲-日1730	
歌-日5419		東と西に分かれた角力	お角力	書267	曲-日945	
歌-日5420		東に輝く吾が村は	東津軽郡東平内村歌	書253	曲-日5692	
歌-日5421		東の海の大八洲	小学唱歌明治の御代	書158	曲-日3109	
歌-日5422		東の海の空高く	愛国 [東の海の空高く]	書239	曲-日18	
歌-日5423		東の海の波の上に	愛国 [東の海の波の上に]	書60 書180	曲-日17	
歌-日5424		東の海の波間より	文典唱歌	書329	曲-日6026	
歌-日5425		東の海よりさし昇る光	大皇国 [東の海よりさし昇る光]	書365	曲-日894	
歌-日5426		ひがしのうみよりめでたきはつひは	東の海	書166	曲-日5694	
歌-日5427		ひがしのそらをまつかにそめて	日の出 [ひがしのそらをまつかにそめて]	書116	曲-日5749	
歌-日5428		東の空高く朝日は登りたり	日出づる国	書182	曲-日5684	
歌-日5429		ひがしのそらにあかねさいで	夏海辺	書165	曲-日4914	
歌-日5430		東の空には青い星	お星様 [東の空には青い星]	書60	曲-日1051	
歌-日5431		東の空ほほえみて	曉景	書54 書60 書336	曲-日1810	
歌-日5432		東の洋にかがやきて	日本国 [東の洋にかがやきて]	書200	曲-日5094	
歌-日5433		ひがしのまどにさしそめし	鳥さし	書166	曲-日4819	
歌-日5434		東のみそらにかがやきのぼる	昇る旭 [東のみそらにかがやきのぼる]	書225	曲-日5284	
歌-日5435		東のみ空は	朝の歌	書201 書202	曲-日261	
歌-日5436		東の山ぎはほのほのしらみ	蜜蜂 [東の山ぎはほのほのしらみ]	書68 書166	曲-日6474	
歌-日5437		日数をかさね年を積み	卒業式の歌 [日数をかさね年を積み]	書147 書165	曲-日3725	
歌-日5438		ピカピカ光る	夕立 [ピカピカ光る]	書266	曲-日6953	
歌-日5439		ピカピカ光れ	お星様 [ピカピカ光れ]	書267	曲-日1050	
歌-日5440		びかびかほしがよるになると	びかびか星	書117	曲-日5696	
歌-日5441		ひが世にもひがまじと	新田義貞 [ひが世にもひがまじと]	書68	曲-日5060	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ひ	歌-日5442	光青くたゆたひ妙なる夏の夜	夏の夜	書174	曲-日4936
	歌-日5443	光あまねき日の本の	女子青年団歌	書40 書184 書240	曲-日3219
	歌-日5444	光りうかぶ	月夜泛舟 [光りうかぶ]	書265	曲-日4490
	歌-日5445	光さみしく黄昏る	寮歌(大正15年) [光さみしく黄昏る]	書387	曲-日7252
	歌-日5446	光明に映ゆる日の本の	吾等はうたふ	書239	曲-日7492
	歌-日5447	光の消ゆるいやはてに	囃り	書317	曲-日2631
	歌-日5448	光り開けき春の日に	敦賀郡中郷村歌	書253	曲-日4553
	歌-日5449	ピカリピカリ	ぼたる [ピカリピカリ]	書266	曲-日6190
	歌-日5450	光まばゆき春なれど	第二十一回記念寮歌(44年)	書386	曲-日3972
	歌-日5451	光はいつも	秋の月 [光はいつも]	書5	曲-日130
	歌-日5452	ひかるよほしはキラリキラリ	ほし [ひかるよほしはキラリキラリ]	書262	曲-日6168
	歌-日5453	簸川平野のただなかに	簸川郡今市町歌	書253	曲-日5699
	歌-日5454	ひさかえさじとあらそひし	古戦場 [ひさかえさじとあらそひし]	書166	曲-日2435
	歌-日5455	髯あるをとこ大かたは	野村望東尼	書270	曲-日5293
	歌-日5456	引け引け [地引網]	地引網	書159 書160	曲-日2964
	歌-日5457	曳けひけ綱を	綱ひき	書225	曲-日4499
	歌-日5458	日毎こもる	郊外遠足	書181	曲-日2205
	歌-日5459	ひごとにあたるつるべのなは	勤儉 [ひごとにあたるつるべのなは]	書165	曲-日1881
	歌-日5460	日毎にかれゆく秋の野べに	残れる秋草	書116	曲-日5262
	歌-日5461	肥後の熊本キンキラキンな	錦旗羅錦(熊本)	書385	曲-日1879
	歌-日5462	濁りよ深きおどろの下に	第四十一回記念寮歌 [濁りよ深きおどろの下に]	書386	曲-日4084
	歌-日5463	日ごろきたえにきたえた力	運動会 [日ごろきたえにきたえた力]	書69	曲-日752
	歌-日5464	ひさかたのあまつみそらに	富士山 [ひさかたのあまつみそらに]	書165	曲-日5872
	歌-日5465	久方の空こそ際涯もなけれ	天の原	書182	曲-日319
	歌-日5466	久かたの空も長閑にあら玉の [西南より凱陣したる人を祝す]	西南より凱陣したる人を祝す	書287	曲-日3525
	歌-日5467	ひさかたの空もどかにあら玉の [西南の役より凱陣せし人を祝する歌]	西南の役より凱陣せし人を祝する歌	書303	曲-日3524
	歌-日5468	久方の月の夜は	久方の月	書282	曲-日5715
	歌-日5469	廂をたく音高く	霞三題	書86	曲-日363
	歌-日5470	氷雨にそぼつ石山	孤児 [氷雨にそぼつ石山]	書54	曲-日6486
	歌-日5471	非常時来れり我等が国に	非常時日本の歌	書239	曲-日5720
	歌-日5472	額に手を当て	盆の十六日	書201 書202	曲-日6256
	歌-日5473	ひだのたくみがうつ	校舎新築落成式の歌 [ひだのたくみがうつ]	書165	曲-日2245
	歌-日5474	ひだりへとべよはまべのちどり	千鳥 [ひだりへとべよはまべのちどり]	書166	曲-日4355
	歌-日5475	ひだりむきつつてをとりて	左向きつつ	書166	曲-日5722
	歌-日5476	一つとや一二三四五六七八	修身数へ歌 [一つとや一二三四五六七八]	書165	曲-日3036
	歌-日5477	ひちはうたいへんつきをちて	房州紀行	書165	曲-日6100
	歌-日5478	日嗣の皇子のかしこき御言	令旨奉答の歌	書184 書240	曲-日7257
	歌-日5479	必死を期する	桜井の別れ	書60	曲-日2677
	歌-日5480	一藍たたへし	早苗 [一藍たたへし]	書366	曲-日2736
	歌-日5481	人跡たえし野山にも	花の美	書225	曲-日5446
	歌-日5482	ひとあめひとあめきいろにあかに	山の秋	書27	曲-日6887
	歌-日5483	一嵐こずえにすぎて	少女の死	書165 書366	曲-日3142
	歌-日5484	人をあざけるは	誰ぞ?	書232	曲-日4174
	歌-日5485	人を斬るのが侍ならば	サムライ・ニツポン	書385	曲-日2752
	歌-日5486	人をたよりにて身を立てば	新井白石 [人をたよりにて身を立てば]	書124	曲-日346
	歌-日5487	人気がなく塵たため田舎の小道を	田舎道	書116	曲-日494
	歌-日5488	人里離れし山路の伏屋	可憐の少女	書182	曲-日1515
	歌-日5489	人里はなれ住んでいる	山家のぢいさん	書116	曲-日6833
	歌-日5490	一雫二雫こごしき	泉	書47 書135 書166	曲-日441
	歌-日5491	人知れず思ふ心のよしあしも	昭憲皇太后御歌	書85	曲-日3125
	歌-日5492	ひとたび起てば電撃に	十億の進軍	書179	曲-日3005
	歌-日5493	一つ出たワイナよさホイノホイ	琵琶湖週航数へ歌	書387	曲-日5824
	歌-日5494	一つとせ	読売ぶし	書368	曲-日7159
	歌-日5495	一つとや肥後の加藤が来るならば	兵児謡(鹿児島)	書385	曲-日6070
	歌-日5496	一つとや人を怨むな羨むな	修身数へ歌 [一つとや人を怨むな羨むな]	書165	曲-日3039
歌-日5497	一つとやひとと生れて [数へうた]	数へうた [一つとやひとと生れて]	書144	曲-日1350	
歌-日5498	一つとや人と生れて忠孝を [教育数へ歌]	教育数へ歌	書145	曲-日1799	
歌-日5499	一つとや人に世話をやさせるな	しつけ数へ歌/幼児訓育数へ歌	書51	曲-日2934	
歌-日5500	一つとや人人忠義を第一に	かぞへ歌 [一つとや人人忠義を第一に]	書209	曲-日1349	
歌-日5501	一つとや人々一日も忘るなよ	数へ歌 [一つとや人々一日も忘るなよ]	書2 書31 書139 書161 書164 書165 書170 書379	曲-日1352	
歌-日5502	一つとや一夜明れば賑かで	数へうた [一つとや一夜明れば賑かで]	書368	曲-日1351	
歌-日5503	一つとや一人で早起き	かぞへ歌 [一つとや一人で早起き]	書191	曲-日1348	
歌-日5504	一つとや人は心が第一よ [修身数へ歌]	修身数へ歌 [一つとや人は心が第一よ]	書165	曲-日3038	
歌-日5505	一つとや人は心が第一よ [一つとや]	一つとや	書132 書381	曲-日5726	
歌-日5506	一つとや人は姿より形より	修身数へ歌 [一つとや人は姿より形より]	書165	曲-日3037	
歌-日5507	一つとや人はよろづの長なれば	てまりうた [一つとや人はよろづの長なれば]	書161	曲-日4595	
歌-日5508	一つとんでまたとんで	なはとび [一つとんでまたとんで]	書190	曲-日4983	
歌-日5509	ひとつとんではりよてをついて	蛙 [ひとつとんではりよてをついて]	書54 書266	曲-日1209	
歌-日5510	一つには人はもとより	数へ歌 [一つには人はもとより]	書251	曲-日1353	
歌-日5511	一つのくももうかんでいない	青空 [一つのくももうかんでいない]	書116	曲-日48	
歌-日5512	一つの城と二つの城落す	隊長さん節(熊本)	書385	曲-日3957	
歌-日5513	ひとつのてふはなのほなもとめて	一つの蝶	書166	曲-日5727	
歌-日5514	ひとつののべにそだちしひばり	別れの鳥	書166	曲-日7429	
歌-日5515	ひとつのみをもうちすてて	一の身をも	書166	曲-日5728	
歌-日5516	一つ人人礼義が大事	手鞠歌 [一つ人人礼義が大事]	書144 書166	曲-日4598	
歌-日5517	ひとつみどりにおひいでて	若草 [ひとつみどりにおひいでて]	書166	曲-日7352	
歌-日5518	人とありては世の中と	公德養成国民唱歌	書91	曲-日2273	
歌-日5519	人とうまれし	勤勉正直	書225	曲-日1898	
歌-日5520	ひととせあまりの	モンパリ	書385	曲-日6735	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ひ	歌-日5521	一年に一度	花見 [一年に一度]	書92	曲-日5462
	歌-日5522	人と交はり結ぶには横柄ならず諂らはず	交際	書237	曲-日2241
	歌-日5523	人中で内証ばなしはお止なさい	内証ぶし	書368	曲-日4843
	歌-日5524	ひとなみひのとやまにもこえありて	祝勝会	書165	曲-日3066
	歌-日5525	ヒトニアウタラ	おつるの行儀	書124	曲-日982
	歌-日5526	ひとにめいわくかけぬのが	正雄道を繕ふ	書124	曲-日6290
	歌-日5527	人には何をか	赤心	書229	曲-日3573
	歌-日5528	ひとのあげたるそれよりも	紙鳶の歌 [ひとのあげたるそれよりも]	書166	曲-日4169
	歌-日5529	人の欺妄を知りながら言葉に形はし譲ざるは	至徳	書237	曲-日2939
	歌-日5530	人の苦しみ知らぬ人に	太郎さんの夢 第三の歌	書24	曲-日4286
	歌-日5531	ひとの心をおもひやるそれぞ誠の人の道	駒鳥と花子さん 第四の歌	書24	曲-日2541
	歌-日5532	ひとのこころもさわやかき	若葉の歌	書317	曲-日7389
	歌-日5533	人の心の十六夜の	平壤凱歌(日本)	書305	曲-日6044
	歌-日5534	ひとのこころのつみをば	罪を取去らるる道	書70 書71	曲-日4530
	歌-日5535	人の力ぢや及ばぬ力	こころ節(犬山踊の唄 愛知)	書385	曲-日2393
	歌-日5536	人の花見にいそぐころ	稲 [人の花見にいそぐころ]	書68 書166	曲-日508
	歌-日5537	人の世に住む	公德 [人の世に住む]	書231	曲-日2267
	歌-日5538	人の世の小昏き山路	第三十六回記念祭寄贈歌	書386	曲-日3837
	歌-日5539	人の世誠なくば	誠	書60 書350	曲-日6275
	歌-日5540	一はねはねぬか雪うさぎ	雪兎	書117	曲-日7019
	歌-日5541	ひとひとの汗をゆあみに流し	納涼 [ひとひとの汗をゆあみに流し]	書47	曲-日5242
	歌-日5542	ひとびとよとくおきよとて	鶏 [ひとびとよとくおきよとて]	書166	曲-日5159
	歌-日5543	一日の汗を湯浴に流し	納涼 [一日の汗を湯浴に流し]	書211 書212	曲-日5245
	歌-日5544	ひとひふみよむいつもながら	土曜日	書166	曲-日4805
	歌-日5545	人皆尚武の世の中に	中江藤樹先生 [人皆尚武の世の中に]	書124	曲-日4849
	歌-日5546	一むらがりの夏の雲	夕立 [一むらがりの夏の雲]	書68	曲-日6954
	歌-日5547	一叢茂れる常緑の森に	氏神	書263	曲-日621
	歌-日5548	一とむらすぎし	夏 [一とむらすぎし]	書228	曲-日4894
	歌-日5549	ひと目見たとき好きになつたのよ	愛して頂戴	書385	曲-日25
	歌-日5550	人も斬るべし我身をも	日本刀 [人も斬るべし我身をも]	書200	曲-日5129
	歌-日5551	ひとよさモンテ・カルロ	モンテ・カルロの一夜	書385	曲-日6734
	歌-日5552	一夜の雨をさきだてて	第三十回記念祭祭歌(9年) [一夜の雨をさきだてて]	書386	曲-日3844
	歌-日5553	一夜のうちに草も木も	雪つぶて [一夜のうちに草も木も]	書67	曲-日7039
	歌-日5554	ひとよのほどにくさもきも	雪つぶて [ひとよのほどにくさもきも]	書54 書165	曲-日7038
	歌-日5555	ひとりの兄	兄か弟か	書201 書202	曲-日293
	歌-日5556	ひとりぼっちにのこされた	かくれんぼ [ひとりぼっちにのこされた]	書27	曲-日1268
	歌-日5557	ひいとりぼーちのかげぼふし	影法師 [ひいとりぼーちのかげぼふし]	書54	曲-日1283
	歌-日5558	人は一代名は末代よ	吾妻郡太田村歌	書253	曲-日270
	歌-日5559	人は帰り鳥はゆき	落ちゆく日	書52	曲-日964
	歌-日5560	人はこころが大切よ一心凝たる其時は	小野道風奮励の歌	書237	曲-日1019
	歌-日5561	ひなつばめおやがきたとて	燕 [ひなつばめおやがきたとて]	書54 書60	曲-日4521
	歌-日5562	雛におしふる鶯の高音もただの心かは	勧学歌	書45 書165	曲-日1555
	歌-日5563	終日海にしたしみなれて	海の楽しみ	書239	曲-日689
	歌-日5564	日の影山に隠れて	野外の音楽	書182	曲-日6743
	歌-日5565	日の出照り添う大八洲	護国	書287	曲-日2380
	歌-日5566	日の出ぬうちに	雲雀 [日の出ぬうちに]	書267	曲-日5777
	歌-日5567	日の旗	国旗 [日の旗]	書178	曲-日2464
	歌-日5568	日の丸の旗高く掲げて	国旗掲揚の歌	書317	曲-日2466
	歌-日5569	日の丸御旗の朝日影	日本地理歌	書165	曲-日5120
	歌-日5570	ひのみはたそらたかしのかけ	海戦 [ひのみはたそらたかしのかけ]	書166	曲-日1171
	歌-日5571	日の御旗晴の席上に	卒業の歌 [日の御旗晴の席上に]	書68	曲-日3733
	歌-日5572	ひのみひかりのくまなきに	月日の御かけ	書165	曲-日4479
	歌-日5573	ひのもととしもなにしおへば	朝日の御旗 [ひのもととしもなにしおへば]	書166	曲-日243
	歌-日5574	日のよくあたる庭前の	梅に鶯 [日のよくあたる庭前の]	書208	曲-日707
	歌-日5575	雲雀おちくる春の野の	朧月	書312	曲-日1053
	歌-日5576	ひばりのうたもなつかしく	春野戯	書166	曲-日5607
	歌-日5577	ひばりひばり [ひばり]	ひばり [ひばりひばり]	書104	曲-日5764
	歌-日5578	雲雀雲雀 [舞踏]	舞踏 [雲雀雲雀]	書181	曲-日5921
歌-日5579	雲雀よ雲雀よ	雲雀 [雲雀よ雲雀よ]	書29	曲-日5773	
歌-日5580	雲雀はあがる	雲雀 [雲雀はあがる]	書68 書138 書165 書257	曲-日5772	
歌-日5581	ひばりはうたひ蝶々はおどる	ひばりは歌ひ	書166 書378	曲-日5784	
歌-日5582	ひばりはくものへをがはは	春の調	書54	曲-日5610	
歌-日5583	ひばりはそらにたかくうたひ	春日郊行	書27	曲-日3099	
歌-日5584	響くよトロンベータ	トロンベータ	書232	曲-日4828	
歌-日5585	ひびくはひびくはぐんばのいななき	響くはひびくは	書166	曲-日5785	
歌-日5586	日日務むるわが業	粉骨碎身	書239	曲-日6020	
歌-日5587	ピピドンドンピピドンドン笛と太鼓	笛と太鼓 [ピピドンドンピピドンドン笛と太鼓]	書262	曲-日5841	
歌-日5588	日々に新に日々に栄行く	福岡県連合女子青年団歌	書31	曲-日5853	
歌-日5589	悲風惨悴日は曠く	第二十八回記念祭祭歌(7年東)	書386	曲-日3855	
歌-日5590	ひめおくへうたんいつうせし	瓢箪	書166	曲-日5796	
歌-日5591	ひめまつこまつひめまつこまつ	姫松	書166	曲-日5789	
歌-日5592	緋桃白桃	忠孝 [緋桃白桃]	書231	曲-日4376	
歌-日5593	百折撓まぬ清麻呂はゆがめる弓削の	清麻呂	書303	曲-日1861	
歌-日5594	百年このかた乱れし天下も	豊臣秀吉 [百年このかた乱れし天下も]	書54 書60 書209	曲-日4807	
歌-日5595	ヒュラヒュラヒュヒュラ	お祭り [ヒュラヒュラヒュヒュラ]	書267	曲-日1059	
歌-日5596	廟行鎮の夜は明けて	肉弾三勇士	書385	曲-日5024	
歌-日5597	ヒョーシヤソロヘテ	楽隊遊び [ヒョーシヤソロヘテ]	書138	曲-日1256	
歌-日5598	秒時をも惜しまむ人の	時は黄金 [秒時をも惜しまむ人の]	書134	曲-日4724	
歌-日5599	ひよこひよこ	雛子 [ひよこひよこ]	書266	曲-日5802	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ひ	歌-日5600	ひよひよひよこ	ひよこ [ひよひよひよこ]	書116 書207	曲-日5801
	歌-日5601	ひよりうららにのやまほほむ	春のあした	書28 書54 書60 書116 書265	曲-日5572
	歌-日5602	ひよりもあかしにつしやうき	日よりも赤し	書166	曲-日5804
	歌-日5603	日和もうららけふの日や	茸狩 [日和もうららけふの日や]	書28 書100	曲-日4157
	歌-日5604	日和も好しや野も広し	花くらべ	書166	曲-日5407
	歌-日5605	ピヨンピヨンピヨンピヨン	あそびがへる [ピヨンピヨンピヨンピヨン]	書116	曲-日43
	歌-日5606	ヒライタヒライタ [開いた開いた]	開いた開いた	書68 書138 書166	曲-日5805
	歌-日5607	ひらいたひらいた [蓮花]	蓮花 [ひらいたひらいた]	書166	曲-日7301
	歌-日5608	開いた開いた何の花が開いた [鬼共合唱「開いた」]	鬼共合唱「開いた」	書106	曲-日1118
	歌-日5609	比良の高嶺に志賀山に	宇治川	書390	曲-日622
	歌-日5610	ひらひら散りくる白雪に	六つの花	書60 書180	曲-日6575
	歌-日5611	ひらひらちりくるはなのさまは	落花 [ひらひらちりくるはなのさまは]	書165 書175	曲-日7198
	歌-日5612	ヒラヒラヒラ [落花]	落花 [ヒラヒラヒラ]	書282	曲-日7199
	歌-日5613	ヒラヒラヒラ蝶々が舞うて	野遊び [ヒラヒラヒラ蝶々が舞うて]	書266	曲-日5231
	歌-日5614	ひらひらまふよてふてふが	蝶と春風	書54 書266	曲-日4412
	歌-日5615	ヒラミラバニアジヨリナナディア	マイソールの歌	書78	曲-日6259
	歌-日5616	ひららひららと	木の葉 [ひららひららと]	書174	曲-日2516
	歌-日5617	ひらりちらり	落花 [ひらりちらり]	書185	曲-日7200
	歌-日5618	ヒラリヒラリヒラヒラヒラ	をちば	書104	曲-日956
	歌-日5619	ピリピリーゴツンゴツン	汽車 [ピリピリーゴツンゴツン]	書159 書60	曲-日1660
	歌-日5620	屋なほ小間き	深林逍遙	書283	曲-日3357
	歌-日5621	屋猶すごき桜馬場	徳川光圀公	書124 書165	曲-日4732
	歌-日5622	屋の暑さ	初秋の夜空	書269	曲-日3223
	歌-日5623	屋のあつさは夕立にあらひ流して峯高く	夏夜即事	書303	曲-日1474
	歌-日5624	ひるまのあつさのなごりみせて	納涼 [ひるまのあつさのなごりみせて]	書166	曲-日5243
	歌-日5625	ひるまのをたけびいづちへうせし	戦場夜景	書166	曲-日3618
	歌-日5626	屋も暗き砲の煙	妻の夢	書185	曲-日4529
	歌-日5627	ひるもしげきあきのみや	平重盛 [ひるもしげきあきのみや]	書165	曲-日4096
	歌-日5628	屋はかがやく大空の	地久節 [屋はかがやく大空の]	書225 書309	曲-日4336
	歌-日5629	屋は三千	新井白石 [屋は三千]	書270	曲-日347
	歌-日5630	ひれふる魚は水こそ友よ	魚と水	書225	曲-日577
	歌-日5631	ひろい	お舟 [ひろい]	書159	曲-日1042
	歌-日5632	広い川だな此の川は	水びかり(遼河のきしで)	書358	曲-日6452
	歌-日5633	ひろい砂漠をはるばると	キヤラバンの鈴	書385	曲-日1785
	歌-日5634	ひろいのはらのつきよのばんに	秋の虫	書54	曲-日145
	歌-日5635	ひろいのはらやあのおおぞらを	雲雀 [ひろいのはらやあのおおぞらを]	書54	曲-日5771
	歌-日5636	ひろいのべにきてみれば	春の野あそび [ひろいのべにきてみれば]	書79	曲-日5626
	歌-日5637	ひろいのみちをひとりゆかば	良友	書165	曲-日7117
	歌-日5638	広き世界の国々の	国民唱歌 世界万国	書97	曲-日2363
	歌-日5639	広き世界の津々浦々	朝日の旗 [広き世界の津々浦々]	書137	曲-日240
	歌-日5640	広さは東西一里半 [下都賀郡赤麻村統計唱歌]	下都賀郡赤麻村統計唱歌	書253	曲-日2977
	歌-日5641	広さは東西一里半 [泉南郡西葛城村歌]	泉南郡西葛城村歌	書253	曲-日3633
	歌-日5642	広さは東西二里余	川上郡宇治村統計歌	書253	曲-日1519
	歌-日5643	黒潮躍る大洋に	日の出島	書317	曲-日5753
	歌-日5644	ひろったよひろった	正雄の正直	書124	曲-日6289
	歌-日5645	広野をめぐり	汽車の窓	書350	曲-日1680
	歌-日5646	広野をわたる微風に	第二十五回記念祭歌(4年東)	書386	曲-日3982
	歌-日5647	広野ひろびろどこまでつづく	野つばら	書358	曲-日5269
	歌-日5648	日はあたたかに	森の姥さん	書257	曲-日6717
	歌-日5649	日は出でぬつつましく対ふ朝餐に	感謝の朝夕	書184	曲-日1588
	歌-日5650	日は暮れて道猶遠し	我が駒	書374	曲-日7368
	歌-日5651	琵琶湖を渡る朝風に	新鉄道唱歌 [琵琶湖を渡る朝風に]	書221	曲-日3315
	歌-日5652	日は三竿の影たけて	八月十日の海戦	書166 書255	曲-日5356
	歌-日5653	日は眠る暗の足音地にあまねし	第二十七回記念祭歌(6年中)	書386	曲-日4000
	歌-日5654	びはのうみべのなごころを	近江八景 [びはのうみべのなごころを]	書165	曲-日852
	歌-日5655	琵琶の形に似たりとて	近江八景 [琵琶の形に似たりとて]	書210	曲-日856
	歌-日5656	日は早落ち	夕べ [日は早落ち]	書232	曲-日6975
	歌-日5657	日は早や西に [楽しき我家]	楽しき我家 [日は早や西に]	書281	曲-日4234
	歌-日5658	日は早や西に入相の [ホーヘンリンデン合戦]	ホーヘンリンデン合戦	書287	曲-日6151
	歌-日5659	日は早や西に入相の [ホーヘンリンデンの戦争の歌]	ホーヘンリンデンの戦争の歌	書303	曲-日6152
	歌-日5660	びんのほつれはまくらの科よ	びんのほつれはまくらの科よ	書363	曲-日5829
	歌-日5661	ピンバンピンバン	祭の夜	書232	曲-日6339
歌-日5662	ひんひんどーどーひんどーどー	大きな御馬	書79	曲-日876	
ふ	歌-日5663	ファルススタッフェレル	ファルススタッフェレル	書232	曲-日5830
	歌-日5664	風義もいよ厚くして	本業都弾正村歌	書253	曲-日6672
	歌-日5665	ふうきもえいぐわもただひととき	町田大尉	書166	曲-日6305
	歌-日5666	風船玉ふけば	風船玉 [風船玉ふけば]	書17	曲-日5835
	歌-日5667	フウフウフウ	紙風船 [フウフウフウ]	書267	曲-日1458
	歌-日5668	フウフウ吹けば	シャボンダマ [フウフウ吹けば]	書222	曲-日2995
	歌-日5669	プーラプラプーラ	象 [プーラプラプーラ]	書267	曲-日3646
	歌-日5670	風鈴さんが	風鈴 [風鈴さんが]	書315	曲-日5838
	歌-日5671	風鈴ちりちり鳴りました	風鈴 [風鈴ちりちり鳴りました]	書117	曲-日5839
	歌-日5672	笛の音迷ふ波の上	第二十回記念祭歌	書386	曲-日4047
	歌-日5673	笛の音も	保昌 [笛の音も]	書159	曲-日6779
	歌-日5674	笛や太鼓にさそはれて	里ごころ	書40 書54 書60	曲-日2728
	歌-日5675	深さをはかれば海も及ばず	慈善 [深さをはかれば海も及ばず]	書122	曲-日2906
	歌-日5676	深志の城の老松に	信濃唱歌	書298	曲-日2943
	歌-日5677	鑓鑓	鑓と小兒	書138	曲-日5848
	歌-日5678	吹かれて靡く萩の花	秋風 [吹かれて靡く萩の花]	書310	曲-日95

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ふ	歌-日5679	吹かれて藤くよ見渡す限り	豊年 [吹かれて藤くよ見渡す限り]	書146 書148 書161 書166	曲-日6124
	歌-日5680	吹きくる風には	潮干狩 [吹きくる風には]	書166 書175	曲-日2835
	歌-日5681	ふきくるかぜのすずしくて	春 [ふきくるかぜのすずしくて]	書165	曲-日5526
	歌-日5682	吹き来る東風の	熱海の海岸	書108	曲-日284
	歌-日5683	ふききるおほ風	漁父	書166 書176	曲-日1859
	歌-日5684	吹き出す喇叭の	分列式	書92	曲-日6032
	歌-日5685	ふきてもみよやたなばただけの	わが笛	書166	曲-日7395
	歌-日5686	ふきなす笛のその音も [ふきなす笛]	ふきなす笛	書103 書165 書200 書287 書303 書376 書383	曲-日5849
	歌-日5687	吹きなす笛のその音も [送葬歌]	送葬歌	書46	曲-日3666
	歌-日5688	ふきなすらつばは	吹なす喇叭	書166	曲-日5850
	歌-日5689	吹き巻く嵐山を裂き	野戦 [吹き巻く嵐山を裂き]	書118	曲-日6790
	歌-日5690	吹き巻く風はかほをさき	哀れの少女	書47 書60 書166 書169 書337	曲-日387
	歌-日5691	ふきまく吹雪はあとなくなごみて	雪のあした [ふきまく吹雪はあとなくなごみて]	書52	曲-日7043
	歌-日5692	吹き巻く炎に	笠置山 [吹き巻く炎に]	書283	曲-日1300
	歌-日5693	福井県下の大飯郡	大飯郡青郷村歌	書253	曲-日867
	歌-日5694	吹く風薫る春の日も	佐波郡伊勢崎町の歌	書253	曲-日2772
	歌-日5695	吹く風しづかに波なきタベ	一葉の舟 [吹く風しづかに波なきタベ]	書185	曲-日5735
	歌-日5696	吹く風しづかに霞める野山	菜の花 [吹く風しづかに霞める野山]	書309	曲-日4958
	歌-日5697	吹く風涼し	遠足の歌 [吹く風涼し]	書215	曲-日802
	歌-日5698	吹く風も浪も人の心を知らずや	屋島の賦	書223	曲-日6769
	歌-日5699	吹く風やどる松の門に	初冬読書	書122 書165	曲-日3235
	歌-日5700	吹く川風の身にしみて	千鳥 [吹く川風の身にしみて]	書303	曲-日4357
	歌-日5701	吹く木枯に橄欖の	第四十二回記念祭歌 [吹く木枯に橄欖の]	書386	曲-日4089
	歌-日5702	福知山さん	ドツイシヨ節	書368	曲-日4775
	歌-日5703	福知山出て長田野越えて	福知山音頭	書363 書385	曲-日5857
	歌-日5704	吹くや木枯	枯木立	書201 書202	曲-日1511
	歌-日5705	吹くよ朝風涼しく吹くよ	朝風 [吹くよ朝風涼しく吹くよ]	書136 書138	曲-日210
	歌-日5706	ふくれるふくれるしゃぼんだま	しゃぼんだま [ふくれるふくれるしゃぼんだま]	書54 書266	曲-日2996
	歌-日5707	吹けそよそよ吹け春風よ	春風 [吹けそよそよ吹け春風よ]	書47 書54 書60 書69 書138	曲-日5550
	歌-日5708	更けて汽笛の東京駅はヨ	東京甚句	書385	曲-日4657
	歌-日5709	ふけばふくれるしゃぼんだま	しゃぼんだま [ふけばふくれるしゃぼんだま]	書54	曲-日2997
	歌-日5710	吹け吹け野わけ	野分	書86	曲-日5297
	歌-日5711	更け行く秋の夜旅の空の	旅愁 [更け行く秋の夜旅の空の]	書2 書54 書174 書281	曲-日7265
	歌-日5712	ふけゆくかねのね [亡妹]	亡妹	書54	曲-日6133
	歌-日5713	更け行く鐘の音 [故小妹]	故小妹	書28 書100	曲-日2424
	歌-日5714	更けゆく夜半の	静けき夜半	書60 書350	曲-日2903
	歌-日5715	更け渡る秋の夜	秋のあはれ [更け渡る秋の夜]	書165 書176	曲-日114
	歌-日5716	武香が岡に春長けて	第十五回記念祭歌(38年)	書386	曲-日3876
	歌-日5717	吹こか横笛今宵の月に	故郷の母	書373	曲-日6012
	歌-日5718	ふさふさみのる秋の田の	利鎌の光	書317	曲-日4718
	歌-日5719	父子親あり	五倫の歌	書67 書151 書153	曲-日2581
	歌-日5720	富士の白雪ノーエ	さいさい節(富士の白雪 農兵節)	書385	曲-日2616
	歌-日5721	富士の裾野にふる雨は	曾我復讐 [富士の裾野にふる雨は]	書166	曲-日3700
	歌-日5722	富士の裾野の雨降る夜中	曾我兄弟 [富士の裾野の雨降る夜中]	書60	曲-日3693
	歌-日5723	富士の裾野の狩りの庭	曾我兄弟 [富士の裾野の狩りの庭]	書225	曲-日3696
	歌-日5724	富士の裾野の白雪は	富士の裾野 [富士の裾野の白雪は]	書164 書166	曲-日5890
	歌-日5725	富士の裾野の御狩場に	曾我兄弟 [富士の裾野の御狩場に]	書303	曲-日3695
	歌-日5726	富士の裾野の夜はふけて	曾我兄弟 [富士の裾野の夜はふけて]	書210	曲-日3697
	歌-日5727	富士のたかねをみよこども	富士の高嶺 [富士のたかねをみよこども]	書102 書165	曲-日5893
	歌-日5728	富士の高嶺に三保ヶ浦	夏海	書28	曲-日4913
	歌-日5729	富士の高峰の高き	第五回記念祭歌(28年南)	書386	曲-日3786
	歌-日5730	ふじのたかねのやまおろし	富士の高嶺 [ふじのたかねのやまおろし]	書166	曲-日5892
	歌-日5731	ふじのたかねはひのもの	新高山	書165	曲-日5017
	歌-日5732	藤の紫影宿す	北諸県郡西嶽村郷土唱歌	書253	曲-日1709
	歌-日5733	富士の山から	竜宮踊り	書274	曲-日7238
	歌-日5734	富士の山けだかく	三保の松原	書309	曲-日6513
	歌-日5735	ふじはよい山	ふじはよい山 [ふじはよい山]	書54 書159 書160	曲-日5898
歌-日5736	不仁が嶺にたたなびく	御大礼奉祝歌	書386	曲-日2445	
歌-日5737	武成の昔ありきてふ	第九回記念祭歌(32年東)	書386	曲-日3775	
歌-日5738	ふさうのうみにうかみでし	紀元節 [ふさうのうみにうかみでし]	書165	曲-日1641	
歌-日5739	両親うしなひさびしくらす	みなしご [両親うしなひさびしくらす]	書116	曲-日6485	
歌-日5740	ふたたびきみとてをとりかはし	旧友	書54 書225	曲-日1796	
歌-日5741	二つの車	自転車 [二つの車]	書225	曲-日2935	
歌-日5742	二葉の内に刈ざれば	頼朝	書203	曲-日7162	
歌-日5743	二荒の山の	日光 [二荒の山の]	書165 書225	曲-日5052	
歌-日5744	二荒の山下木深き所	日光山	書211 書212	曲-日5053	
歌-日5745	ふたりのおやよりたまひたる	二人の親	書166	曲-日5915	
歌-日5746	ふたりのめしひただすめり	殿様と冠者	書166	曲-日4784	
歌-日5747	不断の流れ文明の	日本大学校歌	書40	曲-日5115	
歌-日5748	二日の間軒下に	熊澤蕃山先生 [二日の間軒下に]	書124	曲-日1960	
歌-日5749	二日経れども	二ナ	書201 書202	曲-日5072	
歌-日5750	ふつてもつても	がくかうの門	書159 書160	曲-日1388	
歌-日5751	ブツブツブツブツブツ喇叭は響く	訓練 [ブツブツブツブツブツ喇叭は響く]	書380	曲-日4417	
歌-日5752	葡萄の美酒の	第四高等学校北辰会の歌	書252	曲-日3852	
歌-日5753	船坂山や杉坂と	児島高德 [船坂山や杉坂と]	書54 書60 書211 書212	曲-日2407	
歌-日5754	フナデニフクル	故郷を思ふ	書257	曲-日2329	
歌-日5755	船にある平家は	八島合戦	書312	曲-日6767	
歌-日5756	船にのりて川を下る	舟にのりて	書85	曲-日5943	
歌-日5757	艦は蜂巣と成ば成れ	軍艦戦闘 [艦は蜂巣と成ば成れ]	書118	曲-日2037	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ふ	歌-日5758	ふねもふなこもいりうみに	短艇競争 [ふねもふなこもいりうみに]	書166	曲-日4308
	歌-日5759	船は出づるよ遠き海路に	さらばナポリ	書269	曲-日2763
	歌-日5760	船は新造で	シヨカね節	書368	曲-日3203
	歌-日5761	舟は新調で船頭さんは若い [船頭唄]	船頭唄	書256	曲-日3625
	歌-日5762	船は新調で船頭さんは若い [船頭歌]	船頭歌 [船は新調で船頭さんは若い]	書40	曲-日3628
	歌-日5763	船は新調で船頭さん若い	船頭歌 [船は新調で船頭さん若い]	書2 書31	曲-日3629
	歌-日5764	船はちゃんころ	いそぶし [船はちゃんころ]	書368	曲-日451
	歌-日5765	船は帆船よ三本マスト	船は帆船よ	書191	曲-日5945
	歌-日5766	ふぶきあれし風も死して	冬夜読書	書312	曲-日4703
	歌-日5767	吹雪にかすむ	我れらも国のため	書183	曲-日7490
	歌-日5768	吹雪の中の奮闘苦戦	奉天会戦	書60 書333	曲-日6112
	歌-日5769	吹雪のふく日はほんに辛い	山岳部歌	書387	曲-日2783
	歌-日5770	吹雪は狂ひてよるは更く	旅順の夜襲	書248	曲-日7278
	歌-日5771	武夫原頭に	第五高等学校寮歌 [武夫原頭に]	書252	曲-日3795
	歌-日5772	ふまれてもねづよくしのべ	忍べ	書165	曲-日2957
	歌-日5773	書に見し山	修学旅行 [書に見し山]	書231	曲-日3012
	歌-日5774	書にも敏く	親の愛	書54 書282	曲-日1082
	歌-日5775	書のしらべ	食事の鐘	書92	曲-日3211
	歌-日5776	文の林の奥深く	紫式部 [文の林の奥深く]	書28	曲-日6588
	歌-日5777	ふみのはやしのはなのかけ	教師を送る	書164	曲-日1812
	歌-日5778	文の林は深けれど	修学習業 [文の林は深けれど]	書227	曲-日3010
	歌-日5779	書の窓に	故郷 [書の窓に]	書282	曲-日6007
	歌-日5780	状箱を封ずるこより細けれど	酒井忠勝	書124 書165	曲-日2634
	歌-日5781	ふみやぶる千山万嶽のけぶり	児島高德詩題桜樹園	書166	曲-日2411
	歌-日5782	ふみよむ人の二つなき	文読む人	書146 書165	曲-日5949
	歌-日5783	ふみよむまどのふゆのよに	雪堂	書165	曲-日7058
	歌-日5784	ふむ足やくる夏の日も	北白川能久親王殿下	書164 書169	曲-日1708
	歌-日5785	麓路こむる	山村掃牧	書159	曲-日2804
	歌-日5786	ふもとに雲ぞかりける [富士の山]	富士の山 [ふもとに雲ぞかりける]	書161 書165	曲-日5900
	歌-日5787	麓に雲ぞかりける [富士山]	富士山	書151 書153 書225 書226	曲-日5867
	歌-日5788	ふもとのみちはかはれども	同窓会の歌	書165	曲-日4683
	歌-日5789	麓も峯も	吉野山 [麓も峯も]	書283	曲-日7143
	歌-日5790	武勇を励みて	武士道	書333	曲-日5884
	歌-日5791	武勇はならぶものもなく	加藤清正 [武勇はならぶものもなく]	書68	曲-日1407
	歌-日5792	冬が来た冬が来た	冬が来た [冬が来た冬が来た]	書116	曲-日5960
	歌-日5793	ふゆがれしらずとどしに	松竹梅	書166	曲-日3153
	歌-日5794	ふゆそらはれてあきかぜふき	故郷の空 [ふゆそらはれてあきかぜふき]	書166	曲-日2336
	歌-日5795	冬の夜ぞ更けゆき	寒けき夜	書350	曲-日2750
	歌-日5796	冬の夜の	冬 [冬の夜の]	書265	曲-日5957
	歌-日5797	冬は過ぎたり	冬は過ぎたり	書232	曲-日5979
	歌-日5798	冬は往きて	冬往きて	書232	曲-日5978
	歌-日5799	芙蓉の水	新正気歌	書29	曲-日3306
	歌-日5800	芙蓉の峯に雪映えて	嘯雲寮寄贈歌	書386	曲-日3107
	歌-日5801	芙蓉峰万古に崇く	修養会の歌	書28	曲-日3056
	歌-日5802	プラットホームにひとあしげく	汽車 [プラットホームにひとあしげく]	書165 書166	曲-日1661
	歌-日5803	ぶらんここぎませう	ぶらんこ [ぶらんここぎませう]	書116	曲-日5986
	歌-日5804	ブランコブランコ	ブランコ [ブランコブランコ]	書266	曲-日5987
	歌-日5805	フリージアフリージアゆかしい香の	フリージア	書54	曲-日5989
	歌-日5806	降りくる時は鳥の羽	福島中佐を迎ふる歌	書287	曲-日5855
	歌-日5807	ふりさけ見れば白雲を	わが家 [ふりさけ見れば白雲を]	書60	曲-日7404
	歌-日5808	ふりさけみれば月花の	雪 [ふりさけみれば月花の]	書161	曲-日7000
	歌-日5809	降りしく雪に	「ボチ」が墓	書121	曲-日6226
	歌-日5810	降りしく雪の球簾	清少納言 [降りしく雪の球簾]	書270	曲-日3513
	歌-日5811	ふりつむゆきにふみのまど	寄梅詠菅公	書165	曲-日1748
	歌-日5812	ふりつむゆきのあけぼのに	降りつむ雪	書165	曲-日5991
	歌-日5813	ふりつむ雪の大道へ	雪達摩 [ふりつむ雪の大道へ]	書203	曲-日7034
	歌-日5814	降り積る雪を凌ぎて咲く梅は [雪中の梅]	雪中の梅 [降り積る雪を凌ぎて咲く梅は]	書166 書217	曲-日3583
	歌-日5815	振りつもる雪を凌ぎて咲く梅は [雪中の梅松]	雪中の梅松	書225 書309	曲-日3584
	歌-日5816	古りにし薔苳むせど	楽し我家 [古りにし薔苳むせど]	書60	曲-日4240
	歌-日5817	ふりにしみちをふみわけて	茸狩	書120 書165	曲-日1741
	歌-日5818	ふりにし雪のあと絶えて	試筆	書166 書122	曲-日2965
	歌-日5819	奮ひ進めや神州男児	進取の歌 [奮ひ進めや神州男児]	書28	曲-日3299
	歌-日5820	奮るひすすめや日本男児	進取の歌 [奮るひすすめや日本男児]	書28	曲-日3300
	歌-日5821	奮へをなごら	奮へをなごら	書350	曲-日5995
	歌-日5822	奮え女子いざ奮え	奮へをみなご	書60	曲-日5996
	歌-日5823	ふるえにさける秋萩の花はむかしに変わねど	夢の内	書303	曲-日7086
	歌-日5824	旧き星伝統の丘に	第四十二回記念祭歌 [旧き星伝統の丘に]	書386	曲-日4087
	歌-日5825	古き都の国府町	名東郡国府町唱歌	書253	曲-日6534
	歌-日5826	ふるき都の宮人の	紅葉 [ふるき都の宮人の]	書28	曲-日6684
	歌-日5827	古き歴史に	サハラの大沙漠	書333	曲-日2743
	歌-日5828	古鞋くはへてえたりがおに	子犬 [古鞋くはへてえたりがおに]	書134	曲-日2172
	歌-日5829	故郷いそぐ	夕の鐘 [故郷いそぐ]	書283	曲-日6979
	歌-日5830	故郷こひしや	旅の夢	書353	曲-日4259
	歌-日5831	ふるさとの歌の調べに	第四十一回記念祭寄贈歌	書386	曲-日4082
	歌-日5832	ふるさとの小野の木立に	ふるさとの	書317 書347	曲-日6010
	歌-日5833	ふる里の母恋し	母恋し	書317	曲-日5486
	歌-日5834	古巢にこもる	夏 [古巢にこもる]	書46	曲-日4895
	歌-日5835	降るとも見えし春の雨	四季の雨 [降るとも見えし春の雨]	書60 書213 書214	曲-日2847
	歌-日5836	降る降る小雨こぬか雨	降る降る小雨	書358	曲-日6018

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号	
ふ	歌-日5837	降る降る降る	雪 [降る降る降る]	書266	曲-日7008	
	歌-日5838	降る降る夕立	夕立 [降る降る夕立]	書207	曲-日6956	
	歌-日5839	ふるふるゆきが	雪 [ふるふるゆきが]	書54 書205 書222	曲-日7001	
	歌-日5840	降る箭の雨にわが乗り馬の	畠山重忠	書312	曲-日5351	
	歌-日5841	ふるゆきをしのぎしぎて	梅松 [ふるゆきをしのぎしぎて]	書165	曲-日716	
	歌-日5842	降る雪の中に	白梅	書225	曲-日5319	
	歌-日5843	ふるよふるよろれしきゆき	雪の日 [ふるよふるよろれしきゆき]	書54	曲-日7051	
	歌-日5844	旧れば褪せなむ色香	マルールに寄す	書232	曲-日6388	
	歌-日5845	ふればちりりんぎんのすず	銀の鈴	書54	曲-日1895	
	歌-日5846	ふれふれあめよふれふれあめよ	命の雨	書166	曲-日517	
	歌-日5847	降れ降れ雨よ都の雨よ	雨 [降れ降れ雨よ都の雨よ]	書208	曲-日325	
	歌-日5848	ふれふれふれよあられ	霰 [ふれふれふれよあられ]	書52	曲-日360	
	歌-日5849	ふれふれゆきつもれや雪	ふれふれ雪	書28	曲-日6019	
	歌-日5850	ふれふれ雪よふれ雪よ	雪 [ふれふれ雪よふれ雪よ]	書27 書47 書60 書174 書205	曲-日7002	
	歌-日5851	ふれやふれやおほあめこあめ	あめ [ふれやふれやおほあめこあめ]	書79	曲-日320	
	歌-日5852	降れや降れや小篠の上に	雪 [降れや降れや小篠の上に]	書223	曲-日7009	
	歌-日5853	ぶはわがくにのひかりなり	尚武 [ぶはわがくにのひかりなり]	書166	曲-日3174	
	歌-日5854	文永弘安いく回か	元寇記念の歌	書216	曲-日2142	
	歌-日5855	フンスイフンスイ	ふんすい [フンスイフンスイ]	書51	曲-日6023	
	歌-日5856	ぶんぶすぐれしますらをも	平忠度	書165	曲-日4099	
	歌-日5857	ぶんぶんぶん蜂が鳴く	蜜蜂 [ぶんぶんぶん蜂が鳴く]	書60 書201 書202	曲-日6473	
	歌-日5858	ブンブンブン [蜜蜂]	蜜蜂 [ブンブンブン]	書60 書267	曲-日6472	
	歌-日5859	ブンブンブン [蜂]	蜂 [ブンブンブン]	書68	曲-日5355	
	歌-日5860	文明開化にさはられて今はさしたる大火事も	蒸汽ポンプ	書375	曲-日3120	
	歌-日5861	文明開化の今日は	自転車 [文明開化の今日は]	書203	曲-日2936	
	歌-日5862	文明の花	征討軍歌	書215	曲-日3522	
	へ	歌-日5863	ベアトリ姉ちやんまだ寝ねかい	歌劇小唄 ベアトリ姉ちやん	書11	曲-日1276
		歌-日5864	へいけはなみまにふねをうかべ	源平 [へいけはなみまにふねをうかべ]	書165	曲-日2161
		歌-日5865	平砂の北に吹雪して	第十五回記念祭歌(38年南)	書386	曲-日3881
		歌-日5866	平治の戦 [源義経]	源義経 [平治の戦]	書138	曲-日6502
		歌-日5867	へいちのいくさにへいしをはげまし [平重盛]	平重盛 [へいちのいくさにへいしをはげまし]	書68 書166	曲-日4095
		歌-日5868	兵士の行進勇しや	兵士 [兵士の行進勇しや]	書232	曲-日6036
歌-日5869		平和を語らふみ空の星影	平和 [平和を語らふみ空の星影]	書223	曲-日6062	
歌-日5870		平和の心よ	平和の歌	書345	曲-日6064	
歌-日5871		平和の小鳩飛び交ひて	日本産業の歌(二)	書239	曲-日5099	
歌-日5872		平和の光輝ける	昭和六年度祭歌	書77	曲-日3194	
歌-日5873		平和平和とうとしや	平和 [平和平和とうとしや]	書281	曲-日6063	
歌-日5874		ペーペー黒羊	ペーペーくろひつじ	書17	曲-日6066	
歌-日5875		碧空すみて霜は光	蹴球部東征之歌(大正6年)	書387	曲-日3016	
歌-日5876		碧蹄館外明軍来襲す	碧蹄館	書165	曲-日6067	
歌-日5877		へきれきてんちをくつがへし [霹靂天]	霹靂天	書166	曲-日6068	
歌-日5878		霹靂天地を覆し [軍艦戦闘]	軍艦戦闘 [霹靂天地を覆し]	書118	曲-日2062	
歌-日5879		べつたらべつたらおもちつき	お餅つき	書54	曲-日1066	
歌-日5880		ペッタンコ	餅搗 [ペッタンコ]	書267	曲-日6668	
歌-日5881		べつたんべつたんお餅つき	餅つき [べつたんべつたんお餅つき]	書190	曲-日6665	
歌-日5882		べにをのポックリよいかっこ	紅緒のポックリ	書27	曲-日6076	
歌-日5883		紅の血を水の上にかめて	水の草	書88	曲-日6448	
歌-日5884		紅屋で娘のいふことには	春の月 [紅屋で娘のいふことには]	書2	曲-日5614	
歌-日5885		紅屋の娘のいふことには	紅屋の娘	書385	曲-日6080	
歌-日5886		鞭声肅肅よるかはをわたる	不識庵撃機山図	書166	曲-日5864	
歌-日5887		片々として	銀世界	書231	曲-日1891	
ほ		歌-日5888	暮靄覆れる桃山に	第二十三回記念祭寄贈歌(2年東大)	書386	曲-日3988
		歌-日5889	暴威を以て下を馭す人は此世の鬼なるぞ	テニソン氏船将の詩	書303	曲-日4590
	歌-日5890	砲煙闊く空を蔽い	野戦 [砲煙闊く空を蔽い]	書118	曲-日6799	
	歌-日5891	砲煙漲る雲晴れて	軍艦戦闘 [砲煙漲る雲晴れて]	書118	曲-日2056	
	歌-日5892	帽をいざだせただけをらかんとりて	初瀬の最後	書166	曲-日5346	
	歌-日5893	はうきぞーきんちりとりと	そーじ	書94	曲-日3657	
	歌-日5894	はうこたうちうなもたかき	澎湖島	書166	曲-日6096	
	歌-日5895	ホウさすがは	東京の馬	書201 書202	曲-日4659	
	歌-日5896	僧さん誓	よさこい節 [僧さん誓]	書368	曲-日7127	
	歌-日5897	報徳もって教えとし	修身唱歌二宮金次郎	書125	曲-日3040	
	歌-日5898	豊年祭の天気よさ	豊年祭 [豊年祭の天気よさ]	書177	曲-日6128	
	歌-日5899	芳葩爛漫	相撲部応援歌	書18	曲-日3483	
	歌-日5900	暴風轟然海あれて	第十二回記念祭歌(35年北)	書386	曲-日3906	
	歌-日5901	蓬風吼ゆる北海の	桜星会柔道部東征歌	書77	曲-日836	
	歌-日5902	茫々はるかに緑に炎えて	大正十三年祭歌	書77	曲-日3944	
	歌-日5903	ほうほうはたるさん	はたる [ほうほうはたるさん]	書54	曲-日6191	
	歌-日5904	ほうほう虫篠虫	ほうほう虫 [ほうほう虫篠虫]	書54 書117	曲-日6131	
	歌-日5905	芳名今に香しき	小楠公 [芳名今に香しき]	書203	曲-日3157	
	歌-日5906	坊やをのせた	うば車	書315	曲-日664	
	歌-日5907	坊や泣かずにねんねしな	軍国子守唄	書363	曲-日2075	
	歌-日5908	ぼうやのおうちの [ねんねこのうた]	ねんねこのうた	書104	曲-日5219	
	歌-日5909	ぼうやのおうちのかきのきに [ねんねこのうた]	ねんねこのうた [ぼうやのおうちのかきのきに]	書54	曲-日5217	
	歌-日5910	坊や坊や泣くなよ坊や	坊や	書380	曲-日6134	
	歌-日5911	坊や坊よい児の坊や	子守唄 [坊や坊よい児の坊や]	書54	曲-日2555	
	歌-日5912	ぼーやもまけずにはやねむれ	子守唄 [ぼーやもまけずにはやねむれ]	書54	曲-日2551	
	歌-日5913	坊やはいいこだねんねしな	子守唄 [坊やはいいこだねんねしな]	書54	曲-日2552	
	歌-日5914	ぼうやはよいこぢや	子守唄(其一)	書166	曲-日2560	
	歌-日5915	坊やはよいこだねんねよ	子守唄 [坊やはよいこだねんねよ]	書54	曲-日2553	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ほ	歌-日5916	坊やはいこだねんねしな	子守唄 [坊やはいこだねんねしな]	書54 書385	曲-日2554
	歌-日5917	ほうらおひるになりました	おべんとう	書60 書266	曲-日1046
	歌-日5918	投げ出されてころころ転び	おきやがりこぼし	書207	曲-日912
	歌-日5919	吼えろ嵐恐れじ我等	日本国民歌	書31 書239 書241	曲-日5066
	歌-日5920	ホーイホーイ山からホーイ	粉雪の踊り子	書51	曲-日2574
	歌-日5921	ポーガチャドン	きしゃときせん	書104	曲-日1671
	歌-日5922	ほーたるこーい	ほーたるこい	書104	曲-日6147
	歌-日5923	ボートを	のぞみ [ボートを]	書17	曲-日5265
	歌-日5924	ホーホー蛍こい [ほたる]	ほたる [ホーホー蛍こい]	書94 書206 書225	曲-日6192
	歌-日5925	ホーやホーやホ	梅の小枝	書315	曲-日711
	歌-日5926	僕が作った	飛行機の夢	書54 書201 書382	曲-日5712
	歌-日5927	北辰斜めにさすところ	七高開校記念全寮歌	書40	曲-日2929
	歌-日5928	僕のおとうと五郎やん	僕の弟	書207	曲-日6161
	歌-日5929	僕のお伴にジョンがつく	じよん	書60	曲-日3240
	歌-日5930	僕のこさへた水鉄砲	水鉄砲 [僕のこさへた水鉄砲]	書174	曲-日6440
	歌-日5931	ぼくのとなりのかぢやさん	かぢやさん	書54 書104	曲-日1320
	歌-日5932	北満の野に雲低く	寮歌(昭和9年)	書387	曲-日7250
	歌-日5933	僕も行くから君も行け	馬賊の唄 [僕も行くから君も行け]	書11 書385	曲-日5347
	歌-日5934	僕等は	犬と猫 [僕等は]	書201 書202	曲-日505
	歌-日5935	北陸道は富山県	中新川郡西加積村歌	書253	曲-日4952
	歌-日5936	鉾をさめて日の丸上げて	鉾をおさめて	書31 書40 書184 書240	曲-日6166
	歌-日5937	矛を枕に国民が	戦争唱歌	書254	曲-日3621
	歌-日5938	矛取り	富国強兵	書159	曲-日5859
	歌-日5939	暮山万朶の花霞	寮歌(昭和7年)	書387	曲-日7247
	歌-日5940	ほしをばいだだき [山野跋涉]	山野跋涉	書29	曲-日2819
	歌-日5941	星をば戴き [遠足]	遠足 [星をば戴き]	書265	曲-日800
	歌-日5942	星影白く海洋を照らし	サンタ・ルチア	書241 書385	曲-日2806
	歌-日5943	星影まばらに	朝風 [星影まばらに]	書282	曲-日211
	歌-日5944	ほしかとみえてとびゆくほたる	星かと見えて	書166	曲-日6175
	歌-日5945	星が招くよ南進の	南進乙女の歌	書179	曲-日5003
	歌-日5946	星くづ淡く消えゆけり	黎明勤労の歌	書238 書317	曲-日7296
	歌-日5947	ほしのかげうすれ	森の朝夕	書28	曲-日6714
	歌-日5948	星の影なき冬の川辺に	千鳥 [星の影なき冬の川辺に]	書28 書100	曲-日4358
	歌-日5949	星のひかりキラキラ	星のひかり [星のひかりキラキラ]	書116	曲-日6178
	歌-日5950	星の水泡をわけてゆく	三日月	書2	曲-日6408
	歌-日5951	星まだみ空にのこれるあした	勉学	書310	曲-日6081
	歌-日5952	ほづつこづつときのこえ	平城の戦	書166	曲-日6051
	歌-日5953	火筒の響遠ざかる	赤十字の歌(婦人従軍歌)	書385	曲-日3571
	歌-日5954	菩提の山に昇る日の	粟井村歌(其の二)	書253	曲-日381
	歌-日5955	ポタリ [落ち葉]	落ち葉 [ポタリ]	書47	曲-日957
	歌-日5956	ポタリ地の上に [落椿]	落椿	書60 書201 書202	曲-日955
	歌-日5957	蛍を集めて学びし窓の	同窓会 [蛍を集めて学びし窓の]	書312	曲-日4682
	歌-日5958	蛍をあつめ雪を積む	送別の歌 [蛍をあつめ雪を積む]	書165 書226	曲-日3683
	歌-日5959	ほたる来い [蛍狩]	蛍狩 [ほたる来い]	書201 書382	曲-日6212
	歌-日5960	ホタルコイコイ [ホタルコイコイ]	ホタルコイコイ	書171	曲-日6215
	歌-日5961	ほたるこいこいあまいみづやろぞ	ほたる [ほたるこいこいあまいみづやろぞ]	書166	曲-日6193
	歌-日5962	ほたるこいほたるこい	蛍 [ほたるこいほたるこい]	書68 書165	曲-日6194
	歌-日5963	ほたるこよや	蛍 [ほたるこよや]	書222	曲-日6200
	歌-日5964	蛍の学校がはじまつた	蛍の学校	書60	曲-日6219
	歌-日5965	ほたるのちようちんひかつてる	蛍の提灯	書54	曲-日6220
	歌-日5966	ほたるのひかりまどのゆき [蛍]	蛍 [ほたるのひかりまどのゆき]	書132 書138 書139 書151 書153 書161 書165 書170	曲-日6201
	歌-日5967	ほたるのひかりまどのゆき [蛍の光]	蛍の光	書40 書47 書54 書67 書164 書225 書337	曲-日6221
	歌-日5968	蛍のやどは川ばた楊	蛍 [蛍のやどは川ばた楊]	書209	曲-日6203
	歌-日5969	ほたるほたる [ほたるほたる]	ほたるほたる	書60 書87 書166	曲-日6222
	歌-日5970	ほたるほたる [蛍狩]	蛍狩 [ほたるほたる]	書180	曲-日6211
	歌-日5971	蛍蛍暮かかると	蛍 [蛍蛍暮かかると]	書60	曲-日6196
	歌-日5972	蛍蛍やここにきて	蛍 [蛍蛍やここにきて]	書60	曲-日6205
	歌-日5973	ほたるもゆきもなにかせん	勧学の歌 [ほたるもゆきもなにかせん]	書165	曲-日1557
	歌-日5974	蛍も雪も光はあれど	蛍も雪も	書46 書54 書146	曲-日6223
	歌-日5975	蛍もよるをてらすなり	心の玉	書121	曲-日2388
	歌-日5976	蛍よ蛍よ飛べほたる	沢辺のほたる	書28	曲-日2776
	歌-日5977	蛍よほたるぬばたまの	蛍 [蛍よほたるぬばたまの]	書217	曲-日6204
	歌-日5978	ほたるよほたるよくまにかがやく	蛍狩 [ほたるよほたるよくまにかがやく]	書166	曲-日6208
	歌-日5979	ほたるよほたるよとびこよほまる	暗夜の光	書166	曲-日392
	歌-日5980	ポチャポチャ来たれ	愛犬	書336	曲-日15
	歌-日5981	ぼちゃんとおちしいけのなか	蟻と鳩	書124	曲-日374
	歌-日5982	北海遠く潮風きて	四高寮歌	書40	曲-日7186
	歌-日5983	北海波は	高田屋嘉兵衛 [北海波は]	書138	曲-日4127
	歌-日5984	渤海湾上波騒ぎ	征露軍歌 [渤海湾上波騒ぎ]	書16	曲-日3547
	歌-日5985	渤海湾頭月白し帝国艦体影黒し	軍艦戦闘 [渤海湾頭月白し帝国艦体影黒し]	書118	曲-日2060
	歌-日5986	ほづつのとどろき	露営の夢 [ほづつのとどろき]	書166 書335 書393	曲-日7318
	歌-日5987	火筒の響き [婦人従軍]	婦人従軍	書225	曲-日5906
	歌-日5988	ほづつのひびきとほざかる [婦人従軍の歌]	婦人従軍の歌	書169	曲-日5908
	歌-日5989	火筒の響き遠ざかる [婦人従軍歌]	婦人従軍歌	書166 書216 書304 書305 書337	曲-日5907
	歌-日5990	火砲の雷なり矢玉の雨ふる	火砲の雷	書54 書138 書166 書284 書365	曲-日6232
	歌-日5991	ホッフマンホッフマン	ホッフマンとホーフマン	書232	曲-日6233
	歌-日5992	ぼつぼつぼ	鳩 [ぼつぼつぼ]	書207	曲-日5386
	歌-日5993	程遠からぬ旅だにも	遠別離	書165 書279	曲-日4716
	歌-日5994	ほととぎす足音きいて	ほととぎす [ほととぎす足音きいて]	書78	曲-日6235

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ほ	歌-日5995	杜鵑空を斜に	夏の曙 [杜鵑空を斜に]	書28	曲-日4908
	歌-日5996	ほととぎすなのる	春の怨	書54 書281	曲-日5595
	歌-日5997	ほのかにくゆる	春夜曲	書257	曲-日5655
	歌-日5998	ほのかにほのかに	月の出	書257	曲-日4474
	歌-日5999	ほの暗き	霞 [ほの暗き]	書282	曲-日361
	歌-日6000	ほのほのあくすまのうら	須磨の浦 [ほのほのあくすまのうら]	書165	曲-日3461
	歌-日6001	ほのほのあくみそらの	春潮	書27	曲-日3101
	歌-日6002	ほのほの明けゆく東の空に	朝日夕日	書27 書60	曲-日247
	歌-日6003	仄仄と朝明けにけり	第三十八回記念祭歌 [仄仄と朝明けにけり]	書386	曲-日3830
	歌-日6004	ほのぼのと夜あけの野ばら	野薔薇の歌	書317	曲-日5279
	歌-日6005	ホホホおかしや	笑の輪唱 [ホホホおかしや]	書232	曲-日7472
	歌-日6006	ほほ蜚来い [蜚がり]	蜚がり	書60	曲-日6210
	歌-日6007	ほほほたるこいおこしにちょうちん	ほたるの歌	書54	曲-日6218
	歌-日6008	ほほほたるこいこいこいみづをやる	蜚狩 [ほほほたるこいこいこいみづをやる]	書54	曲-日6213
	歌-日6009	ほほほたるほしのよなほたる	ほたる [ほほほたるほしのよなほたる]	書17	曲-日6195
	歌-日6010	ホホホホ汝等が崇める	拒絶	書232	曲-日1853
	歌-日6011	ほまれのたかいかひばらせんせい	貝原益軒 [ほまれのたかいかひばらせんせい]	書124	曲-日1194
	歌-日6012	ほまれのたかいにほんのへいし	兵隊 [ほまれのたかいにほんのへいし]	書68 書165	曲-日6056
	歌-日6013	讃めよ歌へよ我が大御代を	国民の歌	書326	曲-日2365
	歌-日6014	ほろびのうちより	潔めて満たせよ	書70 書71	曲-日1862
	歌-日6015	ほろぶるものすくはれて	亡ぶる者救はる	書70 書71	曲-日6248
	歌-日6016	ほろほろほるとやさしい声で	鳩のうた	書60	曲-日5391
歌-日6017	盆ぢや盆ぢやと今日明日ばかり	下総盆踊り唄	書363	曲-日2974	
歌-日6018	ほんのさらへのすみたるのちは	本のさらへ	書166	曲-日6255	
歌-日6019	ほんのり紅い	紙人形	書60	曲-日1449	
歌-日6020	ぼんぼりに灯を入るとて	雛祭の宵	書85	曲-日5743	
歌-日6021	ポンポンポン [ピアノ]	ピアノ	書266	曲-日5682	
歌-日6022	ポンポンポンポン [餅つき]	餅つき [ポンポンポンポン]	書225	曲-日6666	
ま	歌-日6023	毎朝毎朝	朝顔 [毎朝毎朝]	書207	曲-日204
	歌-日6024	前へ進め	兵隊 [前へ進め]	書60 書159	曲-日6057
	歌-日6025	前に祖先の歴史あり	下都賀郡大宮村歌	書253	曲-日2978
	歌-日6026	前にはそば立つ	行路難	書67 書166 書337	曲-日2300
	歌-日6027	まへの母にも今のにも	松山鏡 [まへの母にも今のにも]	書68 書165	曲-日6334
	歌-日6028	舞へよ	舞踏 [舞へよ]	書159	曲-日5924
	歌-日6029	まがきなる朝顔も	秋は来る	書60	曲-日176
	歌-日6030	籬に朝顔池に蓮	夏の楽しみ [籬に朝顔池に蓮]	書60	曲-日4921
	歌-日6031	まがきににほふきくのはな	菊花	書165	曲-日1628
	歌-日6032	ま垣に乱る小菊は愛らし	小菊	書54 書60	曲-日2325
	歌-日6033	籬のかぎり蔓を伸べし	ゆかしいぢらし	書312	曲-日6992
	歌-日6034	まがきのきくはそのふのはなの	菊 [まがきのきくはそのふのはなの]	書166	曲-日1619
	歌-日6035	まがきの白菊ゆく秋とどめて	籬の菊	書311	曲-日6265
	歌-日6036	真金吹くてふ吉備の園	和気郡山田村統計唱歌	書253	曲-日7435
	歌-日6037	まきの戸ぼそをさよふけて	水鶏 [まきの戸ぼそをさよふけて]	書161	曲-日1899
	歌-日6038	牧場のかた蔭	藁の歌	書28	曲-日3474
	歌-日6039	まきばのまきばの牛牛こうし	牛牛こうし	書117	曲-日618
	歌-日6040	枕のあたりに	緑児	書374	曲-日6481
	歌-日6041	赤心をそめてぞ色にあらはする	博愛慈善 赤十字社の歌	書235	曲-日5313
	歌-日6042	まごころもてうたはん	さらば [まごころもてうたはん]	書54	曲-日2762
	歌-日6043	誠しやかに交りても	良友	書337	曲-日7260
	歌-日6044	まことのため十字架の	十字架の軍旗	書70 書71	曲-日3034
	歌-日6045	まことのためにかたかたち	真理のため固く立て	書70 書71	曲-日6278
	歌-日6046	まことの人とぞ御姿をあらはし	Ave Verum Corpus (まことの人)	書100	曲-日6279
	歌-日6047	まことは人の道ぞかし	誠は人の道	書153 書154 書169 書226 書336	曲-日6286
	歌-日6048	まさかりかたいでんたらう	きんたらう [まさかりかたいでんたらう]	書68 書165	曲-日1892
	歌-日6049	まさきくませさきく	送別 [まさきくませさきく]	書230	曲-日3674
	歌-日6050	ましろき富士のけだかさを	愛国の花	書179 書317	曲-日24
	歌-日6051	真白き富士の根緑の江の島 [哀悼の歌]	哀悼の歌	書40	曲-日29
	歌-日6052	真白き富士の根緑の江の島 [真白き富士の根]	真白き富士の根	書1 書385	曲-日6296
	歌-日6053	ましろにみえしゆききえて	春の野 [ましろにみえしゆききえて]	書54 書68 書138 書165	曲-日5621
	歌-日6054	真白の首さしのべて	袂百合	書28	曲-日4274
	歌-日6055	真白の布み空にかけ	滝 [真白の布み空にかけ]	書312	曲-日4146
	歌-日6056	まちはるそのみちは	朋友の道 [まちはるそのみちは]	書165	曲-日6143
	歌-日6057	魔人の呪アルベンの	大正六年祭歌	書77	曲-日3953
	歌-日6058	ますぐにたてよただしくむけよ	真直にたてよ	書161 書165 書379 書381	曲-日6298
	歌-日6059	マストに旭の	東洋照らせ	書46 書166	曲-日4705
	歌-日6060	満州野ほのかに	翁草 [満州野ほのかに]	書359	曲-日906
	歌-日6061	ますみの鏡清くみかき	真澄の鏡	書182	曲-日6300
	歌-日6062	ますみのかかみのかかれるごとく	月 [ますみのかかみのかかれるごとく]	書116	曲-日4455
	歌-日6063	ますらをいさみて	岩を守れ	書70 書71	曲-日4820
	歌-日6064	ますらをを事しありなばひきしほる	義勇奉公	書102 書165	曲-日1795
	歌-日6065	ますらたけをと生い立ちて	入堂を送る	書211 書212	曲-日5145
	歌-日6066	またあふまでかみきみといまし	神君といまさん	書70 書71	曲-日1441
	歌-日6067	まだ明けぬ浜に出でて	静けき浜	書223	曲-日2897
歌-日6068	未だ明やらぬ東雲に	抜刀隊 [未だ明やらぬ東雲に]	書118	曲-日5374	
歌-日6069	まだうすぐらいよあけどき	むら雀	書27	曲-日6591	
歌-日6070	まだうらわかき暁の	第二十四回記念祭寄贈歌 (3年九大)	書386	曲-日4025	
歌-日6071	まだかぜさむきやまみちを	春のつかひ	書166	曲-日5612	
歌-日6072	またたくひまにもせんりをはしり	電報遊	書166	曲-日4634	
歌-日6073	瞬間にはやまをおほひ	雲 [瞬間にはやまをおほひ]	書138 書153 書154 書166 書225 書226	曲-日1968	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ま	歌-日6074	またたく星 [わが友]	わが友 [またたく星]	書232	曲-日7379
	歌-日6075	またたく星影次第に消えて	朝の歌 [またたく星影次第に消えて]	書211 書212	曲-日229
	歌-日6076	まだ年若きその内は	少年の戒	書203	曲-日3169
	歌-日6077	まだほの聞き青葉の風	夏の曙 [まだほの聞き青葉の風]	書54	曲-日4906
	歌-日6078	真珠をそそぎ白銀を	舞踏 [真珠をそそぎ白銀を]	書60	曲-日5923
	歌-日6079	まだ見ぬ国の動物を	動物園 [まだ見ぬ国の動物を]	書225	曲-日4697
	歌-日6080	またれし其日も	帰省 [またれし其日も]	書282	曲-日1688
	歌-日6081	待ちし我等の運動会	運動会 [待ちし我等の運動会]	書60	曲-日751
	歌-日6082	街ちたるやすみは	休日のたのしみ	書29	曲-日1788
	歌-日6083	待ちにぞ待ちたる	わが身の幸	書180	曲-日7400
	歌-日6084	待ちに待ちし郭公	郭公 [待ちに待ちし郭公]	書312	曲-日6238
	歌-日6085	まちにまちたる運動会	運動会 [まちにまちたる運動会]	書227	曲-日749
	歌-日6086	まちにまつた僕たちの	鯉のぼり [まちにまつた僕たちの]	書116	曲-日2179
	歌-日6087	町のはづれの電線に	燕 [町のはづれの電線に]	書209	曲-日4508
	歌-日6088	馬車かほかほはしるよ	馬車	書358	曲-日6306
	歌-日6089	待ち侘びぬ	母の心 [待ち侘びぬ]	書202	曲-日5496
	歌-日6090	松青く砂白く風かをる磯に	海のけしき	書262	曲-日686
	歌-日6091	まつがえふくかぜ	御代の恵	書28	曲-日6541
	歌-日6092	松風お山の	春が来る [松風お山の]	書315	曲-日5542
	歌-日6093	松風か夜あらしか [あやし調べ]	あやし調べ	書60	曲-日341
	歌-日6094	松風か夜あらしか [琴の音]	琴の音 [松風か夜あらしか]	書54 書166 書175	曲-日2470
	歌-日6095	松風きよき夕波に	須磨明石 [松風きよき夕波に]	書146 書148 書161 書165	曲-日3459
	歌-日6096	まつかぜにのこるひびきや	古き跡	書166	曲-日5998
	歌-日6097	松風よ松風よ稍高く	松風	書116	曲-日6308
	歌-日6098	松子の山の名も高く	賀茂郡賀永村歌	書253	曲-日1470
	歌-日6099	まつたかきえだもつらなるはとのみね	弓八幡	書166	曲-日7076
	歌-日6100	松にぞのこれる秋のしらべ	冬の歌 [松にぞのこれる秋のしらべ]	書161	曲-日5966
	歌-日6101	松には風だに	告別 [松には風だに]	書165 書185	曲-日2354
	歌-日6102	松のあらしに	古戦場 [松のあらしに]	書110	曲-日2438
	歌-日6103	まつのかえだにこしかけた	お月さま [まつのかえだにこしかけた]	書54	曲-日968
	歌-日6104	松のこかげに	松の木蔭	書151 書153 書161	曲-日6323
	歌-日6105	まつのごずえにひなづるの	松の梢	書169	曲-日6324
	歌-日6106	松のみどりも春くればかわらぬいろもひとしおに	松のみどり	書142	曲-日6327
	歌-日6107	松原遠く消ゆるところ	海 [松原遠く消ゆるところ]	書47 書60 書211 書212	曲-日673
	歌-日6108	松ふく風か	蝉 [松ふく風か]	書225	曲-日3601
	歌-日6109	松吹く風の音も絶えて	森の小鳥 [松吹く風の音も絶えて]	書54 書241	曲-日6723
	歌-日6110	まつふくかぜもしづまりて	携衣	書166	曲-日4643
	歌-日6111	松ふく風はここにしみておもへばあはれ	墳墓	書153 書154 書165	曲-日6030
	歌-日6112	祭の旗ひらひらと	村の祭	書257	曲-日6601
	歌-日6113	松はおい来て梅はとび	菅公 [松はおい来て梅はとび]	書303	曲-日1579
	歌-日6114	松は緑に砂白く	須磨明石 [松は緑に砂白く]	書54 書93 書138 書225	曲-日3458
	歌-日6115	待てど出て来ず夜は更け渡る	小原節(其の二)	書363	曲-日1032
	歌-日6116	窓打つ聲に夢はたえて	旅の歌	書54 書166 書225 書310	曲-日4252
	歌-日6117	まどをあけるとお庭から	朝風 [まどをあけるとお庭から]	書263	曲-日208
	歌-日6118	窓を開ければ港が見える	別れのブルース	書363	曲-日7430
	歌-日6119	まどをおしあけのやまをみれば	野あそび [まどをおしあけのやまをみれば]	書54	曲-日5225
	歌-日6120	窓をたたく夜半の嵐	冬の夜 [窓をたたく夜半の嵐]	書269	曲-日5976
	歌-日6121	窓たたく	夢 [窓たたく]	書229	曲-日7082
	歌-日6122	まどのうへにさはぎもあへず	鼠 [まどのうへにさはぎもあへず]	書166	曲-日5188
	歌-日6123	窓のかたやま [あしたの雪]	あしたの雪	書265	曲-日262
	歌-日6124	まどのかたやまくもみえて [雪の曙]	雪の曙	書54	曲-日7041
	歌-日6125	窓の小鳥も植木の花も	機械可愛いや	書179	曲-日1611
歌-日6126	窓の戸おしあけ外の面を見れば	霜の朝 [窓の戸おしあけ外の面を見れば]	書60 書215	曲-日2983	
歌-日6127	まどもるふぶきみにしみて	寒夜勤学	書165	曲-日1606	
歌-日6128	まどろみ深き地平より	第二十九回記念祭歌(8年) [まどろみ深き地平より]	書386	曲-日3975	
歌-日6129	眼をひらき	御国を守れ [眼をひらき]	書269	曲-日6411	
歌-日6130	眼するどく髯こはく	坂上田村麿	書270	曲-日2641	
歌-日6131	真夏なれども	登山 [真夏なれども]	書85	曲-日4761	
歌-日6132	真夏日のひかり照りわたりて	夏の夕 [真夏日のひかり照りわたりて]	書239	曲-日4935	
歌-日6133	学びてはかれよ御国の富	学の力 [学びてはかれよ御国の富]	書46 書147 書165	曲-日6357	
歌-日6134	学びの家こそ	学友	書29	曲-日1262	
歌-日6135	学の海にこぎいでて	我等は中学一年生	書166 書279	曲-日7489	
歌-日6136	まなびのうみはひろけれど	学の海 [まなびのうみはひろけれど]	書165	曲-日6349	
歌-日6137	学のちまた数多く	修学習業 [学のちまた数多く]	書102 書145 書165	曲-日3009	
歌-日6138	学の友にさそはれて	野外散歩唱歌秋之巻	書372	曲-日6741	
歌-日6139	学のとも朝夕ごとに	友愛 [学のとも朝夕ごとに]	書145 書165	曲-日6926	
歌-日6140	学びの友よはらからよ	ひめかがみ	書341	曲-日5788	
歌-日6141	まなびのにはをたてそめし	学校記念式	書165	曲-日1375	
歌-日6142	学の庭に [学の庭]	学の庭	書225	曲-日6359	
歌-日6143	学びの庭におひたちし	卒業式 [学びの庭におひたちし]	書142	曲-日3708	
歌-日6144	まなびの庭にさきにほふ	跡見女学校校歌	書7	曲-日290	
歌-日6145	学の庭に春秋の	卒業式の歌 [学の庭に春秋の]	書223	曲-日3721	
歌-日6146	まなびのにはをさなごよ	をさなご [まなびのにはをさなごよ]	書165	曲-日922	
歌-日6147	まなびの庭の父母と	師を送る [まなびの庭の父母と]	書60 書225 書309	曲-日2825	
歌-日6148	まなびのにはのなでこよ	記念日唱歌	書165	曲-日1736	
歌-日6149	まなびのにははとぢられて	夏のあした	書165	曲-日4909	
歌-日6150	学びの光	潜水艦 [学びの光]	書159	曲-日3619	
歌-日6151	まなびのひまはあそびのにはに	めくらの遊	書166	曲-日6649	
歌-日6152	学びの窓をば	終業式 [学びの窓をば]	書227	曲-日3021	

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ま	歌-日6153	まなびの窓に [終業式]	終業式 [まなびの窓に]	書225	曲-日3020
	歌-日6154	学びの窓に [遠足]	遠足 [学びの窓に]	書227	曲-日798
	歌-日6155	まなびの窓に今日明日と	始業式 [まなびの窓に今日明日と]	書337	曲-日2867
	歌-日6156	まなびのまどにつどふころよ	学びの窓	書165 書169 書230	曲-日6361
	歌-日6157	まなびのまどにとしをへて	告別 [まなびのまどにとしをへて]	書165	曲-日2352
	歌-日6158	まなびのまどにひははやくれぬ	夜学 [まなびのまどにひははやくれぬ]	書165	曲-日6745
	歌-日6159	学びの窓にはこころを研ぎ	朋友 [学びの窓にはこころを研ぎ]	書147 書165	曲-日6136
	歌-日6160	まなびのまどのあけくれに [送成業之友]	送成業之友	書54	曲-日3499
	歌-日6161	学びの窓の明け暮れに [送成業友]	送成業友	書100	曲-日3665
	歌-日6162	学びの窓の明け暮れに [卒業式の歌]	卒業式の歌 [学びの窓の明け暮れに]	書28	曲-日3722
	歌-日6163	まなびの窓の朝夕に	この辞書	書225 書309	曲-日2511
	歌-日6164	まなびのみちにおこたらば	学びの道 [まなびのみちにおこたらば]	書165	曲-日6362
	歌-日6165	学びの道につく杖と	送別之歌 [学びの道につく杖と]	書28	曲-日3686
	歌-日6166	まなびのみちにみをいれて	公益	書165	曲-日2190
	歌-日6167	学びのみちのおふいなる	学びのみち [学びのみちのおふいなる]	書141	曲-日6365
	歌-日6168	まなびのみちのをさなごよ	学の道 [まなびのみちのをさなごよ]	書165	曲-日6363
	歌-日6169	学の道の深さをも	紫式部 [学の道の深さをも]	書85	曲-日6584
	歌-日6170	学びの昔を恋いつつぬれば	親しき友 [学びの昔を恋いつつぬれば]	書60	曲-日2924
	歌-日6171	学びのわざし今をへて	女学校卒業式の歌	書29	曲-日3202
	歌-日6172	学びの窓に月よ花よと	寄宿舎の送別	書28	曲-日1682
	歌-日6173	学問もともにまなべる友	校友	書92	曲-日2292
	歌-日6174	学校の朝夕	心の友	書181	曲-日2389
	歌-日6175	まなびはわが身の光りとなり	学び	書153 書154 書336	曲-日6346
	歌-日6176	まなべやともどちよくまなべ	学べや学べ	書165	曲-日6372
	歌-日6177	まなべやまなべをさなごよ	まなべ [まなべやまなべをさなごよ]	書165	曲-日6371
	歌-日6178	まなべやまなべきみのため	勧学 [まなべやまなべきみのため]	書165	曲-日1551
	歌-日6179	まなべやまなべみことのままに	まなべ [まなべやまなべみことのままに]	書102 書144 書145 書165	曲-日6370
	歌-日6180	学べよ学べよ [まなべよまなべよ]	まなべよまなべよ	書381	曲-日6375
	歌-日6181	学べよまなべよあさどくおきてはげめよ	学べよまなべ	書141	曲-日6374
	歌-日6182	学べよ学べよたゆまずうまず	学べよ	書161 書165 書379	曲-日6373
	歌-日6183	まねくをばなにさそはれて	秋野	書54 書110	曲-日112
	歌-日6184	真広き	卒業式 [真広き]	書282	曲-日3711
	歌-日6185	まぼろしの影を慕ひて雨の日に	影を慕ひて	書385	曲-日1273
	歌-日6186	ままごと道具もお蒲団も	おかたづけ	書51	曲-日898
	歌-日6187	ままよ三度笠横ちよに被り	よしこの節	書363	曲-日7131
	歌-日6188	まもも [慶応義塾体育会之歌]	慶応義塾体育会之歌	書252	曲-日2097
	歌-日6189	守るも攻むるも鉄の [慶應体育会]	慶應体育会	書40	曲-日2099
	歌-日6190	守るも攻るもくろがねの [軍艦]	軍艦 [守るも攻るもくろがねの]	書46 書164 書166	曲-日2022
	歌-日6191	守るも攻るも黒鉄の [軍艦行進曲]	軍艦行進曲	書40 書238	曲-日2024
	歌-日6192	守るも攻むるもくろがねの [軍艦マーチ]	軍艦マーチ	書385	曲-日2063
	歌-日6193	守れ権現夜明けよ霧よ	山の唄 [守れ権現夜明けよ霧よ]	書31 書40 書54 書240	曲-日6890
	歌-日6194	真闇の影は消え失せて	第二十七回記念祭歌(6年西)	書386	曲-日3999
	歌-日6195	まりなげおもしろい	まりなげ	書116	曲-日6385
	歌-日6196	まりのまるきをかがみとし	籠毬遊	書166	曲-日1293
	歌-日6197	まりよまりよふくらめまりよ	紙風船 [まりよまりよふくらめまりよ]	書225	曲-日1459
	歌-日6198	まるいあたまとしっぽをさげて	ゴム風船	書27 書54	曲-日2546
	歌-日6199	円い鶏卵も [サイノ節]	サイノ節	書368	曲-日2628
	歌-日6200	円い鶏卵も [すとらいき節]	すとらいき節	書368	曲-日3449
	歌-日6201	円き地球のその上に	世界唱歌 上巻 [円き地球のその上に]	書291	曲-日3560
	歌-日6202	丸葉・巻葉をそよがせて	蓮池	書213 書214	曲-日5344
	歌-日6203	丸籬に結はれる身をば持ちながら	新深川節(深川くづし)	書385	曲-日3337
	歌-日6204	円き眠りは移し世にかかる	円き眠	書232	曲-日6390
	歌-日6205	まはるまはる風車	風車 [まはるまはる風車]	書166 書378	曲-日1304
	歌-日6206	マハルモノニハ	時計 [マハルモノニハ]	書206	曲-日4742
	歌-日6207	まはれこまひとりだちして	回れ独楽	書166 書251	曲-日6392
	歌-日6208	まはれまはれ車よ車	風車と子ども	書206	曲-日1307
	歌-日6209	まはれまはれこまのごと	高麗なずみ	書166 書251	曲-日2542
	歌-日6210	まはれまはれみづぐるま	まはれ	書79	曲-日6391
	歌-日6211	まわれよ子どもかぞえるうちに	廻れよ子供	書166	曲-日6393
	歌-日6212	まはれよまはれかざぐるま	風車 [まはれよまはれかざぐるま]	書166	曲-日1301
	歌-日6213	満州満州ああ我が満州	ああ我が満州	書241	曲-日12
	み	歌-日6214	みいちやんはかはいいいおにんぎやうさん	みいちやん [みいちやんはかはいいいおにんぎやうさん]	書116
歌-日6215		御稜威を仰ぐ巖島 [汽車の旅]	汽車の旅 [御稜威を仰ぐ巖島]	書226	曲-日1675
歌-日6216		みいづをあふぐいつくしま [汽車]	汽車 [みいづをあふぐいつくしま]	書166	曲-日1662
歌-日6217		みいづをあふぐみやじまや	汽車の旅 [みいづをあふぐみやじまや]	書165	曲-日1672
歌-日6218		御威光の	建都 [御威光の]	書110	曲-日2155
歌-日6219		三井寺のかねの音	近江八景 [三井寺のかねの音]	書138 書225 書310	曲-日855
歌-日6220		みいろすみれのうつくしや	草花	書54 書222	曲-日1915
歌-日6221		見える見える	小さな蝸牛	書267	曲-日4325
歌-日6222		身を修むるぞ本なると	近江聖人 [身を修むるぞ本なると]	書68	曲-日851
歌-日6223		身を切る如き寒風に	工兵隊	書124	曲-日2279
歌-日6224		身を切る如き真夜風と	雪夜の斥候 [身を切る如き真夜風と]	書166	曲-日7062
歌-日6225		身を捨ててますら武雄が正義と忠に	第六回記念祭歌(29年)	書386	曲-日4107
歌-日6226		見下す港秋さびて	爾靈山にたちて	書358	曲-日5152
歌-日6227		見かへる度に消えてゆく	世界唱歌 下巻	書291 書292	曲-日3559
歌-日6228		みがかずば [東京女子高等師範学校校歌 皇后陛下特賜御詠]	東京女子高等師範学校校歌 皇后陛下特賜御詠	書252	曲-日4656
歌-日6229		みがかずば玉もかがみもなにかせん	みがかずば	書211 書212	曲-日6406
歌-日6230		みがけば光る玉つるぎ	進取 [みがけば光る玉つるぎ]	書28	曲-日3294
歌-日6231		みがけやみがけや人びとよ	学びの玉	書142	曲-日6355

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
み	歌-日6232	みがけよみがけおこたらず月日はまたとかへりこず	みがけよみがけ	書142	曲-日6407
	歌-日6233	御神やよ守れ	吾が世を守れ	書232	曲-日7413
	歌-日6234	皇国を挙る総力戦に	遂げよ聖戦	書317	曲-日4751
	歌-日6235	みくにをまもるかんたいは	艦隊	書166	曲-日1592
	歌-日6236	みくにをまもれもろともに	皇国を守れ [みくにをまもれもろともに]	書166	曲-日6414
	歌-日6237	みくにのけものはなにになぞ	国の獣	書166	曲-日1938
	歌-日6238	御国の民よわがはらからよ	御国の民	書54 書67 書138 書165 書169 書225 書226 書284 書365	曲-日6419
	歌-日6239	皇国の為と君のため [兵士の歌]	兵士の歌	書200 書303	曲-日6039
	歌-日6240	皇国の為めと君の為め [兵士]	兵士 [皇国の為めと君の為め]	書287	曲-日6035
	歌-日6241	みくにの為には [勇士]	勇士 [みくにの為には]	書282	曲-日6942
	歌-日6242	みくにのためにはわがみをわすれ [我国兵士]	我国兵士 [みくにのためにはわがみをわすれ]	書54	曲-日7360
	歌-日6243	みくにのためやきみのため	招魂祭の歌 [みくにのためやきみのため]	書165 書169	曲-日3130
	歌-日6244	御国の旗こそ旭のかげ	国旗 [御国の旗こそ旭のかげ]	書166 書284 書365	曲-日2463
	歌-日6245	御国のはたこそ旭のはた	国旗 [御国のはたこそ旭のはた]	書226	曲-日2462
	歌-日6246	皇国の光を世界に示し	凱陣	書365	曲-日1164
	歌-日6247	皇国のほまれ数多ある	美術国	書146 書148 書166	曲-日5718
	歌-日6248	みくにのみためみくにのうちと	御国の御為	書165	曲-日6426
	歌-日6249	三国三国と通ふ奴あ馬鹿じや	みくに節	書363	曲-日6427
	歌-日6250	三国三国と通ふ奴あ馬鹿よ	三国節(福井)	書385	曲-日6428
	歌-日6251	尊こそ猛しき	日本武尊 [尊こそ猛しき]	書215	曲-日6865
	歌-日6252	見事に咲いたかきねの小菊	菊の花 [見事に咲いたかきねの小菊]	書60 書207	曲-日1637
	歌-日6253	操の松の	第六高等学校寮歌 [操の松の]	書252	曲-日4106
	歌-日6254	みぢかきよはのあくも	朝顔 [みぢかきよはのあくも]	書166	曲-日201
	歌-日6255	短く悩あれ	短く悩あれ	書232	曲-日6432
	歌-日6256	瑞枝さしそふ桜井の	四條騷曲	書114 書165	曲-日2885
	歌-日6257	水を表はす我が会章	高砂工友会歌	書392	曲-日4123
	歌-日6258	水を沢山くんで来て	水遊び	書166 書378	曲-日6433
	歌-日6259	みづから勉め	自助	書121	曲-日2883
	歌-日6260	みづきよきこかげもすずし	蛙 [みづきよきこかげもすずし]	書166	曲-日1213
	歌-日6261	水車細き流れの	水車 [水車細き流れの]	書54	曲-日6437
	歌-日6262	みづぐるまめぐるとくに	車	書166	曲-日1990
	歌-日6263	みづしづかなるすわのみや	湖畔の夕	書166	曲-日2526
	歌-日6264	水鳥はなにゆえ水のうへにすむ	水鳥 [水鳥はなにゆえ水のうへにすむ]	書145 書166	曲-日6446
	歌-日6265	みづにひたされひにやかれ	鉄の歌	書165	曲-日4585
	歌-日6266	水の逆巻しばしたゆみ	ロオレイ [水の逆巻しばしたゆみ]	書54	曲-日7324
	歌-日6267	水は如何程注ぐとも絶ゆる事なき	筒先き	書375	曲-日4496
	歌-日6268	水面にいでて	鯉	書228	曲-日2167
	歌-日6269	みづももらさぬてきのかこみ	鳥居勝商	書27	曲-日4815
	歌-日6270	みづやそらそらやみづなる	離れ小島 [みづやそらそらやみづなる]	書166 書335	曲-日5475
	歌-日6271	水ようたへ声たかく	千代の声	書366	曲-日4428
	歌-日6272	みづよこえたてたにのかけまでも	招ける春を	書165	曲-日6376
	歌-日6273	みづはうつはにしたがひて	水は器	書165	曲-日6459
	歌-日6274	店にかざりしくさぐさの	正直なる商人	書124	曲-日3137
	歌-日6275	見世物小屋の	からくり	書4	曲-日1476
	歌-日6276	御空おおいて	雪 [御空おおいて]	書227	曲-日7007
	歌-日6277	み空かけりて飛ぶはそも何	飛行機 [み空かけりて飛ぶはそも何]	書337	曲-日5710
	歌-日6278	みそらにあふぐあさひのかげ	恵の露	書165	曲-日6640
	歌-日6279	みそらにあがるひばりをとめ	野遊 [みそらにあがるひばりをとめ]	書166	曲-日5229
	歌-日6280	み空に知られぬ春の雪は	落花 [み空に知られぬ春の雪は]	書310	曲-日7201
	歌-日6281	みそらにすめる月のごと	清き心	書177	曲-日1846
	歌-日6282	み空に聳ゆる	滝 [み空に聳ゆる]	書181	曲-日4144
	歌-日6283	み天にたなびく	山紫水明	書29	曲-日2794
	歌-日6284	みそらに花の咲くかと見えて	きらめく星 [みそらに花の咲くかと見えて]	書225	曲-日1864
	歌-日6285	御空に映ゆるかぎろひの	第三十一回記念祭寄贈歌(10年東北大)	書386	曲-日3806
	歌-日6286	み空の月冴えて	月 [み空の月冴えて]	書223	曲-日4456
	歌-日6287	みそらのほしなす [恋しき我妹]	恋しき我妹	書54	曲-日2168
	歌-日6288	み空の星如やさしの瞳 [恋し我妹]	恋し我妹	書60	曲-日2169
	歌-日6289	み空も水に	春の海 [み空も水に]	書28	曲-日5588
	歌-日6290	見たか聞いたか大神山の	鬼共合唱「みーたかきーたか」	書106	曲-日1009
	歌-日6291	見たか見たか [ハイカラ節]	ハイカラ節 [見たか見たか]	書368	曲-日5300
	歌-日6292	見たか見たか見て来たか	時局民謡	書28	曲-日2872
	歌-日6293	乱すな吾が心	給仕に	書232	曲-日1789
	歌-日6294	みたにの奥の花鳥あはれ	みたにの奥	書152 書153 書161 書166 書169	曲-日6463
	歌-日6295	三たびうつりし	孟母 [三たびうつりし]	書143	曲-日6660
	歌-日6296	みたみたふじさんながいながい	富士山 [みたみたふじさんながいながい]	書54	曲-日5879
	歌-日6297	乱れし髪	ゆうへの夢	書281	曲-日6982
	歌-日6298	みだれしままに	糸	書120	曲-日481
	歌-日6299	みちををしへけぶをさづけ	我師	書165	曲-日7370
	歌-日6300	道をはさんで畑一面に	いなかの四季	書210	曲-日490
	歌-日6301	道を忘れて	子雀 [道を忘れて]	書60	曲-日2430
	歌-日6302	満足へるは心の宝	満足	書232	曲-日6399
	歌-日6303	みちにつなげるあれうまを	塚原卜傳	書124	曲-日4449
	歌-日6304	みちのうきくもぬぎすてて	月の光 [みちのうきくもぬぎすてて]	書166	曲-日4476
	歌-日6305	路のほとりの	夏の涼み	書229	曲-日4919
	歌-日6306	道行く我を	かなしみ [道行く我を]	書257	曲-日1413
	歌-日6307	道は六百八十里	凱旋 [道は六百八十里]	書40 書103 書385	曲-日1180
	歌-日6308	三日の食に恩義を知り	犬 [三日の食に恩義を知り]	書45	曲-日501
	歌-日6309	みづくかばねとみをもをします	水漬く屍 [みづくかばねとみをもをします]	書46 書165	曲-日6466
	歌-日6310	みづくかばねやくさむすかばね	水漬く屍 [みづくかばねやくさむすかばね]	書166	曲-日6467

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
み	歌-日6311	みつにたりしはへのむれ	蜜の上の蠅	書124	曲-日6469
	歌-日6312	三つ四つ五つ二十	森蘭丸	書68	曲-日6730
	歌-日6313	みつるぎふらしなぎませば	御剣	書166	曲-日6475
	歌-日6314	満ればかけそめ	月 [満ればかけそめ]	書336	曲-日4462
	歌-日6315	みてらのかねのねつきよりおつる	御寺の鐘の音	書54 書152 書153 書166 書169 書336	曲-日6476
	歌-日6316	三年の昔ちかひてし	なせの君	書28	曲-日4889
	歌-日6317	みどりいろのやはらかな	わかさ [みどりいろのやはらかな]	書116	曲-日7351
	歌-日6318	緑かはらず蔭しげく	竹	書102 書138 書165	曲-日4151
	歌-日6319	緑濃き海烈日のもと	水泳部部歌 [緑濃き海烈日のもと]	書387	曲-日3363
	歌-日6320	みどり濃き松の蔭	湖畔の野営	書78	曲-日2525
	歌-日6321	みどり滴る [第五高等学校全寮歌]	第五高等学校全寮歌 [みどり滴る]	書252	曲-日3792
	歌-日6322	みどり滴る [天の橋立]	天の橋立 [みどり滴る]	書29	曲-日317
	歌-日6323	みどりしたたる糸柳	裁縫	書265	曲-日2629
	歌-日6324	緑したたる山を後に	日本三景 [緑したたる山を後に]	書213 書214	曲-日5106
	歌-日6325	みどりなる波間に	松島 [みどりなる波間に]	書328	曲-日6314
	歌-日6326	みどりにかがやき茂れる森	茂れる森 [みどりにかがやき茂れる森]	書177	曲-日2879
	歌-日6327	みどりにたためるいは [観瀑]	観瀑	書54	曲-日1601
	歌-日6328	緑にたためる岩 [滝]	滝 [緑にたためる岩]	書60	曲-日4147
	歌-日6329	みどりの木蔭	夏のたのしみ [みどりの木蔭]	書374	曲-日4920
	歌-日6330	緑の木の葉はみなちりはて	秋の森	書52	曲-日146
	歌-日6331	緑の空を	心は清けし	書350	曲-日2394
	歌-日6332	みどりの空にくれないの	元旦	書161	曲-日1593
	歌-日6333	緑の野辺は	菊花と朝日	書204	曲-日1724
	歌-日6334	緑の林に歌はむ	緑の林に	書232	曲-日6482
	歌-日6335	みどりの眉びき霞にのべて	岸の柳	書310	曲-日1653
	歌-日6336	緑の森の	森の小鳥 [緑の森の]	書188	曲-日6724
	歌-日6337	みどり葉薫る森の樹かげ	樹蔭の花	書28	曲-日3004
	歌-日6338	緑葉しげる	緑蔭 [緑葉しげる]	書40 書283	曲-日7262
	歌-日6339	緑ふかき	夏は逝く	書281	曲-日4938
	歌-日6340	みどりも色濃き	蛙 [みどりも色濃き]	書29	曲-日1214
	歌-日6341	緑も濃き高波の	足羽郡酒生村歌	書253	曲-日273
	歌-日6342	緑もぞ濃き [第一高等学校寮歌]	第一高等学校寮歌 [緑もぞ濃き]	書252	曲-日3762
	歌-日6343	緑もぞ濃き柏葉の [第十三回記念寮歌(36年東)]	第十三回記念寮歌(36年東)	書386	曲-日3888
	歌-日6344	緑もふかき白楊の	不如帰 [緑もふかき白楊の]	書385	曲-日6241
	歌-日6345	皆さん之から	積木 [皆さん之から]	書266	曲-日4532
	歌-日6346	みなさんどこであそびませう	名所遊	書166	曲-日6624
	歌-日6347	みなぞこの月のかけ	水底の月	書361	曲-日6488
	歌-日6348	港をさして	商船 [港をさして]	書225	曲-日3148
	歌-日6349	湊川原に君が為め	古戦場 [湊川原に君が為め]	書165	曲-日2439
	歌-日6350	湊河原の夕景色	湊河原	書166 書368	曲-日6494
	歌-日6351	港塞がれ艦沈み	旅順港外海戦の歌	書255	曲-日7273
	歌-日6352	港は遥かに松原も見えず	航海 [港は遥かに松原も見えず]	書27 書60	曲-日2199
	歌-日6353	みなみにかいのえんがはの	日向ぼっこ	書174	曲-日5740
	歌-日6354	南に高き明大寺	久米郡倭文中村歌	書253	曲-日1966
	歌-日6355	南にめぐる嶺の脉	長岡郡本山町歌	書253	曲-日4852
	歌-日6356	南の風の吹くころは	南の風の	書117	曲-日6497
	歌-日6357	南の国のふるさと	心のふるさと	書95	曲-日2390
	歌-日6358	南はるかに	わかれ [南はるかに]	書28 書188	曲-日7417
	歌-日6359	南満洲蒙古のはても	浪路はるかに	書31	曲-日4968
	歌-日6360	御名も畏し神やまと	肇国景仰の歌	書317	曲-日4393
	歌-日6361	みなもときよき五十鈴川	皇統 [みなもときよき五十鈴川]	書135	曲-日2260
	歌-日6362	源ふかき流れの身	源朝頼 [源ふかき流れの身]	書270	曲-日6500
	歌-日6363	水面に映る燈火の	春の雨の唄	書11	曲-日5575
	歌-日6364	御贄奉ると	長良河の鵜飼	書110	曲-日4858
	歌-日6365	身に省みて正しくば	菅原道真 [身に省みて正しくば]	書270	曲-日3392
	歌-日6366	みにきるきぬはうすけれど	布袋和尚	書166	曲-日6234
	歌-日6367	見ぬまにいつしか	落花 [見ぬまにいつしか]	書281	曲-日7205
	歌-日6368	みねのあらしかまつふくかぜか	琴の音 [みねのあらしかまつふくかぜか]	書54	曲-日2469
	歌-日6369	みねのあらしもなれしらべ	樵の歌	書166	曲-日1647
	歌-日6370	峯のさくらに	楽しき国 [峯のさくらに]	書166 書230	曲-日4220
	歌-日6371	みねはくもに	山海	書29	曲-日2780
	歌-日6372	峯は高し	学びの道 [峯は高し]	書181	曲-日6366
	歌-日6373	蓑着て笠きて弓持つて	かかし [蓑着て笠きて弓持つて]	書60	曲-日1230
	歌-日6374	みのむしみのきてぶらんこ	ミノムシサン	書51	曲-日6507
	歌-日6375	みのむしみのむし	蓑虫	書86	曲-日6506
	歌-日6376	実のりの秋は	実のりの秋	書86	曲-日6509
	歌-日6377	みのり豊けき八束穂の	水車 [みのり豊けき八束穂の]	書60	曲-日3369
	歌-日6378	みのる稲穂が金色の	かかし [みのる稲穂が金色の]	書54 書60	曲-日1229
	歌-日6379	実る橄欖芳しく	第二十六回記念寮歌(5年北)	書386	曲-日4040
	歌-日6380	みはたをやめにありとて	身はたをやめ	書166	曲-日6511
	歌-日6381	御旗軒に清く日影空にうるはし	開校式 [御旗軒に清く日影空にうるはし]	書55	曲-日1139
	歌-日6382	みはるのひかり野に山に	新柳	書54	曲-日3351
	歌-日6383	御光あまねき大君いだき	大御代 [御光あまねき大君いだき]	書60	曲-日895
	歌-日6384	みふね招ぎてわがふるひれ	領巾振	書166 書285	曲-日5809
	歌-日6385	三保の松原 [羽衣]	羽衣 [三保の松原]	書86	曲-日5337
	歌-日6386	三保の松原春の曙 [天女の舞]	天女の舞	書60	曲-日4630
	歌-日6387	みみそばだててよすから	ほととぎす [みみそばだててよすから]	書161	曲-日6236
	歌-日6388	み恵給へ神の子等に	み恵給へ	書232	曲-日6514
	歌-日6389	みめぐみのまなびの花ををしへ子に	学の花	書142	曲-日6360

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
み	歌-日6390	みもすそ川も [春]	春 [みもすそ川も]	書46	曲-日5527
	歌-日6391	御裳濯川も [今様]	今様 [御裳濯川]	書159	曲-日529
	歌-日6392	身も世も忘れよるひるつとめ	身も世も忘れ	書166 書284	曲-日6516
	歌-日6393	みやくそくのうへにたち	御約束の上立つ	書70 書71	曲-日6518
	歌-日6394	都をよそに花すみれ	農村婦人の歌	書31	曲-日5233
	歌-日6395	都ぞ弥生の雲紫に [都ぞ弥生の]	都ぞ弥生の(北海道帝国大学恵迪寮歌)	書385	曲-日6519
	歌-日6396	都ぞ弥生の雲紫に [北大恵迪寮歌]	北大恵迪寮歌	書40 書240	曲-日6156
	歌-日6397	都ぞ弥生の雲紫に [明治四十五年寮歌]	明治四十五年寮歌	書77	曲-日6626
	歌-日6398	都に遠き春なれど	みのり	書317	曲-日6508
	歌-日6399	都の西北早稲田の森に [早稲田大学校歌]	早稲田大学校歌	書40 書252	曲-日7456
	歌-日6400	都の西北早稲田の森に [都の西北]	都の西北[早稲田大学校歌]	書385	曲-日6521
	歌-日6401	都の空に東風吹きて [第一高等学校寮歌(三十七年)]	第一高等学校寮歌(三十七年)	書252	曲-日3765
	歌-日6402	都の空に東風吹きて [第十四回記念寮歌(37年北)]	第十四回記念寮歌(37年北)	書386	曲-日3924
	歌-日6403	みやこのにしきも桜	少年易老 [みやこのにしきも桜]	書303	曲-日3164
	歌-日6404	都の花を吹く風の	北海道帝国大学独立記念歌	書77	曲-日6228
	歌-日6405	都の南三十里	水泳部旧部歌	書386	曲-日3361
	歌-日6406	都はなれて北の方	早稲田大学	書11	曲-日7455
	歌-日6407	みやこもひなもいへごと	新年 [みやこもひなもいへごと]	書165	曲-日3324
	歌-日6408	都は春の綾錦	第十六回記念寮歌(39年采)	書386	曲-日3933
	歌-日6409	宮さま宮さまお馬の前の	とことんやれ節	書385	曲-日4753
	歌-日6410	みやさんみやさん [宮さん]	宮さん	書144 書166	曲-日6525
	歌-日6411	宮さん宮さん [宮さん宮さん]	宮さん宮さん	書368	曲-日6526
	歌-日6412	宮島名所で見せたいものは	宮島踊(広島)	書385	曲-日6528
	歌-日6413	宮津を離れて三里半	与謝郡世屋村郷土歌	書253	曲-日7126
	歌-日6414	深山のおくなる柴の庵	柴の庵	書182	曲-日2960
	歌-日6415	深山のおくの山彦の	造化のわざ	書225 書310	曲-日3652
	歌-日6416	深山の中に愉快は	山居の美	書54 書110	曲-日6827
	歌-日6417	みやまは	暮の山朝の浜	書222	曲-日1998
	歌-日6418	深雪に閉ぢし	少年鼓手	書159	曲-日3165
	歌-日6419	みゆきふりつむあさのまど	梅 [みゆきふりつむあさのまど]	書54 書180	曲-日703
	歌-日6420	御弓の頭に金色の鶏	かがやく光	書209	曲-日1241
	歌-日6421	みゆるところによらずして	信仰に由て行め	書70 書71	曲-日3287
	歌-日6422	見よ秋は暮れなやむ	縄	書40	曲-日3604
	歌-日6423	見よイスラエルの	讚美歌	書23	曲-日2812
	歌-日6424	見よ甘泉に花散りて	第十回記念寮歌	書386	曲-日3935
	歌-日6425	見よ清き日の本	君国 [見よ清き日の本]	書60 書350	曲-日2073
	歌-日6426	見よ行人の一群は	寮歌 [見よ行人の一群は]	書387	曲-日7242
	歌-日6427	見よ江頭の	第七高等学校記念寮歌 [見よ江頭の]	書252	曲-日3859
	歌-日6428	みよしのの花の香や	第十六回記念寮歌(39年)	書386	曲-日3925
	歌-日6429	みよし野の山の	静 [みよし野の山の]	書265	曲-日2890
	歌-日6430	見よ秋に暮れなやむ	第二十五回記念寮歌(4年南)	書386	曲-日3983
	歌-日6431	みよ主エスふたたび	主エスの再臨	書70 書71	曲-日3058
	歌-日6432	みよたのしきいへ	楽しき家	書70 書71	曲-日4212
	歌-日6433	見よ東海の空明けて	愛国行進曲	書82 書363	曲-日20
	歌-日6434	みよとかいのあけぼのに	凱歌 [みよとかいのあけぼのに]	書166	曲-日1122
	歌-日6435	視よ戸のそとにて	主戸の外に立ち給ふ	書70 書71	曲-日3076
	歌-日6436	御世ながつきのここぬかは	去年今夜	書165 書279	曲-日2441
	歌-日6437	御代のすがたはうつりゆき	日本歴史唱歌(二)	書165	曲-日5140
	歌-日6438	みよのためにとこころざす	入学式の歌	書165	曲-日5147
	歌-日6439	みよのどかなるあさひかげ	始業式の歌 [みよのどかなるあさひかげ]	書56	曲-日2871
	歌-日6440	見よ東の雲晴れて	東茨城郡河和田村歌	書253	曲-日5689
	歌-日6441	見よ日は傾く	夕の鐘 [見よ日は傾く]	書202	曲-日6978
	歌-日6442	見よ降りつむ雪	雪中の梅 [見よ降りつむ雪]	書337	曲-日3582
	歌-日6443	みよみよこども [みよみよ小児]	みよみよこども	書225 書381	曲-日6542
	歌-日6444	みよみよ子供 [うづまく水]	うづまく水	書161 書166 書379	曲-日630
	歌-日6445	見よ見よ兵士の行軍	行軍 [見よ見よ兵士の行軍]	書60 書68	曲-日2223
	歌-日6446	みよみよみよふゆのそらを	冬の空	書161 書165 書379	曲-日5969
	歌-日6447	見よ！民衆の旗影は	学生社会科学連合会会歌	書392	曲-日1251
	歌-日6448	見よやあが子よ	此の日の御旗	書183	曲-日2520
	歌-日6449	見よやあがる雲雀	雲雀 [見よやあがる雲雀]	書52	曲-日5775
	歌-日6450	見よや勇まし蹄のとどろき	騎兵 [見よや勇まし蹄のとどろき]	書225	曲-日1758
	歌-日6451	見よや雲居を	秋 [見よや雲居を]	書202	曲-日88
	歌-日6452	見よや東洋	日東帝国	書159	曲-日5064
	歌-日6453	見よや野路の草に見よや	希望 [見よや野路の草に見よや]	書85	曲-日1761
	歌-日6454	見よや日影も	食事	書231	曲-日3210
	歌-日6455	見よや故郷の空に	望郷の歌 [見よや故郷の空に]	書257	曲-日6092
	歌-日6456	見よや学び子みぎはの柳	まなび子	書166 書285	曲-日6347
	歌-日6457	みよやみ国の	軍艦 [みよやみ国の]	書227	曲-日2019
	歌-日6458	見よや見事敵の城よ	龍の旗	書166 書365	曲-日4194
	歌-日6459	見よや見よ [莊子節]	莊子節	書368	曲-日3658
	歌-日6460	見よや見よや [太平の御代]	太平の御代 [見よや見よや]	書353	曲-日4073
	歌-日6461	見よや見よや [滝]	滝 [見よや見よや]	書228	曲-日4145
	歌-日6462	見よや見よや玄界灘に	常陸丸	書166 書255	曲-日5721
	歌-日6463	見よや見よや銃を肩に	勇む兵士	書52	曲-日430
	歌-日6464	みよやみよや時計の振り	時計の振り	書374	曲-日4750
	歌-日6465	見よや見よや紫だてる東の空	日の出 [見よや見よや紫だてる東の空]	書60 書181	曲-日5750
	歌-日6466	見よやわが夫見よや子等	花つくり [見よやわが夫見よや子等]	書100	曲-日5428
	歌-日6467	見よや早稲田の	早稲田野球応援歌	書252	曲-日7457
	歌-日6468	御代諒闇の春今宵	第二十三回記念寮寄贈歌(2年九大)	書386	曲-日3987

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
み	歌-日6469	見よわが夫	花つくり [見よわが夫]	書28	曲-日5429
	歌-日6470	見るまにくもる青い空	夕立 [見るまにくもる青い空]	書225	曲-日6955
	歌-日6471	見るまに黒雲	雷雨行	書201 書202	曲-日7188
	歌-日6472	見るみる昇りて	これ吾が国旗	書281	曲-日2583
	歌-日6473	みるはこよひとむかしより	平城の戦	書166	曲-日6047
	歌-日6474	身はたをやめにありとて	身はたをやめ	書147	曲-日6544
	歌-日6475	みわたし遙けき岡のみなみ	夏の野景	書165 書176	曲-日4928
	歌-日6476	見渡すかぎり [太平洋]	太平洋 [見渡すかぎり]	書225	曲-日4075
	歌-日6477	見渡す限り [空中王]	空中王	書159	曲-日1903
	歌-日6478	見渡す限り [御旗]	御旗	書46	曲-日6510
	歌-日6479	みわたすかぎりてきのげん	見渡す限	書166	曲-日6545
	歌-日6480	見渡す限りの広野の末は	遠足 [見渡す限りの広野の末は]	書359	曲-日799
	歌-日6481	みわたすかぎりのもやまも [紅葉狩]	紅葉狩 [みわたすかぎりのもやまも]	書54	曲-日6690
	歌-日6482	見渡す限野も山も敵軍	野戦 [見渡す限野も山も敵軍]	書118	曲-日6784
	歌-日6483	見渡すかぎり果もなき	暮るる曠野	書358	曲-日1993
	歌-日6484	みわたすかぎりはるばると [漁業]	漁業	書166	曲-日1848
	歌-日6485	見渡す限りはるばると [武蔵野]	武蔵野	書279	曲-日6556
	歌-日6486	見渡す限り遥々と [漁業の歌]	漁業の歌	書217 書225 書309 書337	曲-日1849
	歌-日6487	見渡すかぎり山にも野にも	春景色	書116	曲-日5554
	歌-日6488	見わたすかぎりは	枯野 [見わたすかぎりは]	書265	曲-日1514
	歌-日6489	みわたすしまやまかすみはなれて	海路の歌	書166	曲-日1163
	歌-日6490	見渡す野辺の秋げしき	秋景	書47 書54 書146 書148 書161 書165	曲-日101
	歌-日6491	見渡す野辺のここかしこ	草木のむれ	書225	曲-日1911
	歌-日6492	見渡す野辺は敵の兵	野戦 [見渡す野辺は敵の兵]	書118	曲-日6785
	歌-日6493	みわたせばあをやなぎ	見わたせば	書132 書151 書153 書161 書165 書169	曲-日6546
	歌-日6494	見渡せば潰つれかくる	進撃及び追撃	書198	曲-日3281
	歌-日6495	見渡せば野も山も	春の遠足	書60	曲-日5590
	歌-日6496	みわたせばよせてきたる	戦闘歌 [みわたせばよせてきたる]	書166	曲-日3626
	歌-日6497	みんな手をかせ	蟻 [みんな手をかせ]	書159 書160	曲-日370
	歌-日6498	皆の好きなお砂場遊び	お砂場遊び	書267	曲-日944
	歌-日6499	民力涵養は一致が根本よ	東礪波郡井口村の歌	書253	曲-日5693
む	歌-日6500	向ひの岡の鎮守の森に	村祭 [向ひの岡の鎮守の森に]	書336	曲-日6605
	歌-日6501	むかふところにてきはなく	勝軍	書166	曲-日3121
	歌-日6502	迎への船は	俊寛僧都	書333	曲-日3087
	歌-日6503	迎へまつりて [送師]	送師	書29	曲-日3656
	歌-日6504	迎へまつりて早や幾年 [師を送る]	師を送る [迎へまつりて早や幾年]	書60	曲-日2826
	歌-日6505	昔或人	船の真似	書201 書202	曲-日5944
	歌-日6506	昔売子の言ふことに	ほことたて	書358	曲-日6167
	歌-日6507	むかしおうすのおうじとて	日本武尊 [むかしおうすのおうじとて]	書68 書166	曲-日6863
	歌-日6508	昔をしのが赤城根の	高山正之の歌	書275	曲-日4138
	歌-日6509	昔を忍ぶみなどがは	楠公 [昔を忍ぶみなどがは]	書303	曲-日4993
	歌-日6510	むかし男のそのかみに	三都	書146 書148 書166	曲-日2807
	歌-日6511	昔思えば	竹馬の友	書231	曲-日4342
	歌-日6512	むかしギリシヤのアゼンスは	王師遠征の歌 [むかしギリシヤのアゼンスは]	書16	曲-日830
	歌-日6513	むかし元正天皇の御世しろしめす年代かとよ	孝子源丞内	書237	曲-日2243
	歌-日6514	昔恋しい銀座の柳	東京行進曲	書385	曲-日4653
	歌-日6515	往昔神功皇后が	三韓の歌	書216	曲-日2787
	歌-日6516	昔神武天皇が	紀元節 [昔神武天皇が]	書266	曲-日1643
	歌-日6517	むかし神武てんわうさまが	金の鷄	書222	曲-日2321
	歌-日6518	むかし神武のおんみかど	金鷄勲章 [むかし神武のおんみかど]	書68	曲-日1888
	歌-日6519	むかしたんばのおほえやま	大江山 [むかしたんばのおほえやま]	書68 書138 書165	曲-日874
	歌-日6520	昔し天明七とせの	二宮先生報徳唱歌	書320	曲-日5074
	歌-日6521	むかしとうどのしゅぶんこう	勧学の歌 [むかしとうどのしゅぶんこう]	書165	曲-日1558
	歌-日6522	ムカシクガハイエヤスノ	本多平八郎	書206	曲-日6252
	歌-日6523	昔しの跡はなくなりて	秋 [昔しの跡はなくなりて]	書303	曲-日92
	歌-日6524	むかしの仲間も遠く去れば	むかしの仲間	書317	曲-日6549
	歌-日6525	むかしのひかりいまもなほ	孝明天皇祭 [むかしのひかりいまもなほ]	書165	曲-日2285
	歌-日6526	昔の人今やいづこ	夕の鐘 [昔の人今やいづこ]	書40 書54 書184	曲-日6980
	歌-日6527	昔しの人言おきし	読書の楽	書203	曲-日4734
	歌-日6528	昔の人の難所と言ひし	箱根山 [昔の人の難所と言ひし]	書47 書54 書337	曲-日5333
	歌-日6529	昔の人は白雪を集めて	雪 [昔の人は白雪を集めて]	書45 書165	曲-日7010
	歌-日6530	むかしのむかし [むかしの昔]	むかしの昔	書381	曲-日6550
	歌-日6531	むかしのむかし山里に [桃太郎]	桃太郎 [むかしのむかし山里に]	書370	曲-日6697
	歌-日6532	むかしのわがやどかはらぬふるさと	夢の外	書166	曲-日7089
	歌-日6533	むかしむかし [うらしまさん]	うらしまさん	書104	曲-日720
	歌-日6534	むかしむかし [唱歌隊]	唱歌隊	書274	曲-日3116
	歌-日6535	むかしむかし [第一場 爺婆住家の場 第一段(序)桃太郎生ひ立ちの段]	第一場 爺婆住家の場 第一段(序)桃太郎生ひ立ちの段	書25	曲-日3767
	歌-日6536	昔々 [鬼が島]	鬼が島	書266	曲-日1003
	歌-日6537	昔々 [第一 谷の小川(婆の洗濯)]	第一 谷の小川(婆の洗濯)	書340	曲-日3755
	歌-日6538	むかしむかしあるさにと	舌切雀 [むかしむかしあるさにと]	書54	曲-日2919
	歌-日6539	むかしむかしあるとこに	桃太郎 [むかしむかしあるとこに]	書165	曲-日6695
	歌-日6540	むかしむかしうらしまは	浦島太郎 [むかしむかしうらしまは]	書68 書138 書165 書208	曲-日722
	歌-日6541	昔昔そのむかし [猿かに合戦]	猿かに合戦 [昔昔そのむかし]	書60	曲-日2767
	歌-日6542	昔昔其の昔 [浦島太郎]	浦島太郎 [昔昔其の昔]	書60	曲-日724
	歌-日6543	むかしむかしそのむかし [桃太郎]	桃太郎 [むかしむかしそのむかし]	書371	曲-日6698
	歌-日6544	昔昔戸隠の荒倉山の岩窟に	鬼女紅葉	書149	曲-日1686
	歌-日6545	むかしむかしの	ももたらうさん	書104	曲-日6702
	歌-日6546	むかし昔のそのむかし	文福茶釜 [むかし昔のそのむかし]	書123	曲-日6027
	歌-日6547	むかしむかし山ざとに	こしをれ雀の歌	書165	曲-日2403

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号	
む	歌-日6548	昔もろこし朱文公	勧学の歌 [昔もろこし朱文公]	書93	曲-日1560	
	歌-日6549	昔唐士の朱文公	勧学の歌 [昔唐士の朱文公]	書216 書376	曲-日1561	
	歌-日6550	むかしユダヤに	大能ある神 [むかしユダヤに]	書70 書71	曲-日4331	
	歌-日6551	むかしは保元の春の花	薩摩守忠度 [むかしは保元の春の花]	書303	曲-日2721	
	歌-日6552	麦に菜種に黄にみどり	巡礼 [麦に菜種に黄にみどり]	書54 書60	曲-日3102	
	歌-日6553	むぎふむはたけのあげひばり	揚雲雀 [むぎふむはたけのあげひばり]	書54	曲-日181	
	歌-日6554	無窮の空に黎明の	大正九年寮歌	書77	曲-日3939	
	歌-日6555	むぐらに埋む石径を	古城跡	書28	曲-日2417	
	歌-日6556	葎の宿もこれ我宿	団欒	書60	曲-日4316	
	歌-日6557	ムカフヲホルハ	ヘイタイサン [ムカフヲホルハ]	書171	曲-日6059	
	歌-日6558	向ヶ岡に冬籠る	第十五回記念祭寮歌(38年栄)	書386	曲-日3883	
	歌-日6559	向が陵の自治の城	第十四回記念祭寮歌(37年東)	書386	曲-日3922	
	歌-日6560	向ふが岡の新章に	一高庭球部部歌	書386	曲-日460	
	歌-日6561	向が岡の春風に	第九回記念祭寮歌(32年北)	書386	曲-日3777	
	歌-日6562	むかうとほるはせいとぢやないか	手鞠謡 [むかうとほるはせいとぢやないか]	書165	曲-日4600	
	歌-日6563	向のお山へ着くまでは	勝つた亀の子	書264	曲-日1393	
	歌-日6564	むかふのおやまでぼんぼこぼん	月に浮かれて	書54	曲-日4469	
	歌-日6565	むかうのお山に黒雲かかれば	むかふのお山に	書78	曲-日6554	
	歌-日6566	向うの方から新兵さんの駆け足	新兵さんの駆け足	書117	曲-日3340	
	歌-日6567	むかうのやまにひかげうつり	親と子	書68 書165	曲-日1080	
	歌-日6568	武蔵野分きて吹き荒む	第二十回記念祭奇贈歌(43年京大)	書386	曲-日4044	
	歌-日6569	むされるやうな夏の午後	雲の色 [むされるやうな夏の午後]	書263	曲-日1977	
	歌-日6570	無残! 散りぢり	京上臈	書178	曲-日1821	
	歌-日6571	むぢながなきだしや	ほろほろ螢 [むぢながなきだしや]	書54	曲-日6132	
	歌-日6572	虫の音さへも	星の光り [虫の音さへも]	書222	曲-日6180	
	歌-日6573	無常を告ぐる入相の鐘の音するたそがれに	チャールズキングスレー氏の悲歌	書303	曲-日4366	
	歌-日6574	むすぶ氷かてる月影か	鏡 [むすぶ氷かてる月影か]	書136	曲-日1237	
	歌-日6575	むだにすぐすなけふのひを	勧学の歌	書165	曲-日1873	
	歌-日6576	むつびしとにも	日曜	書228	曲-日5046	
	歌-日6577	胸に理想の火は燃えて	久遠の希望	書100	曲-日1905	
	歌-日6578	群り起る黒雲は互に撃出す硝煙よ	軍艦戦闘 [群り起る黒雲は互に撃出す硝煙よ]	書118	曲-日2040	
	歌-日6579	群り猛る暗雲おひて	第十六回記念祭寮歌(39年東)	書386	曲-日3931	
	歌-日6580	むらがるともこのなはみかた	参謀戯	書166	曲-日2815	
	歌-日6581	むらがる山を見くだして	富士唱歌	書343	曲-日5880	
	歌-日6582	むらぎえの雪間たづねて少女が	若菜	書143 書161	曲-日7381	
	歌-日6583	群雲を紅染めて	第四十回記念祭寮歌 [群雲を紅染めて]	書386	曲-日4091	
	歌-日6584	叢雲払つて世界を照らす	日の丸の旗 [叢雲払つて世界を照らす]	書47	曲-日5757	
	歌-日6585	群雲四方にふさがりて	真木和泉	書270	曲-日6268	
	歌-日6586	紫淡き春霞	第十五回記念祭奇贈歌(38年九大)	書386	曲-日3916	
	歌-日6587	紫淡くたそがるる	第十八回記念祭奇贈歌(41年九大)	書386	曲-日3909	
	歌-日6588	紫霧ふ暁の	第二十八回記念祭寮歌(7年北)	書386	曲-日4022	
	歌-日6589	紫雲のうち映えて	秋の農夫	書54	曲-日138	
	歌-日6590	紫煙る丘の上	第三十二回記念祭寮歌(11年) [紫煙る丘の上]	書386	曲-日3826	
	歌-日6591	紫罩むる	第八高等学校寮歌 [紫罩むる]	書252	曲-日4068	
	歌-日6592	紫式部其人は	紫式部 [紫式部其人は]	書124	曲-日6585	
	歌-日6593	むらさき匂いし武蔵の野辺に	東京市民歌	書40	曲-日4655	
	歌-日6594	紫匂ふ西の山	揖斐郡大和村歌	書253	曲-日521	
	歌-日6595	紫の暁望に満ちて	第二十五回記念祭寮歌(4年中)	書386	曲-日3981	
	歌-日6596	紫の色千歳を経て	感懐	書166 書176	曲-日1549	
	歌-日6597	むらのおふさはふたおやに	村のお房	書27 書60 書174	曲-日6592	
	歌-日6598	村の太郎兵衛の話では	慾兵衛独唱「太郎兵衛のはなし」「困った困った」	書106	曲-日7122	
	歌-日6599	村の鎮守の神様の	村祭 [村の鎮守の神様の]	書54 書60 書190 書209	曲-日6606	
	歌-日6600	村は産土祖先が眠る	農民歌・国の幸	書238	曲-日5240	
	め	歌-日6601	明治三十八のとし	日本海海戦之歌	書28	曲-日5087
		歌-日6602	明治二十有七載朝鮮国に乱起る	海戦(課題外)	書118	曲-日1183
		歌-日6603	明治の二十七八年	北白川宮 [明治の二十七八年]	書138	曲-日1706
		歌-日6604	めいぢのにじふいいうしちン	明治	書166	曲-日6609
		歌-日6605	めいじのみよのをさまりて	靖国神社 [めいじのみよのをさまりて]	書147 書148 書165 書169	曲-日6773
		歌-日6606	明治! 明治!	若人[明治]	書40	曲-日7443
		歌-日6607	名誉は来れり艦隊よ	軍艦戦闘 [名誉は来れり艦隊よ]	書118	曲-日2057
歌-日6608		めえめえもりのこやぎ	めえめえ小山羊	書27	曲-日6636	
歌-日6609		めがさめるとびおきる	こどもの報告	書323	曲-日2479	
歌-日6610		メガデタメガデタ	メガデタ	書358	曲-日6638	
歌-日6611		めがねがうせうせうせはめくら	眼鏡がうせた	書166	曲-日6639	
歌-日6612		女神様が難う御座います	小鳥 感謝の歌	書24	曲-日2486	
歌-日6613		恵みあまねき大君の	宮城 [恵みあまねき大君の]	書310 書336	曲-日1791	
歌-日6614		めぐみあまねきながめにも	高津宮 [めぐみあまねきながめにも]	書165	曲-日4131	
歌-日6615		めぐみあまねきはるかげは	遊戯	書166 書225	曲-日6931	
歌-日6616		めぐみならで	主御自身	書70 書71	曲-日3068	
歌-日6617		めぐみの雨に	雨露 [めぐみの雨に]	書29	曲-日333	
歌-日6618		めぐみのつゆにうるほひて	卒業式 [めぐみのつゆにうるほひて]	書164	曲-日3704	
歌-日6619		恵の露の	孝行 [恵の露の]	書227	曲-日2232	
歌-日6620		めぐみの露はほせどもひまじ	学の園 [めぐみの露はほせどもひまじ]	書145	曲-日6353	
歌-日6621		めぐみのゆふだち	恩恵の白雨	書70 書71	曲-日6642	
歌-日6622		めぐみ深き佐保姫は	青葉若葉	書177	曲-日54	
歌-日6623		恵も深き大君の	歓迎の歌 [恵も深き大君の]	書165	曲-日1569	
歌-日6624		芽ぐむ時より梅檀は	毛利元就 [芽ぐむ時より梅檀は]	書203	曲-日6661	
歌-日6625		めくらが提灯	盲と聾	書54 書201 書202	曲-日6648	
歌-日6626		めくらす垣根門八つ造り	八岐の大蛇	書47 書211 書212	曲-日6852	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
め	歌-日6627	めぐる春秋五十七	吉野の宮居	書86	曲-日7138
	歌-日6628	めぐれどはしなき	めぐれどはしなき	書381	曲-日6652
	歌-日6629	めぐれどはしなしたまきのごとくに	環	書67 書139 書161 書164 書166 書170 書225 書379	曲-日4264
	歌-日6630	廻れ廻れクルクル	廻れ [廻れ廻れクルクル]	書232	曲-日6651
	歌-日6631	めぐれよめぐれうづのまま	阿波の鳴門	書166	曲-日384
	歌-日6632	めぐれよめぐれくるくと	めぐれ [めぐれよめぐれくるくと]	書68 書166	曲-日6650
	歌-日6633	めぐれる車ながる水	めぐれる車	書132 書139 書153 書154 書165 書170 書225 書226 書337	曲-日6653
	歌-日6634	目指す狩場取巻き	兎狩 [目指す狩場取巻き]	書350	曲-日612
	歌-日6635	目路の限り野べ又森	野外散歩	書311	曲-日6740
	歌-日6636	目路はるか	初夏の野辺	書350	曲-日3204
	歌-日6637	めでたき春の松かざり	春の歌 [めでたき春の松かざり]	書203	曲-日5584
	歌-日6638	めでたき御代の年の始	新年 [めでたき御代の年の始]	書225	曲-日3325
	歌-日6639	目出度凱旋なされしか	凱旋 [目出度凱旋なされしか]	書44	曲-日1181
	歌-日6640	めでためでの若松小松	若松小松	書31 書184	曲-日7398
	歌-日6641	目出度や	第五場 桃太郎故郷の場 凱旋歓迎の段〔大結〕	書25	曲-日3796
	歌-日6642	めなしはななしみみなしの	ポスト	書27	曲-日6187
	歌-日6643	女波また男波	海のながめ [女波また男波]	書350	曲-日690
	歌-日6644	目に見えぬ神にむかひて	明治天皇御製 [目に見えぬ神にむかひて]	書239	曲-日6619
	歌-日6645	眼のない鳩さん何処行きやる	眼のない鳩さん	書40 書54	曲-日6657
歌-日6646	めばなかをるはるのたに	春野遊 [めばなかをるはるのたに]	書165	曲-日5574	
歌-日6647	めもはるの田面	農夫 [めもはるの田面]	書353	曲-日5237	
も	歌-日6648	藻岩の緑春開けて	明治四十四年寮歌	書77	曲-日6630
	歌-日6649	モウイーノ?	かくれんぼ [モウイーノ?]	書60 書104	曲-日1269
	歌-日6650	もーいくつねるとお正月	お正月 [もーいくつねるとお正月]	書378	曲-日940
	歌-日6651	猛雨斜に飛ぶ中に	威仁親王	書270	曲-日4161
	歌-日6652	もうこのふねはなみまにみちて	神風	書165	曲-日1438
	歌-日6653	もうしもうし [浦島太郎]	浦島太郎 [もうしもうし]	書266	曲-日723
	歌-日6654	もうしもうしお坊さま	お坊さま	書117	曲-日1048
	歌-日6655	毛氈敷きて	ひな祭 [毛氈敷きて]	書225	曲-日5744
	歌-日6656	盲味野蛮の	家の守は我れ等あり	書183	曲-日397
	歌-日6657	もうよがあげたうれしいな	五月のうた	書27	曲-日2317
	歌-日6658	燃えたつ至誠やさしき心	ペスタロツチ	書28	曲-日6071
	歌-日6659	もえよもえよはるのくさ	乳児のさま	書166 書169	曲-日4345
	歌-日6660	燃える思ひをうち明けられて	アラその瞬間よ	書385	曲-日356
	歌-日6661	もえる木のめに春風吹けば	私のうち	書209	曲-日7461
	歌-日6662	もくもくもこり	雲の峰 [もくもくもこり]	書174	曲-日1981
	歌-日6663	もしもし [博多人形]	博多人形	書34	曲-日5305
	歌-日6664	もしもしかめよかめさんよ	兎と亀 [もしもしかめよかめさんよ]	書60 書68 書138 書165	曲-日615
	歌-日6665	餅屋が餅を	餅売	書201 書202	曲-日6663
	歌-日6666	もとのしづく	もとのしづく	書181	曲-日6674
	歌-日6667	物呉太郎は朝寝坊	物呉太郎	書117	曲-日6676
	歌-日6668	武士の礎とたたえつつ [詠史の歌]	詠史の歌	書198	曲-日765
	歌-日6669	武士の礎とたたえつつ [詠史]	詠史 [武士の礎とたたえつつ]	書200 書287 書303 書376	曲-日763
	歌-日6670	ものふのつよきあらきのゆみなれば	弓といふ題	書166	曲-日7075
	歌-日6671	物学ぶ道にたつ子よ	明治天皇御製 [物学ぶ道にたつ子よ]	書213 書214	曲-日6618
	歌-日6672	紅葉は山に錦かけ	運動会 [紅葉は山に錦かけ]	書28	曲-日750
	歌-日6673	桃から生れた [第一場 第二段 桃太郎門出の段]	第一場 第二段 桃太郎門出の段	書25	曲-日3768
	歌-日6674	ももからうまれたももたらう	桃太郎 [ももからうまれたももたらう]	書68 書138 書165	曲-日6699
	歌-日6675	もも草におくれつつ	菊 [もも草におくれつつ]	書54	曲-日1622
	歌-日6676	桃太郎さんのお供には	桃太郎 [桃太郎さんのお供には]	書165 書378	曲-日6700
	歌-日6677	ももたらうさんのおにたいじ	お伽会の歌	書222	曲-日987
	歌-日6678	桃太郎さん桃太郎さん	桃太郎 [桃太郎さん桃太郎さん]	書60 書207	曲-日6701
	歌-日6679	百千鳥 [百千鳥]	百千鳥	書46	曲-日6703
	歌-日6680	百千鳥の [郊外散歩]	郊外散歩 [百千鳥の]	書167	曲-日2206
	歌-日6681	百千の白帆	海の暮	書29	曲-日685
	歌-日6682	百千の燭火	舞姫	書188 書265	曲-日6260
	歌-日6683	百の雷とよみ	瀑布	書350	曲-日5320
	歌-日6684	百の官人の	あれにし都	書350	曲-日380
	歌-日6685	桃の花咲く雛祭	姉妹 [桃の花咲く雛祭]	書86	曲-日295
	歌-日6686	桃の花散る小川の水に	水車 [桃の花散る小川の水に]	書210	曲-日3370
	歌-日6687	百花わらひて心地よき	御代の栄 [百花わらひて心地よき]	書185	曲-日6539
	歌-日6688	もゆるほなかにつつたて	日本武尊 [もゆるほなかにつつたて]	書165	曲-日6868
	歌-日6689	もゆるみたまよ	燃る霊よ臨り給え	書70 書71	曲-日6706
	歌-日6690	森陰の暗き中に	フィンランドの森	書241	曲-日5832
	歌-日6691	森にこだましてトララー	トララー!	書232	曲-日4812
	歌-日6692	森にたなびく	陸戦	書225	曲-日7228
	歌-日6693	森にひとり佇めば	焦心	書232	曲-日3146
	歌-日6694	もりのあなたにゆふひあかく	夕ぐれ [もりのあなたにゆふひあかく]	書54	曲-日6933
	歌-日6695	森の鶯高く歌へ	鶯に寄す	書232	曲-日594
	歌-日6696	森の老木はこずえに幹に	森の歌 [森の老木はこずえに幹に]	書213 書214	曲-日6716
	歌-日6697	森の神夜もすがら	森の神	書78	曲-日6719
	歌-日6698	森のこかけ	里祭 [森のこかけ]	書283	曲-日2732
	歌-日6699	森の鎮守のお宮の小鳩	鳩と鳥	書337	曲-日5390
	歌-日6700	もりのなかをかなたこなた	森の小鳥 [もりのなかをかなたこなた]	書54	曲-日6722
	歌-日6701	森のタベの祈りの鐘が	森の夕	書239	曲-日6727
	歌-日6702	もろ声にいざ賑しく	田植 [もろ声にいざ賑しく]	書135	曲-日4111
	歌-日6703	もろこえにうたひていはへ	卒業式 [もろこえにうたひていはへ]	書165	曲-日3706
歌-日6704	もんにたてたるまつたけの	お正月 [もんにたてたるまつたけの]	書68	曲-日941	
歌-日6705	門の前の	砂取舟	書345	曲-日3451	

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
や	歌-日6706	ヤーイヤーイ馬鹿鹿ヤイ	狐と虎	書163	曲-日1729
	歌-日6707	や一祝へ歌へ	新年 [や一祝へ歌へ]	書159	曲-日3326
	歌-日6708	ヤートセエヨーイヤナ	秋田首頭(秋田)	書385	曲-日104
	歌-日6709	やえいのかがりびをぐらくなりて	野営の月	書54	曲-日6738
	歌-日6710	やへがきつくるみそのふの	御慶奉祝の歌	書165	曲-日2371
	歌-日6711	八重霞	春興 [八重霞]	書281	曲-日3092
	歌-日6712	八重汐路きり晴れゆきて	第三十九回記念祭歌 [八重汐路きり晴れゆきて]	書386	曲-日3816
	歌-日6713	八重棚雲を裾にまとひて	東海の吟	書312	曲-日4644
	歌-日6714	やへにひとへにさくらばな	桜/桜狩	書166	曲-日2674
	歌-日6715	八重の潮風騒ぐ共防御は固し	軍艦戦闘 [八重の潮風騒ぐ共防御は固し]	書118	曲-日2055
	歌-日6716	八重の汐路を辛うじて	阿新丸 [八重の汐路を辛うじて]	書143	曲-日1964
	歌-日6717	やがて駒鳥春が来る	駒鳥と花子さん 第一の歌	書24	曲-日2538
	歌-日6718	やぐが如き陽の光	夏の山	書116	曲-日4930
	歌-日6719	八雲たつ	大蛇退治	書162 書163	曲-日1105
	歌-日6720	櫓大鼓にふと目をさまし	相撲甚句	書363	曲-日3482
	歌-日6721	焼野のきぎす夜の鶴	小鳥 独唱 [焼野のきぎす夜の鶴]	書24	曲-日2490
	歌-日6722	焼野の雉子の飛かけり	親	書143	曲-日1073
	歌-日6723	やこだおろしふきあれて	陸奥の花 [やこだおろしふきあれて]	書166	曲-日6576
	歌-日6724	やさかのたまのつなぎをの	やさかのたま	書102 書165	曲-日6761
	歌-日6725	優しき父母	雛鳥	書337	曲-日5741
	歌-日6726	八島を洗ふ南海の	第二十一回記念祭歌(44年中)	書386	曲-日3968
	歌-日6727	社や公園の	公德 [社や公園の]	書138 書333	曲-日2266
	歌-日6728	安かれ閑路を行くとも	悲む勿れ	書232	曲-日1414
	歌-日6729	安来千軒名の出たところ	安来節(島根)	書385	曲-日6770
	歌-日6730	やすみのベルがなるなるリンリンリン	休のベル	書262	曲-日6782
	歌-日6731	やすやすとねむれ	ねむれ [やすやすとねむれ]	書269	曲-日5199
	歌-日6732	矢玉の中にて身を斃し	靖国神社 [矢玉の中にて身を斃し]	書137	曲-日6776
	歌-日6733	矢玉は霞とふる中を [矢玉は霞]	矢玉は霞	書67 書139 書148 書166 書170 書225 書284 書381	曲-日6815
	歌-日6734	矢弾丸は霞と降る中を [矢弾丸]	矢弾丸	書198	曲-日6814
	歌-日6735	やちぐさいまはしもがれて	冬の山	書54	曲-日5972
	歌-日6736	八千草しげり	野路の小川	書350	曲-日5264
	歌-日6737	八千草千種	女徳の歌	書29	曲-日5151
	歌-日6738	八千草にそよぐ風	故郷を思ふ	書60 書120 書121 書165	曲-日6009
	歌-日6739	やつかのいねほにいでて	秋の実のり [やつかのいねほにいでて]	書54	曲-日142
	歌-日6740	奴さんだよソレ	奴さん	書363	曲-日6817
	歌-日6741	やつこらやつこら	ふんころがし	書358	曲-日6021
	歌-日6742	やつこやつこふりだした	おもちやのマーチ	書54	曲-日1071
	歌-日6743	宿り木雲に高く繁る	わが力	書312	曲-日7375
	歌-日6744	柳あやふし処女の態	庭球歌 [柳あやふし処女の態]	書28 書166	曲-日4559
	歌-日6745	柳桜をこきませし [凱旋]	凱旋 [柳桜をこきませ]	書200 書287	曲-日1182
	歌-日6746	柳桜をこき交ぜし都の春の朝風に [凱戦の歌]	凱戦の歌 [柳桜をこき交ぜし都の春の朝風に]	書303	曲-日1186
	歌-日6747	柳並木の土手の道	月 [柳並木の土手の道]	書60 書240	曲-日4463
	歌-日6748	柳にすがるあの蛙	忍耐 [柳にすがるあの蛙]	書145 書165	曲-日5174
	歌-日6749	柳にははるかぜふき桜にはうぐひすなく	希望 [柳にははるかぜふき桜にはうぐひすなく]	書87	曲-日1762
	歌-日6750	やなぎのこかげのまりあそび	毬 [やなぎのこかげのまりあそび]	書68	曲-日6380
	歌-日6751	やなぎのさえたはこかぜに	園の遊 [やなぎのさえたはこかぜに]	書166	曲-日3740
	歌-日6752	やなぎのわたの飛ぶころは	やなぎの春	書358	曲-日6822
	歌-日6753	柳芽を吹く	つばめ節	書11	曲-日4527
	歌-日6754	屋根に雀の幾日ぶりに	梅雨晴	書85	曲-日4548
	歌-日6755	やねのへつたはるごさめをきけよ	小雨	書166	曲-日2398
	歌-日6756	矢のように	つばめ [矢のように]	書17	曲-日4514
	歌-日6757	やはぎのはしの	豊臣秀吉 [やはぎのはしの]	書138	曲-日4806
	歌-日6758	矢ばせにかえる	近江八景 [矢ばせにかえる]	書227	曲-日857
	歌-日6759	やぶのなかでホーホーホケキョ	鶯 [やぶのなかでホーホーホケキョ]	書54	曲-日587
	歌-日6760	破れし衣の袖に散る	大正十四年祭歌	書77	曲-日3947
	歌-日6761	やぶれて残る鉄条網	いくさの跡 [やぶれて残る鉄条網]	緒25 書310 書337	曲-日411
	歌-日6762	山うるはしく水清く	中頭城郡板倉村歌	書253	曲-日4854
	歌-日6763	山岡の	手函の絵	書283	曲-日4591
	歌-日6764	やまをさくひきみなぎる	山を裂く響	書166	曲-日6828
	歌-日6765	やまかぜそよとわたれば	桜散る [やまかぜそよとわたれば]	書54	曲-日2688
	歌-日6766	やまかぜはやみゆきかとばかり	四の時 [やまかぜはやみゆきかとばかり]	書165	曲-日7148
	歌-日6767	山が火を吐く赤赤と	山が火を吐く	書174	曲-日6836
	歌-日6768	山川に添ひて水上遠く遊り行けば	桃の花	書311	曲-日6704
	歌-日6769	山可秀でて	大日本帝国	書281	曲-日4058
	歌-日6770	やまぎはさしてねにゆくとりも	寝にゆく鳥	書165	曲-日5192
	歌-日6771	山ぎわしらみて雀はなきぬ	花鳥	書153 書154 書161 書166	曲-日5433
	歌-日6772	やなぎはみどりさくらはしろし	柳は緑	書165	曲-日6824
	歌-日6773	やまさかこえてかほこえて	地理の遊	書166	曲-日4433
	歌-日6774	山路に日暮れぬ樵歌の声	君恩	書87	曲-日2009
	歌-日6775	山田の中の一本足の案山子	案山子 [山田の中の一本足の案山子]	書54 書60 書208	曲-日1232
	歌-日6776	山でカッコ	カツコ鳥	書315	曲-日1391
	歌-日6777	山で死ぬとも野ではよとも	旅は遥かよ	書40	曲-日4262
	歌-日6778	山で白いはサ瑠ぢやないかサ	さいさい節	書363	曲-日2614
	歌-日6779	日本男児の雄々しさは	日本男児 [日本男児の雄々しさは]	書143 書235	曲-日6854
	歌-日6780	大和心をいやふりおこし	愛国 [大和心をいやふりおこし]	書60 書165 書175	曲-日16
	歌-日6781	倭国魂を奮り起し工業商業殖産に	和魂	書237	曲-日7444
	歌-日6782	やまごころのさくらばな	威海衛 [やまごころのさくらばな]	書166	曲-日401
	歌-日6783	日本島根を知しめす	日本島根 [日本島根を知しめす]	書161	曲-日6862
	歌-日6784	やまとしまねのものふの	日章旗	書28	曲-日5055

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
や	歌-日6785	日本魂其は何ぞ	日本魂 [日本魂其は何ぞ]	書198 書200 書287 書303	曲-日6872
	歌-日6786	やまとなでしこさまごまに	大和撫子	書132 書139 書151 書153 書161 書164 書165 書170 書225 書337	曲-日6875
	歌-日6787	大和の花は桜な里	軍歌其二	書251	曲-日2015
	歌-日6788	大和の御民よ我国民よ	憲法発布の頌	書284	曲-日2164
	歌-日6789	やまとものふゆけやゆけさかまく浪のおきつ風	日本もののふ	書142	曲-日6881
	歌-日6790	山なき国の	白羽蝶	書178	曲-日3257
	歌-日6791	やまなすあらなみたかくとも	山なす荒浪	書166	曲-日6884
	歌-日6792	山なす巨艦は海の城か	日本海軍 [山なす巨艦は海の城か]	書137	曲-日5089
	歌-日6793	山なす軍艦	軍港	書225	曲-日2072
	歌-日6794	やまにかぶりしるたへの	春の山 [やまにかぶりしるたへの]	書165	曲-日5636
	歌-日6795	山に鳴る風ゴウ	嵐	書78	曲-日350
	歌-日6796	山に水に	日光 [山に水に]	書110	曲-日5051
	歌-日6797	山に満ち野に溢れ	突貫	書27 書54 書241	曲-日4772
	歌-日6798	山の朝霧茜の雲が	キヤムプ小唄	書385	曲-日1786
	歌-日6799	山のあなたを見わたせば [山のあなたを]	山のあなたを	書117	曲-日6889
	歌-日6800	山のあなたを見渡せば [山のあなた]	山のあなた	書31	曲-日6888
	歌-日6801	山のあなたの秋の月	故郷 [山のあなたの秋の月]	書373	曲-日6006
	歌-日6802	やまのおてらのかねがなる	お寺の鐘	書27 書54	曲-日985
	歌-日6803	やまのからすがもってきた	烏の手紙	書54	曲-日1487
	歌-日6804	山のさくらもえみそめぬ	春秋季皇霊祭	書145	曲-日3088
	歌-日6805	やまのすがたはなだらかに	山川	書166	曲-日6838
	歌-日6806	やまのたかさもみうみのふかさも	数字拾ひ	書166	曲-日3390
	歌-日6807	山の中に小屋を掛けて	木挽	書312	曲-日1750
	歌-日6808	山の望み	修学旅行 [山の望み]	書282	曲-日3011
	歌-日6809	山の端白みて雲あからみて	日の出 [山の端白みて雲あからみて]	書311	曲-日5751
	歌-日6810	やまふところのさくらばな	落花 [やまふところのさくらばな]	書54	曲-日7202
	歌-日6811	山辺に野辺に [吹けよ春風]	吹けよ春風	書174	曲-日5858
	歌-日6812	山辺にのべに霞み渡り	四季の景色 [山辺にのべに霞み渡り]	書146	曲-日2854
	歌-日6813	やまべものべもかすみわたり [美はしの四季]	美はしの四季	書28	曲-日732
	歌-日6814	山辺も野辺もかすみ渡り [美はしき四季]	美はしき四季	書54 書100	曲-日731
	歌-日6815	山杜鵑血に啼きし	上野公園	書147	曲-日573
	歌-日6816	山紫に [第二高等学校明善寮歌]	第二高等学校明善寮歌	書252	曲-日3962
	歌-日6817	山紫に [第六高等学校校歌]	第六高等学校校歌	書252	曲-日4103
	歌-日6818	山紫に賀茂川や	蹴球部部歌(45年)	書387	曲-日3018
	歌-日6819	山紫に水清き [山紫に水清き(二高)]	山紫に水清き(二高)	書40	曲-日6912
	歌-日6820	山紫に水清き [寮歌(大正15年)]	寮歌(大正15年) [山紫に水清き]	書387	曲-日7253
	歌-日6821	山も野辺も冬が来て	冬枯	書116	曲-日5961
	歌-日6822	やまやまいろづきはたもきばみ	田家の秋	書54	曲-日4605
	歌-日6823	山々かすみいりあいの [墳上感懐]	墳上感懐	書200	曲-日6022
	歌-日6824	山々かすみいりあひの [グレー氏墳上感懐の詩]	グレー氏墳上感懐の詩	書303	曲-日1994
	歌-日6825	山々にたなびく霞	花見 [山々にたなびく霞]	書204	曲-日5464
	歌-日6826	山行き河去り里は来る	汽車の旅 [山行き河去り里は来る]	書52	曲-日1676
	歌-日6827	やまよりたかきちのおん	親の恩 [やまよりたかきちのおん]	書165	曲-日1084
	歌-日6828	山はかすみてうらうらと	蕨とり	書225	曲-日7473
	歌-日6829	山は聳え海は深し	旅順陥落 [山は聳え海は深し]	書389	曲-日7267
	歌-日6830	山は高い野はただひろし	旅人の唄	書40 書385	曲-日4261
	歌-日6831	闇黒打つ翼東海に	応援歌(大正10年) [闇黒打つ翼東海に]	書387	曲-日823
	歌-日6832	闇に陰れる空寂の	第二十六回記念祭寮歌(5年南)	書386	曲-日4039
	歌-日6833	暗に誇り立つ	月出山	書28	曲-日4467
	歌-日6834	闇の醜雲うちはらひ	第十九回記念祭寮歌(42年西)	書386	曲-日3870
	歌-日6835	闇の中なる [第一高等学校全寮寮歌]	第一高等学校全寮寮歌	書252	曲-日3756
	歌-日6836	闇の中なる一すぢの [全寮寮歌]	全寮寮歌	書40 書386	曲-日3644
	歌-日6837	闇はあやなし	旅順港	書231	曲-日7272
	歌-日6838	やよアッパ―テ	やよアッパ―テ	書232	曲-日6917
	歌-日6839	弥生が岡に地を占めて [第一高等学校寮歌]	第一高等学校寮歌	書252	曲-日3758
	歌-日6840	弥生が岡に地を占めて [第十三回記念祭寮歌(36年南)]	第十三回記念祭寮歌(36年南)	書386	曲-日3889
	歌-日6841	弥生が岡にまかれにし	第二十四回記念祭寄贈歌(3年京大)	書386	曲-日4024
	歌-日6842	弥生ヶ丘に洩れ出づる	第三十一回記念祭寮歌(10年) [弥生ヶ丘に洩れ出づる]	書386	曲-日3809
	歌-日6843	弥生ヶ岡の花かすみ	第十八回記念祭寮歌(41年南)	書386	曲-日3913
	歌-日6844	弥生が岡の夕まぐれ	第二十四回記念祭寮歌(3年東)	書386	曲-日4029
	歌-日6845	弥生の空のどけさに	春の散歩	書28	曲-日5609
	歌-日6846	弥生の空は寒けれど	新府城曲	書224	曲-日3338
	歌-日6847	やようさぎころせよ	兎 [やようさぎころせよ]	書166	曲-日608
	歌-日6848	やよ顔を見せよ見せ	臨終	書337	曲-日7288
	歌-日6849	やよこどもらよあさごとに	朝顔 [やよこどもらよあさごとに]	書166	曲-日196
	歌-日6850	やよ来よやよ来よ懐しの友よ	やよ来よ	書232	曲-日6919
	歌-日6851	やヨ時ならぬ	不時呼集	書231	曲-日5865
	歌-日6852	やよ眠れ [眠れ子供直に]	眠れ子供直に	書232	曲-日5202
歌-日6853	やよ眠れ稚児よ [ああ稚児よ]	ああ稚児よ	書232	曲-日6	
歌-日6854	やよ花ざくらよ	やよ花桜	書161 書379 書381	曲-日6920	
歌-日6855	やよ船子 [船子遣]	船子遣	書138	曲-日5939	
歌-日6856	やよふなこげふねを [船子]	船子 [やよふなこげふねを]	書54 書153 書154 書166 書336	曲-日5938	
歌-日6857	やよまなびこよころせよ	坂に車 [やよまなびこよころせよ]	書165	曲-日2638	
歌-日6858	やよみたま稲をうえ井の水たたへ	やよ御民	書153 書154	曲-日6921	
歌-日6859	やよみよこどもおほぞらの	理学の力	書166	曲-日7218	
歌-日6860	やよや乙女子今は春	今は春	書166 書285	曲-日534	
歌-日6861	やよや止まれ正行よ稚れども	楠母慈訓之段	書355	曲-日5010	
歌-日6862	やよやおおいおおい	木霊 [やよやおおいおおい]	書60	曲-日2451	
歌-日6863	やよやよ心せよ	見張せよ	書232	曲-日6512	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
や	歌-日6864	やよやよ幸は何処に	呼びかけ	書232	曲-日7156
	歌-日6865	やよやよ共に舞わん楽しく	夏の踊へ	書232	曲-日4915
	歌-日6866	やよやよ見よや	夕照	書282	曲-日3572
	歌-日6867	やよやよよ諸共に	やよ踊れ	書232	曲-日6918
	歌-日6868	矢よりも早く過ぎ行きし	歳暮 [矢よりも早く過ぎ行きし]	書137 書166	曲-日3536
	歌-日6869	槍は錆びても	槍さび	書368	曲-日6922
	歌-日6870	やれうんとこまかして	第三 蟹の旧邸(桃と柿の対面)	書340	曲-日3799
歌-日6871	やは風涼しき宵間に	納涼 [やは風涼しき宵間に]	書28	曲-日5244	
ゆ	歌-日6872	由比が浜とは頼朝が	由比が浜	書28 書100	曲-日6923
	歌-日6873	ゆうかぜかなしくむしもなき	秋の夕暮 [ゆうかぜかなしくむしもなき]	書165 書176	曲-日155
	歌-日6874	ゆふかぜすずしいでもすずし	夕涼 [ゆふかぜすずしいでもすずし]	書166	曲-日6947
	歌-日6875	夕風すずし出でも涼まん	夕涼 [夕風すずし出でも涼まん]	書60	曲-日6949
	歌-日6876	夕かぜすずしくつちる竹の	軒端の竹	書182	曲-日5259
	歌-日6877	ゆふ風にひき裂かれ	星の光 [ゆふ風にひき裂かれ]	書166 書176	曲-日6179
	歌-日6878	ゆふきなくちきぞますらたけをよ	誠はひとすじ	書166	曲-日6285
	歌-日6879	遊戯や唱歌で	腰掛	書266	曲-日2404
	歌-日6880	夕霧こめし	月見草	書86	曲-日4484
	歌-日6881	勇氣はふるへど	かめわり柴田	書159	曲-日1468
	歌-日6882	夕暮るる筑摩の森をそぞろゆく	松本高等学校寮歌 [夕暮るる筑摩の森をそぞろゆく]	書40	曲-日6333
	歌-日6883	ゆふぐれかすむかすみがうら	かすみが浦	書166 書285	曲-日1328
	歌-日6884	ゆふぐれしろきあらしやま	嵐山 [ゆふぐれしろきあらしやま]	書165	曲-日353
	歌-日6885	夕暮に仰ぎ見る [私の青空]	私の青空	書241	曲-日7459
	歌-日6886	夕暮に仰ぎ見る [青空]	青空 [夕暮に仰ぎ見る]	書363 書385	曲-日49
	歌-日6887	夕暮に眺め見あかぬ隅田川	夕暮 [夕暮に眺め見あかぬ隅田川]	書363	曲-日6939
	歌-日6888	ゆふぐれふかくのちをつつみ	夕の散歩	書165	曲-日6963
	歌-日6889	夕暮れ浴みの袖軽ろく	納涼 [夕暮れ浴みの袖軽ろく]	書28 書100	曲-日5246
	歌-日6890	優柔不断は男子の恥よ	デカンショ節	書40	曲-日4572
	歌-日6891	悠然と	人形 [悠然と]	書282	曲-日5169
	歌-日6892	夕空はれて秋風ふき	故郷の空 [夕空はれて秋風ふき]	書60 書169	曲-日2338
	歌-日6893	夕空晴れて秋風吹く	故郷の空 [夕空晴れて秋風吹く]	書337	曲-日2339
	歌-日6894	夕立晴れて暑さ過ぎぬ	虹 [夕立晴れて暑さ過ぎぬ]	書215	曲-日5035
	歌-日6895	夕立はれて涼しき空に	虹 [夕立はれて涼しき空に]	書60 書225 書309	曲-日5034
	歌-日6896	ゆうだちははれてにじがでた	虹 [ゆうだちははれてにじがでた]	書54 書206	曲-日5029
	歌-日6897	夕月丘にのぼりきて	第三十三回記念寮歌(12年) [夕月丘にのぼりきて]	書386	曲-日3821
	歌-日6898	夕月かすかほのめき初めて	夕雲雀	書310	曲-日6969
	歌-日6899	ゆふ月はほのほにほひ	春の夕 [ゆふ月はほのほにほひ]	書52	曲-日5641
	歌-日6900	夕の稲妻朝のつゆ	児童を奨励に	書203	曲-日2937
	歌-日6901	ゆふひをかかすはたでのなびき	涙の声	書165 書169	曲-日4969
	歌-日6902	ゆふ日がおちて日がくれかけた	日ぐれ	書263	曲-日5703
	歌-日6903	夕日かそけきこの静寂	さすらひの旅	書11	曲-日2709
	歌-日6904	夕日きえゆく	船路の歌	書138	曲-日5940
	歌-日6905	夕陽照る照る落葉の丘に	夕陽 [夕陽照る照る落葉の丘に]	書40	曲-日6968
	歌-日6906	夕日に燃ゆる雲のいろ	寮歌(大正6年)	書387	曲-日7254
	歌-日6907	ゆふひのいりうみなみもなぎて	晩江	書54	曲-日5672
	歌-日6908	夕日の影を羽にうけて	夕景	書29 書147	曲-日6941
	歌-日6909	夕日のこる花園に	牡丹	書225	曲-日6224
	歌-日6910	夕日山にかくれたり	牛おふ童 [夕日山にかくれたり]	書166 書279	曲-日619
	歌-日6911	夕日ははやくも	雲のいろ [夕日ははやくも]	書180	曲-日1976
	歌-日6912	夕陽は端山に名残を分ち	山家の月	書100	曲-日6835
	歌-日6913	夕日は山にかくれたり	牛追ふ童 [夕日は山にかくれたり]	書40	曲-日620
	歌-日6914	ゆふひはやまにかくれはてぬ	蛭狩 [ゆふひはやまにかくれはてぬ]	書165	曲-日6209
	歌-日6915	夕古城を	校歌 [夕古城を]	書18	曲-日2198
	歌-日6916	夕静けき森の中	貴く生きん	書2 書31 書240	曲-日4693
	歌-日6917	夕月影淡きみ空	沢のほとり	書60	曲-日2775
	歌-日6918	ゆうべとなりぬ日くれぬ	夕の歌	書28	曲-日6976
	歌-日6919	昨夜の雨で生まれたか	木の芽	書209	曲-日1746
	歌-日6920	ゆふべのあらしにあはれちりて	落花 [ゆふべのあらしにあはれちりて]	書166	曲-日7203
	歌-日6921	夕べの雲は [晩春の別離]	晩春の別離	書29	曲-日5679
	歌-日6922	ゆふべのくもはふかくなびき [旅路の空]	旅路の空	書54	曲-日4248
	歌-日6923	ゆふべの空きりたちこめ	旅の暮 [ゆふべの空きりたちこめ]	書166 書175	曲-日4255
	歌-日6924	昨夜の夢は	兎の餅春	書201 書382	曲-日617
	歌-日6925	ゆうべ夢見た	宝船 [ゆうべ夢見た]	書315	曲-日4139
	歌-日6926	昨夜よんだ	花嫁子	書368	曲-日5470
	歌-日6927	夕もやゆるる野路の末に	夕の野辺	書27 書60	曲-日6964
	歌-日6928	ゆふやけこやけ [舞踏]	舞踏 [ゆふやけこやけ]	書197	曲-日5920
	歌-日6929	夕焼け小焼け [花咲翁]	花咲翁 [夕焼け小焼け]	書163	曲-日5408
	歌-日6930	夕やけこやけ明日天気になれ	夕やけ [夕やけこやけ明日天気になれ]	書264	曲-日6984
	歌-日6931	夕やけこやけあしたは天気になれ	村の少女たち合唱「夕やけこやけ」	書106	曲-日6600
	歌-日6932	夕やけ小焼あすは天気になれ [夕焼け小焼]	夕焼け小焼 [夕やけ小焼あすは天気になれ]	書368	曲-日6986
	歌-日6933	夕焼け小焼けで日が暮れて	夕焼け小焼け [夕焼け小焼けで日が暮れて]	書2 書40 書117	曲-日6985
	歌-日6934	夕焼け小焼けのあかとんぼ	赤とんぼ [夕焼け小焼けのあかとんぼ]	書31 書117	曲-日75
	歌-日6935	ゆふやけこやけはたのはたのこうりゃんは	夕やけ [ゆふやけこやけはたのはたのこうりゃんは]	書358	曲-日6983
	歌-日6936	ゆふやましづかにくもをおくりて	あすの日和	書166	曲-日269
	歌-日6937	ゆうらりゆうらり	揺籠ゆうら	書315	曲-日7094
	歌-日6938	幽嶺ここに浄くして	東筑摩郡中川村歌	書253	曲-日5691
	歌-日6939	ゆくわいにあがる打上げはなび	花火 [ゆくわいにあがる打上げはなび]	書262	曲-日5456
	歌-日6940	愉快人の身には	避暑	書92	曲-日5719
	歌-日6941	ゆかしあの山あの森陸	故郷の夢	書310	曲-日6014
	歌-日6942	床し嬉し友の心	友情	書60	曲-日6946

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ゆ	歌-日6943	ゆかしきおもわさやけきこわね	写真	書175	曲-日2990
	歌-日6944	床しきものよろばの鈴	鈴の音 [床しきものよろばの鈴]	書358	曲-日3408
	歌-日6945	ゆかしく楽しき我宿	我宿 [ゆかしく楽しき我宿]	書147	曲-日7409
	歌-日6946	ゆかしゆかしあきのやまざと	秋の山里 [ゆかしゆかしあきのやまざと]	書54	曲-日151
	歌-日6947	床の下にと落したる	思ひやり	書124	曲-日1063
	歌-日6948	ゆかりあり其の名残とて	小田郡大江村歌	書253	曲-日947
	歌-日6949	ゆきかへり夜の銀ぶら	銀座セレーナーデ	書385	曲-日1884
	歌-日6950	雪が空に	雪 [雪が空に]	書17	曲-日7011
	歌-日6951	ゆきぐもおもげにそらひくく	雪 [ゆきぐもおもげにそらひくく]	書27	曲-日7003
	歌-日6952	雪げの風は	落機山吹雪	書110	曲-日7331
	歌-日6953	雪解の林に	雪解の林	書232	曲-日7025
	歌-日6954	ゆきこぼれてあらしさむく	歳暮 [ゆきこぼれてあらしさむく]	書165 書225	曲-日3533
	歌-日6955	雪達磨が	雪だるま [雪達磨が]	書264	曲-日7033
	歌-日6956	逝きて帰らぬ	歳暮 [逝きて帰らぬ]	書181	曲-日3534
	歌-日6957	ゆきて見ばやさける	花紅葉 [ゆきて見ばやさける]	書175	曲-日5468
	歌-日6958	逝きにし父上あ母上	亡き父母	書54	曲-日4870
	歌-日6959	ゆきのあしたのあさめ原	雪 [ゆきのあしたのあさめ原]	書161	曲-日7004
	歌-日6960	ゆきのあしたもあめのよも	若林新七	書124	曲-日7390
	歌-日6961	雪のお山でリヤーンとリヤン [スキー民謡]	スキー民謡 [雪のお山でリヤーンとリヤン]	書240	曲-日3397
	歌-日6962	雪のお山でリヤーンとリヤン [雪のお山で]	雪のお山で	書385	曲-日7046
	歌-日6963	雪の進軍氷をふんで	雪の進軍	書40 書46 書67 書166 書203 書368 書385	曲-日7049
	歌-日6964	雪の中にもさきいでて	早梅	書161	曲-日3669
	歌-日6965	雪の降るのに	雪の降るのに	書368	曲-日7053
	歌-日6966	ゆきのふるよにかあさまの	玩具の舟 [ゆきのふるよにかあさまの]	書54	曲-日1069
	歌-日6967	ゆきのふるよにかあさんの	玩具の舟 [ゆきのふるよにかあさんの]	書54	曲-日1070
	歌-日6968	雪の夜に	さのさくづし一名チョイトネ節	書288	曲-日2738
	歌-日6969	雪ふらばふれふらばふれ	寄宿寮歌	書386	曲-日1684
	歌-日6970	ゆきふりつみぬ	雪まぼろし	書28	曲-日7059
	歌-日6971	雪ふりつもる [冬]	冬 [雪ふりつもる]	書228	曲-日5956
	歌-日6972	雪降り積るわが庭の [雪]	雪 [雪降り積るわが庭の]	書120 書121 書165	曲-日7013
	歌-日6973	雪降り雪晴れ	垂氷	書117	曲-日4550
	歌-日6974	雪ふる庭の寒きあした	雀鴉	書145 書165	曲-日3421
	歌-日6975	ゆきほどしろきものはなし	雪 [ゆきほどしろきものはなし]	書147 書161 書165 書169	曲-日7005
	歌-日6976	雪や霰をしのぎ来て	勸学 [雪や霰をしのぎ来て]	書134	曲-日1554
	歌-日6977	雪やこんこ霰やこんこ	雪 [雪やこんこ霰やこんこ]	書54 書60 書208	曲-日7012
	歌-日6978	雪やこんこん霰やこんこん	雪やこんこん	書40 書166 書378	曲-日7060
	歌-日6979	ゆきよあられよふれふれ	学校の道	書88 書166	曲-日1387
	歌-日6980	ゆきはちらちらふってきた	雪だるま [ゆきはちらちらふってきた]	書60 書68 書165	曲-日7031
	歌-日6981	ゆくへとほく霞む学びの山路に	学びの山	書309	曲-日6367
	歌-日6982	ゆくへはるけき蒙古路は	居庸関の早春	書358	曲-日1863
	歌-日6983	行くかわが友学舎あとに	送別の歌 [行くかわが友学舎あとに]	書85	曲-日3684
	歌-日6984	行末くもる筑紫の空	菅公 [行末くもる筑紫の空]	書87	曲-日1578
	歌-日6985	ゆくすえとほきつしがた	菅公 [ゆくすえとほきつしがた]	書165	曲-日1572
	歌-日6986	ゆくぞゆこうぞがんとやるぞ	進め一億火の玉だ	書236	曲-日3419
	歌-日6987	行手の道は遠くとも	行手の道	書239	曲-日7063
	歌-日6988	行く船の	第三場 鬼が島海上の場 鬼が城打入りの段	書25	曲-日3848
	歌-日6989	湯気立ち上る食堂の	賄征伐の唄	書387	曲-日6267
	歌-日6990	行けども行けども水また水	行けども	書60 書164 書165	曲-日7065
	歌-日6991	行けや早く行け行けわが子	兵士の門出	書166 書255	曲-日6041
	歌-日6992	征けや大和の海国児	征露の歌 [征けや大和の海国児]	書16	曲-日3555
	歌-日6993	行けや行けやとく行け我が子	出征兵士	書213 書214	曲-日3073
	歌-日6994	ゆけや若駒よ	若駒	書379	曲-日7367
	歌-日6995	ゆけやわがこまよ	ゆけやわがこまよ	書381	曲-日7067
	歌-日6996	行け行け男児日本男児	駒の蹄	書166 書279	曲-日2543
	歌-日6997	行け行けますらを	洋行	書229	曲-日7101
	歌-日6998	往け往け日本男児	往け往け日本男児	書166 書365 書391	曲-日7068
	歌-日6999	ゆけゆけ勇士空遠く	訪欧大飛行声援歌	書351	曲-日6089
	歌-日7000	ゆけよゆけよ	ゆけよゆけよ	書381	曲-日7069
	歌-日7001	行こうか参らんせうか米山の薬師 [米山甚句(新潟)]	米山甚句(新潟)	書385	曲-日7151
	歌-日7002	行こうか戻るかオロラの下を	漂浪の歌	書40	曲-日5799
	歌-日7003	行こかまいらんせうか米山の薬師 [米山甚句]	米山甚句	書363	曲-日7150
	歌-日7004	行こか戻るか [さすらひの唄]	さすらひの唄 [行こか戻るか]	書385	曲-日2707
	歌-日7005	豊けき秋や	ゆたけき秋 [豊けき秋や]	書120	曲-日7072
	歌-日7006	ゆたけき春の朝日を浴びて	校庭にて	書86	曲-日2258
	歌-日7007	ゆたけし春の小川の流れ	春の小川 [ゆたけし春の小川の流れ]	書269	曲-日5591
	歌-日7008	ゆだんすなみのかさかぶり	鳥おどしの歌	書165	曲-日4817
	歌-日7009	弓弦を鳴らし夫のいくさ	女鑑	書309	曲-日1113
	歌-日7010	弓箭のさわぎ飛火のけぶり	太平の曲 [弓箭のさわぎ飛火のけぶり]	書152 書153 書161 書225 書226	曲-日4071
	歌-日7011	指折りがぞへて	帰省 [指折りがぞへて]	書324	曲-日1689
	歌-日7012	指折り添へて数ふれば君に別れて四とせなり	弔友人の墓	書303	曲-日4786
	歌-日7013	指折るほど	夏休 [指折るほど]	書283	曲-日4943
	歌-日7014	指に足りない一寸法師	一寸法師 [指に足りない一寸法師]	書162	曲-日475
歌-日7015	夕の鐘の遠永く	春の夕 [夕の鐘の遠永く]	書29	曲-日5643	
歌-日7016	ゆみやとりてはおにがみを	日本人	書166	曲-日5109	
歌-日7017	夢路のはてか黒雲は	日影の歌	書166 書285	曲-日5687	
歌-日7018	夢に打つおとききし窓を	雪景色	書68	曲-日7024	
歌-日7019	夢になづみて [揺籃歌]	揺籃歌	書337	曲-日7092	
歌-日7020	夢になづみて [汝がとも]	汝がとも	書188	曲-日5000	
歌-日7021	夢や見るらん	鷗 [夢や見るらん]	書85	曲-日1472	

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
ゆ	歌-日7022	夢ゆたかなる自治のその	第二十三回記念祭歌	書386	曲-日3989
	歌-日7023	ゆらゆうら	ねんねこ唄 [ゆらゆうら]	書345	曲-日5218
	歌-日7024	ゆらゆらゆらきらきらきら	かげろふ	書210	曲-日1286
	歌-日7025	ゆらりゆらりと波間の舟の	那須与一 [ゆらりゆらりと波間の舟の]	書60 書174	曲-日4882
	歌-日7026	ゆりかごの唄をかなりやが唄ふよ	ゆりかごの唄	書2 書31 書117	曲-日7093
	歌-日7027	ゆりの花が一つ二つ	ゆりの花	書263	曲-日7096
	歌-日7028	許して下さい小鳥さん	小鳥 貴公子独唱	書24	曲-日2487
	歌-日7029	ゆれて漂ふ陽炎に	第二十四回記念祭歌(3年中)	書386	曲-日4028
	歌-日7030	ゆはづのさわぎ飛火のけぶり	太平の曲 [ゆはづのさわぎ飛火のけぶり]	書67 書139 書165 書170	曲-日4070
	よ	歌-日7031	夜明けだ夜明けだ白んだ空に	保健の唄	書352
歌-日7032		夜嵐松風吹きやむ間に	小督 [夜嵐松風吹きやむ間に]	書312	曲-日2376
歌-日7033		よい子よねむれ	ねむれ [よい子よねむれ]	書116	曲-日5200
歌-日7034		よいぢいさんが	こぶとり [よいぢいさんが]	書104	曲-日2532
歌-日7035		よひづきのかげもあはく	村の夕 [よひづきのかげもあはく]	書27 書174	曲-日6602
歌-日7036		宵の篝火影うせて [月下陣]	月下陣 [宵の篝火影うせて]	書143	曲-日2118
歌-日7037		宵の篝火影失せて [月下の陣]	月下の陣	書40	曲-日2120
歌-日7038		宵の篝火影きえて	月下陣 [宵の篝火影きえて]	書103 書166	曲-日2119
歌-日7039		宵星遠の	神殿	書188	曲-日3316
歌-日7040		宵闇せまれば	君恋し	書385	曲-日1773
歌-日7041		宵は待ち	宵は待	書368	曲-日7100
歌-日7042		用意	かけくら	書60	曲-日1277
歌-日7043		妖雲瘴霧むらむらと	第二十一回記念祭歌(44年北)	書386	曲-日3971
歌-日7044		八日の月の影消えて	閉塞隊の歌	書255	曲-日6053
歌-日7045		陽光みなぎるみ空の下に	野球の歌	書85	曲-日6750
歌-日7046		環瑠みかく石狩の [北海道帝大恵迪祭歌]	北海道帝大恵迪祭歌	書40	曲-日6229
歌-日7047		環瑠みかく石狩の [環瑠みかく(大正九年)]	環瑠みかく(大正九年)	書77	曲-日7111
歌-日7048		夜をこめてつりする小船あはれ	漁火	書182	曲-日432
歌-日7049		夜を日につぎて渡り来る	渡り鳥	書86	曲-日7469
歌-日7050		夜風痛く	野営の暁	書281	曲-日6737
歌-日7051		よかぜをさむみうちかはす	暮秋	書165 書230	曲-日6183
歌-日7052		夜風つめたくかがり火ゆれて	露堂の夢 [夜風つめたくかがり火ゆれて]	書255	曲-日7319
歌-日7053		よきともえらびあそぶべし	よき友	書165	曲-日7116
歌-日7054		淑人の	芳野山 [淑人の]	書110	曲-日7144
歌-日7055		よき船旋を巻きつつ今ぞ	別離	書240	曲-日6074
歌-日7056		よきほどほどにつちかへば	よきほど	書27 書120	曲-日7118
歌-日7057		よきみをのぞまばよきたねおろす	好果	書54	曲-日2196
歌-日7058		よくとよこぶちちははのきみ	他郷の月	書54 書60 書182 書184	曲-日4150
歌-日7059		慾兵衛ぢいさんどうしたらう	舞台合唱「慾兵衛ぢいさんどうしたらう」 太郎兵衛独唱 村人子供合唱「慾兵衛ぢいさんどこへつ」	書106	曲-日5912
歌-日7060		横雲なびきて明けゆく山の端	夜あけ	書87	曲-日7097
歌-日7061		よごとわがむねにうたひし	セレナーデ	書54	曲-日3603
歌-日7062		横笛小鼓	里祭 [横笛小鼓]	書180	曲-日2731
歌-日7063		与謝の海かすみて	天橋立 [与謝の海かすみて]	書328	曲-日318
歌-日7064		よさの浜辺の	浦島の独唱	書274	曲-日725
歌-日7065		よしあし茂き難波渦	一寸法師 [よしあし茂き難波渦]	書9	曲-日474
歌-日7066		よしなき私情にほだされて	陸奥の花 [よしなき私情にほだされて]	書166	曲-日6577
歌-日7067		吉野を出でてうち向ふ	四條畷	書60 書225	曲-日2884
歌-日7068		よしののやまをみわたせば	桜 [よしののやまをみわたせば]	書166 書225	曲-日2663
歌-日7069		よしののやまにちるさくら	大和男児 [よしののやまにちるさくら]	書166	曲-日6873
歌-日7070		よしののやまにふきすさぶ	村上義光 [よしののやまにふきすさぶ]	書165	曲-日6583
歌-日7071		よしののやまのおくふかく	静 [よしののやまのおくふかく]	書165	曲-日2887
歌-日7072		吉野の山の呼子鳥	吉野山懐古	書217 書311	曲-日7145
歌-日7073		よしのの山ふかくいり	山路の雪	書161	曲-日6849
歌-日7074		よしののやまよしののやま	吉野山 [よしののやまよしののやま]	書159 書165	曲-日7140
歌-日7075		よしのは春の桜がり	月の瀬	書225 書309	曲-日4473
歌-日7076		よしや百万の大軍も	日本男児 [よしや百万の大軍も]	書134	曲-日5117
歌-日7077		よせくるてきぐんおほかるとても	日本男児 [よせくるてきぐんおほかるとても]	書166	曲-日5118
歌-日7078		よせくるなみかへるなみ	波 [よせくるなみかへるなみ]	書27	曲-日4963
歌-日7079		寄せ来るはずはや敵よ	戦闘歌 [寄せ来るはずはや敵よ]	書225	曲-日3627
歌-日7080		よせこしくろふねとどろくほづつ	王政復古 [よせこしくろふねとどろくほづつ]	書166	曲-日838
歌-日7081		寄せては返へす	磯のなみ	書324	曲-日450
歌-日7082		よせてはかへるあしまのなみ	千鳥の声	書88 書166	曲-日4360
歌-日7083		よせてはかへるなみのなみ	須磨	書54 書159	曲-日3456
歌-日7084		よそには比もあらざる君に	君国 [よそには比もあらざる君に]	書145	曲-日2074
歌-日7085		ちよにやちよとゆくすえを	常盤静	書165 書169	曲-日4725
歌-日7086		四の時にも	秋 [四の時にも]	書228	曲-日89
歌-日7087	よつのときながめぞつきぬ春ははな	四の時 [よつのときながめぞつきぬ春ははな]	書153 書154 書166	曲-日7149	
歌-日7088	夜露滋き	夜の思 [夜露滋き]	書350	曲-日7167	
歌-日7089	夜露にうまれて苔地にそだちて	水の歌	書88 書166	曲-日6447	
歌-日7090	よとせのむかしをけふみれば	卒業式 [よとせのむかしをけふみれば]	書165	曲-日3707	
歌-日7091	よどまぬ月日は早川なれや	想起	書122 書336	曲-日3653	
歌-日7092	よなかにゆきのふりつむやうに	静かにあゆめ	書166	曲-日2895	
歌-日7093	夜半のなごり	暁の旅	書110	曲-日71	
歌-日7094	夜中宿屋の	浅黄の着物	書201 書202	曲-日212	
歌-日7095	世に愚なる男あり	気のかはり易き男	書93	曲-日1740	
歌-日7096	世に芳しく美しき	紫式部 [世に芳しく美しき]	書225 書310	曲-日6586	
歌-日7097	世に比類なき日本の大和心の	大和心 [世に比類なき日本の大和心の]	書365	曲-日6859	
歌-日7098	よにたぐひなきわがくにの	御国の桜	書166 書251	曲-日6416	
歌-日7099	世に文明の花とさく	看護	書44	曲-日1571	
歌-日7100	よにまたなくも	戦友 [よにまたなくも]	書336	曲-日3639	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
よ	歌-日7101	世にまだ馴れぬ雛の雀	雛の雀	書88 書166	曲-日5742
	歌-日7102	よにもうれし友の愛	友の愛	書177	曲-日4798
	歌-日7103	世には友愛ある人の多きが中にも山鳥の	伊藤冠峯の友誼	書237	曲-日482
	歌-日7104	米山さんから雲が出た	三階節	書363	曲-日2781
	歌-日7105	世のなみかぜ	主の平安	書70 書71	曲-日3079
	歌-日7106	世の人つらしとても	古人を友とす	書282	曲-日2427
	歌-日7107	ヨハネ可愛や	ヨハネの唄	書23	曲-日7154
	歌-日7108	よばはりしらせよ	呼はり報せよ	書70 書71	曲-日7155
	歌-日7109	世びとのため十字架に	誠に実に	書70 書71	曲-日6276
	歌-日7110	世人よくみて	子	書143	曲-日2166
	歌-日7111	夜ふけに帰る町かどに	かへり道の歌	書317	曲-日1207
	歌-日7112	呼ぶは地平かみどりの風か	呼ぶは地平か	書184 書240	曲-日7158
	歌-日7113	蘇る春の記念祭を	第二十八回記念祭寄贈歌(7年東大) [蘇る春の記念祭を]	書386	曲-日4017
	歌-日7114	よみちのたびとは	山県中尉	書169	曲-日6831
	歌-日7115	四方に輝く日のもと国のみのりのおぼづなを	四方にかがやく	書141	曲-日7161
	歌-日7116	四方の海辺に波たたず	治まる御代 [四方の海辺に波たたず]	書165 書145	曲-日927
	歌-日7117	四方の野山を眺めても	冬 [四方の野山を眺めても]	書303	曲-日5954
	歌-日7118	四方の山々みどりして	清流	書28 書54	曲-日3540
	歌-日7119	よるの大殿に	詠史 [よるの大殿に]	書110	曲-日762
	歌-日7120	夜の山行るとき	燐光	書78	曲-日7285
	歌-日7121	夜ひる立そひわれを守り	母 [夜ひる立そひわれを守り]	書145	曲-日5484
	歌-日7122	よるひるたゆまぬとけいのひびき	時計 [よるひるたゆまぬとけいのひびき]	書165	曲-日4743
	歌-日7123	夜屋書よむ窓の下	蛍雪	書60	曲-日2108
	歌-日7124	よるひるわかずまもれやまもれ	海軍 [よるひるわかずまもれやまもれ]	書46 書166	曲-日1125
	歌-日7125	よるもひるまも	ボンボン時計	書222	曲-日6257
	歌-日7126	よろこびうたへ	喜びうたへ	書70 書71	曲-日7179
	歌-日7127	歡を緑の森に歌へ	森の歌 [歡を緑の森に歌へ]	書232	曲-日6715
	歌-日7128	万の国々	海国少年	書92	曲-日1150
	歌-日7129	よろづのくににたぐひもなき	我国旗 [よろづのくににたぐひもなき]	書52	曲-日7364
	歌-日7130	万の国の	日の丸の旗 [万の国の]	書206 書225	曲-日5759
	歌-日7131	万の事も明けく	開校の祝歌	書165 書251	曲-日1145
	歌-日7132	よろずよ動かぬ	我国 [よろずよ動かぬ]	書227	曲-日7357
	歌-日7133	万代かけてうごきななき	河内郡羽黒村歌	書253	曲-日1525
	歌-日7134	よわいな	野見宿彌 [よわいな]	書159 書160	曲-日5291
	歌-日7135	世はおもしろきけふの旅よ	山路の旅	書68	曲-日6848
	歌-日7136	世は苜蓿と乱れつつ [七脚落の歌]	七脚落の歌	書165	曲-日2927
	歌-日7137	世はかり苜蓿と乱れつつ [舞曲に擬して作る]	舞曲に擬して作る	書198 書287	曲-日5852
	歌-日7138	世は苜蓿とみだれつつ [院の庄]	院の庄 [世は苜蓿とみだれつつ]	書287	曲-日562
	歌-日7139	世は苜蓿と乱れつつ [七脚の長州下り]	七脚の長州下り	書200	曲-日4949
	歌-日7140	世は苜蓿と乱れつつ [擬舞曲歌]	擬舞曲歌	書303	曲-日1754
	歌-日7141	世は苜蓿の乱れたる	高德節義を桜樹に録す歌	書237	曲-日4136
	歌-日7142	世はつみのためにくらし	エスは世の光なり	書70 書71	曲-日778
	歌-日7143	夜は更け渡りて	舟子 [夜は更け渡りて]	書353	曲-日5937
	歌-日7144	夜はほのぼのと [乙女の心]	乙女の心	書29	曲-日995
	歌-日7145	よはほのぼのと明け初めて	漕よ水夫	書70 書71	曲-日2373
	歌-日7146	夜はほのぼのと明け渡る	本能寺	書287	曲-日6254
	歌-日7147	弱虫原のチャンチャンは	牙山の占領 [弱虫原のチャンチャンは]	書314	曲-日1312
ら	歌-日7148	雷電へき震てんちを震動して	須磨の曲 [雷電へき震てんちを震動して]	書166 書335	曲-日3463
	歌-日7149	雷一しきり	夕立そそぐ	書86	曲-日6958
	歌-日7150	駱駝駱駝	駱駝	書267	曲-日7192
	歌-日7151	落花の雪に [落花の雪(太平記)]	落花の雪(太平記)	書257	曲-日7207
	歌-日7152	落花の雪に踏み迷う	俊基朝臣の東下り(太平記)	書287	曲-日4769
	歌-日7153	落花は雪と散るなかを	入相の鐘	書336	曲-日540
	歌-日7154	らっぱをくちにみぎむけいちに	喇叭	書166	曲-日7209
	歌-日7155	喇叭を吹いて進め進め	軍ごっこ	書60 書378	曲-日2080
	歌-日7156	喇叭の声の響くなり	野戦 [喇叭の声の響くなり]	書118	曲-日6802
	歌-日7157	喇叭の声は山を揺り	進撃	書46 書67 書365	曲-日3280
	歌-日7158	ラララ紅い花束車に積んで	春の唄 [ラララ紅い花束車に積んで]	書179 書238 書317	曲-日5579
	歌-日7159	ララララ [山彦]	山彦 [ララララ]	書350	曲-日6907
	歌-日7160	ララララ [輪舞]	輪舞	書60 書241	曲-日7289
	歌-日7161	ララララー [煙はまふよ]	煙はまふよ	書78	曲-日2131
り	歌-日7162	離宮の朝の池静か	熱河離宮	書358	曲-日5191
	歌-日7163	りすりす小栗鼠	りすりす小栗鼠	書117	曲-日7232
	歌-日7164	理想の海路	行進歌(後編)『夕の歌』	書18	曲-日2251
	歌-日7165	リボンひらひら	現代ぶし	書111	曲-日2153
	歌-日7166	龍王山より流れて	綾歌郡山田村歌	書253	曲-日339
	歌-日7167	龍騰り虎は嘯き猛威を振り	威海衛の砲撃	書375	曲-日404
	歌-日7168	琉球へおじやるなら	琉球節	書363 書385	曲-日7236
	歌-日7169	りゅうぐのりゅうぐのをとひめさんは	乙姫さん	書54	曲-日991
	歌-日7170	両手を高くさあけて	大政翼賛の歌	書268	曲-日3954
	歌-日7171	両手で粘土をくると	粘土細工	書267	曲-日5214
	歌-日7172	寮灯青木夜の雨	寮歌 [寮灯青木夜の雨]	書387	曲-日7245
	歌-日7173	遼陽城頭夜は闌て	橋中佐 [遼陽城頭夜は闌て]	書241	曲-日4192
	歌-日7174	遼陽城東夜は更けて [軍神橋中佐]	軍神橋中佐	書40	曲-日2085
	歌-日7175	遼陽城頭夜は更けて [橋中佐]	橋中佐 [遼陽城頭夜は更けて]	書385	曲-日4191
	歌-日7176	綾羅の衣乱れ打つ	水上部部歌(39年)	書387	曲-日3378
	歌-日7177	旅行をする人みおくりする人	停車場	書94	曲-日4568
	歌-日7178	旅順開城約成りて	水師營の会見	書47 書211 書212	曲-日3366
	歌-日7179	旅順港外天暗く	広瀬中佐 [旅順港外天暗く]	書54	曲-日5810

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
り	歌-日7180	旅順の役に我隊は	嗚呼山中中佐	書248	曲-日10
	歌-日7181	旅順の港頭狂風号び	広瀬中佐 [旅順の港頭狂風号び]	書54 書337	曲-日5812
	歌-日7182	旅順の空に星飛びて	第四回旅順口攻撃の歌	書255	曲-日3850
	歌-日7183	旅順封鎖の大任を	広瀬中佐 [旅順封鎖の大任を]	書270	曲-日5813
	歌-日7184	林檎はきれいな	林檎 [林檎はきれいな]	書266	曲-日7284
	歌-日7185	リンデルの花咲く国の	さすらひの唄 [リンデルの花咲く国の]	書40	曲-日2706
	歌-日7186	りんりんちりりん虫がなく	虫の声 [りんりんちりりん虫がなく]	書117 書266	曲-日6568
	歌-日7187	りんりん休みの鐘の音	休みの鐘の音	書60 書350	曲-日6781
	歌-日7188	リンリンリン月てる野に	虫なく野辺	書52	曲-日6561
	る	歌-日7189	ルシーヤンホン	月花集	書368
歌-日7190		瑠璃色の [夏の雲]	夏の雲	書315	曲-日4918
歌-日7191		瑠璃色の瑠璃色の [雲の峰]	雲の峰 [瑠璃色の瑠璃色の]	書241	曲-日1982
歌-日7192		瑠璃なす大空清らかに晴れて	郊外の秋	書116	曲-日2213
れ	歌-日7193	伶人豊原時時は幼うして父を失ひ	豊原時秋曲を足柄山中に受く	書237	曲-日4809
	歌-日7194	玲瓏高き	東京高等商業学校一橋会会歌	書252	曲-日4654
	歌-日7195	れいはこころのうやまひを	御辞儀遊	書166	曲-日935
	歌-日7196	歴史に其の名高島の	高島郡朽木村歌	書253	曲-日4125
	歌-日7197	歴史に名高き我村は	神石郡豊松村の歌	書253	曲-日1436
	歌-日7198	歴史は遠し四千年	簸川郡日御碕村歌	書253	曲-日5700
	歌-日7199	歴史は古りし柏葉旗	庭球部応援歌 [歴史は古りし柏葉旗]	書386	曲-日4561
	歌-日7200	れつをなしてひとすぢに	蟻 [れつをなしてひとすぢに]	書165	曲-日368
	歌-日7201	れつをはなれしわがかんの	来遠	書166	曲-日7189
	ろ	歌-日7202	廊下は寒い	ストオヴ	書266
歌-日7203		浪費を省きて財を贖し	慈善 [浪費を省きて財を贖し]	書237	曲-日2907
歌-日7204		ろえいのゆめをどじやうしに [日本の旅順]	日本の旅順	書166	曲-日5135
歌-日7205		露堂の夢を土城子に [露堂の夢]	露堂の夢 [露堂の夢を土城子に]	書40	曲-日7320
歌-日7206		ローレンツローレンツ	ローレンツよ!	書232	曲-日7326
歌-日7207		ロシャノラチサン	ロシャパン	書358	曲-日7330
歌-日7208		艘の音軽く小波わけて	舟遊び [艘の音軽く小波わけて]	書263	曲-日5933
わ	歌-日7209	ワイフもらってうれしかったが [コロツケ]	コロツケ	書11	曲-日2585
	歌-日7210	ワイフ貰つて嬉しかったが [コロツケの唄]	コロツケの唄	書385	曲-日2586
	歌-日7211	我が秋津州の帝国は	衆議院議員の当撰	書203	曲-日3014
	歌-日7212	我が後より来るは	『サロメ』の歌(元歌)	書11	曲-日2771
	歌-日7213	わが家一つ	かたつぶり	書225	曲-日1357
	歌-日7214	我が家は	我が家	書86	曲-日7335
	歌-日7215	我が庵は端山のみなみの麓	鶯告春 [我が庵は端山のみなみの麓]	書182	曲-日5561
	歌-日7216	わが幾万のますらをが	満州の野	書85	曲-日6397
	歌-日7217	我請川の村勢を	東牟婁郡請川村勢の歌	書253	曲-日5695
	歌-日7218	吾が歌朗に吾が世を明るく	愛	書232	曲-日13
	歌-日7219	わが生れし日の本は	愛国の歌	書336	曲-日23
	歌-日7220	我大君たふとしや	我大君 [我大君たふとしや]	書52	曲-日7340
	歌-日7221	わが大君に召されたる	出征兵士を送る歌	書238 書317	曲-日3074
	歌-日7222	わが大君の [靖国神社]	靖国神社 [わが大君の]	書225	曲-日6774
	歌-日7223	我大君の [開校式歌]	開校式歌	書368	曲-日1140
	歌-日7224	わが大君の [君の御楯]	君の御楯 [わが大君の]	書46	曲-日1778
	歌-日7225	わが大君のおほみかげ	我大君 [わが大君のおほみかげ]	書139 書161 書165 書170 書379 書381	曲-日7339
	歌-日7226	わが大君の続べ給う	皇軍の衛生団	書391	曲-日2230
	歌-日7227	わがおほきみのためならば	民の務 [わがおほきみのためならば]	書166	曲-日4272
	歌-日7228	吾大君のみことりかしくみまつり唐土の	膳巴提使	書303	曲-日1322
	歌-日7229	わがおほきみのみてづから	軍旗 [わがおほきみのみてづから]	書166	曲-日2064
	歌-日7230	吾大君の御恵みの	国民の務	書124	曲-日1936
	歌-日7231	吾が大君は高御座に在して	吾が大君 [吾が大君は高御座に在して]	書232	曲-日7341
	歌-日7232	我が思はてなし	帰省の感	書336	曲-日1691
	歌-日7233	わがかいぐんようてやうて	海軍 [わがかいぐんようてやうて]	書166	曲-日1126
	歌-日7234	我が海軍はいち早く	黄海の大捷 [我が海軍はいち早く]	書235 書305 書314 書391	曲-日2216
	歌-日7235	吾が神の子等は	吾が神の子等	書232	曲-日7344
	歌-日7236	我が神代より伝はりし	日本刀 [我が神代より伝はりし]	書203	曲-日5127
	歌-日7237	我が艦隊の軍艦旗	軍艦戦闘 [我が艦隊の軍艦旗]	書118	曲-日2030
	歌-日7238	我艦体の甲鉄艦	軍艦戦闘 [我艦体の甲鉄艦]	書118	曲-日2032
	歌-日7239	我が艦体の数十艘	軍艦戦闘 [我が艦体の数十艘]	書118	曲-日2029
	歌-日7240	わがかんたいのひのみはた	我艦隊	書46 書166	曲-日7345
	歌-日7241	若き怒ひに踏み迷ふ	第三十七回記念祭歌(昭和2年) [若き怒ひに踏み迷ふ]	書386	曲-日3825
	歌-日7242	若きをいかに	惜しめ時を	書350	曲-日937
	歌-日7243	若き女今宵	クリスマス	書232	曲-日1986
	歌-日7244	わが聴く外に	あざけり	書201 書202	曲-日219
	歌-日7245	若き血に燃ゆる者 [慶應応援歌]	慶應応援歌	書40	曲-日2095
	歌-日7246	若き血に燃ゆる者 [陸の王者(慶應義塾大学応援歌)]	陸の王者(慶應義塾大学応援歌)	書385	曲-日7229
	歌-日7247	若き日すでに過ぎゆき	故郷の土	書240	曲-日2340
	歌-日7248	わが君いまして	東京 [わが君いまして]	書229	曲-日4650
	歌-日7249	吾が君が	吾が君が	書232	曲-日7347
	歌-日7250	吾君かしこや	稜威	書353	曲-日6402
	歌-日7251	我君にまさる君なし	君	書143	曲-日1764
	歌-日7252	我君のためには身をもすてて	大和男児 [我君のためには身をもすててつとめ]	書68 書166	曲-日6874
	歌-日7253	吾が君の御稜威四方に	吾が君の御稜威	書232	曲-日7348
	歌-日7254	我が君守れ八洲の人	八洲の民	書102 書166	曲-日6768
	歌-日7255	我が君我が君我が君かしこ	我が君	書122	曲-日7346
	歌-日7256	吾が君は千代に八千代	吾が君は	書232	曲-日7349
	歌-日7257	若き者朝日の如く新なる	大日本青少年団歌	書236 書238	曲-日4057
	歌-日7258	若き者いさましき者	体育運動歌 第三(若き者)	書240	曲-日3752

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
わ	歌-日7259	若き我等が命のかぎり	法政大学校歌	書385	曲-日6106
	歌-日7260	若草撫でては	流水の曲	書337	曲-日7239
	歌-日7261	若草の	若草 [若草の]	書86	曲-日7353
	歌-日7262	若草のつみなく	小供	書120 書121 書166	曲-日2473
	歌-日7263	若草のもゆるあたたかき道を	胡蝶 [若草のもゆるあたたかき道を]	書60 書350	曲-日2454
	歌-日7264	わかさくさじかきのべのみちを	うないをとめ	書166	曲-日660
	歌-日7265	若草もえて水ぬるむ	第十九回記念祭寄贈歌(42年東大)	書386	曲-日3867
	歌-日7266	若草山も	奈良 [若草山も]	書159	曲-日4974
	歌-日7267	我が国を守れ	我が国を守れ	書350	曲-日7359
	歌-日7268	我国兵士の勇気を見よや	我国兵士 [我国兵士の勇気を見よや]	書54 書69	曲-日7361
	歌-日7269	わがくにまもるものふの [日本海]	日本海	書166	曲-日5083
	歌-日7270	我国まもる武士の [桜の歌]	桜の歌 [我国まもる武士の]	書216 書303	曲-日2693
	歌-日7271	我国まもる武士の [桜花]	桜花	書200 書241	曲-日2694
	歌-日7272	我国まもる武士の大和心を	児島高德 [我国まもる武士の大和心を]	書200	曲-日2409
	歌-日7273	我が国わが国我が国たふと	我が国 [我が国わが国我が国たふと]	書122	曲-日7355
	歌-日7274	我が国は四方皆海海の国	我国は海の国	書165	曲-日7362
	歌-日7275	我軍人の屯當地	成歎の夜嵐(日本大勝利)	書19	曲-日3495
	歌-日7276	吾軍連戦連勝の [黄海大捷(其二)]	黄海大捷(其二)	書391	曲-日2210
	歌-日7277	吾軍連戦連勝の [黄海大捷戦]	黄海大捷戦 [吾軍連戦連勝の]	書314	曲-日2211
	歌-日7278	わが軍連戦れんしょうのなかにも [黄海の大捷]	黄海の大捷 [わが軍連戦れんしょうのなかにも]	書166	曲-日2215
	歌-日7279	我が国光のいやましに	第五回内国勸業博覧会場内案内唱歌	書260	曲-日3788
	歌-日7280	わがこよかれとちちははは	修身の歌	書169	曲-日3041
	歌-日7281	吾がさすらえば	家路に	書232	曲-日394
	歌-日7282	我が運命こそ青渦わける	大正三年寮歌	書77	曲-日3942
	歌-日7283	わが將軍きたる	凱旋 [わが將軍きたる]	書166 書284	曲-日1175
	歌-日7284	わがしんしゅうにあだせむと	我が神州	書166	曲-日7372
	歌-日7285	わがすむ日本帝国の	海国男子 [わがすむ日本帝国の]	書93 書225	曲-日1153
	歌-日7286	わが天皇の [分列式の歌]	分列式の歌	書46	曲-日6033
	歌-日7287	我が天皇の治めしる	扶桑歌 [我が天皇の治めしる]	書198 書200 書287 書303 書376	曲-日5909
	歌-日7288	わがすめらぎのみよはひは	我天皇	書166	曲-日7374
	歌-日7289	わかたけのなほきこころに	学校創始記念日祝歌	書165	曲-日1385
	歌-日7290	わが田の水は夏も涸れず	幸なる農夫	書310	曲-日2712
	歌-日7291	わがたましひの故郷は	第二十六回記念祭寄贈歌(5年京大)	書386	曲-日4042
	歌-日7292	わがため血をながし	我一切を献ぐ	書70 書71	曲-日7475
	歌-日7293	わが父いかでおはさぬや	歴史歌	書286	曲-日7298
	歌-日7294	わが父君の	ワシントン [わが父君の]	書333	曲-日7448
	歌-日7295	わが父母が身体を分ちし	兄弟 [わが父母が身体を分ちし]	書175	曲-日1826
	歌-日7296	我帝国の [京都市]	京都市	書138	曲-日1832
	歌-日7297	我が帝国の軍人は	野戦 [我が帝国の軍人は]	書118	曲-日6783
	歌-日7298	我帝国は万国に	成歎及牙山の全勝	書200	曲-日3490
	歌-日7299	我が偵察の艦隊は	軍艦戦闘 [我が偵察の艦隊は]	書118	曲-日2031
	歌-日7300	我手に植し	えにし	書257	曲-日785
	歌-日7301	わがてんのうのみてづから	連隊旗	書93 書138 書166 書225	曲-日7305
	歌-日7302	わが長束は	安佐郡長束村平和招来の宣伝歌	書253	曲-日216
	歌-日7303	我がなつかしき [学校記念日の歌]	学校記念日の歌	書60	曲-日1379
	歌-日7304	わがなつかしきまなびの [学校記念日]	学校記念日 [わがなつかしきまなびの]	書225 書337	曲-日1377
	歌-日7305	わがにつぼんのしんみんは	民の務 [わがにつぼんのしんみんは]	書166 書225	曲-日4273
	歌-日7306	わが庭のあさがほや	牽牛花	書225 書310	曲-日2135
	歌-日7307	和歌の浦わを来てみれば	和歌の浦 [和歌の浦わを来てみれば]	書146 書148 書165	曲-日7386
	歌-日7308	和歌の浦わに夕しほみちくれば	和かの浦 [和歌の浦わに夕しほみちくれば]	書132 書151 書153 書161	曲-日7384
	歌-日7309	わか葉をくらく	軍士の妻	書185	曲-日2082
	歌-日7310	若葉涼しき夏の来て	閑居時鳥	書28	曲-日1566
	歌-日7311	我旗影に恐れむ	軍艦戦闘 [我旗影に恐れむ]	書118	曲-日2033
	歌-日7312	若葉にかよふ	皐月	書188	曲-日2714
	歌-日7313	わかばのこずえかぜなつかしく	夏 [わかばのこずえかぜなつかしく]	書166	曲-日4893
	歌-日7314	若葉の露をその身に浴び	曙光	書182	曲-日217
	歌-日7315	わが母はいづくにゆきし	かたみの琴	書366	曲-日1361
	歌-日7316	わがひのものとあさぼらけ	わが日の本 [わがひのものとあさぼらけ]	書151 書153 書161	曲-日7391
	歌-日7317	わがひのものとのおほぎみの	校舎新築落成式の歌 [わがひのものとのおほぎみの]	書165	曲-日2246
	歌-日7318	我日の本の海岸を	海軍歌	書200	曲-日1128
	歌-日7319	わが日の本の国がらは	行軍歌 [わが日の本の国がらは]	書200 書203 書287 書303 書376	曲-日2226
	歌-日7320	我が日本の国体は	行軍の歌	書198	曲-日2229
	歌-日7321	我が日本の国民は天地のむた限りなき	尊王	書45	曲-日3749
	歌-日7322	我が日本の国たるや大東洋に独立し	勅語唱歌	書289	曲-日4419
	歌-日7323	わがひのものとくにつもの	商船 [わがひのものとくにつもの]	書166	曲-日3147
	歌-日7324	わがひのものとくにひかり	国の光 [わがひのものとくにひかり]	書165	曲-日1947
	歌-日7325	我日の本の軍人	征露の歌 [我日の本の軍人]	書16	曲-日3552
	歌-日7326	わがひのものとすめがみの	卒業式の歌 [わがひのものとすめがみの]	書165	曲-日3716
	歌-日7327	我日の本の帝国は	奮へ男子	書16	曲-日5997
	歌-日7328	我日の本の日章旗	我国旗 [我日の本の日章旗]	書200	曲-日7365
	歌-日7329	我が日本の花ぞかし我が日本の光りぞと	女子に告ぐ	書303	曲-日3220
	歌-日7330	わがひのものとふじのねは	三育	書165	曲-日2777
	歌-日7331	わがひのものとみやこをば	三府五港	書165	曲-日2813
歌-日7332	わがひのものとはそのむかし	元寇撃戦	書166	曲-日2144	
歌-日7333	我が日の本は千早振	慨世歌	書287	曲-日1169	
歌-日7334	我日の本は東海の	皇国の史	書287	曲-日6422	
歌-日7335	わが日の本はならびなき	四季のながめ [わが日の本はならびなき]	書113	曲-日2862	
歌-日7336	わがふむみちは夜の幔幕をあさ日子に	わがふむみちは	書223	曲-日7396	
歌-日7337	わがふる郷に見し月の	戦場の月	書138 書225	曲-日3616	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
わ	歌-日7338	わが故郷の川端に立てる老木の柳陰	老木の陰	書88	曲-日807
	歌-日7339	わが故郷のゆかしき木蔭	故郷 [わが故郷のゆかしき木蔭]	書54 書225 書337	曲-日6004
	歌-日7340	我平良村は大字	佐伯郡平良村歌	書253	曲-日2630
	歌-日7341	我丈夫は山行かば	丈夫	書46 書314 書391	曲-日6301
	歌-日7342	わがまつつの僧道鏡	和氣清塵 [わがまつつの僧道鏡]	書68	曲-日7440
	歌-日7343	わが身を滅らして火に焼け流れて	献身の愛	書311	曲-日2152
	歌-日7344	わがみどりごのはへばたて	父母の恩	書165	曲-日4352
	歌-日7345	我身も家も重からず	我身も家も	書102 書166	曲-日7401
	歌-日7346	わがみはたからとおこなひと	恭俣博愛	書102 書145 書165 書169	曲-日1811
	歌-日7347	若紫に夜は溶けて	第二十七回記念祭歌(6年南)	書386	曲-日4002
	歌-日7348	わかむらさきのめもはるかなる	若紫	書132 書151 書153 書161 書165 書225	曲-日7402
	歌-日7349	若者起て起ていざ戦へ	戦に	書232	曲-日410
	歌-日7350	我物と	我物	書368	曲-日7403
	歌-日7351	我が森町の村勢は	南蒲原郡森町村歌	書253	曲-日6496
	歌-日7352	わが屋をおほふ	帰郷の前	書366	曲-日1616
	歌-日7353	わがやのいけにこほりははりぬ	氷之	書166	曲-日2302
	歌-日7354	わがやのすぎにきなくかせみよ	蟬 [わがやのすぎにきなくかせみよ]	書166	曲-日3598
	歌-日7355	我家の軒端に梅の花咲き	春の心 [我家の軒端に梅の花咲き]	書223	曲-日5605
	歌-日7356	わがやのまつのみさをもたかく	松竹	書165	曲-日3152
	歌-日7357	わが行く方は潮ぞ高き	第十九回記念祭歌(42年東)	書386	曲-日3872
	歌-日7358	我が揺籃の与布土村	朝来郡与布土村の歌	書253	曲-日224
	歌-日7359	わがよき土は豊葦原	農民の歌	書323	曲-日5241
	歌-日7360	我が世の春の	第八高等学校祭歌 [我が世の春の]	書252	曲-日4067
	歌-日7361	我隣国の朝鮮に	朝鮮の内乱(日清交渉の起因)	書200	曲-日4397
	歌-日7362	わがりんごくのどくりつを	西征歌	書166	曲-日3520
	歌-日7363	わかるるわれらをば	再会日まで主よ偕なり給へ	書70	曲-日6304
	歌-日7364	別れての明日は	想父恋	書166 書183	曲-日3671
	歌-日7365	わきてながる	潮音	書257 書317	曲-日2828
	歌-日7366	和氣の臣和氣の臣は	和氣の臣	書166 書285	曲-日7436
	歌-日7367	和氣の君いさを高し	和氣清塵 [和氣の君いさを高し]	書88 書165	曲-日7442
	歌-日7368	わけゆくかぎりは峯にも尾にも	紅葉の山 [わけゆくかぎりは峯にも尾にも]	書52	曲-日6692
	歌-日7369	わけ行く限りは峯も谷も	紅葉の山 [わけ行く限りは峯も谷も]	書60	曲-日6691
	歌-日7370	分けゆく山の登口	高嶺の月	書85	曲-日4135
	歌-日7371	業をしまし嬉しきは	卒業式歌 [業をしまし嬉しきは]	書145 書165	曲-日3714
	歌-日7372	わざ成り楽しき	成業の春	書265	曲-日3500
	歌-日7373	わざは様様	日本女子大学桜楓会会歌	書252	曲-日5108
	歌-日7374	わしが女房はきりようよし	わしが女房	書11	曲-日7447
	歌-日7375	私とおまへは	さつさ踊	書368	曲-日2717
	歌-日7376	忘れぬ花のかをりよ	忘れぬ花	書385	曲-日7450
	歌-日7377	わすれてはゆめかとおもふ	小野の山	書166	曲-日1021
	歌-日7378	私が大人になったらば	大人になったら	書79	曲-日990
	歌-日7379	わたしがわらへば	かがみ [わたしがわらへば]	書222	曲-日1236
	歌-日7380	私十六満洲娘	満洲娘	書363	曲-日6398
	歌-日7381	ワタシノオニハノ	トマト	書358	曲-日4785
	歌-日7382	ワタシノオモチヤハ	ワタシノオモチヤ	書171	曲-日7462
	歌-日7383	ワタシノガッコ	学校	書138	曲-日1373
	歌-日7384	私の好きなお人形	駒鳥と花子さん 第二の歌	書24	曲-日2540
	歌-日7385	わたしのすきなみいちゃん	みいちゃん [わたしのすきなみいちゃんが]	書79	曲-日6401
	歌-日7386	私の好きなやさしいばあや	乳母	書54 書267	曲-日663
	歌-日7387	私の庭の	お庭の草花	書266	曲-日1012
	歌-日7388	私の人形 [お人形]	お人形	書266	曲-日1013
	歌-日7389	わたしの人形あたらしい	ねむり人形 [わたしの人形あたらしい]	書54	曲-日5196
	歌-日7390	わたしのにんぎやうおとなしい	人形 [わたしのにんぎやうおとなしい]	書54	曲-日5166
	歌-日7391	私の人形は新しい	ねむり人形 [私の人形は新しい]	書60 書117	曲-日5197
	歌-日7392	わたしの人形はよい人形	人形 [わたしの人形はよい人形]	書54 書60 書207	曲-日5167
	歌-日7393	わたしの古靴縁の下に	わたしの古靴	書263	曲-日7465
	歌-日7394	私のラバさん	曾長の娘	書385	曲-日3042
	歌-日7395	私は善い子	私は善い子	書267	曲-日7467
	歌-日7396	わたしも	がくかうへ	書159	曲-日1389
	歌-日7397	私しや海辺の孤ものよ	望郷 [私しや海辺の孤ものよ]	書54	曲-日6090
	歌-日7398	私しや大島御神火育ちヨ	大島節(東京府下)	書385	曲-日888
	歌-日7399	わたしや夜さく酒場の花よ	女給の唄 [わたしや夜さく酒場の花よ]	書385	曲-日3206
	歌-日7400	わたしやヨ私しや越後の船頭の娘	越後盆踊	書363	曲-日784
	歌-日7401	私は兎と申すもの	兎 [私は兎と申すもの]	書60 書207	曲-日609
	歌-日7402	私はお家の	犬と猫 [私はお家の]	書266	曲-日504
	歌-日7403	私は先生皆は生徒	学校ごっこ [私は先生皆は生徒]	書60	曲-日1382
	歌-日7404	わたしは花よ	花すみれ [わたしは花よ]	書201 書202 書336	曲-日5424
	歌-日7405	わたしは一人すみれの花よ	花すみれ [わたしは一人すみれの花よ]	書60	曲-日5422
	歌-日7406	わたしは真赤なリンゴです	リンゴのひとりごと	書51	曲-日7287
	歌-日7407	太平洋の底ひより	偶感	書100	曲-日1901
	歌-日7408	わたなかにたてるみやきに	いつく島 [わたなかにたてるみやきに]	書54 書120	曲-日470
	歌-日7409	わたのはらに	軍艦 [わたのはらに]	書138	曲-日2020
	歌-日7410	渡る宇治橋杜深く	伊勢もうで	書363	曲-日447
	歌-日7411	渡るにやすき安城の [安城渡頭の劇戦喇叭手の最後]	安城渡頭の劇戦喇叭手の最後	書305	曲-日390
	歌-日7412	渡るにやすき安城の [喇叭の響]	喇叭の響	書166 書304 書365 書385	曲-日7215
	歌-日7413	渡るに易き安城の [安城の渡]	安城の渡	書40	曲-日391
	歌-日7414	葉編笠種子が島	遊猟 [葉編笠種子が島]	書312	曲-日6989
	歌-日7415	わらぐつはきしめいざとも	栗拾ひ	書166	曲-日1989
	歌-日7416	草鞋を足に弁当腰に	懐友 [草鞋を足に弁当腰に]	書135	曲-日1201

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
わ	歌-日7417	わらぢの下より	富士登山 [わらぢの下より]	書92	曲-日5886
	歌-日7418	葉の中に三羽の鷺鳥	三羽の鷺鳥	書232	曲-日2808
	歌-日7419	童は見でぬ	野中の薔薇	書188	曲-日5275
	歌-日7420	我一高は天下の雄	第十二回記念祭寄贈歌(35年帝大)	書386	曲-日3901
	歌-日7421	われををしふることはも	父の墓	書165 書169	曲-日4350
	歌-日7422	われをばこよなきたからとして	懐し我が母	書116	曲-日4900
	歌-日7423	我寄宿舎をたとふれば	第八回記念祭歌(31年北)	書386	曲-日4064
	歌-日7424	われくらきとうがひにより	エス我を暗より光に入給へり	書70 書71	曲-日781
	歌-日7425	われこころより	親愛	書228	曲-日3260
	歌-日7426	我こそ幸福の子	み親につかへん	書350	曲-日6405
	歌-日7427	われ魂あり誰かは知る	日本刀 [われ魂あり誰かは知る]	書47 書136 書166	曲-日5126
	歌-日7428	吾れ天兵を	新田義貞 [吾れ天兵を]	書215	曲-日5062
	歌-日7429	われながら世には	愛児	書92	曲-日936
	歌-日7430	われならでキリストのみ	既や我ならず唯基督のみ	書70 書71	曲-日6680
	歌-日7431	吾に続いて歌へや	来れ!	書232	曲-日1711
	歌-日7432	我は歌人ならねども	秋草 [我は歌人ならねども]	書45	曲-日97
	歌-日7433	われも諸君もひのもの	三角湧	書166	曲-日2784
	歌-日7434	われも昔はますらをの真弓つきゆみ年を経て	西行法師	書303	曲-日2607
	歌-日7435	我等をあまねくたからとめでます	わがが大君 [我等をあまねくたからとめでます]	書263	曲-日7338
	歌-日7436	我等をてらせるあの月の	月 [我等をてらせるあの月の]	書166 書285	曲-日4457
	歌-日7437	われ等をみなは国民の花なり	われらをみなは	書323	曲-日7483
	歌-日7438	われ等があしの踏むところ [わが若き感激の歌]	わが若き感激の歌	書241	曲-日7433
	歌-日7439	我等が足の踏むところ [感激の歌]	感激の歌	書40	曲-日1570
	歌-日7440	我等が歌声	いざ歌はむ	書232	曲-日423
	歌-日7441	我等が郷里内浦は	大飯郡内浦村歌	書253	曲-日868
	歌-日7442	われらが郷里加斗村は	大飯郡加斗村歌	書253	曲-日869
	歌-日7443	我等が故郷は富山県	下新川郡飯野村歌	書253	曲-日2981
	歌-日7444	われらがしらべなにかにかにたる	われらがしらべ	書233	曲-日7484
	歌-日7445	我等が住へる村里は	南條郡河野村歌	書253	曲-日5001
	歌-日7446	吾等がすめる揖斐町は	揖斐郡揖斐町歌	書253	曲-日519
	歌-日7447	われらがつみのために	我救はれたり	書70 書71	曲-日7481
	歌-日7448	我等が友健やかに双手を挙げ	勝盃	書240	曲-日3172
	歌-日7449	我れらが日々	我が教室	書180	曲-日7350
	歌-日7450	われらが学も	卒業式の歌 [われらが学も]	書281	曲-日3719
	歌-日7451	我等が学ぶ学校を	長岡郡久礼田村歌	書253	曲-日4850
	歌-日7452	われらがまなぶまなびやの	学校記念日 [われらがまなぶまなびやの]	書165	曲-日1376
	歌-日7453	我らがまりは	我らがまり	書381	曲-日7485
	歌-日7454	吾等神の子ぞ	私は小さい	書232	曲-日7466
	歌-日7455	われらきょうだいこころをあはせ	我等兄弟	書138 書165	曲-日7486
	歌-日7456	われ等その名ぞ若人よ	栄冠の歌	書40	曲-日759
	歌-日7457	われらともにあはん	やがてあはん	書70 書71	曲-日6747
	歌-日7458	われらのいくさはにくならず	皆進め	書70 書71	曲-日6487
	歌-日7459	われらの命芽生への地	第二十六回記念祭寄贈歌(5年九大)	書386	曲-日4033
	歌-日7460	我等の好む秋来れり	秋の山 [我等の好む秋来れり]	書47 書54 書60	曲-日148
	歌-日7461	我等の先にたつ旗は	小学生徒行軍の歌	書166 書285	曲-日3110
	歌-日7462	吾等の住居は東安居	足羽郡東安居村歌	書253	曲-日274
	歌-日7463	吾等の住めるこの里は	南條郡南山山村歌	書253	曲-日5002
	歌-日7464	われらのねむりを守るやう	ご門の電燈	書116	曲-日2571
	歌-日7465	我等の乗りたる清らの小舟よ	小舟よ	書116	曲-日2534
	歌-日7466	われらののれるこのぼと	ボート [われらののれるこのぼと]	書166	曲-日6148
	歌-日7467	われらの舟すべるがごと	海の上 [われらの舟すべるがごと]	書263	曲-日682
	歌-日7468	われらのまりも遊ぶがごとく	毬 [われらのまりも遊ぶがごとく]	書161 書166 書379	曲-日6381
	歌-日7469	われらのもてるにつぼんたう	日本刀 [われらのもてるにつぼんたう]	書166	曲-日5125
	歌-日7470	われらもいまはまなびもはらぬ	鬼ごと遊	書165	曲-日1006
	歌-日7471	われらも昔は父君の	親の恩 [われらも昔は父君の]	書102 書165	曲-日1086
	歌-日7472	我らは	我国 [我らは]	書46	曲-日7358
歌-日7473	われらはいかでせんしをおそれん	決死の歌 [われらはいかでせんしをおそれん]	書166	曲-日2125	
歌-日7474	われらはいかなるくにたみぞ	ますらたけを [われらはいかなるくにたみぞ]	書166 書169 書337	曲-日6302	
歌-日7475	我等はいかなるともがらぞ	第八回記念祭歌(31年南)	書386	曲-日4063	
歌-日7476	われらはいくくだんしなり	端艇合戦	書166	曲-日4306	
歌-日7477	われらはいかぜのこゆきのとも	勇士の芽生え	書138 書166	曲-日6945	
歌-日7478	我等は官業労働者	官業労働総同盟歌	書392	曲-日1565	
歌-日7479	われらはいかどものへいたいぞ	小供の兵隊	書166	曲-日2478	
歌-日7480	われ等はつねに世の人人の	なさけ	書263	曲-日4877	
歌-日7481	われらはいっぼんだんじなり [訓練]	訓練 [われらはいっぼんだんじなり]	書166	曲-日4416	
歌-日7482	われらは日本だんじなり [軍歌]	軍歌 [われらは日本だんじなり]	書166	曲-日2013	
歌-日7483	我らは日本の国みんの四千万予の	国民 [我らは日本の国みんの四千万予の]	書141	曲-日2358	
歌-日7484	我等は日本の青年男児	帝国青年の歌 [我等は日本の青年男児]	書60	曲-日4566	
歌-日7485	われはいづくのなにもぞ	人の心	書165 書169	曲-日5730	
歌-日7486	われはうきよの	我名は天にしろさしや	書70 書71	曲-日7383	
歌-日7487	われは湖の子さすらひの	琵琶湖週航の歌(大正8年)	書387	曲-日5826	
歌-日7488	我は海の子白浪の	我は海の子	書40 書213 書214	曲-日7494	
歌-日7489	我は男の子海をも山をも	我は男の子	書60	曲-日7495	
歌-日7490	われは官軍わがてきは [抜刀隊の歌]	抜刀隊の歌	書166 書198 書251 書287 書303	曲-日5375	
歌-日7491	我れは官軍我が敵は [抜刀隊]	抜刀隊 [我れは官軍我が敵は]	書200 書376	曲-日5372	
歌-日7492	われはこころいともやすく	我贖はれたり	書70 書71	曲-日7474	
歌-日7493	吾は汝を汝は吾を慕ふ	吾は汝を	書232	曲-日7498	
歌-日7494	我は日本の	日本の兵士	書46	曲-日5134	
歌-日7495	吾は日本の兵士なり	野戦 [吾は日本の兵士なり]	書118	曲-日6787	

	歌詞番号	歌出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
わ	歌-日7496	我は化けたと思へども	化競	書159	曲-日5323
	歌-日7497	吾は水の子さすらひの [琵琶湖週航の歌(三高)]	琵琶湖週航の歌(三高)	書40	曲-日5825
	歌-日7498	吾れは水の子さすらひの [吾れは水の子(三高琵琶湖周航の歌)]	吾れは水の子(三高琵琶湖周航の歌)	書385	曲-日7499
	歌-日7499	わんわんわん	小犬とぼっちゃん	書17	曲-日2174
英	歌-外1	Ahungryfoxonedaydiasy	THE FOX AND THE GRAPES.	書229	曲-外40
	歌-外2	Allons, enfantsdelapatrie,	La Marseillaise. (仏国歌)	書101	曲-外19
	歌-外3	Allthebirdsarecomeagain	SPRING - SONG.	書227	曲-外32
	歌-外4	Arise ! yewretchedofallregions !	THE INTERNATIONAL	書392	曲-外41
	歌-外5	Avoiceresoundlikethunderpeal	THE WATCH ON THIS RHINE.	書229	曲-外47
	歌-外6	Breakfastoveroff	清よき食卓	書28	曲-日1847
	歌-外7	CameallyemenofSapporo	MARCHING SONG	書77	曲-外23
	歌-外8	Cheerilythybuglesounds	THE MOUNTAIN BUGLE or FLORA AND FORESTER	書28	曲-外45
	歌-外9	Children, allwithcheerfulness	PRAISE OF SINGING.	書228	曲-外28
	歌-外10	ChildrengoToandfro,	CHILDREN TO AND FRO.	書228	曲-外5
	歌-外11	Chirp, chirp, chirp !	THE CRICKET.	書228	曲-外38
	歌-外12	Come, come, come	SUMMER SONG.	書228	曲-外35
	歌-外13	Drummerboy, drummerboy	Drummer boy.	書228	曲-外8
	歌-外14	ErstkommtderJungeStudio, tralala, tralala	STUDFNTENLIED	書77	曲-外34
	歌-外15	EsbrausteinRufwie	Die Wacht am Rhein. (莱因河畔ノ守(独国歌))	書101	曲-外7
	歌-外16	FairAlmaMater, thisourhymn	COLLEGE HYMN	書77	曲-外6
	歌-外17	Farrmerdear, farmerdear	THE SPARROW AND THE FARMER.	書227	曲-外46
	歌-外18	Fivehundredfaces	FIVE HUNDRED FACES.	書229	曲-外9
	歌-外19	GodpreserveourFranz	AUSTRIAN NATIONAL HYMN.	書229	曲-外3
	歌-外20	GodsaveourgloriousCzar !	RUSSIAN NATIONAL HYMN.	書229	曲-外30
	歌-外21	GodSaveourgraciousKing	GOD SAVE THE KING. (英国国歌)	書101 書228	曲-外11
	歌-外22	GotterhalteFranzden	Oestereichisches Nationallied. (奥国歌)	書101	曲-外26
	歌-外23	HaaHeo	ALOHA OE	書28	曲-外1
	歌-外24	Hail, Columbia, happy, land !	Hail, Clumbia ! (米国歌)	書101 書228	曲-外12
	歌-外25	I' vealittledogathome	I' VE A LITTLE DOG AT HOME.	書227	曲-外15
	歌-外26	Ichweisnichtwassollesbedeuten	Loreley	書28	曲-外22
	歌-外27	Kimigayowa	Kimigayo. (君方代)	書101	曲-外17
	歌-外28	Lalalalalalalalal	HYMN OF THE MARSEILLAISE.	書229	曲-外14
	歌-外29	Lightlyrow ! Lightlyrow !	THE BOAT SONG.	書227	曲-外37
	歌-外30	Littlebrother, darlingboy	LITTLE BROTHER.	書229	曲-外20
	歌-外31	Midpleasuresandpalaces	HOME, SWEET HOME.	書229	曲-外13
	歌-外32	Ocome, comeaway	O COME, COME AWAY.	書229	曲-外24
	歌-外33	Oh, howcoldisWinter	LONGING FOR SPRING.	書229	曲-外21
	歌-外34	Oh, thesportsofchild-hood !	SWINGING 'NEATH THE OLD APPLE-TREE.	書228	曲-外36
	歌-外35	one, two, three, four, keep, thetime	ONE, TWO, THREE, FOUR.	書229	曲-外27
	歌-外36	OstaroftheEast	O STAR OF THE EAST	書28	曲-外25
	歌-外37	See ! Thefieldsareyellow	AUTUMN SONG.	書229	曲-外4
	歌-外38	ShallIshowyouhowthefarmer	THE FARMER.	書228	曲-外39
	歌-外39	Shouldauldacquaintancebeforgot	AULD LANG SYNE.	書229	曲-外2
	歌-外40	Soundthestrainagain	SOUND THE STRAIN AGAIN.	書229	曲-外31
	歌-外41	St. Paul' swillshineto-night	St. Paul' s will shine to-night(立教大学応援歌)	書385	曲-外33
	歌-外42	Sucompagniinfortischiere	青春の歌	書269	曲-日3512
	歌-外43	Themillbytherivulet	THE MILL.	書227	曲-外44
	歌-外44	Tic ! Tic ! Tic ! Tic !	TIC, TIC.	書229	曲-外48
	歌-外45	Tisthelastroseofsummer	THE LAST ROSE OF SUMMER.	書229	曲-外42
	歌-外46	Trara, themailhascome !	THE MAIL.	書227	曲-外43
	歌-外47	Twinkle, twinkle, littlestar	TWINKLE, TWINKLE, LITTLE STAR.	書227	曲-外50
	歌-外48	UptothebeautifulGiveroflife	GATHERING HOME !	書28	曲-外10
	歌-外49	WhenIwasalad	ROBINSON CRUSOE.	書228	曲-外29
	歌-外50	Whenthe swallowsnomewaedfly	WHEN THE SWALLOES	書28	曲-外51
	歌-外51	Where' stheoldgraygoose	TO THE FOX.	書227	曲-外49
	歌-外52	Who' llbuymyposies	WHO' LL BUY MY POSIES ?	書229	曲-外52
	歌-外53	Winter, thouartverycold	WINTER.	書229	曲-外53
	歌-外54	В о ж е ц а р я х р а н и	Русский народный гимнъ.(露国歌)	書101	曲-外54
漢	歌-外55	以五十載通商	博覽會	書150	曲-外83
	歌-外56	一笑傾人國	戒豔粧	書150	曲-外55
	歌-外57	化學明農業精	訓農	書150	曲-外63
	歌-外58	夏日炎炎甚	螻螂	書150	曲-外92
	歌-外59	海權莫重海岸線	海軍復	書150	曲-外56
	歌-外60	咳中飽提	國債	書150	曲-外67
	歌-外61	危崖怪石兮嵯峨	觀瀑	書150	曲-外58
	歌-外62	汽學明工芸新	勤工	書150	曲-外62
	歌-外63	京洛東遷	漢官儀	書150	曲-外57
	歌-外64	競爭競爭	競爭	書150	曲-外60
	歌-外65	湖水漲三嵩	漁翁	書150	曲-外59
	歌-外66	吾祖宓犧倫理宗	文明婚	書150	曲-外84
	歌-外67	行行行來跳舞	跳舞會	書150	曲-外79
	歌-外68	七尺負昂戴	尊俠	書150	曲-外76
	歌-外69	晶簾半卷	乞巧	書150	曲-外66
	歌-外70	人生不過百年	古少年	書150	曲-外65
	歌-外71	生不願封萬	徵兵	書150	曲-外78
	歌-外72	淺草平鋪	毬	書150	曲-外90
	歌-外73	祖國夙号文明先	頌立憲	書150	曲-外97
	歌-外74	大千界黑沈沈	鏡	書150	曲-外61
	歌-外75	大地搏搏	西瓜	書150	曲-外73

	歌詞番号	歌い出し歌詞	曲名	書名番号	曲番号
漢	歌-外76	大夢百年纒一覺	春宵	書150	曲-外72
	歌-外77	大陸起龍蛇	思將帥	書150	曲-外70
	歌-外78	男兒志四方	旅行	書150	曲-外88
	歌-外79	丁零零丁零零	揺鈴	書359	曲-外87
	歌-外80	鐵路開	鐵路	書150	曲-外80
	歌-外81	電汽世界混沌鑿	博物院	書150	曲-外82
	歌-外82	波淘淘	大江東	書150	曲-外77
	歌-外83	莫笑池中物	青蛙	書150	曲-外74
	歌-外84	不問蒼生問鬼神	關占驗	書150	曲-外96
	歌-外85	風雨正瀟瀟	秋士吟	書150	曲-外71
	歌-外86	文臣愛錢武	軍国民	書150	曲-外64
	歌-外87	北斗七星光	箒辺	書150	曲-外91
	歌-外88	牧民猶牧羊	牧羊	書150	曲-外85
	歌-外89	万物帰土中	譏風艦	書150	曲-外94
	歌-外90	夕陽下塔万頼静	山寺鐘	書150	曲-外69
	歌-外91	涼秋九月塞草黄	遊獵	書150	曲-外86
	歌-外92	哥哥鼓鑼	鑼鼓	書359	曲-外95
	歌-外93	啼鳥復啼鳥	啼鳥	書150	曲-外89
	歌-外94	天桃春謝	歲寒松	書150	曲-外68
	歌-外95	滾滾驚濤浪	之江吊古	書150	曲-外81
	歌-外96	牆上掛鐘似說刻刻刻	惜陰	書359	曲-外75
歌-外97	鑼聲鏗鏗鼓瑟瑟	諷迎儻	書150	曲-外93	